

**知的障害者の職務遂行能力の  
加齢変化に関する研究**

**障害者の加齢に伴う職業能力の変化  
と対策に関する実証的研究報告書 3**

2001年4月

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

# 知的障害者の職務遂行能力の 加齢変化に関する研究

障害者の加齢に伴う職業能力の変化と対策に関する実証的研究報告書 3

2001年4月

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

# まえがき

障害者職業総合センターでは、1991年の設立以来、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき我が国における職業リハビリテーションサービス機関の中核として、職業リハビリテーションに関する調査研究をはじめとして、さまざまな業務に取り組んできています。

さて、この報告書は、当センター・特性研究部門において平成7年度から5年計画で取り組んでいる特別研究「障害者の加齢に伴う職業能力の変化と対策に関する実証的研究」の一環として実施した、身体・精神機能を含む広範な職業能力などの加齢に伴う変化の様相を実証的に明らかにすることを目的とした、2種類の異なる研究成果をまとめたものです。

第 部の「職務遂行能力と個別検査（評価）に見る知的障害者の加齢変化」は、実際の職務遂行能力とそれを規定する心身機能面の要素的な労働適応能力についての加齢変化を、各年齢層ごとに異なる被験者群のデータを用いて年齢群間の比較を行う横断的分析を行いました。これに対して、第 部の「狩野運動能発達検査に見る知的障害者の加齢変化」では、運動能力に限った加齢変化を個人ごとの経年変化のデータを用いて明らかにする縦断的分析で行いました。

調査の実施に当たり多大の御協力を賜った関係各位に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも一層の御協力をお願いする次第です。

この報告書が、今後、働く障害者が中高年齢化していく中で、障害者雇用や職業リハビリテーションについての諸研究や政策検討の基礎資料として広く関係者のみなさまに利用していただければ幸いです。

2001年4月

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター  
研究主幹 後藤 憲夫

## 執筆担当

松為 信雄 特性研究部門 主任研究員 第 部

清水 亜也 特性研究部門 研究協力員 第 部

(千葉大学大学院博士課程後期)

第 部の資料収集に際しては地域障害者職業センターの、また、第 部の資料提供に際しては、精神薄弱者更生施設「北総育成園」(千葉県)の多大なご協力を頂きました。

ここに厚く感謝申し上げます。

# 要 旨

本書は、「障害者の加齢と職業能力の変化と対策に関する実証的研究」の一環として、身体・精神機能を含む広範な職業能力などの加齢に伴う変化の様相を実証的に明らかにすることを目的とした、2種類の異なる研究成果をまとめたものである。

## 第 部 「職務遂行能力」と個別検査（評価）に見る知的障害者の加齢変化

### 1．目的と方法

身体・精神機能を含む広範な職業能力などの加齢に伴う変化の様相を実証的に明らかにすることを目的に、個々の障害者の実際の職務遂行能力とその構成要素としての心身機能を中心とした労働適応能力との関係を検討した。

そのため、地域障害者職業センター利用の知的障害者に対して実施された種々の測定結果のうちで、実際場面での職務遂行能力の結果を真に反映している「職務試行評価」の結果に加えて、労働適応能力の要素的な特性を反映している「知能検査」「作業検査」「社会生活能力評価」「職業準備訓練評価」の結果を収集し、それらの加齢変化の傾向について、横断的な分析を行った。

これらは、前者の職務遂行に伴う年齢変化曲線は後者の要素的な労働適応能力の示す年齢変化曲線がどのように反映されているか、言い換えると、職務試行評価の年齢変化曲線は、職業準備性、社会生活能力、知能、作業検査などの要素的な労働適応能力の年齢変化曲線とどのような相乗効果を生じているか、を明らかにすることを目的とする。

収集された知的障害者の個人測定・評価結果は1 297人分だった。その内訳は、16歳から61歳までの年齢範囲だったが、51歳以上の対象者数が少なかった。また、男性と女性の比が7：6、重度者とそれ以外の人の比が5：6だった。

### 2．年齢群別の変化の特徴

#### (1) 知 能

「田中ビネー」「鈴木ビネー」のいずれの結果も、IQ値は年齢の上昇とともに低下する。ただし、「WAIS R」の下位検査は、①年齢とともに一義的に低下する傾向があるもの、②10代後半から20代前半の年齢層でのピーク後に低下を示すが30代前半から後半にかけて再度の上昇に転じるもの、③10代後半から20代前半での最大傾向だけが著しいもの、④30代で上昇に転じる傾向だけが著しいもの、などに分類された。

## (2) 作業検査

労働省編一般職業適性検査の手腕作業検査盤（「M検査（差し込み）」「N検査（差し替え）」）や指先器用検査盤（「O検査（組み合わせ）」「P検査（分解）」）は、20代前半層でピークになった後は一義的に下降する。また、上肢と手腕の運動能力でも高い巧み性と両手共応の動作を必要とする度合いが大きいほど、上昇と下降の変化が著しい。

実際作業で使用する器具や部品を用いたワークサンプル検査の結果は、①年齢の上昇と共に成績が変動するもの（「ボルトナットの組み立てと分解」「十字ドライバーのボルト取り付けとボルトはずし」「ワッシャーの選別」「紐かけ検査」）と、②変動の少ないもの（「蛇口の組み立てと分解」「ピンセットによる差し込み」「大小分類」「タッピング」）に分類された。前者の検査では、20代前半層と30代後半から40代前半層の2度のピークがあり、後者の検査では、10代で変動はあっても、以降は年齢の上昇に関わらず一定の作業成績となる傾向があった。

## (3) 社会生活能力

「意思表示と交換能力」「移動能力」「日常生活能力」のどの領域も、年齢の上昇とともに緩やかに向上するが、40代後半層で著しく低下する。特に、「意思表示と交換能力」と「日常生活能力」は40代後半の時点での低下が著しい。

下位項目は、①どの年齢層でも得点が高く40代後半での著しい低下も認められないもの、②どの年齢層でも得点が低く40代後半でも著しく低下するもの、③年齢の上昇に伴って成績は少しずつ上昇するが40代後半層で著しく低下するものなどに類型化できた。①は早期の発達段階で獲得されて高齢になっても低下しないこと、②は知能の低下が直接的な影響を及ぼしていること、③は社会生活の遂行とともに向上すること、が示唆される。

①を除くほとんどの項目は、40代前半層までの上昇傾向から一転して、40代後半層になると著しく低下する。この急激な低下は、個人の能力に起因するのではなくて、本人の社会生活能力を支えてきた周囲の支援体制を失った結果が反映されていると考えられる。

## (4) 職業準備性

「基本的ルール」「作業態度」「作業遂行力」「対人態度」「通勤」のいずれの領域も、年齢の上昇とともに向上する。詳細に見ると、10代後半から20代前半の年齢層でやや低下の傾向を示した後で、20代後半から30歳前半を境にして上昇に転じる。だが、その上昇傾向は長くは続かず、40歳代前半層になると下降する。

## (5) 職務試行評価

「作業的側面」「勤労習慣」「社会性・対人態度」の領域のほとんどは、①年齢変化とともに「上昇 下降 再上昇」の傾向があり、②10代後半から20代前半と30代から40代前半層での2つのピーク

クが見出された。

なお、「労働の理解」の領域は、①20代後半までの低下後で上昇に転じる「働くことの意義の理解」「仕事・作業への関心」、②30代前半を境にそれまでの上昇から低下に転じる「健康の自己管理」「家庭の援助指導体制」、③どの年齢層でも最も低い「工夫した取り組み」や、最も高い「欠勤/遅刻/早退などの連絡」などに類型化できる。

### 3. まとめと結論

職務試行評価(職務遂行能力)の対象者が従事している職務の特性の多くは、「職業準備性」「社会生活能力」「作業検査」などの測定評価の対象となった要素的な労働適応能力を内包していると思なしても良いかもしれない。従って、「職務試行評価」の特徴的な2つの結果は、「職業準備性」「社会生活能力」「知能」「作業検査」などの結果を反映して、次の特徴を持つと思なされる。

第1に、上肢・手腕の運動能力などの身体的能力の加齢に伴う成長と衰退が、職務遂行能力の衰退変化を規定すると思なられる。

第2に、「社会生活能力」や「職業準備性」などの評価を構成する、意思表示と交換能力、移動能力および日常生活能力、あるいは、基本的ルール、作業態度、作業遂行力、対人態度および通勤などの労働適応能力は、加齢に伴う経験や知識が蓄積されて向上する。そのことが、職務遂行能力の衰退変化を遅延させると思なられる。

第3に、製造工程に見られる定型的で反復化する作業内容そのものが、職務遂行能力の衰退変化を遅延させると思なられる。職業準備性評価を構成する作業遂行力では、加齢に伴う衰退変化が見られないことから、このことが示唆される。

第4に、40代後半から顕在化する社会生活面の支援体制の変化が、「社会生活能力」の低下として現れて、そのことが職務遂行の衰退変化を促進させると思なられる。

だが、職務の特性と職務遂行能力との関係は従事する職務特性を反映した結果であり、職務特性の異なる広範で多様な職業にも同じように作用するとは言えない。それゆえ、職務遂行能力の年齢に伴う変化は、ここで示した個人的な労働適応能力に加えて、職務の特性、および、その職務遂行を規制する種々の雇用管理的要因などの複合的な関係として捉えることが不可欠である。

従って、今後の課題として、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化とそれに対する対応を検討する場合には、次のことを踏まえた論議が不可欠である。

第1に、職務遂行に係る年齢変化曲線を規定するものは、体力や感覚運動機能などに基づく身体的能力と、職業経験を通して獲得した知識やノウハウや熟練などの経験的能力の複合として捉えることが必要である。

第2に、これらの個人的要件としての「職務遂行能力」は、さらに、職務の特性などの「職務環境」や「制度的環境」などの環境側の要件によっても規定される。

第3に、それゆえ、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化とそれへの対応を検討する際に

は、個人的条件と環境条件の双方から併行して行うことが重要である。個人側の要因としては、心身機能の側面と職業的な知識や熟練の側面が含まれ、環境的な要因としては、職場での職務環境と社会状況や制度的環境が含まれる。

第4に、また、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化への対応には、環境条件の中に「社会生活能力」を支援する体制について言及することが不可欠である。雇用管理面からの対応と生活支援面からの対応を含めた、多様な側面からの検討が重要となろう。

## 第 部 「狩野運動能発達検査」に見る知的障害者の加齢変化

### 1 . 問題の所在と目的

従来の障害者の加齢変化に関する研究の多くは、各年齢層にわたる異なる被験者群を対象に測定、収集したデータを用いて、異なる被験者群間の年齢的な差異を加齢変化とする横断的なデータ分析であった。これに対して、本研究では、同一被験者について年を追って測定、収集したデータを用いて、同一被験者内の加齢変化をそのまま加齢変化とする縦断的なデータ分析を行った。

縦断的な分析は、各被検査者ごとの個人内変化の傾向を分類することから、加齢に伴う能力変化の様相を明らかにしていくには、最も適切な方法である。だが、その実施上の困難さもあって、これまで、ほとんど研究がなかった。

しかし、今回、幸運にも、精神薄弱者更生施設において、知的障害者を対象に20年以上にわたり実施されてきた「狩野運動能発達検査」の測定結果を入手できたことで、これを分析することとした。

### 2 . 方 法

「狩野運動能発達検査」は、体力的な要素を含むものを極力除外し、反応や運動速度、巧緻性などの作業テスト的な4種類の下位項目からなり、心身の協応的発達の視点から運動能を見る検査である。「A：平衡機能」(14課題)は身体の柔軟性や平衡感覚、「B：全身運動の協調」(22課題)は体力や筋力的な要素、「C：手指運動」(17課題)は反応速度や運動速度を、「D：分離運動・模倣運動」(14課題)は運動神経の分節度を測定する項目から構成されている。採点は、各課題を合格した場合に1点、辛うじて成功したり、左右上下肢の一方だけ成功した場合には0.5点を与えて、それらの合計点を求める。

分析対象者は、1974 5年と1980～1997年の各年一度ずつの測定した中から、①測定データが合計10年分以上あること、②各年の合計得点が著しく低くない(67点満点中10点以上)ことを基

準に選定した、37名（男性20名、女性17名）である。1997年の測定時点での分析対象者の平均年齢は45.0歳（SD±9.09）だった。

分析は、この37名の個人ごとに、①合計得点の加齢変化の傾向を回帰分析で求めるとともに、②4種類の下位検査項目ごとに、その得点の加齢変化の傾向についても回帰分析を行った。

### 3. 結 果

#### (1) 合計得点の結果

各被検査者ごとに、合計得点に対する生活年齢「CA」の回帰式（合計得点 =  $aCA + b$ ）を算出した。回帰係数「a」、および、生活年齢「CA」と「合計得点」の相関係数をもとに対象者の分類をすると、加齢に伴う運動能力の変化は、①「下降傾向」群（回帰係数 a が負の値で回帰式と相関係数ともに有意）、②「上昇傾向」群（回帰係数 a が正の値で回帰式と相関係数ともに有意）、③「傾向なし」群（それ以外の場合）の3群に分類できた。なお、回帰式の適用範囲の年齢層は、合計得点が増加傾向から減少傾向、減少傾向から増加傾向、あるいは変化なしから減少傾向などに推移する時点以降である。

37名中の各群の内訳は、21名が「下降傾向」、1名が「上昇傾向」、15名が「傾向なし」となった。また、「下降傾向」と「傾向なし」群では、男女比、生活年齢（平成10年現在）、知能指数のいずれにも有意な差はなかった。

#### (2) 下位検査項目得点の変化傾向

4種の下位項目のそれぞれについても、各被検査者ごとに前述と同様の分析をおこなった。その結果、①「C手指運動」では、「下降傾向群」の女性は加齢変化とともに得点低下の傾向を示すが、「傾向なし群」の女性は変化がなく、②「D分離・模倣運動」では、「傾向なし群」が加齢変化とともに得点上昇の傾向を示す割合が高く、③「A平衡運動」「B全身運動の協調」「C手指運動」は「下降傾向」「上昇傾向」群ともに得点上昇の傾向は皆無であり、④「D分離・模倣運動」では、「下降傾向群」の男性で8.3%（全12名中1名）だけが、「傾向なし群」では男女性ともに37.5%（各々8名中3名）が得点上昇の傾向を示し、⑤「D分離・模倣運動」では、「下降傾向群」の男性で41.7%（12名中5名）、女性で33.3%（9名中3名）、「傾向なし群」の女性で25%（8名中2名）が得点低下の傾向を示した。

### 4. 考察とまとめ

個人ごとの加齢に伴う運動能力の変化を縦断的データ集計によって検証した結果、知的障害者の運動能力の加齢に伴う変化は、「下降傾向」「上昇傾向」「傾向なし」といった形で類型ができた。これは、知的障害者の全体として適用できる共通した傾向の存在は示されなかった。また、特に「狩野運動能発達検査」の「D分離・模倣運動」項目では、加齢に伴って得点が上昇する傾

向が数多く見られ、職業能力に関わる各種能力が加齢に伴って、能力向上を示したことは注目すべき点であろう。

また、分析結果をもとに運動能力の下降開始年齢の推定を試みたが、運動能力が下降の傾向へと転じるような絶対的な年齢境界を特定することはできず、運動能力の下降開始年齢は各被検査者間で大きく差があることが示唆された。

従って、本研究の結果からは、知的障害者の運動能力の加齢変化については、知的障害者全般に適用可能な傾向は見出されず、「加齢変化 = 運動能力の低下」という単純な図式では解釈できないことが示された。また運動能力を規定する体力的側面と精神的側面のうち、精神的側面において能力向上の可能性が示唆された。

# 目 次

<b>第 部 「職務遂行能力」と個別検査（評価）に見る知的障害者の 加齢変化</b> .....	1
第 1 章 目的と方法.....	3
第 1 節 問題の所在.....	3
第 2 節 目 的.....	6
第 3 節 方 法.....	7
第 4 節 結果の集計.....	8
第 5 節 対象者の属性.....	8
第 2 章 知能検査の年齢別特徴.....	13
第 1 節 田中ビネー・鈴木ビネー知能検査.....	13
第 2 節 WAIS R知能検査.....	14
第 3 節 知能の年齢群別変化の特徴.....	18
第 3 章 作業検査の年齢別特徴.....	21
第 1 節 一般職業適性検査.....	21
第 2 節 ワークサンプル法.....	23
第 3 節 その他の器具検査.....	27
第 4 節 作業検査の年齢群別変化の特徴.....	29
第 4 章 社会生活能力の年齢別特徴.....	33
第 1 節 意思表示と交換能力.....	33
第 2 節 移動能力.....	37
第 3 節 日常生活能力.....	39
第 4 節 社会生活能力の年齢群別変化の特徴.....	43
第 5 章 職業準備訓練評価の年齢別特徴.....	49
第 1 節 基本的ルール.....	49
第 2 節 作業態度.....	51
第 3 節 作業遂行力.....	53

第4節	対人態度.....	57
第5節	通 勤.....	59
第6節	職業準備性の年齢群別変化.....	59
<b>第6章</b>	<b>職務試行評価の年齢別特徴</b> .....	<b>65</b>
第1節	作業的側面.....	65
第2節	社会的側面.....	70
第3節	職務試行評価の年齢別特徴.....	75
<b>第7章</b>	<b>まとめと結論</b> .....	<b>81</b>
第1節	年齢群別の変化の特徴.....	81
第2節	年齢変化曲線を規定するもの.....	83
第3節	まとめと今後の課題.....	88
文 献	.....	92
<b>第 部</b>	<b>「狩野運動能発達検査」に見る知的障害者の加齢変化</b> .....	<b>93</b>
第1章	問題の所在と目的 .....	95
第2章	方 法 .....	97
第1節	狩野運動能発達検査について.....	97
第2節	分析対象 .....	101
第3節	分析方法 .....	101
第3章	結 果.....	103
第4章	考 察.....	107
第1節	運動能下降開始年齢について .....	107
第2節	「D分離・模倣運動」に見られる得点の上昇傾向について .....	109
第3節	横断データと縦断データの比較 .....	110
第5章	まとめ.....	115

文 献 .....	116
<b>第 部 付表・付図 .....</b>	<b>117</b>
第 部 付 表.....	119
第 部 付 図.....	165

# 第 部

「職務遂行能力」と個別検査（評価）に見る  
知的障害者の加齢変化

# 第1章 目的と方法

## 第1節 問題の所在

### 1. 高齢化の実態

我が国における人口構成の高齢化は、今後とも進展することが予想されている。この傾向は、身体障害や知的障害者たちの年齢構成についても例外ではない。たとえば、身体障害者では（厚生省「身体障害者実態調査」1996年）、障害者総数の増加とともに、その中・高年齢層の全体に占める比率や人口千人当たりの出現率の増加が顕著である。また、知的障害者では1995年の18歳以上の在宅知的障害者（厚生省「社会福祉施設調査報告」1995年）は19.53万人であり、1990年の16.82万人よりも2.75万人の増加の一方で、18歳未満は8.54万人で1.46万人の減少である。年齢構成を見ると、若年層（20～29歳）の割合が高くて40歳以上が著しく低いものの、1990年よりも40歳代から60歳代の各年齢層ごとに3千人程度の増加がある。

こうした傾向は、障害者の福祉対策の在り方を左右する重要な課題であるため、身体障害者を対象とした「中高年齢障害者の就労と生活に関する調査」（東京都立労働科学研究所、1990）、知的障害者を対象とした「精神薄弱者加齢の軌跡」（日本精神薄弱者愛護協会、1987）、「精神薄弱者の高齢化に関する調査研究」（東京都、1990）、「知的発達障害者の高齢化に関する研究会報告書」（東京都、1998）などが報告され、また、最近でも、「知的障害者の高齢化対応検討会報告書」（厚生省、2000）が出された。

このうち、厚生省（2000）の報告では、2000年度からの高齢者介護サービスの充実を図るための介護保険制度の発足や、個人の自立を基本としその選択を尊重した制度の確立、地域での生活を総合的に支援するための地域福祉の充実に向けた「社会福祉基礎構造改革」への動き、これに併せた知的障害者福祉法の改正、などの背景を踏まえつつ、知的障害者の高齢化に対応して、地域生活の支援と施設における支援の両面から、今後どのような保健福祉サービスや配慮が求められるか、また、高齢者施策との関係をどう考えるかを中心に検討を行っている。そこでは、①住まい、②在宅福祉サービス、③余暇活動等の支援、④地域での支え合い、⑤就労及び退職、⑥権利擁護、⑦健康管理と医療、⑧相談・支援体制の整備などに言及した地域生活支援の在り方に加えて、知的障害者施設における高齢化への対応や、高齢者施策の活用と連携についても触れている。

この中で、「就労及び退職」については、①高齢になっても働く意欲のある人には、就労の場を用意していく必要があること、②そのために、事業主の理解を促進するための研修等を積極的

に行うこと、③退職等による離職後の生活維持は、各種の年金や手当制度や生活保護制度等の活用が考えられること、④このため、知的障害者相談員や生活支援ワーカー等が制度の十分な知識と利用についての適切な援助を行えるようにする必要がある、ことを指摘する。

だが、他方で、採用後の障害者に焦点をあてて、加齢の実態を明らかにしたものは「重度障害者多数雇用事業所における障害者の雇用状況と雇用管理に関する調査、」（労働省・日本障害者雇用促進協会、1995、1996）や、「障害者の加齢に伴う職業能力の変化に関する実態調査報告書」（障害者職業総合センター、1998）があるにすぎない。

後者の実態調査では、知的障害者を雇用している1,547社のうち、「加齢に伴って作業能力が低下した者がいる」としたのは23.7%、「いない」が76.3%だった。40歳以上の方が雇用されているにもかかわらず、「いない」と回答した事業所も53.2%あった。また、「いる」とした事業所でも、作業能力の低下が見られる代表例としてあげた知的障害者の48.9%は、50歳以上でも「普通に働ける年齢」とし、55歳以上でも25.9%がそうであると回答している。これらは、過半数の事業所では知的障害者の加齢に伴う諸課題に直面していないことを示唆する。

だが、同調査では、「加齢に伴って作業能力が低下した者がいる」事業所がその障害の代表例として回答した知的障害310事例では、普通に働けるとされた年齢の平均は47.8歳（標準偏差9.5歳）だった。これは、同一職種の健常者の平均よりも10.5歳低かった。一方、「いない」事業所がその障害の代表例として知的障害を回答した336事例では、普通に働けるとされた年齢の平均は55.3歳（標準偏差7.4歳）で、同一職種の健常者より4.7歳低かった。また、「加齢に伴って作業能力が低下した者がいる」事業所の対処では、「配置転換」「仕事内容の変更」「仕事量の軽減」「指導員・助言者の配置」などを実際に行っているが、同時に、それらへの対処をしても課題の解決は困難であるとする事業所も非常に多い。また、「加齢に伴って作業能力が低下した者がいる」事業所の49.9%が個人差が「かなりある」とされ、「少しある」と回答した40.8%を加えると、殆どすべての事業所で認めている。

## 2. 加齢対策の必要性

このように、雇用されている知的障害の中には加齢に伴う雇用・職業上の課題が現在化している人もいるという事実は、知的障害者の雇用の促進と維持を目指す企業関係者に、不安感や負担感をもたらし始めている。たとえば、雇用継続を前提として採用した障害者が、職務（職業）能力の低下で、定年前の早い時機に企業の要求する職務成績の達成が困難になることへの不安である。しかも、障害者雇用に歴史のある事業所の中には、これが現実となって負担が増大するために、種々の対策を求めている（障害者職業総合センター、1998）。そのため、障害者の加齢に伴う雇用・職業上の課題を明らかにするとともに、それに向けた対策について検討することが不可欠となっている。

このような状況に応えるため、当センターでは、平成7年度から5カ年計画で「障害者の加齢と職業能力の変化と対策に関する実証的研究」に取り組んだ。同研究では、①障害者の加齢に伴う諸課題の実態を障害者雇用事業所および雇用障害者に対する調査で明らかにすること、②実際の職務での作業能率、③身体・精神機能を含む広範な職業能力など、加齢に伴う変化の様相を実証的に明らかにすること、④これらの結果をもとに、障害者の職務遂行能力を活かした無理のない健康な職業生活を継続させるための作業管理や健康管理の対策、障害者と事業主に対する支援や助成等の対策を検討すること、を主要な目標としている。

### 3. 問題の所在

同研究のうち、「③身体・精神機能を含む広範な職業能力など、加齢に伴う変化の様相を実証的に明らかにすること」に関する先行研究は、前述のとおり、労働省・日本障害者雇用促進協会（1995、1996）や障害者職業総合センター（1998）の報告があるに過ぎない。しかも、これらのいずれも、事業所の人事労務担当者によるアンケート調査を主要な方法とした結果であり、個々の障害者の実際の職務遂行能力や、その構成要素としての心身機能を中心とした労働適応能力を踏まえた、実証的な研究ではない。

労働能力の加齢変化に関する研究においては、多くの場合、実際の職務の遂行能力ではなくて、あらかじめ労働適応能力の要素としての心身機能を適宜に設定したうえで、その心身機能の加齢変化から労働適応能力の加齢変化を推測する方法が多く採られてきている。こうした研究は、労働者の潜在的な能力を捕らえる研究としてはそれなりの意味を持つだろう。

だが、他方で、労働適応能力の要素としての心身機能は、実際の職務遂行能力をどこまで説明できるかについては疑問な面がある。なぜなら、実際の職務遂行能力は、特定の職務遂行にのみ必要な特定の統合的機能であり、労働適応能力の要素だけから説明すること自体に無理があるためである。また、実際の職務能力の加齢変化を適切かつ十分に検討するには、実験的な統制を許さない状況であること、敢えて実験的な手法を採用してもそのこと自体が実際の職務遂行とは乖離してしまうこと、調査的な手法を採用しても対象や指標を客観的に得ることが困難であること、実際にそうした資料を得たとしても年齢の異なる標本数の十分な確保や同一人の継時的な能力変化の追究が困難になること、などの研究遂行上の多くの困難が伴う。

こうした実施上の困難さはあるものの、他方で、実際の職務遂行能力に関する評価と、それを規定する心身機能面の要素的な労働適応能力に関する個人ごとの測定資料があれば、不完全ながらも、実際の職務遂行能力の加齢変化を規定する関係が見出されるかもしれない。心理・行動特性を中心とした種々の労働適応能力が実際の職務遂行能力の加齢変化とどのような関連性を持つかについて、実証的に明らかになるかもしれない。

なお、加齢に伴う変化の様相を明らかにする研究手法には、各年齢層ごとに異なる被験者群の

データを用いて年齢群間の比較を行う横断的分析と、個人ごとの経年変化を追ったデータを用いて個人ごとの時系列的な変化を明らかにする縦断的分析がある。いずれの方法が適切かという問いとは別に、実際の研究遂行では、縦断的分析のためのデータ収集はきわめて困難である。その意味では、現実的には、横断的分析が行われることが多い。

## 第 2 節 目 的

こうした、種々の労働適応能力が実際の職務遂行能力の加齢変化に及ぼす効果を実証的に言及できる可能性や、他方で、加齢変化研究での横断的な分析方法の限界などを踏まえて、本研究では、知的障害者の心理・行動特性を中心とした種々の測定結果を年齢階層別に収集して、それらの加齢に伴う変化の様相を明らかにすることとした。

地域障害者職業センターを利用している知的障害者に対して実施された種々の検査や評価結果の中で、「職務試行評価」は実際場面での職務遂行能力の結果を真に反映している。これに対して、「職業準備性評価」は実際場面を模擬的に再現した中での評価であり、「社会生活能力」は労働適応能力構成する各種の心身機能の総合的な評価、「知能」や「作業検査」はそうした労働適応能力の個別的な要素としての限られた側面の評価である。

それゆえ、「職務試行評価」の結果を従属変数と見なし、「職業準備性」「社会生活能力」「知能」「作業検査」などの結果を独立変数と見なすと、前者の加齢変化の特性を規定する後者の要素的な特性を見出すことが可能となる。

本研究では、このことから、前者の職務遂行に伴う年齢変化曲線は後者の要素的な労働適応能力の示す年齢変化曲線がどのように反映されているか、言い換えると、職務試行評価の年齢変化曲線は、職業準備性、社会生活能力、知能、作業検査などの要素的な労働適応能力の年齢変化曲線とどのような相乗効果を生じているか、を明らかにすることを目的とする。それによって、実際の職務遂行能力の加齢変化を規定する心理・行動特性を中心とした種々の労働適応能力についての実証的な知見を得ることとする。

また、それらを踏まえて、知的障害者の加齢に伴う職務遂行能力の変化に関する今後の研究の方向性についての知見を得ることとする。

## 第3節 方 法

### 1．手続き

地域障害者職業センターの障害者指導台帳に「精神薄弱」と判定された人を対象に、①基本的属性、②「身体的」「精神的」「社会的」「職業的」側面の検査や測定結果、③「職務試行法」「職業準備訓練」の評価結果などを収集した。これらの各種の情報収集にあたっては、本研究の趣旨に則した分析のみを行い、事例が特定できる処理はしないことを明記した。

### 2．収集の方法

それぞれの地域障害者職業センターに、個人を特定できる氏名や個人コードを伏せた状態で、①「障害者指導台帳」の性別、障害程度、身体測定結果、②職業リハビリテーション計画策定の基礎となる各種の検査結果、②「知能検査」「一般職業適性検査」「精神薄弱者社会生活能力評価票」の下位検査の結果、③「職業準備訓練生総合評価票」および「職務試行法評価票」の評定結果、の複写を依頼した。

### 3．対象者の選定

対象となる「精神薄弱者」の選定は、職業センターに依頼した。そのさい、年齢層ごとの人数、各年齢層での性別や障害程度の構成、再来者の優先、などの要件をできるだけ満たすことを条件とした。具体的な要件は、次のとおりである。

- ① 基本台帳に「精神薄弱者」として記載されている人。重複障害の場合は、「精神薄弱」を主たる症状とする者とした。
- ② それぞれの地域障害者職業センターごとに、24名を目途として対象者を選定した。その内訳は、できるだけ次の条件を満たすこととした。
  - ・職業センターの台帳に記載された年齢をもとに、20歳以下、21 25歳、26 30歳、31 35歳、36 40歳、41歳以上の各年齢層（6群）ごとに、4名ずつとした。
  - ・各年齢層ごとの4名の選定にあたっては、「男性で、重度判定の対象か療育手帳の記載が重度」「男性で、療育手帳の記載が重度以外」「女性で、重度判定の対象か療育手帳の記載が重度」「女性で、療育手帳の記載が重度以外」を原則とする。
- ③ 最近の来所者から優先的に選定し、また、41歳以上の対象者がいる場合には、この条件に限らず、できるだけ多数を対象とする。
- ④ 職業センターに再来したり、各種の検査や評価が再検査されている場合は、できるだけ対象

者とする。

## 4 . 調査実施期間

平成9年1月15日以前の各地域職業センターにおける利用者から選択した。

## 第4節 結果の集計

収集された検査法や評価法の結果は、対象者によって実施していない場合があり、また、実施した方法でもその下位項目に欠損値が含まれていた。そのため、それぞれの検査法や評価法ごとの集計では、対象者の総数のみならず、個々の下位項目でも対象者数が異なっている。

集計は、年齢区分を、15歳以下、16 20、21 25、26 30、31 35、36 40、41 45、46 50、51 55、56歳以上の10群とし、各郡ごとに「全体」「男性」「女性」「重度」「重度以外」の結果を求めた。なお、障害程度については、療育手帳の記載に従って、「A」を「重度」に、「B」を「重度以外」に区分した。ただし、療育手帳交付の判定基準は都道府県によって異なり、また、IQのみが判定基準となっている訳ではない。なお、東京・福井・山梨・長野をのぞく都道府県では、目安としてIQ35以下をAに相当するものとしている。

これらの結果は、以下の各章ごとに図で示し、また、付録には統計数値を掲載した。なお、各章の図の年齢区分で、グラフの表示がない場合は、対象者がいないことを示す。また、「全体」結果を示す折れ線グラフのデータ要素の記号が表示されていない場合は、対象者がごく少数（おおむね10人未満）なことを示す。

## 第5節 対象者の属性

回収された調査票の属性条件の特徴は、次のとおりとなった。

### 1 . 人数

対象者の属性条件別に見ると、年齢が最も欠損値が少なかった。年齢の記載された対象者は、合計で1,297人であり、最高年齢が61歳、最低年齢が13歳だった。年齢別の内訳を見ると、16 20歳(276人)が最も多く、次いで、31 35歳(189人)、21 25歳(185人)、26 30歳(183人)、36 40歳(168人)、41 45歳(127人)、46 50歳(74人)、13 15歳(67人)、51 55歳(19人)の順序となり、56 61歳(9人)が最も少なかった。

以上のことから、51歳以上の対象者数が少なく、得られた結果は妥当性が低いと見なされる。そのため、第2章以下の年齢別の分析においては、その対象となる年齢層を、主として、50歳以下に限定して検討することとした。

## 2. 身体機能の年齢別特徴

身体的特徴を示す「身長」「体重」「背筋力」「握力(右)」「握力(左)」のそれぞれについて、欠損値を除いた対象者の年齢別の特徴を示したのが、図1-1から図1-5である(統計数値は「付表1:身体的側面」参照)。なお、これらの結果は、51歳以上では対象者が少ないことから、分析対象から除外したほうが適切であると結論で消える。

「身長」の年齢別特徴(図1-1)では、「全体」の結果は21-25歳時に最も高く、それ以前の年齢では上昇を、それ以降の年齢では低下を示した。「性別」による差異では、いずれの年齢層でも男性のほうが高いが、年齢別にみた変化傾向は両性とも「全体」の結果と類似する。

「体重」の年齢別特徴(図1-2)では、「全体」の結果は年齢とともに上昇し、26-30歳時にピークを迎えた後は40歳までは減少する。だが、41-45歳には上昇に転じて最も高くなり、それ以降は再び減少する。「性別」による差異でも、どの年齢層も男性の方が重い、年齢別の変化傾向では両性とも「全体」の結果と類似する。

「背筋力」の年齢別特徴(図1-3)では、「全体」の結果は21-25歳時に最も高く、それ以前の年齢では上昇を、それ以降の年齢では低下を示した。「性別」による差異では、いずれの年齢層でも男性のほうが高いが、年齢別にみた変化傾向は両性とも「全体」の結果と類似する。

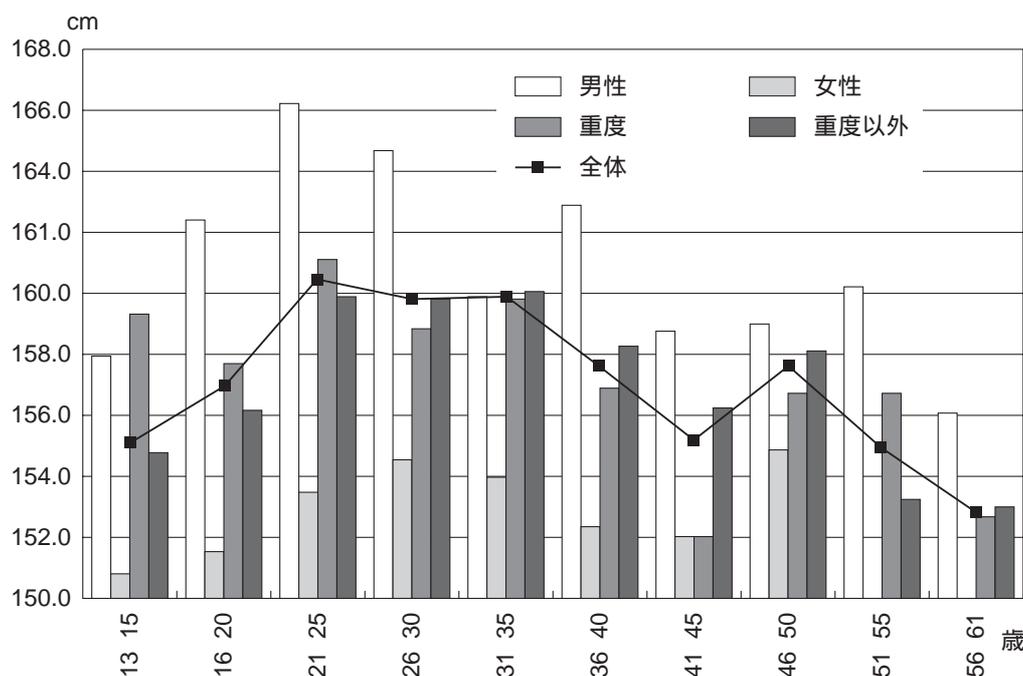


図1-1 身体的側面(身長)の年齢別平均

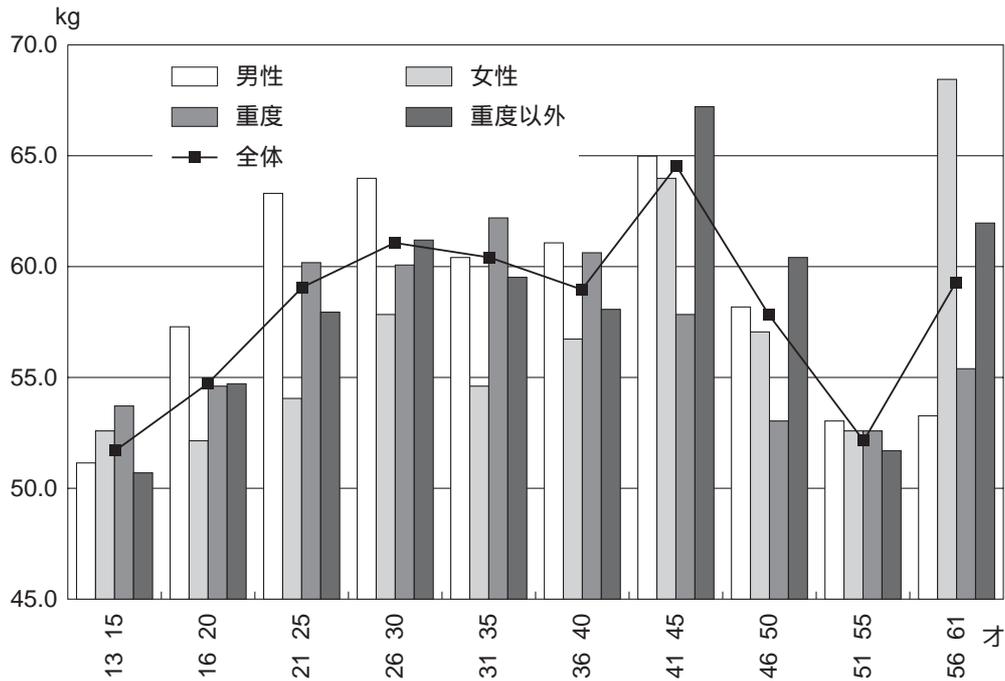


図1 2 身体的側面（体重）の年齢別平均

「握力（右）」の年齢別特徴（図1 3）では、「全体」の結果は31 35歳時に最も高く、それ以前の年齢では上昇を、それ以降の年齢では低下を示した。「性別」による差異では、いずれの年齢層でも男性のほうが高いが、年齢別にみた変化傾向は両性とも「全体」の結果と類似する。

「握力（左）」の年齢別特徴（図1 4）では、「全体」の結果は21から35歳までは変化が少な

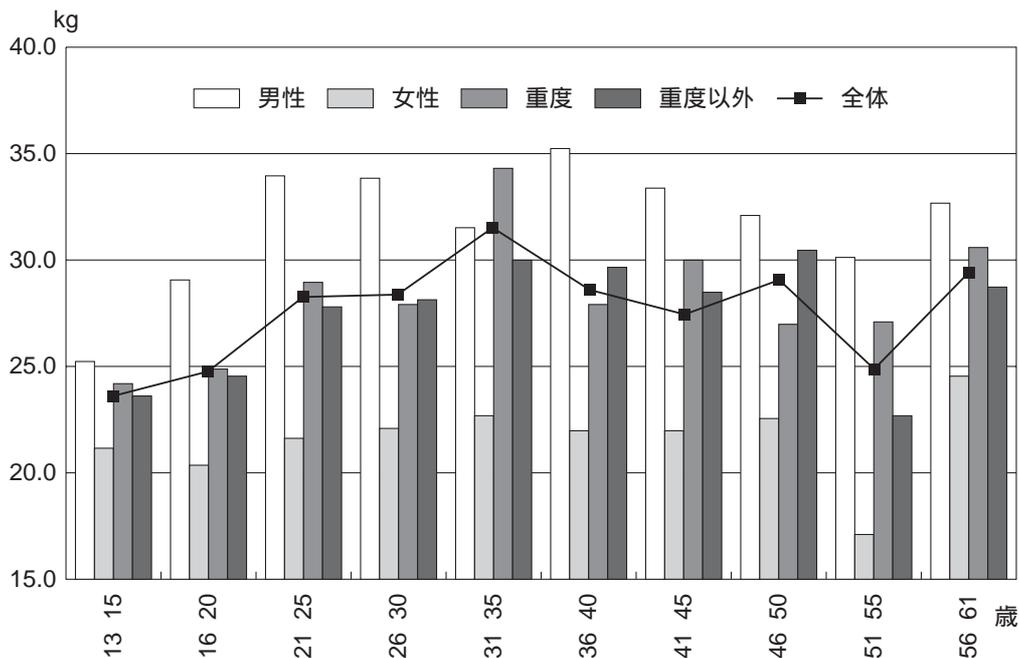


図1 3 身体的側面（握力：右）の年齢別平均

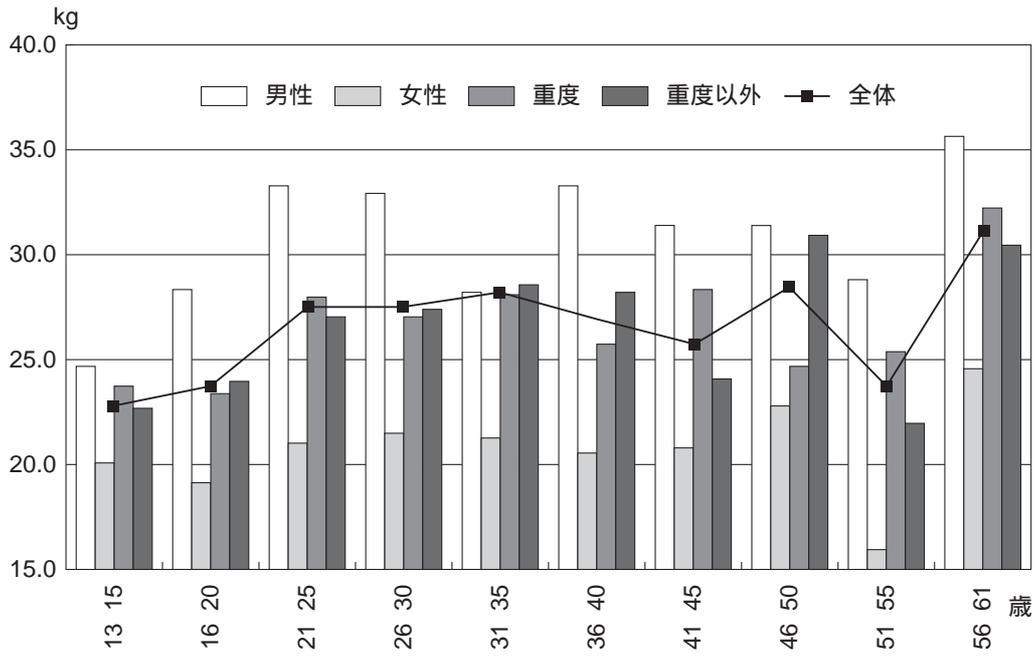


図1 4 身体的側面（握力：左）の年齢別平均

く、右の握力ほどに年齢による差異は著しくはなかった。

## 第2章 知能検査の年齢別特徴

知能検査の結果について、「田中ビネー検査」と「鈴木ビネー検査」ではIQ換算点での年齢別の平均を求めた。また、「WAIS R知能検査」では基準年齢換算による評価点での下位検査ごとの年齢別の平均を求めた。これらの統計数値は、「付表2：知能検査」に示した。

### 第1節 田中ビネー・鈴木ビネー知能検査

「田中ビネー検査」によるIQの年齢別特徴（図2-1）は、51～55歳（2人）と56～61歳（2人）を除く50歳までの傾向は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢の上昇と共に低下し、46～50歳は13～15歳群の70%程度である。②この結果は、41歳以降の低下のほうが、それ以前の低下の傾向よりも著しくなる。③「男性」と「女性」の差異は、年齢が変化しても変わらない。④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳と41歳以上で重度以外の人の方が高い傾向にある。

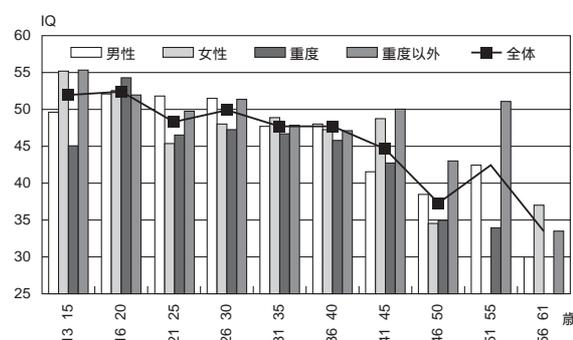


図2-1 田中ビネー検査の年齢別平均

「鈴木ビネー検査」によるIQの年齢別特徴（図2-2）は、51～55歳（5人）と56～61歳（2人）を除く50歳までの傾向は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢の上昇と共に一律に低下し、46～50歳は13～15歳群の80%程度である。②「男性」と「女性」の差異は、年齢が変化しても変わらない。③「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度以外の人の方が高いが、16歳以降に差異はない。

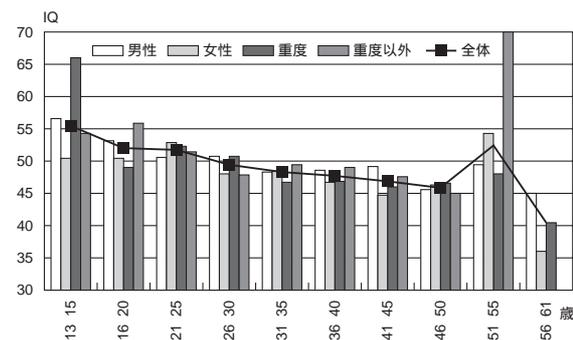


図2-2 鈴木ビネー検査の年齢別平均

## 第2節 WAIS R知能検査

WAIS Rの結果を年齢群間で比較するために、基準年齢換算による評価点を求めた。なお、「付表2：知能検査」に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、13

15歳で3人、51-55歳で2人、56-61歳で0人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった16から50歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

### 1. 言語性検査

「知識」による評価点の年齢別特徴（図2-3）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16歳から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26-30歳は16-20歳群の60%程度である。②だがこの結果は、31から40歳までは上昇に転じて、16-20歳群の90%程度である。③さらにこの結果は、41-45歳に再び、16-20歳群の60%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、どの年齢群も男性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、16-20歳では重度以外の人の方が高いが、31-35歳では反対に重度の人の方が高い傾向にある。

「数唱」による評価点の年齢別特徴（図2-4）は、「知識」の結果と類似する。①「全体」の結果は、16から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26-30歳は16-20歳群の60%程度である。②だがこの結果は、31-35歳で上昇し、16-20歳群の90%程度である。③さらにこの結果は、36から45歳の再び低下し、41-45歳は16-20歳群の60%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、31から40歳では男性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、どの年齢群も重度以外の

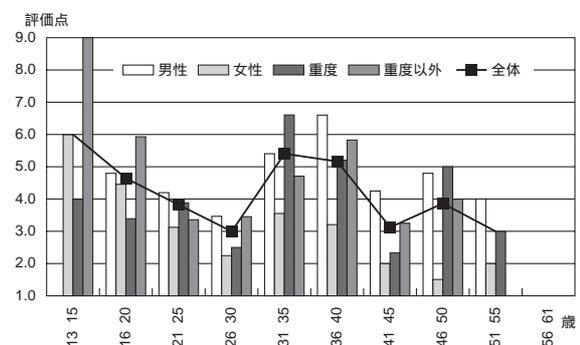


図2-3 WAIS R言語性「知識」の年齢別平均

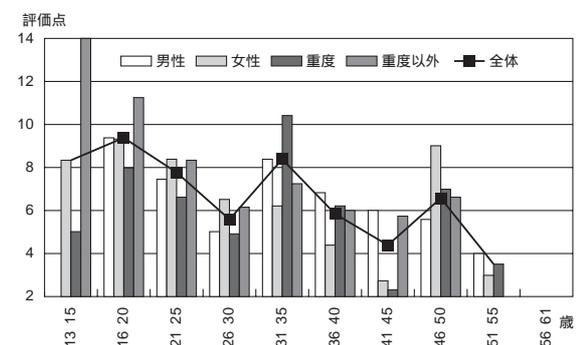


図2-4 WAIS R言語性「数唱」の年齢別平均

人のほうが高い傾向にある。

「単語」による評価点の年齢別特徴（図25）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26-30歳は16-20歳群の50%程度である。②だがこの結果は、31から40歳までは上昇に転じて、36-40歳は16-20歳群の110%程度である。③さらにこの結果は、41-45歳に再び、16-20歳群の50%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、31から45歳では男性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、どの年齢群も重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「算数」による評価点の年齢別特徴（図26）は、「単語」の結果と類似する。①「全体」の結果は、16から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26-30歳は16-20歳群の70%程度である。②だがこの結果は、31から40歳までは上昇に転じて、36-40歳は16-20歳群の90%程度である。③さらにこの結果は、41-45歳に再び、16-20歳群の60%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、31から45歳では男性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、16-20、26-30、41-45歳では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「理解」による評価点の年齢別特徴（図27）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から25歳までは年齢の上昇と共に低下し、21-25歳は16-20歳群の75%程度である。②だがこの結果は、21から50歳までは大きな変化がない。③「男性」と「女性」の差異は、41から50歳では男性のほうが、21-25歳では女性のほうが高く、また、④「重

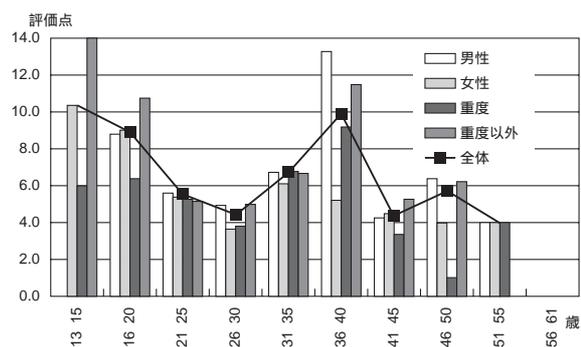


図25 WAIS R言語性「単語」の年齢別平均

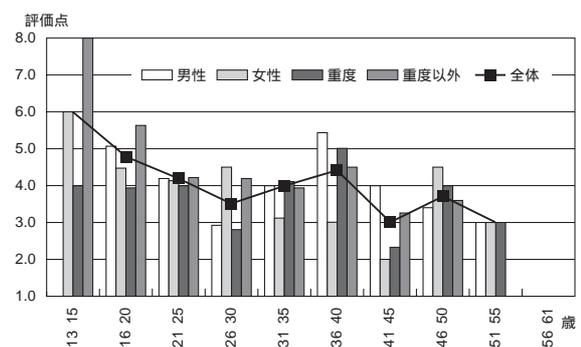


図26 WAIS R言語性「算数」の年齢別平均

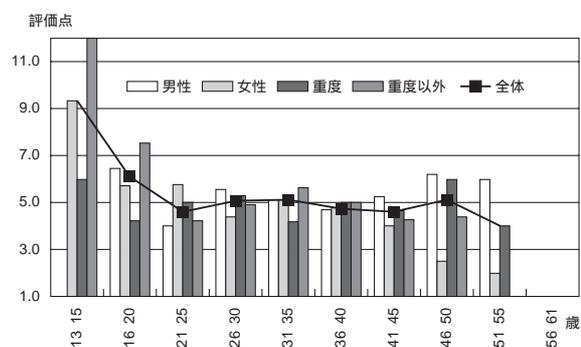


図27 WAIS R言語性「理解」の年齢別平均

度」と「重度以外」の差異は、16 20、46 50歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「類似」による評価点の年齢別特徴（図2 8）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から25歳までは年齢の上昇と共に低下し、21 25歳は16 20歳群の70%程度である。②だがこの結果は、21から35歳までは上昇に転じて、31 35歳は16 20歳群の100%程度である。③さらにこの結果は、31から45歳に再び低下し、41 45歳は16 20歳群の20%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、36から45歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、31 35歳を除く他の年齢群はいずれも重度以外の人の方が高い傾向にある。

## 2. 動作性検査

「完成」による評価点の年齢別特徴（図2 9）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢の上昇と共に低下し、46 50歳は13 15歳群の50%程度である。②この結果は、16から30歳までは低下するが、30から45歳に変化はない。③「男性」と「女性」の差異は、16 20、41 45歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、21から35歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「配列」による評価点の年齢別特徴（図2 10）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26 30歳は16 20歳群の60%程度である。②だがこの結果は、26から40歳まで

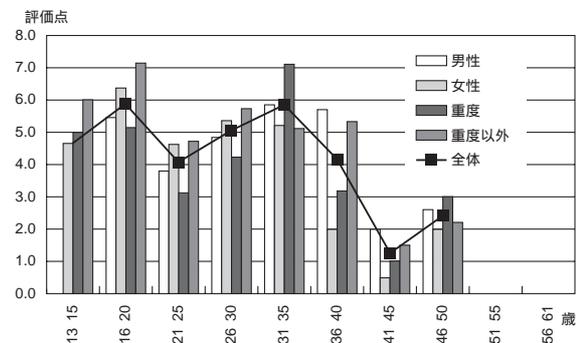


図2 8 WAIS R言語性「類似」の年齢別平均

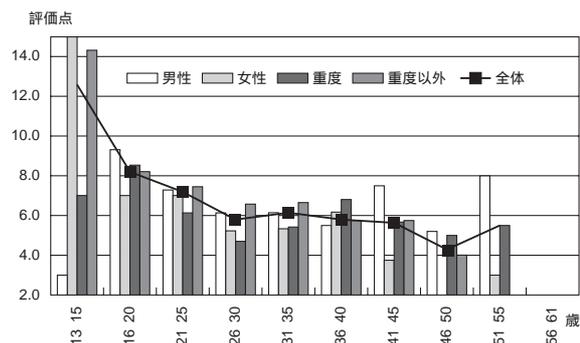


図2 9 WAIS R動作性「完成」の年齢別平均

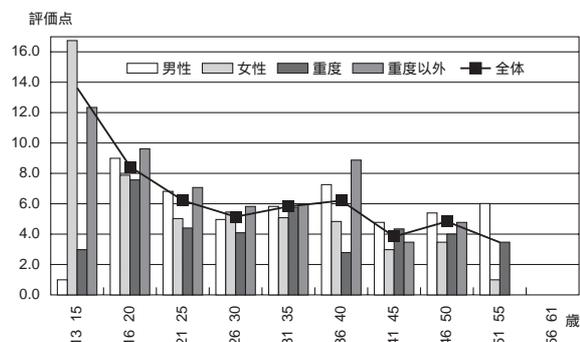


図2 10 WAIS R動作性「配列」の年齢別平均

はわずかに上昇に転じて、36～40歳は16～20歳群の70%程度である。③さらにこの結果は、36から50歳に再び低下し、46～50歳は16～20歳群の60%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、21～25歳および36から50歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16から30歳および36～40歳では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「模様」による評価点の年齢別特徴（図2-11）は、「配列」の結果と類似する。①「全体」の結果は、16から30歳までは年齢の上昇と共に低下し、26～30歳は16～20歳群の63%程度である。②だがこの結果は、26から35歳まではわずかに上昇に転じて、31～35歳は16～20歳群の81%程度である。③さらにこの結果は、31から50歳に再び一律に低下し、46～50歳は16～20歳群の47%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、16から25歳および46～50歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16から30歳および41～45歳では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「組み合わせ」による評価点の年齢別特徴（図2-12）は、「配列」の結果と類似する。①「全体」の結果は、年齢の上昇と共に低下し、46～50歳は13～15歳群の35%程度である。②この結果は、16から30歳までの低下が著しく、26～30歳は16～20歳群の72%程度である。③だがこの結果は、26から45歳までの変化は少ない。④他方でこの結果は、41から50歳までに再び著しく低下する。⑤「男性」と「女性」の差異は、16から25歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」

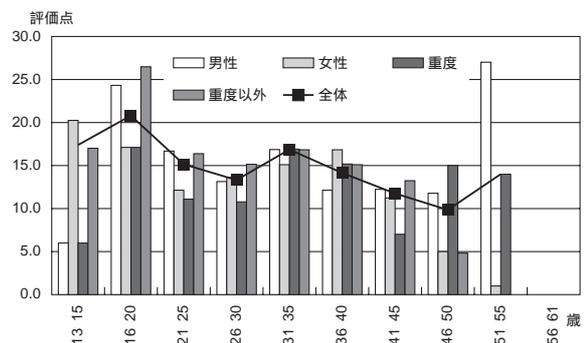


図2-11 WAIS R動作性「模様」の年齢別平均

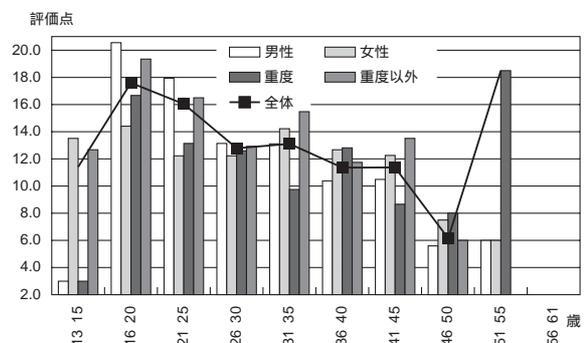


図2-12 WAIS R動作性「組み合わせ」の年齢別平均

の差異は、16から25歳、31 35歳および41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「模様」による評価点の年齢別特徴（図2 13）は、「模様」の結果と類似する。①「全体」の結果は、16から25歳までは年齢の上昇と共に低下し、21 25歳は16 20歳群の73%程度である。②だがこの結果は、21から35歳までは上昇に転じて、31 35歳は16 20歳群の91%程度である。③さらにこの結果は、31から50歳に再び一律に低下し、46 50歳は16 20歳群の48%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、16から25歳および41から50歳では男性の方が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳および41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

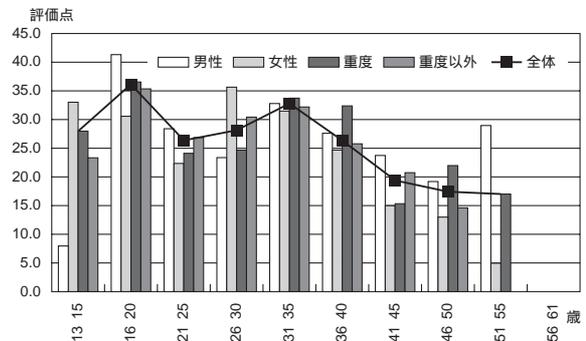


図2 13 WAIS R動作性「符号」の年齢別平均

### 第3節 知能の年齢群別変化の特徴

第1に、「田中ビネー」および「鈴木ビネー」の両知能検査で定義された「知能」は、年齢の上昇とともに低下する。図2 1と2 2の「全体」結果を再掲した図2 14からも明らかのように、対象者数の多い16から50歳までの範囲に限ると、両検査の結果はいずれも年齢の上昇とともに一義的に低下の傾向を示し、46 50歳代では16 20歳の70 80%程度まで低下する。

第2に、こうした低下の全体的な傾向は、「WAIS R」の結果にも認められる。だが、同検査の下位項目の結果を見ると、年齢の上昇に伴う低下は、下位検査で示される「知能」の因子によって異なる傾向を示す。これは、図2 3から2 13までの「全体」結果をもとに、13 15歳を基準にして、各年齢群の得点の相対的な比率を示した図2 15と2 16からも明らかである。

第3に、図2 15と2 16の結果から、対象者数の多い50歳までの年齢とともに低下するのは、言語性検査の「算数」と「理解」、および、動作性検査の「完成」と「配列」だけであり、これらの下位検査の傾向は、「田中ビネー」や「鈴木ビネー」の結果と類似する。

第4に、他方で、16から25歳頃に最大となった後で低下を示すものの、30歳前半から後半にかけて再度の上昇に転じる下位検査の結果がある。言語性検査の「類似」と「数唱」、動作性検査の「模様」と「符号」がその典型である。また、16から25歳頃の最大傾向だけが著しいものに動

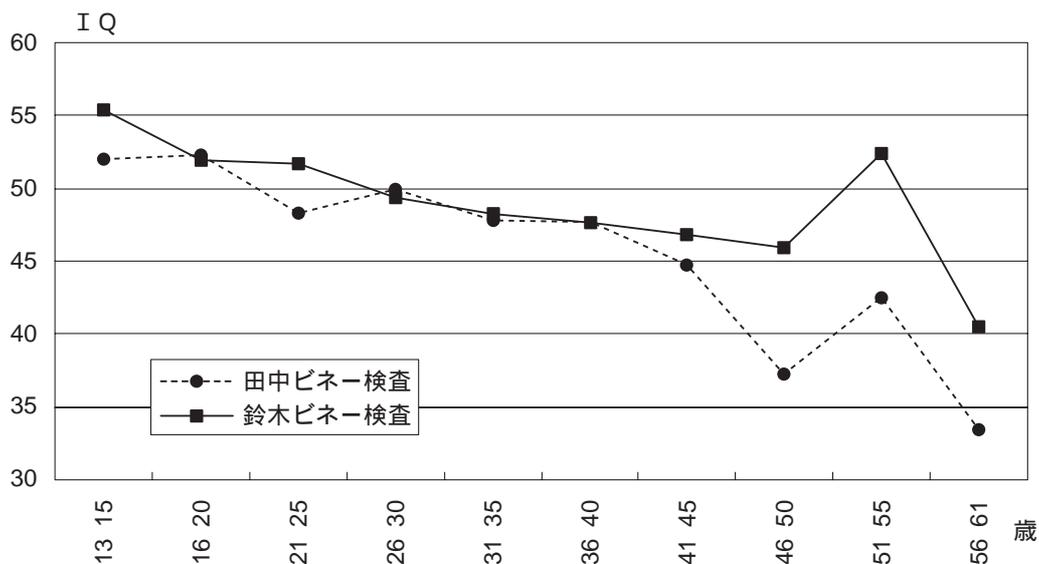


図2 14 知能検査の「全体」結果の年齢別平均

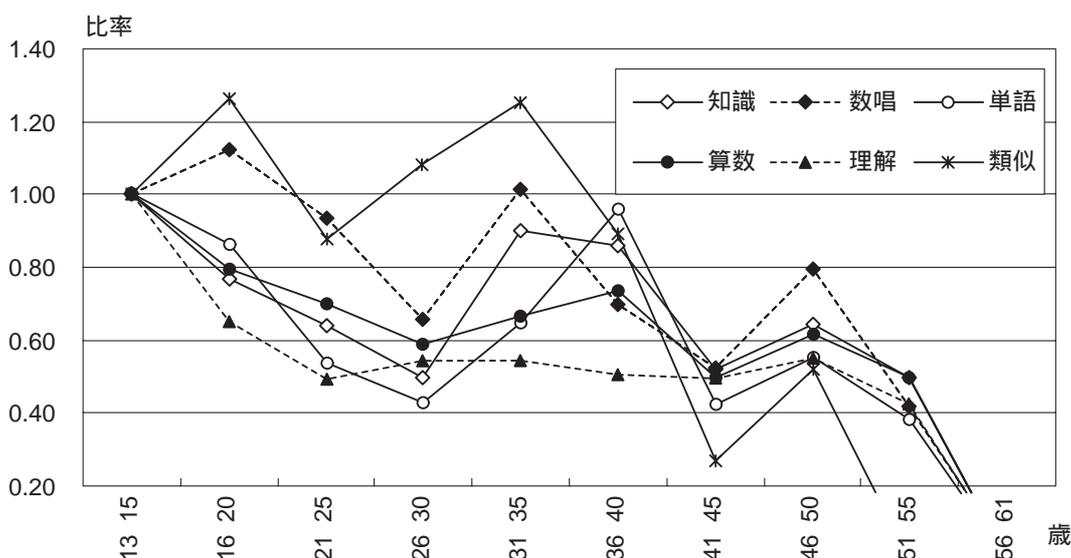


図2 15 WAIS R言語性下位検査の「全体」結果の年齢別平均

作性検査の「組み合わせ」が、30代で上昇に転じる傾向だけが著しいものに、言語性検査の「単語」と「知識」がある。

第5に、この傾向は、性別や障害の程度によって規定されているとは言えない。言語性検査の「類似」と「数唱」のいずれも、16 20歳では「重度以外の人」のほうが高く、また、31 35歳では「重度の人」のほうが高い。他方で、動作性検査の「模様」では16 20歳では「重度以外の人」のほうが高いが、31 35歳の結果や、同年齢群での「符号」の結果は、障害による差異が著しいとは言えないからである。

第6に、これらの結果の中で、注目すべきは、30歳代になって上昇に転じる、言語性検査の

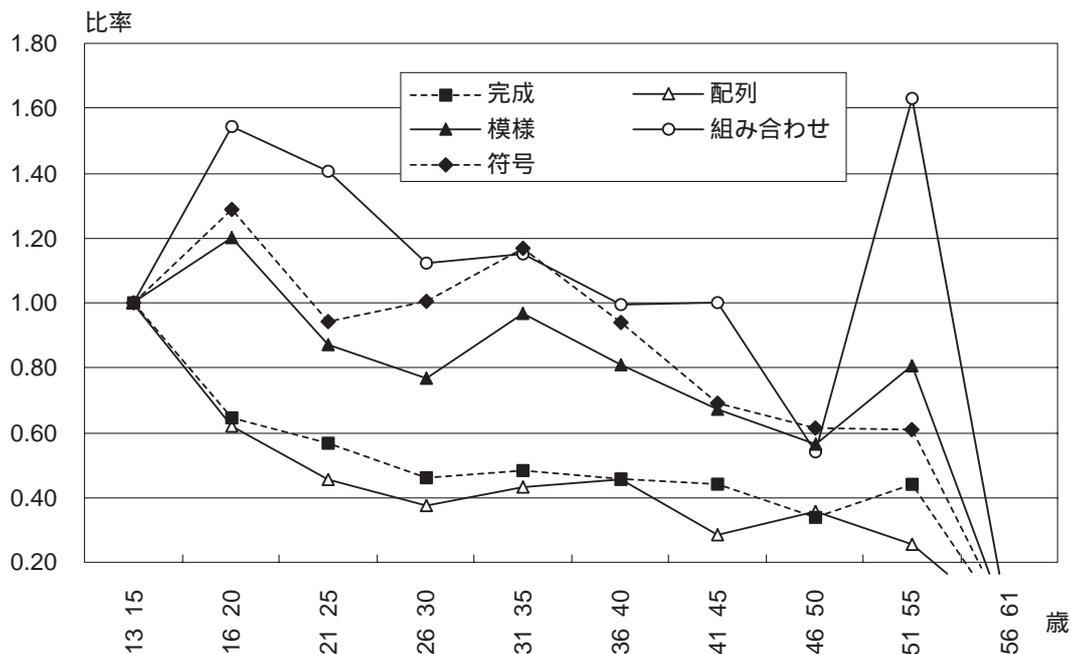


図2 16 WAIS R動作性下位検査の「全体」結果の年齢別平均

「類似」「数唱」「単語」「知識」の結果や、動作性検査の「模様」「符号」であろう。これらの「知能」の構成要因は、年齢の上昇とともに、向上する場合もあることを示唆するからである。

第7に、「田中ビネー」や「鈴木ビネー」で測定された「IQ値」は年齢の上昇とともに低下するが、これは、実際の作業遂行能力の変化とは対応しない。これは、後述の第3章での作業検査結果、第4章での社会生活能力、第5章での職業準備訓練評価、第6章での職務試行評価のいずれの結果も、対応しないためである。

# 第3章 作業検査の年齢別特徴

各種の器具検査を用いた作業検査の結果をまとめた。分析の対象となったのは、「労働省編一般職業適性検査」の「M」「N」「O」「P」の4種類、「ワークサンプル法(雇用促進事業団方式)」から選択した「ボルトナット検査」「十字ドライバー検査」「蛇口検査」「ワッシャー検査」「ピンセット検査」の5種類の器具検査、それに加えて、「大小分類検査」「紐かけ検査」「タッピング検査」の3種類の器具検査である。これらの統計数値は、「付表3：一般職業適性検査」「付表4：ワークサンプル法」「付表5：その他の器具検査」に示した。

## 第1節 一般職業適性検査

労働省編一般職業適性検査のうち、4種類の器具検査について、素点の結果を整理した。なお、「付表3：一般職業適性検査」に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、56歳で8人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から55歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

### 1. MN検査

「M検査(差し込み)」による素点の年齢別特徴(図3-1)は、以下のとおりである。

①「全体」の結果は、年齢とともに上昇して21-25歳で最も高くなり、21から40歳までは変化が少ないが、41-45歳の著しい低下の後に、41から55歳の期間も変化が少ない。②この結果では、51-55歳は最も高得点の21-25歳群の95%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳と51-55歳では女性が、その他の年齢群では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳と51-55歳では重度が、21-25歳と36-40歳では重度以外のほうが高い傾向にある。

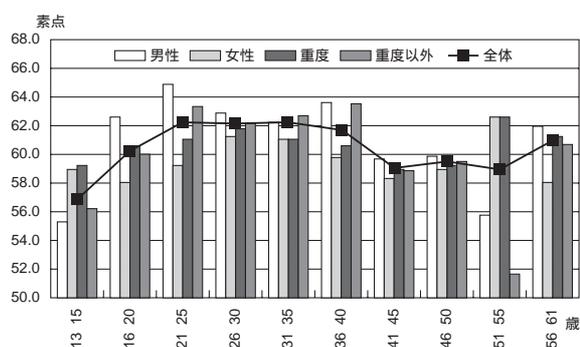


図3-1 M検査(差し込み)の年齢別平均

「N検査（差し替え）」による素点の年齢別特徴（図3-2）は、①「全体」の結果は、年齢とともに上昇して21-25歳で最も高いが、それ以降の21から55歳までの時期は、年齢の変化とともに低下する。②この結果では、51-55歳は最も高得点の21-25歳群の89%程度であり、M検査の2倍の減少率である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳、26-30歳と51-55歳では女性が、16から25歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳と51-55歳では重度が、21-25歳と46-50歳では重度以外のほうが高い傾向にある。

## 2. OP検査

「O検査（組み合わせ）」による素点の年齢別特徴（図3-3）は、以下のとおりである。

①「全体」の結果は、年齢とともに上昇して21-25歳で最も高いが、それ以降の21から55歳までの時期は年齢の変化とともに低下し、51-55歳の低下が著しい。②この結果では、51-55歳では最も高得点の21-25歳群の70%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、どの年齢層も女性が高く、13-15歳、46から55歳でこの傾向が著しい。④「重度」と「重度以外」の差異は、13から40歳までは重度以外が、46から55歳では重度のほうが高い傾向にある。

「P検査（分解）」による素点の年齢別特徴（図3-4）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢とともに上昇して21-25歳で最も高いが、それ以降の21から45歳までは年齢の変化とともに低下し、46-50歳の小

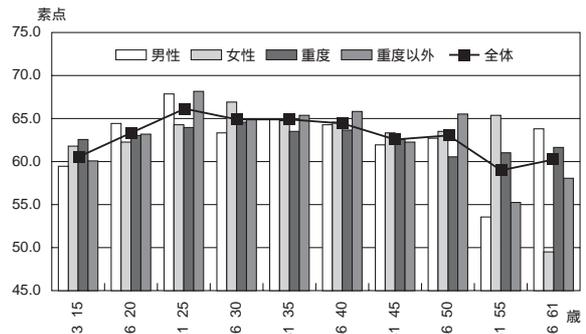


図3-2 N検査（差し替え）の年齢別平均

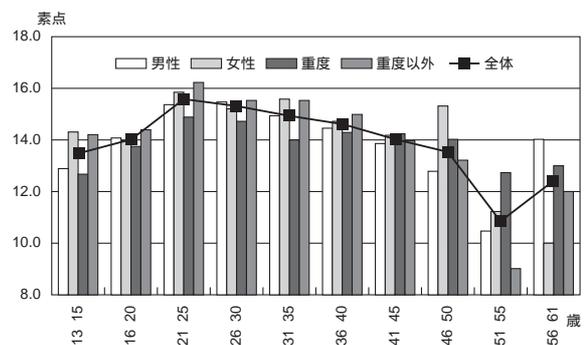


図3-3 O検査（組み合わせ）の年齢別平均

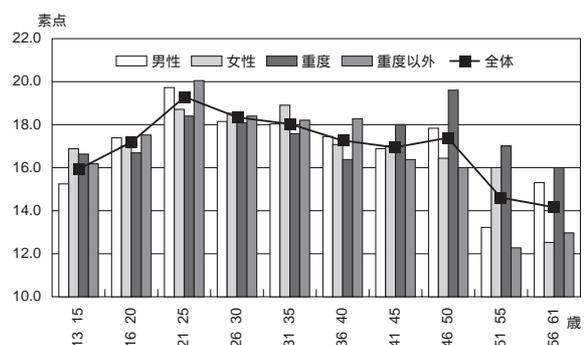


図3-4 P検査（分解）の年齢別平均

幅の上昇を経て、51～55歳には著しく低下する。②この結果では、51～55歳では最も高得点の21～25歳群の75%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳と51～55歳で女性が、21～25歳と46～50歳で男性が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、41から55歳までは重度が、21から40歳では重度以外のほうが高い傾向にある。

## 第2節 ワークサンプル法

雇用促進事業団式のワークサンプル検査の幾つかについて、手順に規定された作業量に対する所要時間（秒）を求めた。時間が長いほど、作業成績が低いことになる。なお、「付表4：ワークサンプル法」に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、46～50歳で6人、51～55歳で0人、56～61歳で0人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から45歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

### 1. ボルトナット検査

「ボルトナットの組み立て」の所要時間の年齢別特徴（図3-5）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢とともに時間が延長して21～25歳で最も長いが、26～30歳になると著しく短縮して31～35歳までは変化がない。36～40歳には再び延長するが、41～45歳以降は短縮する。②この結果では、所要時間の最も短い31～35歳は、最も長い21～25歳群の66%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳、26～30歳、36～40歳で男性が、21～25歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、36～40歳は重度が、13～15歳、26～30歳、41～45歳は重度以外のほうが所要時間が

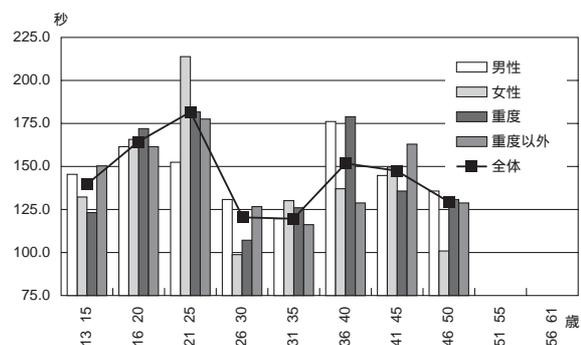


図3-5 「ボルトナットの組み立て」の年齢別平均

長い。

「ボルトナットの分解」の所要時間の年齢別特徴(図3-6)は、以下のとおりである。

①「全体」の結果は、年齢とともに21-25歳までは時間が延長するが、26-30歳になると著しく短くて最短時間となる。その後、再度の急激な延長をへて36-40歳には最長時間になるが、41-45歳以降は短縮する。②この結果では、所要時間の最も短い26-30歳は、最も長い36-40歳群の63%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16から25歳と36から45歳で男性が、26-30歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、16から25歳と36-40歳は重度が、13-15歳、26-30歳、41-45歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

## 2. 十字ドライバー検査

「十字ドライバーでのボルト取り付け」の所要時間の年齢別特徴(図3-7)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、21-25歳で最長時間となり、それ以前の13から20歳と26から45歳では短かい時間となる。②この結果では、所要時間の最も短い16-20歳は、最も長い21-25歳群の70%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と36-40歳で男性が、26-30歳と41-45歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、31-35歳は重度が、13-15歳、26-30歳、36-40歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

「十字ドライバーでのボルトはずし」の所要時間の年齢別特徴(図3-8)は、以下の

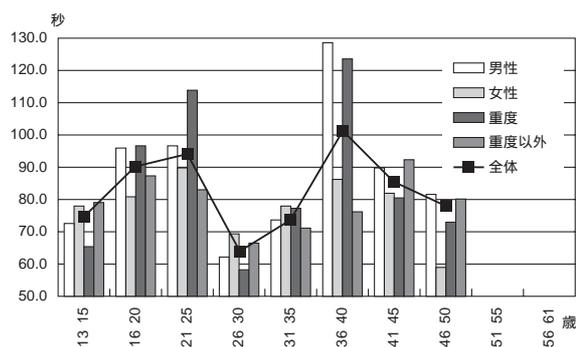


図3-6 「ボルトナットの分解」の年齢別平均

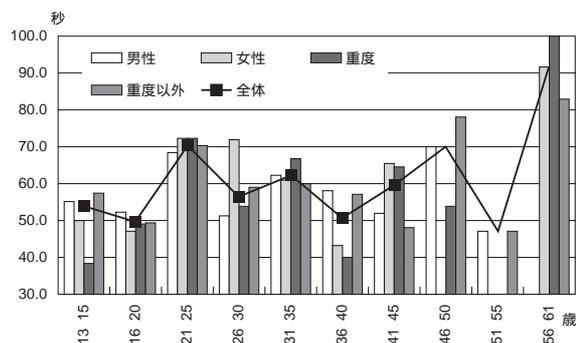


図3-7 「十字ドライバーでのボルト取り付け」の年齢別平均

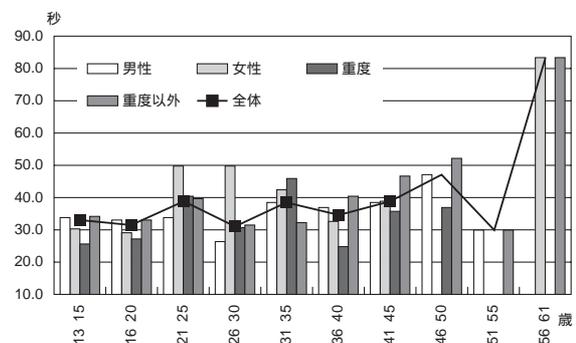


図3-8 「十字ドライバーでのボルトはずし」の年齢別平均

とおりである。①「全体」の結果は、年齢とともに緩やかに所要時間が延長して、21～25歳で最長時間となる。それ以降の21から45歳までは、緩やかな上下降を繰り返しながらも大きな変化はしない。②この結果では、所要時間の最も短い26～30歳は、最も長い21～25歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21から30歳で女性の所要時間のほうが長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、31～35歳は重度が、13～15歳と36から45歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

### 3. 蛇口検査

「蛇口の組み立て」の所要時間の年齢別特徴(図3-9)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳で所要時間が著しく長くなり、その後も、全体的に年齢の上昇とともに時間が延長して、51～55歳頃で最長となる。ただし、26～30歳では一時的に時間が短縮される。②この結果では、所要時間の最も短い13～15歳は、最も長い41～45歳群の81%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳と36～40歳は男性は、26～30歳、41～45歳、51～55歳では女性の所要時間のほうが長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、16～20歳と36から55歳は重度が、13～15歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

「蛇口の分解」の所要時間の年齢別特徴(図3-10)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳で所要時間が著しく長くなり、その後も、全体的に年齢の上昇とともに少しずつ延長して、41～45歳頃で最長とな

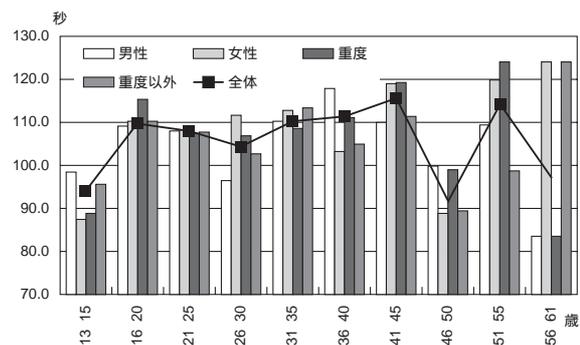


図3-9 「蛇口の組み立て」の年齢別平均

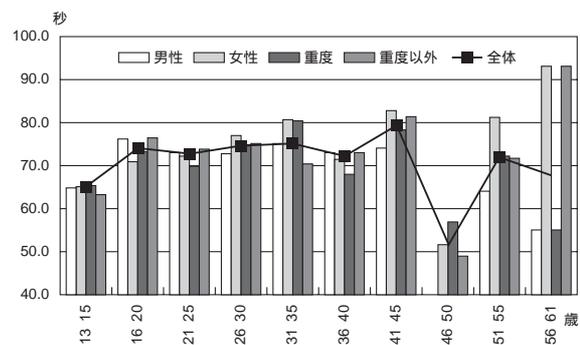


図3-10 「蛇口の分解」の年齢別平均

る。その後、51～55歳には時間が短縮する。  
 ②この結果では、所要時間の最も短い13～15歳は、最も長い41～45歳群の81%程度である。  
 ③「男性」と「女性」の差異は、41～45歳と51～55歳は女性の所要時間のほうが長い。  
 ④「重度」と「重度以外」の差異は、31～35歳は重度のほうが所要時間が長い。

#### 4. ワッシャー検査とピンセット検査

「ワッシャーの選別」の所要時間の年齢別特徴（図3-11）は、以下のとおりである。

①「全体」の結果は、年齢とともに時間が延長して21～25歳で最長となるが、26～30歳で著しく短縮する。31～35歳で再び延長するものの、36から45歳までは緩やかに短縮する。  
 ②この結果では、所要時間の最も短い26～30歳は、最も長い21～25歳群の80%程度である。  
 ③「男性」と「女性」の差異は、31～35歳と41～45歳で男性が、21～25歳では女性のほうが所要時間が長い。  
 ④「重度」と「重度以外」の差異は、31から40歳は重度が、13～15歳と41～45歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

「ピンセットによる差し込み」の所要時間の年齢別特徴（図3-12）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、年齢とともに時間が著しく延長して21～25歳で最長となるが、それ以降の26から40歳にかけて次第に短縮する。41～45歳で再び延長する。②この結果では、所要時間の最も短い13～15歳は、最も長い21～25歳群の78%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と41

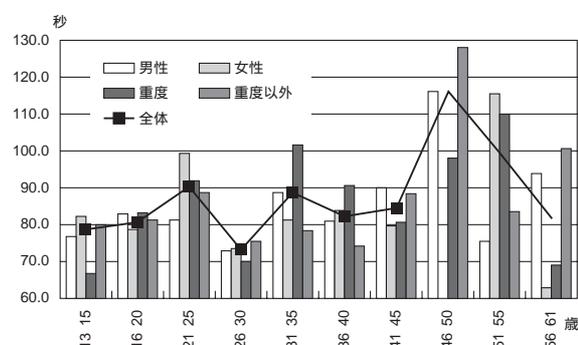


図3-11 「ワッシャーの選別」の年齢別平均

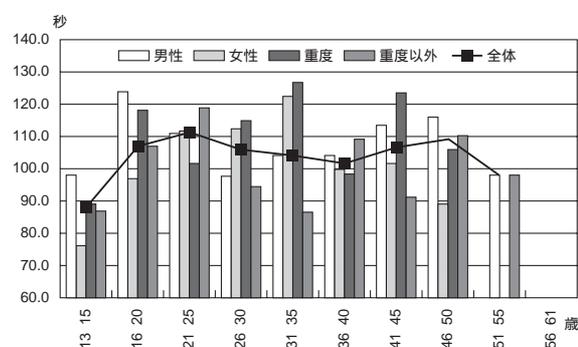


図3-12 「ピンセットによる差し込み」の年齢別平均

45歳で男性が、26から35歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、16 20歳、26から35歳、14 45歳は重度が、21 25歳と36 40歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

### 第3節 その他の器具検査

これらのワークサンプル検査のほかに、「大小分類検査」「紐かけ検査」「タッピング検査」の3種類の器具検査の結果についても得られた。「付表5：その他の器具検査」に示すとおり、このどの検査も、年齢別に見た対象者数が、46 50歳で5人、51 55歳で5人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から45歳と51 55歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

#### 1. 大小分類検査

所要時間の年齢別特徴（図3 13）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から20歳にかけて時間が短縮するものの、21 25歳で著しく延長する。それ以降の26から40歳にかけて次第に短縮するが、41 45歳で再び延長して最長となる。だが、51 55歳になると短縮する。②この結果では、所要時間の最も短い16 20歳は、最も長い41 45歳群の82%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、36から45歳で男性が、13 15歳、26から35歳、51 55歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、16 20歳は重度が、それ以外の13 15歳と26から40歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

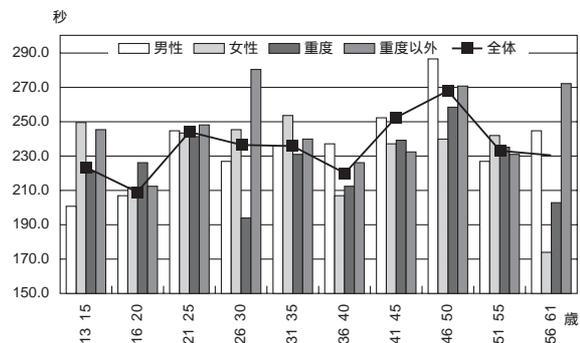


図3 13 「大小分類検査」の年齢別平均

## 2. 紐かけ検査

所要時間の年齢別特徴（図3-14）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から20歳までは時間が短縮するものの、21歳で著しく延長する。それ以降の26から35歳にかけて次第に短縮して、31～35歳で最短となる。だが、36から55歳にかけて再び延長して51～55歳で最長となる。②この結果では、所要時間の最も短い31～35歳は、最も長い51～55歳群の53%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26～30歳と51～55歳から45歳で男性が、13～15歳、および26から35歳、51～55歳では女性のほうが所要時間が長い。④「重度」と「重度以外」の差異は、16～20歳、26から45歳は重度が、21～25歳は重度以外のほうが所要時間が長い。

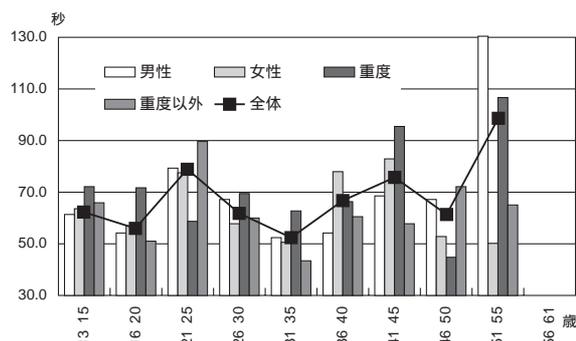


図3-14 「紐かけ検査」の年齢別平均

## 3. タッピング検査

回数の年齢別特徴（図3-15）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは年齢とともに減少して21～25歳には最小回数となるが、その後は年齢とともに上昇し、46～50歳には最大回数となる。51～55歳には再度の低下がある。②この結果では、最小回数である21～25歳は、最大回数の46～50歳群の85%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、46から55歳で男性が、13～15歳、21から30歳、36～40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、46～50歳は重度が、13～15歳、21から30歳、36から45歳は重度以外のほうが高い傾向にある。

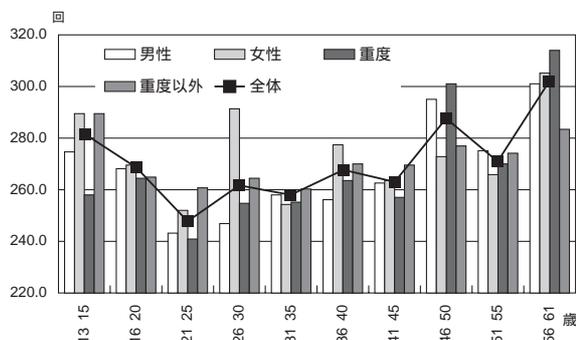


図3-15 「タッピング」の年齢別平均

## 第4節 作業検査の年齢群別変化の特徴

第1に、労働省編一般職業適性検査の「M検査(差し込み)」「N検査(差し替え)」「O検査(組み合わせ)」「P検査(分解)」のいずれも、21～25歳時を最高にその後は下降する。これは、図3-1から図3-4の「全体」結果をもとに、13～15歳を基準にして、各年齢群の得点の相対的な比率を示した図3-16からも明らかである。対象者数の多い13から55歳までの範囲に限ると、この4種類の検査結果はいずれも、13から25歳までの急激な上昇の後で、50歳前半までは下降する。

第2に、だが、個々の器具検査別に変化の傾向を見ると、いくつかの特徴がある。最も高い得点を示した21～25歳を中心に見ると、①それ以前の上昇傾向は、指先器用検査盤を用いた「O検査(組み合わせ)」と「P検査(分解)」のほうが、手腕作業検査盤を用いた「N検査(差し替え)」と「M検査(差し込み)」よりも著しい。他方で、②それ以降の低下傾向は、51～55歳時点では、指先器用検査盤を用いた「O検査(組み合わせ)」(70%の低下)「P検査(分解)」(同75%)、手腕作業検査盤を用いた「N検査(差し替え)」(同89%)「M検査(差し込み)」(同95%)の順序で著しかった。

第3に、これらの器具検査はいずれも上肢と手腕の運動能力に依存するが、手腕作業検査盤よりも指先器用検査盤のほうが、高い巧み性と両手の共応動作を必要とする度合いが大きい。従って、これらの結果は、①上肢・手腕の運動能力は、指先器用検査盤の検査で要求される指先の器用さや巧み性のほうが、年齢の変化とともに著しい上昇と下降を示すことを意味する。他方で、②手腕作業検査盤の検査で要求される指先の巧み性をあまり必要としない場合には、年齢の変化にともなう運動能力の低下は著しくはないことを意味する。

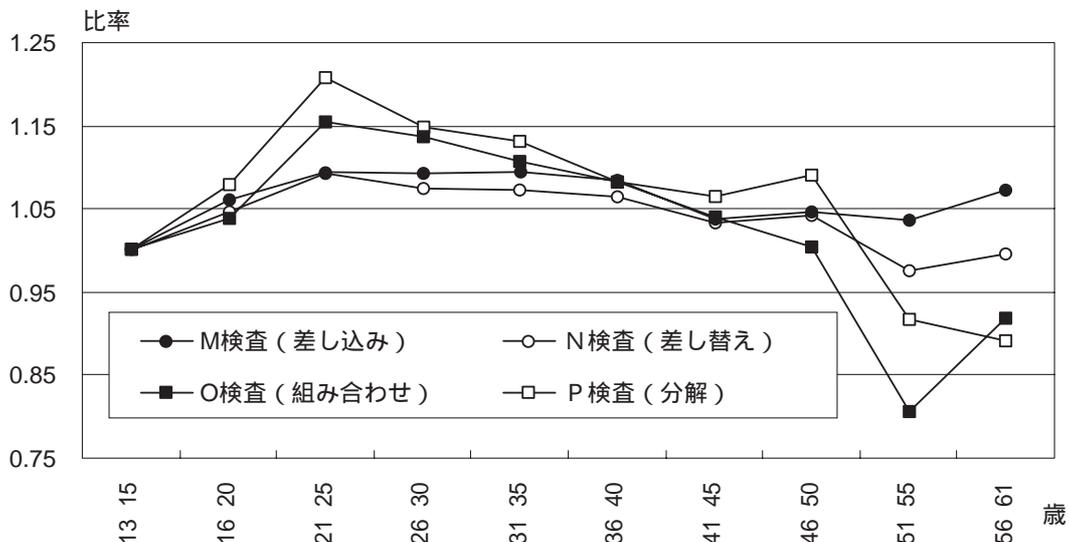


図3-16 GATB器具検査の「全体」結果の年齢別平均

第4に、ワークサンプル検査やその他の器具検査では、年齢の変化に伴って、①成績が変動するものと、②変動の少ない検査、に分類できる。これは、図3 5から図3 15の「全体」結果をもとに、13 15歳を基準にして、各年齢群の得点の相対的な比率を示した図3 17と図3 18の結果で、対象者数が多かった13から45歳までの範囲に限って明らかである。

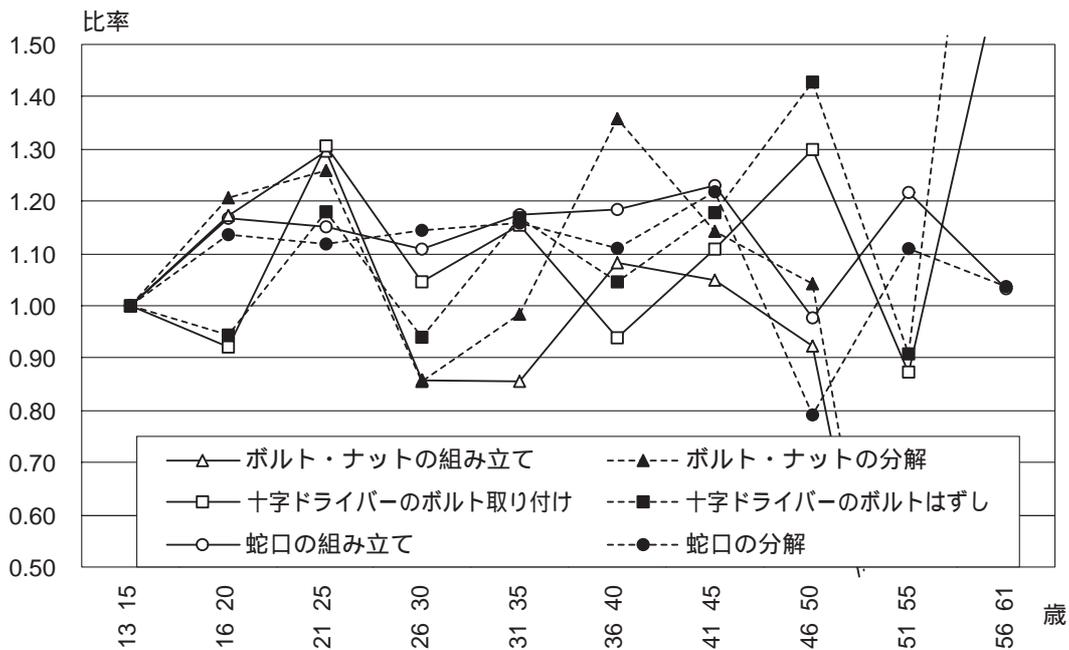


図3 17 ワークサンプル検査の「全体」結果の年齢別平均

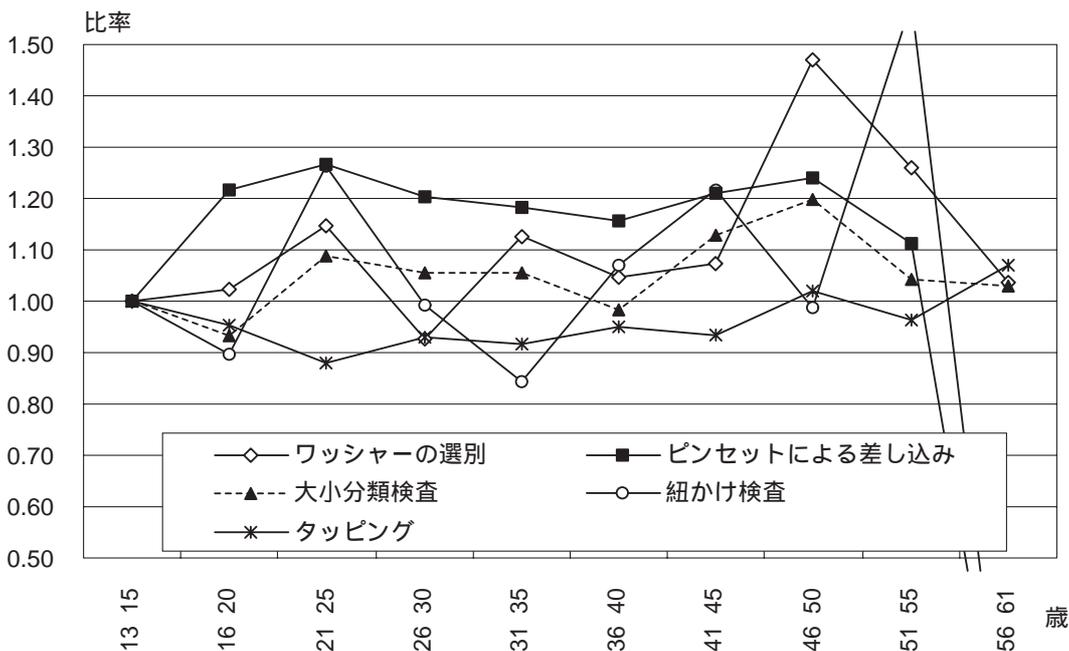


図3 18 ワークサンプル・その他の器具検査の「全体」結果の年齢別平均

第5に、それらは、①年齢の変化に伴う成績の変動が少ない検査として、「蛇口の組み立て」「蛇口の分解」「ピンセットによる差し込み」「大小分類」「タッピング」があり、②年齢の変化に伴う成績の変動が著しい検査として、「ボルトナットの組み立て」「ボルトナットの分解」「十字ドライバーのボルト取り付け」「十字ドライバーのボルトはずし」「ワッシャーの選別」「紐かけ検査」に分類できる。

第6に、前者の、年齢の変化に伴う成績の変動が少ない検査では、13～15歳と16～20歳との間で変動はあるものの、それ以降の45歳までは、ほぼ年齢の上昇に関わらず、一定の作業成績となる。

第7に、後者の、年齢の変化に伴う成績の変動が著しい検査では、いずれも、21～25歳でのピークに続く26～30歳での著しい低下が共通する。なお、「十字ドライバーのボルト取り付け」を除くと、その後再び上昇に転じて36から45歳で2度目のピークを迎える。

第8に、実務的な手指作業を模擬したこれらの作業検査の結果は、いずれも、知能検査の年齢の上昇にともなう変化の傾向と一致することはない。それゆえ、「知能」あるいは「IQ」は、手指作業の成績変化を予測し得ないとみなされる。

# 第4章 社会生活能力の年齢別特徴

「S M式社会生活能力検査」の結果について、「できる」に2点、「ほぼできる」に1点、「できない」に0点を配して下位検査ごとの年齢別の平均を求めた。これらの統計数値は、「付表6：社会生活能力検査」に示した。なお、同表に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、51～55歳で5人、56～61歳で7人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から50歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

## 第1節 意思表示と交換能力

### 1. 合計得点の結果

10個の下位項目の合計得点による年齢別特徴（図4-1）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高得点である。②この結果は、最も高得点の13～15歳の直後の16～20歳で低下するが、その後の16から45歳までは上昇に転じ、36～40歳で13～15歳の得点に近似する。だが、46～50歳には著しく低下して最も低得点となる。③さらに、36～40歳は16～20歳の107%で変化が少ないが、最低点の46～50歳は41～45歳の76%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、13～15歳と46～50歳で男性が高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

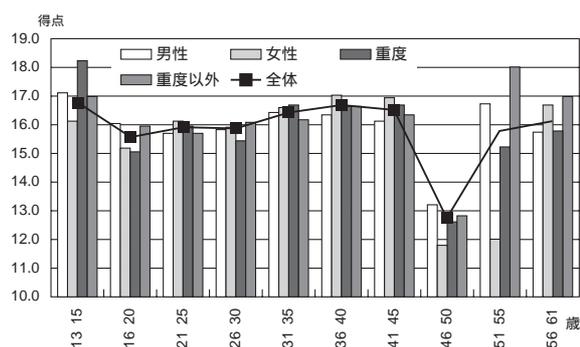


図4-1 「意思表示と交換能力：合計点」の年齢別平均

### 2. 下位項目の結果

「自分の要求の表現」の年齢別特徴（図4-2）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高得点である。②この結果は、13から25歳まで低下するが21から

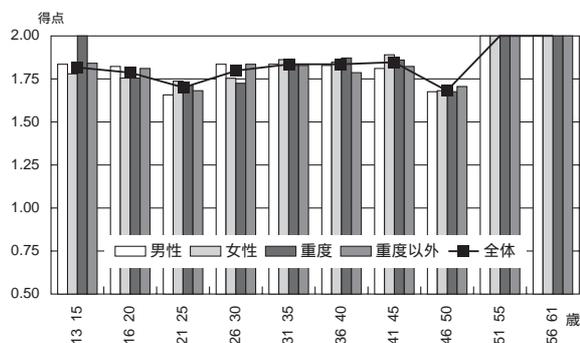


図4-2 「自分の要求の表現」の年齢別平均

45歳までは上昇に転じ、直後の46～50歳に著しく低下する。③さらに、21～25歳は13～15歳の93%、また、41～45歳の91%と変化はすくなく、最低点の46～50歳も41～45歳の90%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、ほとんどなく、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が多い傾向にある。

「自分の姓名の表明」の年齢別特徴(図4-3)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高得点である。②この結果は、年齢群による差異はほとんどない。③「男性」と「女性」の差異は、ほとんどない。④「重度」と「重度以外」の差異も、ほとんどない。

「住所や家族名の表明」の年齢別特徴(図4-4)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高得点である。②この結果は、13から40歳まではほとんど変化がないが、その後の41から50歳で著しく低下する。③さらに、最も低得点の46～50歳は36～40歳群の76%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、13～15歳で男性が高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が多い傾向にある。

「日常的な会話」の年齢別特徴(図4-5)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高得点である。②この結果は、高得点の13～15歳が直後の16～20歳で低下するが、その後の16から45歳までは少し筒上昇に転じ、41～45歳には最高得点となる。だが、直後の46～50歳になると著しく低下して最低得点となる。③さらに、最も低得点の46～50歳は41～45歳群の86%程度である。④

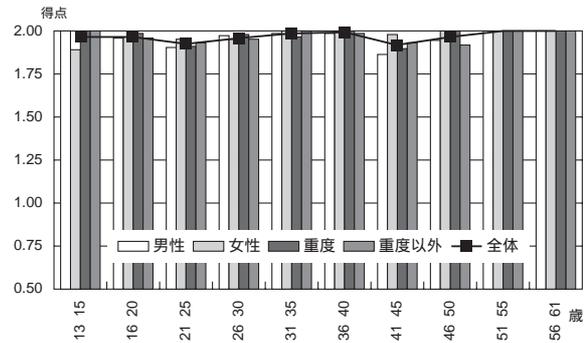


図4-3 「自分の姓名の表明」の年齢別平均

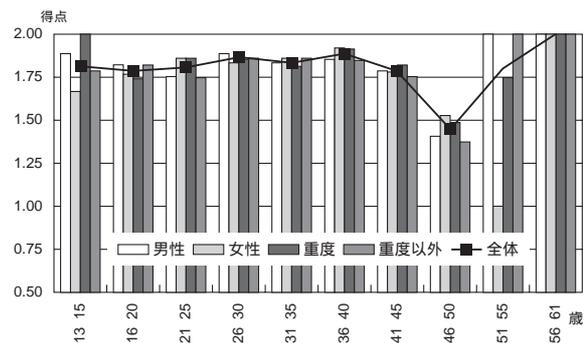


図4-4 「住所や家族名の表明」の年齢別平均

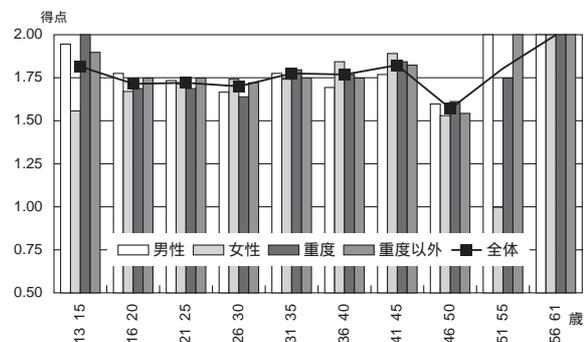


図4-5 「日常的な会話」の年齢別平均

「男性」と「女性」の差異は、13～15歳で男性が高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が多い傾向にある。

「見聞したことの表明」の年齢別特徴(図4-6)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、高得点の13～15歳に続いて21～25歳の低得点までは下降するが、その後の26から45歳までは上昇に転じる。だが、直後の46～50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、21～25歳は21～25歳群や41～45歳群の87%程度である。また、最も低得点の46～50歳は41～45歳群の86%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、46～50歳で男性が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が多い傾向にある。

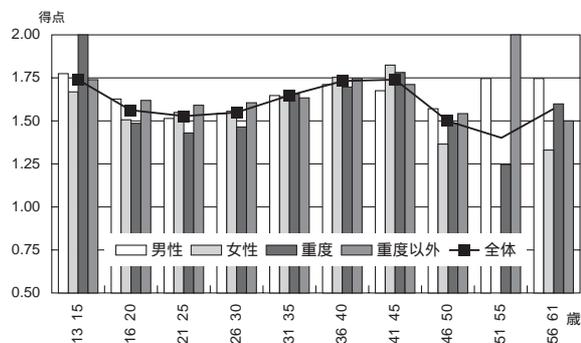


図4-6 「見聞したことの表明」の年齢別平均

「他者への伝言」の年齢別特徴(図4-7)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、高得点の13～15歳に続いて16～20歳では下降するが、その後の21から45歳までは少しずつ上昇する。だが、直後の46～50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、16～20歳は41～45歳群の87%程度である。また、最も低得点の46～50歳は41～45歳群の61%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、46～50歳で男性が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異はほとんどない。

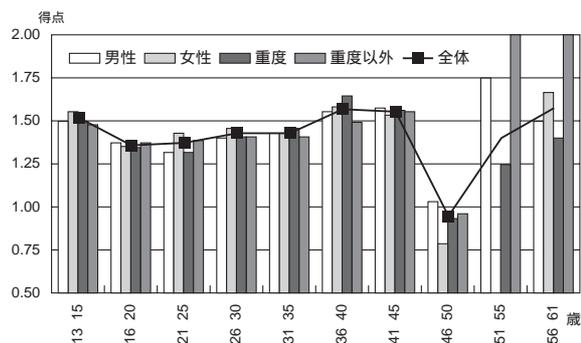


図4-7 「他者への伝言」の年齢別平均

「文字の筆記」の年齢別特徴(図4-8)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、高得点の13～15歳に続いて16～20歳では下降するが、その後の21から31から45歳まではほとんど変化がない。だが、直後の46～50

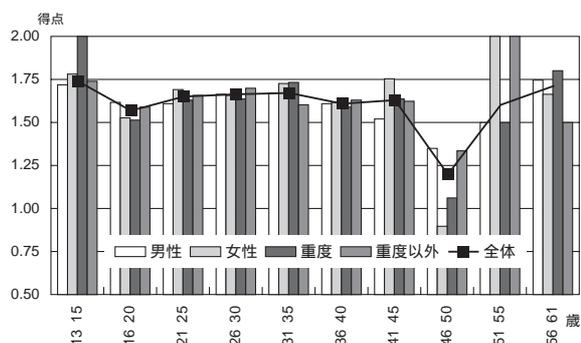


図4-8 「文字の筆記」の年齢別平均

歳になると著しく低下して最低得点となる。

②この結果は、16 20歳は41 45歳群の96%程度である。また、最も低得点の46 50歳は41 45歳群の73%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、46 50歳で男性が、41 45歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度が、46 50歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「文字の読解」の年齢別特徴(図4 9)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、高得点の13 15歳に続いて16 20歳では下降するが、21 25歳に上昇に転じた後は、21から45歳まではほとんど変化がない。だが、直後の46 50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、16 20歳は13 15歳群の84%、41 45歳群の96%程度である。また、最も低得点の46 50歳は41 45歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、46 50歳で男性が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16 20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「ラジオやテレビの理解」の年齢別特徴(図4 10)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳まで年齢の変化とともに上昇して最高得点となるが、直後の46 50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、46 50歳は41 45歳群の63%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16 20歳と46 50歳で男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、46 50歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「手紙の筆記」の年齢別特徴(図4 11)

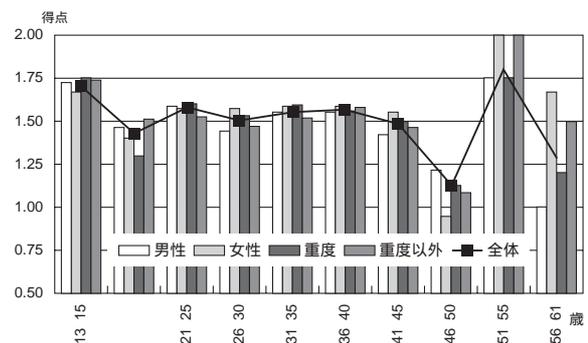


図4 9 「文字の読解」の年齢別平均

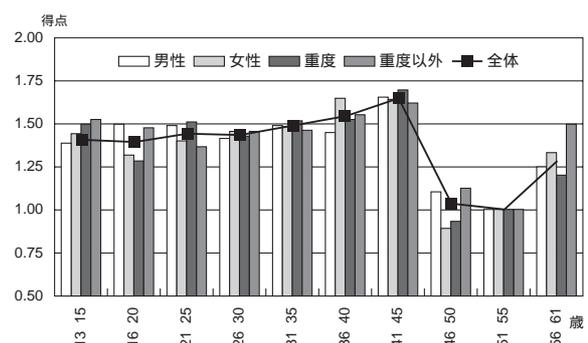


図4 10 「ラジオやテレビの理解」の年齢別平均

は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳までは年齢による変動があり、16 20歳と26 30歳では低く、13 15歳、21 25歳、31から45歳では高かった。だが、46 50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、46 50歳は41 45歳群の25%程度にすぎない。③「男性」と「女性」の差異は、13 15歳と46 50歳で男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

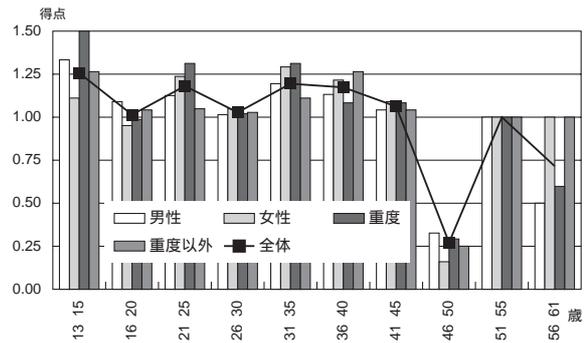


図4 11 「手紙の筆記」の年齢別平均

## 第2節 移動能力

### 1. 合計得点の結果

5個の下位項目の合計得点による年齢別特徴(図4 12)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは緩やかに低下するが、その後の21から40歳までは上昇に転じ、36 40歳で最も高い得点となる。だが、41から50歳にかけて著しく低下し、46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、21 25歳は36 40歳群の92%だが、46 50歳は41 45歳群の87%程度まで低下する。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と46 50歳で男性が高いが、26 30歳、36から45歳では女性の方が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳、21 25歳では重度の人が、16 20歳、26から35歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

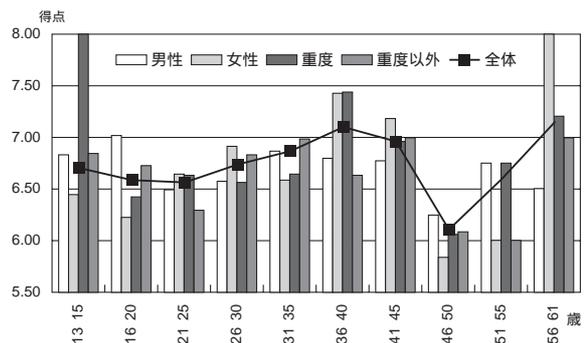


図4 12 「移動能力：合計点」の年齢別平均

## 2. 下位項目の結果

「単独の外出」の年齢別特徴（図4-13）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高い。②この結果は、13から54歳まで、年齢の増大とともに少しずつ上昇する。③そのため、13-15歳は46-50歳群の93%程度である。④「男性」と「女性」の差異はほとんどなく、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳では重度の人が高い傾向にある。

「特定の場所への往復」の年齢別特徴（図4-14）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も高い。②この結果は、13から54歳まで、年齢の増大とともに少しずつ上昇する。③「男性」と「女性」の差異はほとんどなく、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異もほとんどない。

「単独で乗り物の利用」の年齢別特徴（図4-15）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳までは年齢による変動がほとんどないが、46-50歳になると著しく低下して最低得点となる。②この結果は、46-50歳は41-45歳群の85%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳と46-50歳で男性のほうが、36-40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳、36-40歳で重度の人のほうが、31-35歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「尋ねながら目的地に到着」の年齢別特徴（図4-16）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も低い得点で在る。②この結果は、13から25歳までの下降の後で

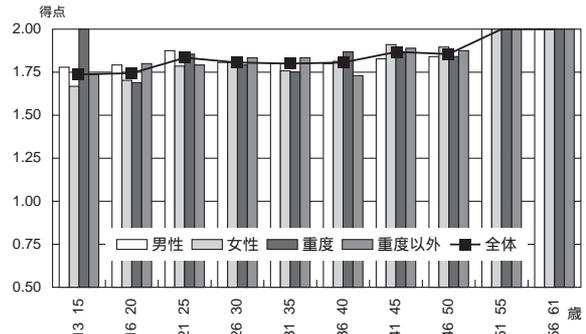


図4-13 「単独で外出」の年齢別平均

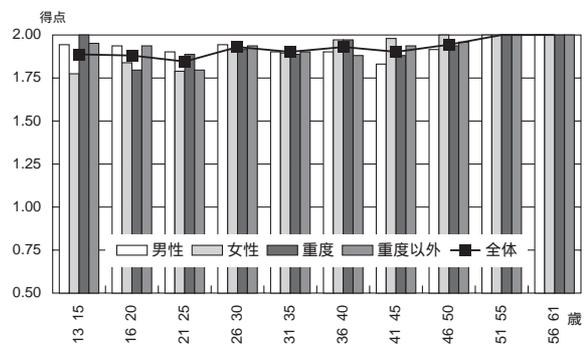


図4-14 「特定の場所への往復」の年齢別平均

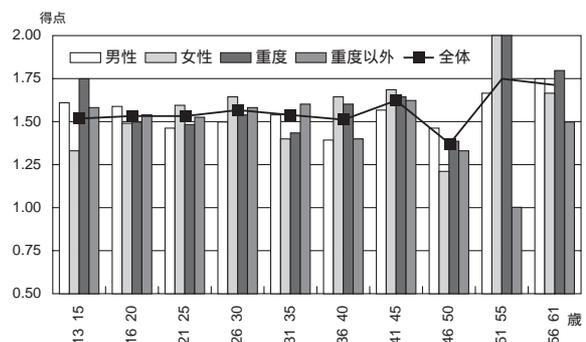


図4-15 「単独で乗り物の利用」の年齢別平均

21から40歳までは上昇に転じ、36～40歳で最も高得点となる。だが、その後の36から50歳にかけて著しく低下し、46～50歳では最も低得点となる。③さらに、21～25歳は13～15歳群の85%、36～40歳群の71%程度だが、46～50歳は41～45歳群の62%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、16～20歳と46～50歳で男性のほうが、13～15歳と36～40歳で女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、36～40歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

「地図を見て目的地の到着」の年齢別特徴（図4-17）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群もかなり低い得点である。②この結果は、13から30歳までの下降の後で31から40歳までは上昇に転じ、36～40歳で最も高得点となる。だが、その後の36から50歳にかけて著しく低下し、46～50歳では最も低得点となる。③この結果は、26～30歳は36～40歳群の68%程度だが、46～50歳は41～45歳群の56%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、16～20歳で男性のほうが、21から30歳では女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

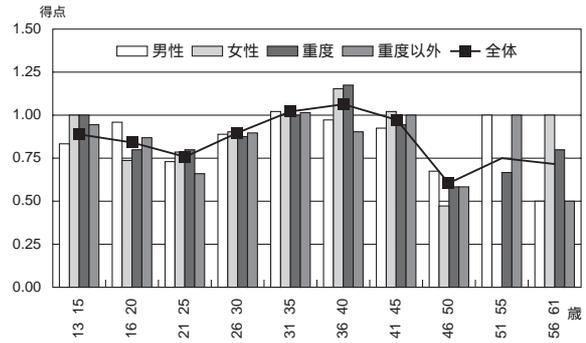


図4-16 「尋ねながら目的地に到着」の年齢別平均

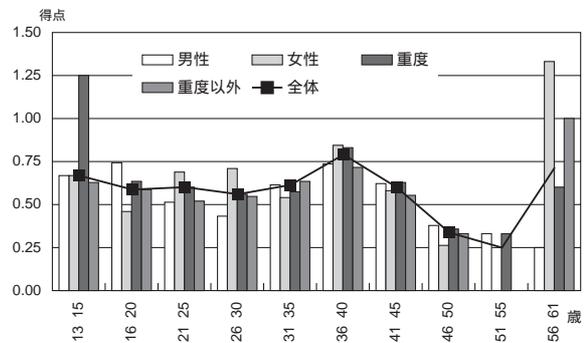


図4-17 「地図を見て目的地の到着」の年齢別平均

### 第3節 日常生活能力

#### 1. 合計得点の結果

8個の下位項目の合計得点による年齢別特徴（図4-18）は、以下のとおりである。①

「全体」の結果は、13から20歳までの低下した後、16から45歳までは上昇に転じ、41 45歳で最も高い得点となる。だが、46 50歳にかけて著しく低下して最も低得点となる。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の90%だが、46 50歳は41 45歳群の78%程度まで低下する。③「男性」と「女性」の差異は、16から25歳で男性が高いが、36から45歳では女性の方が高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳、31から40歳では重度の人が、16 20歳、26 30歳、46 50歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

## 2. 下位項目の結果

「自他の物の区別」の年齢別特徴(図4 19)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も極めて高い。②この結果は、13から54歳まで、年齢の増大による変化はほとんどない。③「男性」と「女性」の差異は、ほとんどない。⑤「重度」と「重度以外」の差異も、ほとんどない。

「時間観念に則した行動」の年齢別特徴(図4 20)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までの下降の後で16から45歳までは上昇に転じ、41 45歳で最も高得点となる。だが、その後の46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の82%程度だが、46 50歳は41 45歳群の78%程度まで低下する。③「男性」と「女性」の差異は、41 45歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

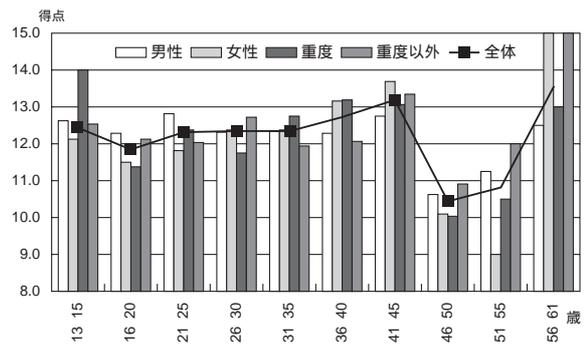


図4 18 「日常生活能力：合計点」の年齢別平均

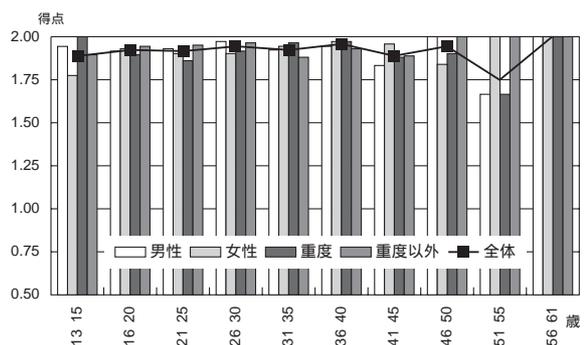


図4 19 「自他の物の区別」の年齢別平均

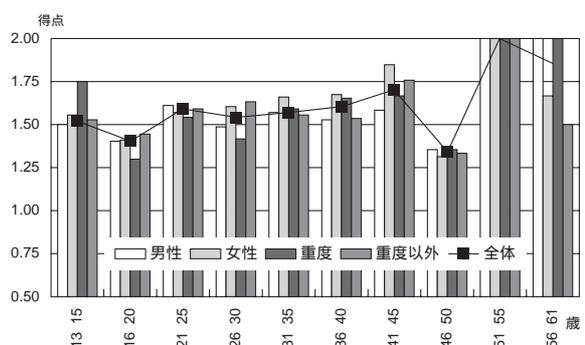


図4 20 「時間観念に則した行動」の年齢別平均

「家の仕事の手伝い」の年齢別特徴(図4 21)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳までで緩やかに上昇し、41 45歳で最も高得点となる。だが、その後の46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、13 15歳は41 45歳群の85%程度だが、46 50歳は41 45歳群の87%程度まで低下する。③「男性」と「女性」の差異は、21 25歳で男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが、46 50歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

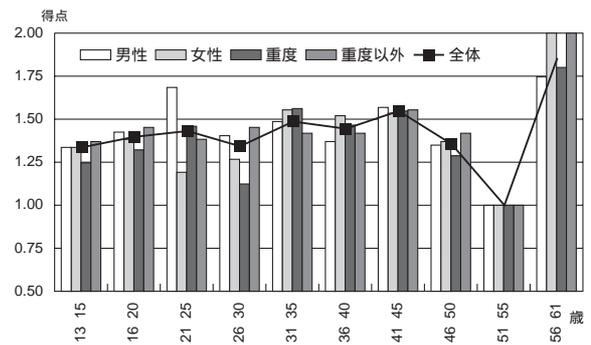


図4 21 「家の仕事の手伝い」の年齢別平均

「一人で留守番」の年齢別特徴(図4 22)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から20歳までの低下の後で16から45歳までは上昇に転じる。だが、その後の46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、16 20歳は13 15歳群の87%、41 45歳群の89%程度だが、46 50歳は41 45歳群の55%程度まで低下する。③「男性」と「女性」の差異は、46 50歳で男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが、46 50歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

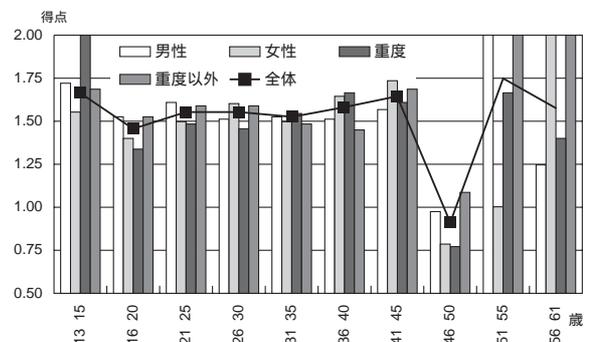


図4 22 「一人で留守番」の年齢別平均

「簡単な電気器具の使用」の年齢別特徴(図4 23)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から31歳までの緩やかな低下の後で、31から45歳までは上昇に転じ、41 45歳では最も高得点となる。だが、その後の46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、21 25歳は13 15歳群の94%、41 45歳群の89%程度となり、また、46 50歳は41 45歳群の91%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21 25歳で男性のほうが高く、

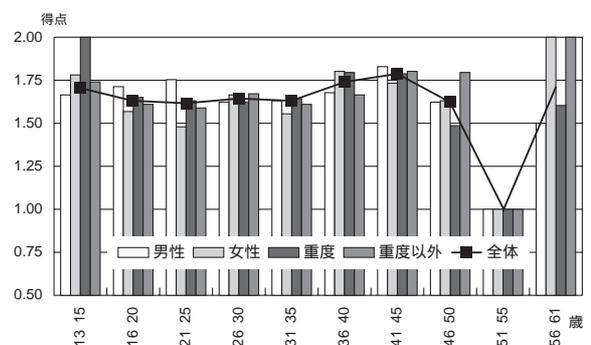


図4 23 「簡単な電気器具の使用」の年齢別平均

また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが、46 50歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「簡単な使い走り」の年齢別特徴（図4 24）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳までは年齢による多少の変化をしながらも上昇し、41 45歳では最も高得点となる。だが、その後の46 50歳では最も低得点となる。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の87%程度であり、また、46 50歳は41 45歳群の71%程度である。③「男性」と「女性」の差異はほとんどなく、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度の人のほうが、46 50歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

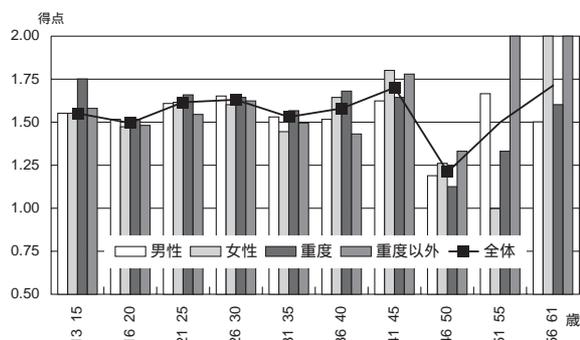


図4 24 「簡単な使い走り」の年齢別平均

「電話の使用」の年齢別特徴（図4 25）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは下降するが、それ以降の21から40歳には上昇に転じ、36 40歳では最も高得点となる。だが、その後の36から50歳では再び下降し、46 50歳で最も低得点となる。②この結果は、21 25歳は13 15歳群の88%、36 40歳群の85%程度であり、また、46 50歳は41 45歳群の81%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16 20歳では男性が、41 45歳では女性のほうが高い。④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳、21 25歳、31から40歳で重度の人のほうが、16 20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

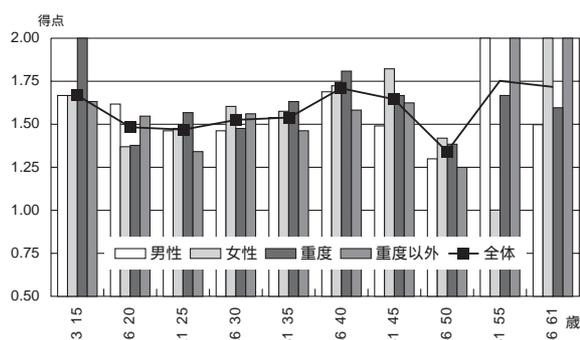


図4 25 「電話の使用」の年齢別平均

「事件やニュースへの関心」の年齢別特徴（図4 26）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群もかなり低い。②この結果では、13から45歳までは年齢による

多少の変化をしながらも上昇し、41～45歳では最も高得点となる。だが、その後の46～50歳では最も低得点となる。③さらに、16～20歳は41～45歳群の84%程度であり、また、46～50歳は41～45歳群の56%程度まで低下する。④「男性」と「女性」の差異は、13～15歳と46～50歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳、21～25歳、31～35歳で重度の人のほうが高い傾向にある。

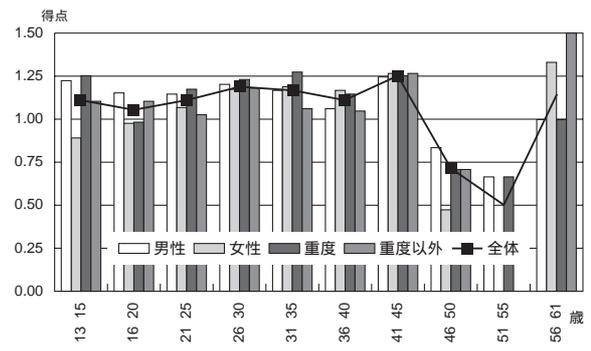


図4 26 「事件やニュースへの関心」の年齢別平均

## 第4節 社会生活能力の年齢群別変化の特徴

第1に、下位項目の合計得点別に見ると、「A：意思表示と交換能力」「B：移動能力」「C：日常生活能力」のいずれも、16から45歳に至る年齢の上昇とともに、緩やかに向上する。だが、46

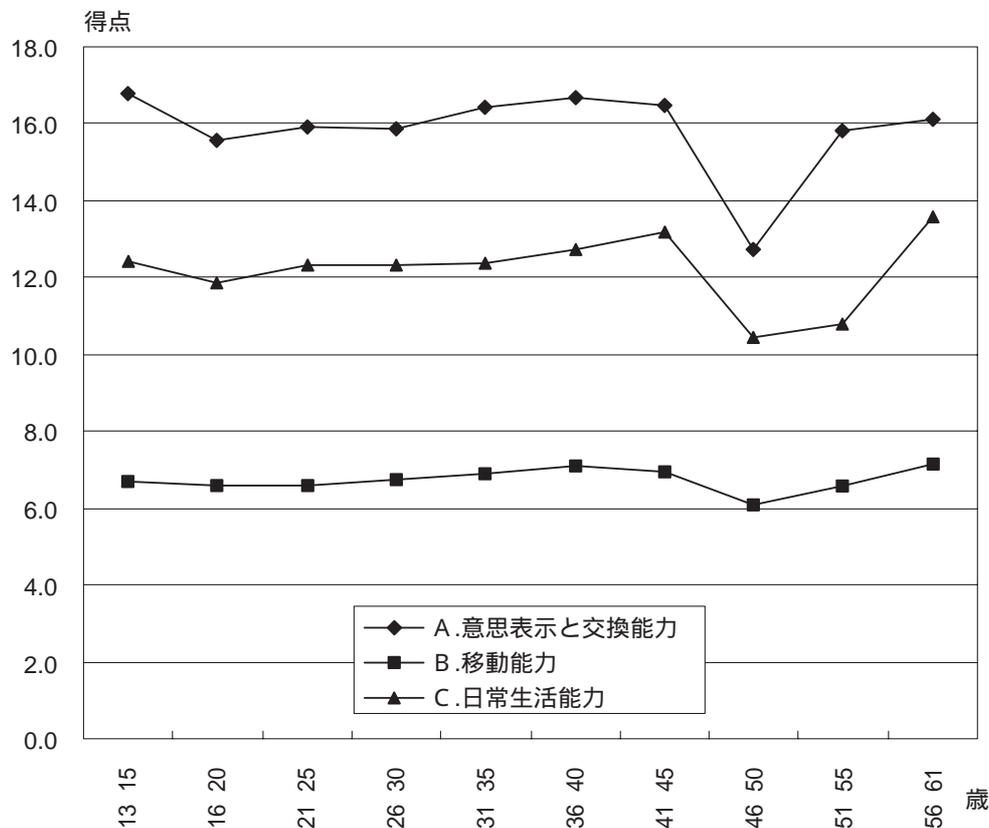


図4 27 合計得点別の「全体」結果の年齢別平均

50歳の時点では、「A：意思表示と交換能力」と「C：日常生活能力」の領域で著しく低下する。これは、図4 1、図4 12、図4 18の「全体」結果を再掲した図4 27で対象者数の多い13から50歳の範囲に限っても明らかなように、45 50歳時の得点を41 45歳時と比較すると、「C：日常生活能力」で79%、「A：意思表示と交換能力」で77%、「B：移動能力」で88%の低下があった。

第2に、下位項目ごとの年齢群別の変化を見ると、必ずしも、図4 27で示される領域ごとの変化の傾向と一致しない。これは、下位項目ごとの「全体」結果を示した、図4 28、図4 29、図4 30、図4 31からも明らかである。むしろ、年齢の上昇に伴う得点の変化の傾向は、領域による分類とは異なる、幾つかの類型が見られる。

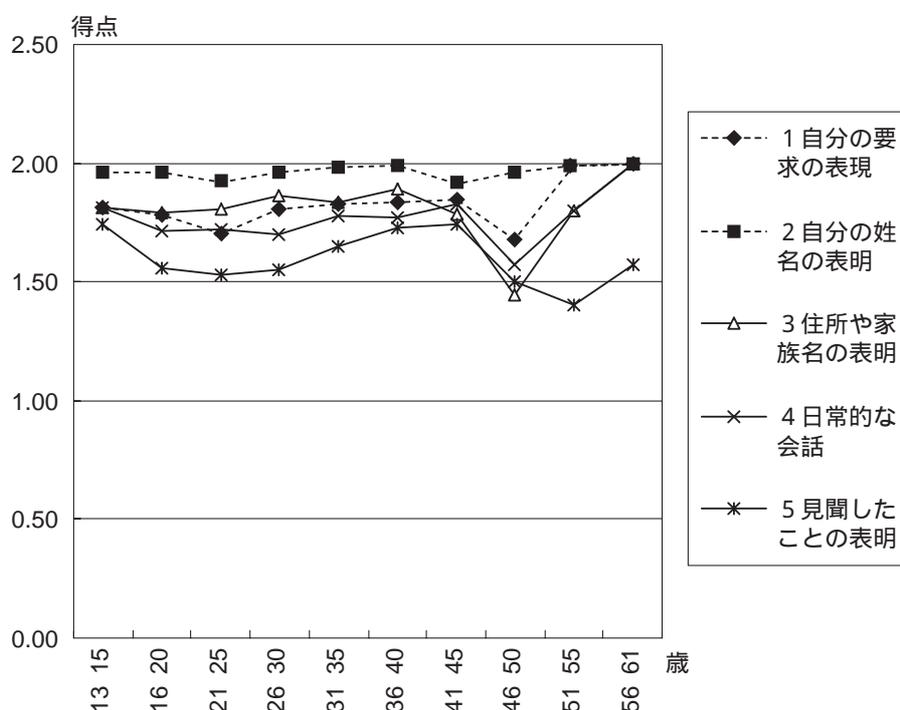


図4 28 A：意思表示と交換能力(1)の「全体」結果の年齢別平均

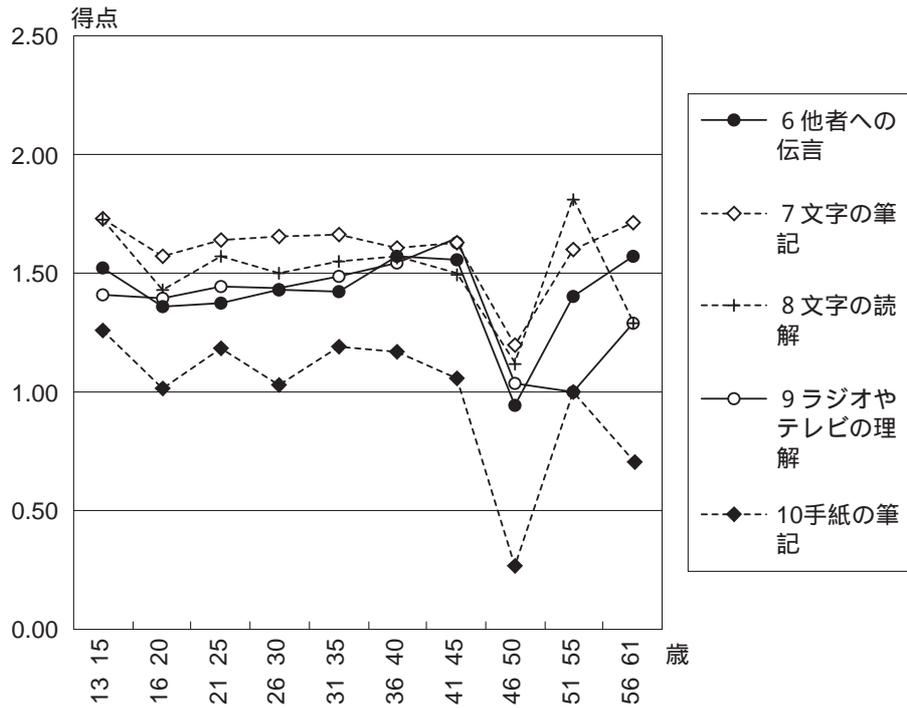


図4 29 A：意思表示と交換能力(2)の「全体」結果の年齢別平均

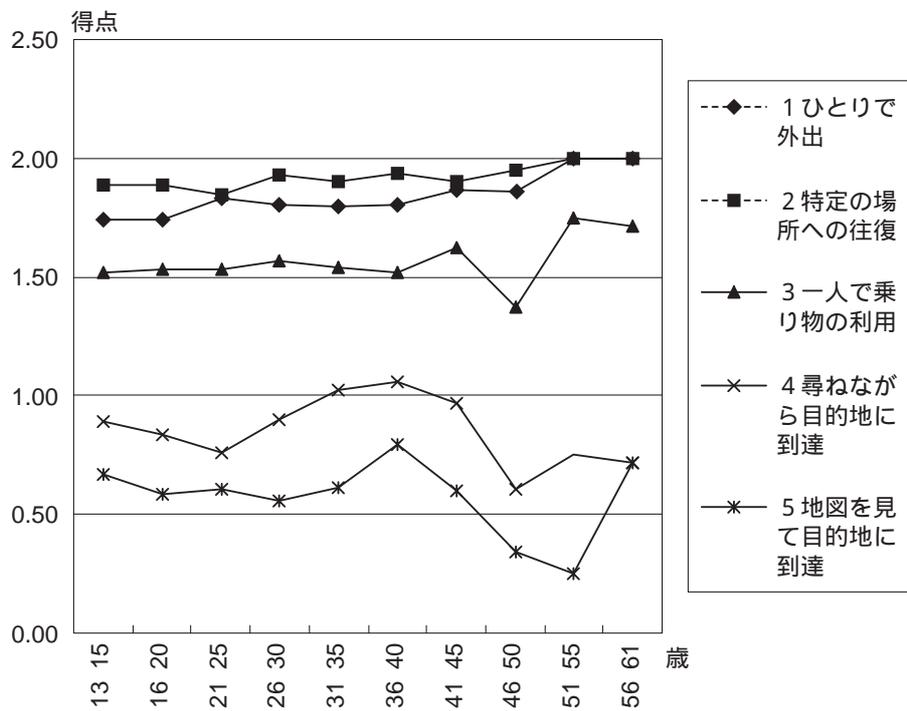


図4 30 B：移動能力の「全体」結果の年齢別平均

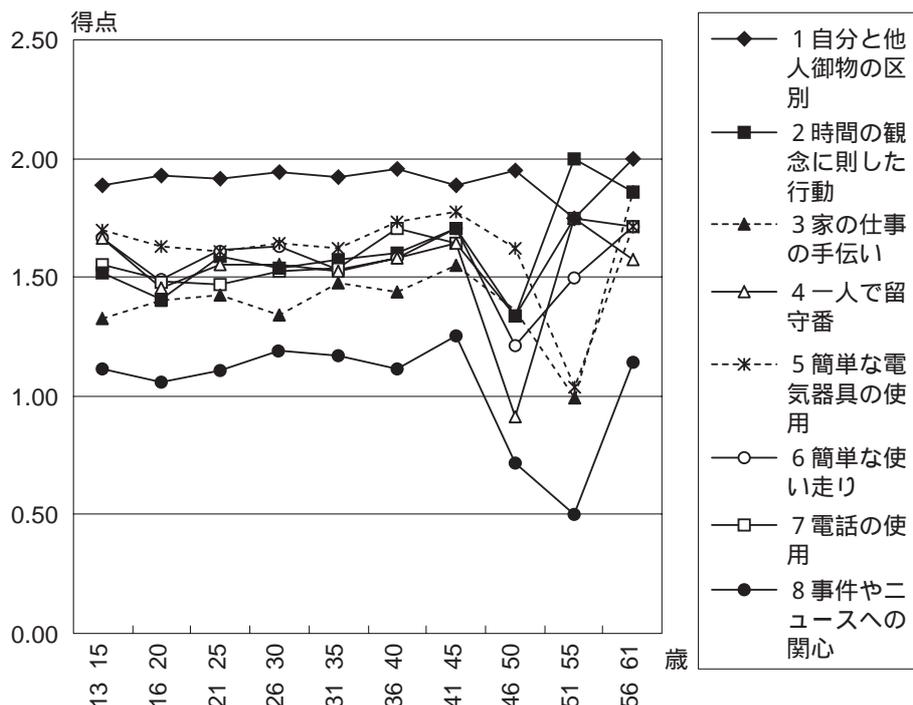


図4 31 C：日常生活能力の「全体」結果の年齢別平均

第3に、13から50歳に至るどの年齢層でも得点が高く、46～50歳代での著しい低下の認められない項目群がある。「A 1：自分の要求の表明」「A 2：自分の姓名の表明」「B 1：一人で外出」「B 2：特定の場所への往復」「C 1：自分と他人の物の区別」「C 5：簡単な電気機器の使用」が含まれる。これらの能力は早期の発達段階で獲得され、高齢になっても低下しないことが示唆される。

第4に、13から50歳に至るどの年齢層でも得点が低く、かつ、46～50歳代で著しく低下する項目群がある。「A 10：手紙の筆記」「B 4：尋ねながら目的地に到着」「B 5：地図を見て目的地に到着」「C 8：事件やニュースへの関心」が含まれる。これらの能力は、知能の低下が直接的な影響を及ぼすと考えられる。

第5に、16から45歳に至るまで変化は少ないか、むしろ上昇する傾向にあるものの、46～50歳代で著しく低下する項目群がある。「A 5：見聞したことの表明」「A 6：他者への伝言」「A 9：ラジオやテレビの理解」「C 2：時間の観念に即した行動」「C 8：事件やニュースへの関心」「B 4：尋ねながら目的地に到達」「B 5：地図を見て目的地に到達」などが含まれる。その幾つかは、どの年齢群でも低い得点であるが、それでも、45歳に至るまで上昇する傾向がある。これらは社会生活の遂行とともに向上する能力と考えられる。

第6に、これらの各項目群の類型を通して見ると、特に、①を除くほとんどの項目は41～45歳時と比較して46～50歳時には著しく低下する。その傾向が著しい項目から順序立てて示すと、「A 10：手紙の筆記」「A 6：他者への伝言」「A 9：ラジオやテレビの理解」「A 7：文字の筆記」「A 8：文字の読解」「C 4：一人で留守番」「C 2：時間の観念に則した行動」

「C 8：事件やニュースへの関心」「C 6：簡単な走り使い」「B 4：尋ねながら目的地に到達」「B 5：地図を見て目的地に到達」となる。特定の傾向は見出せない。また、急激な低下は、個人の能力だけに起因するかどうかは、疑問である。たとえば、この時期に、家族や親族等の同居者との離別が増大することも考えられることから、それらの社会的支えを失った結果が反映されているかも知れない。これらの点についての、今後の検討が必要である。

# 第5章 職業準備訓練評価の年齢別特徴

「職業準備訓練生総合評価票」の結果について、「A：本人の長所であると評価できる」に5点、「B：就職に支障はない」に3点、「C：改善に向けて努力を要する」に1点、AとBの中間評価に4点、BとCの中間評価に2点、を配して下位検査ごとの年齢別の平均を求めた。これらの統計数値は、「付表7：職業準備訓練総合評価表」に示した。なお、同表に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、46～50歳で3人、51～55歳で3人、56～61歳で2人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から45歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

## 第1節 基本的ルール

「継続勤務」の年齢別特徴(図5-1)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは年齢とともに上昇するが、26～30歳で著しく低下する。だが、31から45歳までは21～25歳の水準に戻った後も変化しない。②この結果は、13～15歳は21～25歳群や41～45歳群の72%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳は男性が、16から25歳、41～45歳は女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、21～25歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「連絡」の年齢別特徴(図5-2)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは、21～25歳を除くと、年齢とともに低下する。だが、それ以降の31から45歳までは上昇に転じて、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の72%程度である。③「男性」と「女性」の

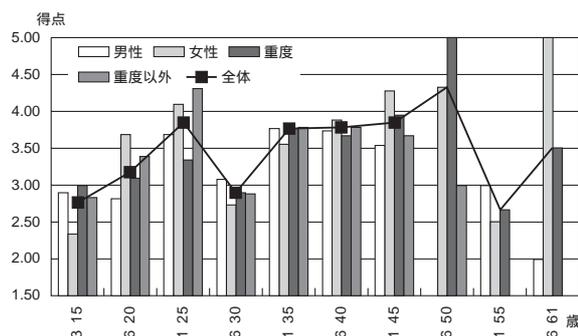


図5-1 「継続勤務」の年齢別平均

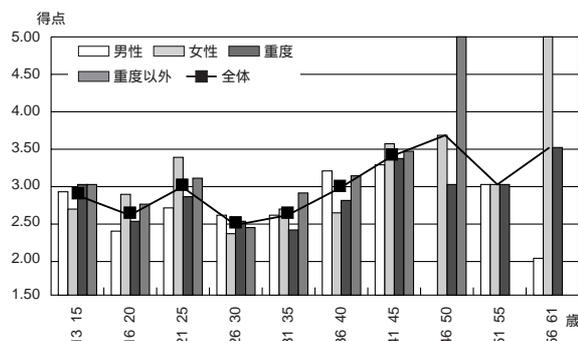


図5-2 「連絡」の年齢別平均

差異は、36～40歳は男性が、16から25歳は女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、21～25歳、31から40歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「規則の遵守」の年齢別特徴(図5-3)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは年齢とともに低下する。だが、それ以降の26から45歳までは上昇に転じて、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、21～25歳は41～45歳群の83%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26～30歳は男性が、16から25歳、41～45歳は女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36から45歳で重度の人が、16～20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

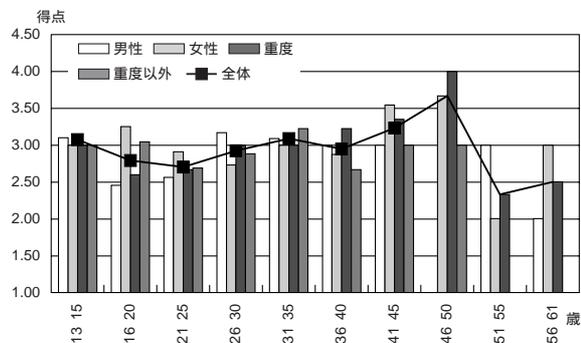


図5-3 「規則の遵守」の年齢別平均

「清潔な身なり」の年齢別特徴(図5-4)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳に至るまで年齢とともに緩やかに上昇し、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、13～15歳は41～45歳群の78%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と41～45歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が、41～45歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

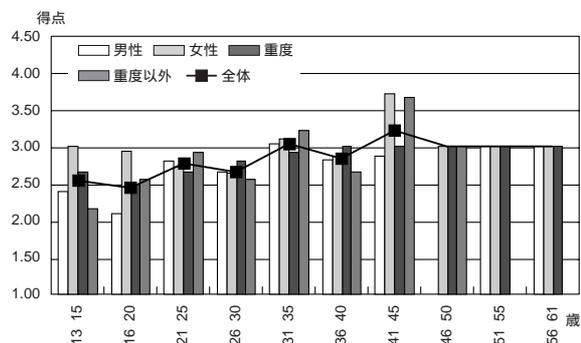


図5-4 「清潔な身なり」の年齢別平均

「健康管理」の年齢別特徴(図5-5)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳まではほとんど変化がない。それ以後の31から45歳にまでは緩やかに上昇し、41～45歳で最も高い。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の81%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16～20歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の

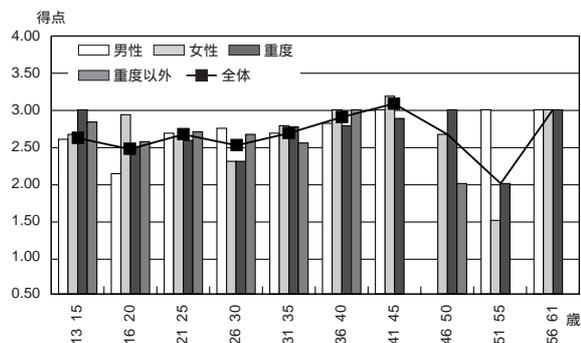


図5-5 「健康管理」の年齢別平均

差異は、すくない。

## 第2節 作業態度

「取り掛かり」の年齢別特徴(図5-6)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは緩やかに低下する。31歳で上昇に転じた後は45歳までは変化がすくなく、36-40歳で最も高い。②この結果は、26-30歳は36-40歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16-20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

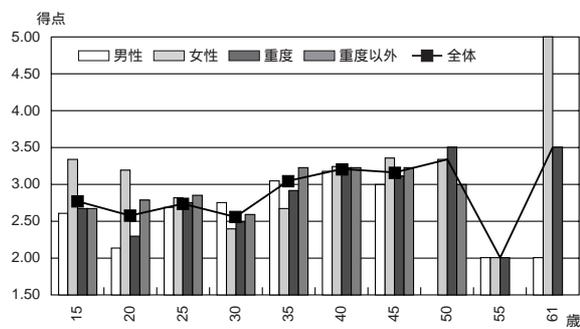


図5-6 「取り掛かり」の年齢別平均

「自発性」の年齢別特徴(図5-7)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳に至るまで、上下降を繰り返しながらも、全体として年齢とともに上昇し、41-45歳で最も高い。②この結果は、16-20歳は41-45歳群の78%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26-30歳で男性が、13から20歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16から30歳で重度の人が、13-15歳と36-40歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

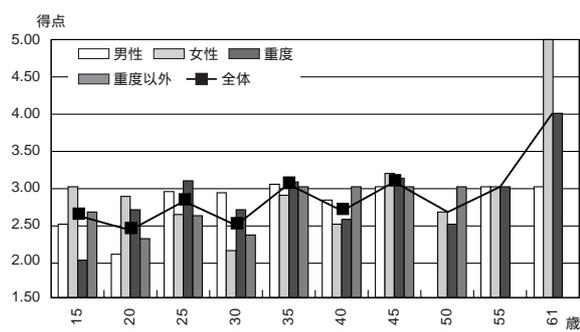


図5-7 「自発性」の年齢別平均

「熱心さ」の年齢別特徴(図5-8)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も他の下位項目と比較して、最も高い。②この結果は、13-15歳よりも16から25歳では低下するが、その後の26から40歳では上昇に転じて36-40歳で最も高い。だが、41-45歳では再び低下する。③さらに、16-20歳は36-40歳群の84%程度である。④「男

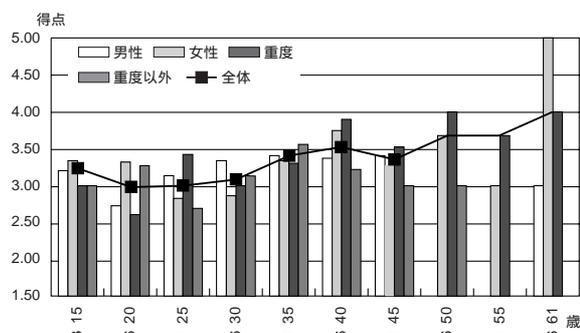


図5-8 「熱心さ」の年齢別平均

性」と「女性」の差異は、21から30歳で男性が、16 20歳と36 40歳で女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、321 25歳と36 40歳で重度の人が、16 20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「責任感」の年齢別特徴（図5 9）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは緩やかに低下する。31 35歳で急激に上昇して最も高くなり、40歳まで変化しない。だが、41 45歳で再び低下する。②この結果は、26 30歳は31 35歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26から35歳で男性が、13から20歳と41 45歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36 40歳で重度の人が、41 45歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

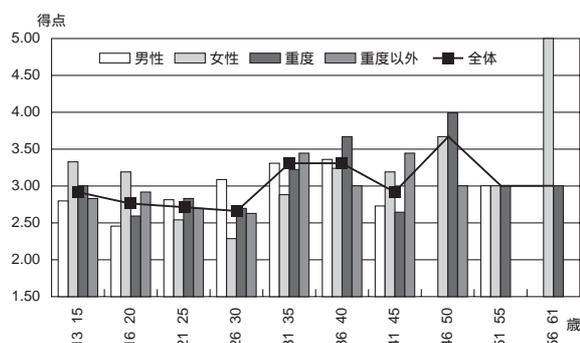


図5 9 「責任感」の年齢別平均

「報告」の年齢別特徴（図5 10）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは緩やかに低下する。26 30歳で上昇に転じるものの、45歳まで変化は少ない。②この結果は、21 25歳は36 40歳群の87%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26 30歳で男性が、21 25歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳と21 25歳で重度の人が、36 40歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

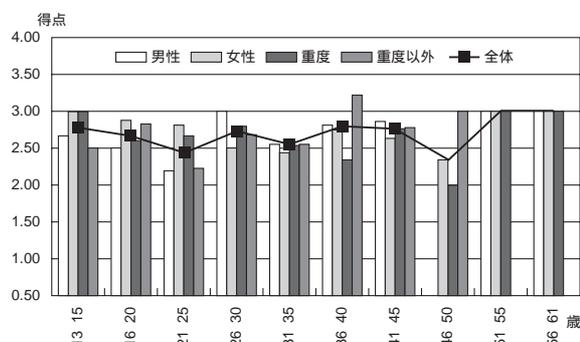


図5 10 「報告」の年齢別平均

「質問」の年齢別特徴（図5 11）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢群も他の下位項目と比較しても低い。②この結果は、13から30歳まではあまり変化がなく、31 35歳で上昇に転じた後も45歳ま

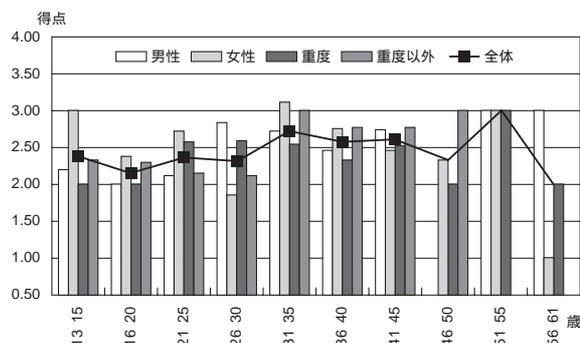


図5 11 「質問」の年齢別平均

で変化は少ない。③さらに、16～20歳は31～35歳群の79%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、26～30歳で男性が、その他の年齢では女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、21から30歳で重度の人が、31から40歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「私語・よそ見」の年齢別特徴(図5-12)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは低下するが、それ以降は上昇に転じて45歳までには13～15歳の水準に戻る。②この結果は、26～30歳は13～15歳群の77%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳と36～40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13から20歳と21～35歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

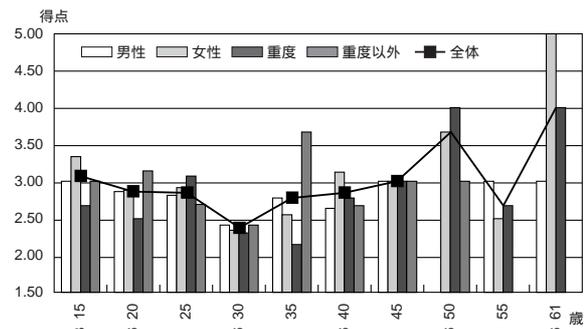


図5-12 「私語・よそ見」の年齢別平均

「陰日向なく働く」の年齢別特徴(図5-13)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13～15歳よりも16から30歳のほうが低下するが、それ以降は上昇に転じて36～40歳でもっとも高い。41～45歳には低下する。②この結果は、16～20歳は36～40歳群の80%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性が、26から35歳では男性のほうが高く、また、傾向にある。④「重度」と「重度以外」の差異は、41～45歳で重度の人が、16～20歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

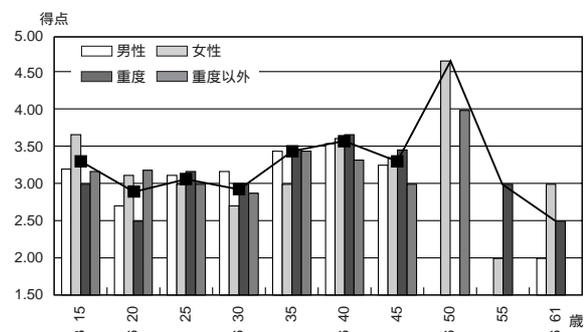


図5-13 「陰日向なく働く」の年齢別平均

### 第3節 作業遂行力

「集中力」の年齢別特徴(図5-14)は、

以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までの変化は少ないが、それ以降は上昇に転じて36 40歳でもっとも高い。だが、41 45歳には低下する。②この結果は、26 30歳は36 40歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、21 25歳で重度の人が、16 20歳と31から40歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「安定性」の年齢別特徴(図5 15)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは上昇を、26 30歳での一時的な低下をするがそれ以降も上昇に転じて36 40歳でもっとも高い。だが、41 45歳には低下する。②この結果は、13 15歳は36 40歳群の74%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と36から45歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳と21から30歳で重度の人が、31 35歳と41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「正確さ」の年齢別特徴(図5 16)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から45歳に至るまで少しずつ上昇し、41 45歳でもっとも高い。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の92%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36 40歳で重度の人が、16 20歳と41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「丁寧さ」の年齢別特徴(図5 17)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、

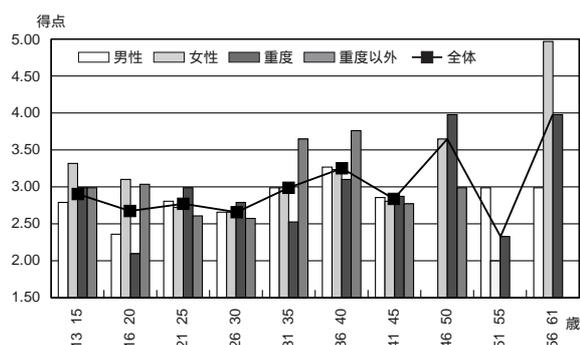


図5 14 「集中力」の年齢別平均

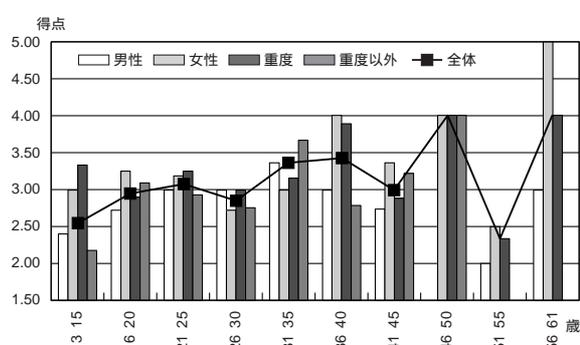


図5 15 「安定性」の年齢別平均

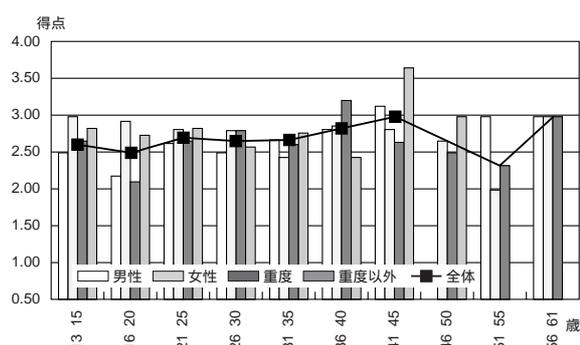


図5 16 「正確さ」の年齢別平均

16から30歳に至るまで上昇するが、31 35歳で低下した後に再び上昇に転じて、36 40歳でもっとも高い。②この結果は、16 20歳は36 40歳群の80%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36 40歳では重度の人が、13から25歳と41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

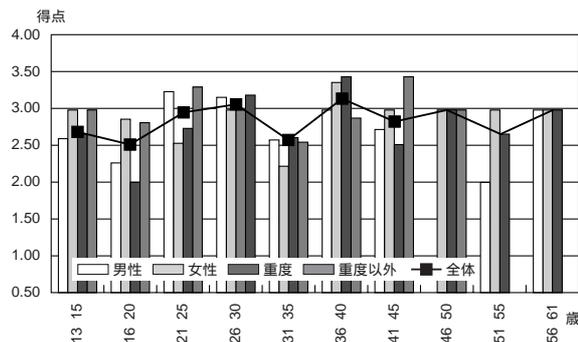


図5 17 「丁寧さ」の年齢別平均

「作業耐性」の年齢別特徴(図5 18)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳に至るまで変化はほとんどないが、31 35歳で急激な上昇に転じてもっとも高く、36から40歳でも変化はない。②この結果は、26 30歳は31 35歳群の81%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性のほうが高いが、26から40歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳では重度の人が、16 20歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

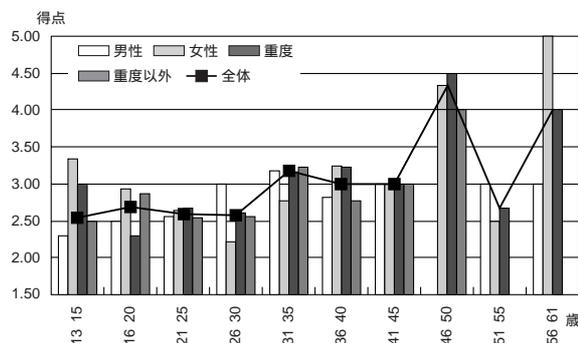


図5 18 「作業耐性」の年齢別平均

「作業工夫」の年齢別特徴(図5 19)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から40歳に至るまで少しずつ上昇して36 40歳でもっとも高いが、41 45歳で急激に低下する。②この結果は、16 20歳は36 40歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳では女性のほうが高いが、26から40歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳、26 30歳および36 40歳では重度の人の方が高い傾向にある。

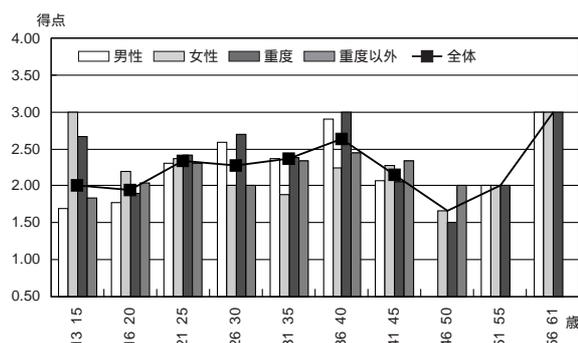


図5 19 「作業工夫」の年齢別平均

「習熟」の年齢別特徴(図5 20)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13

から25歳にまで上昇するが26-30歳に一時的に低下する。その後、再度の上昇に転じて36-40歳でもっとも高いが、41-45歳でも低下する。②この結果は、13-15歳は36-40歳群の75%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳、26-30歳そして36-40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳、26から40歳では重度の人のほうが高い傾向にある。

「準備・後片付け」の年齢別特徴(図5-21)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは、上昇と下降を繰り返すが、その後は上昇に転じて41-45歳でもっとも高い。②この結果は、26-30歳は41-45歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と36-40歳では女性のほうが高いが、21から35歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26-30歳では重度の人のほうが高いが、16-20歳、31-35歳そして41-45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「危険への配慮」の年齢別特徴(図5-22)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から30歳に至るまで上昇して26-30歳でもっとも高くなるが、その後の31から40歳までは減少に転じ、41-45歳で再上昇する。②この結果は、16-20歳は26-30歳群の86%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16-20歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、41-45歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

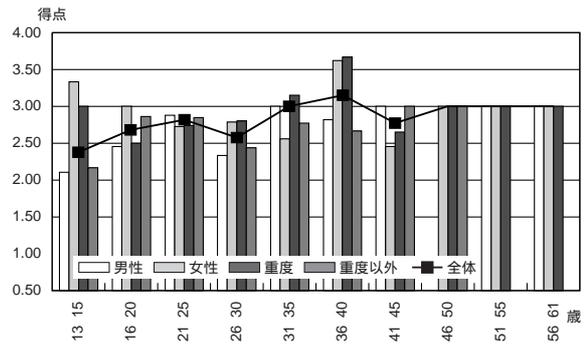


図5-20 「習熟」の年齢別平均

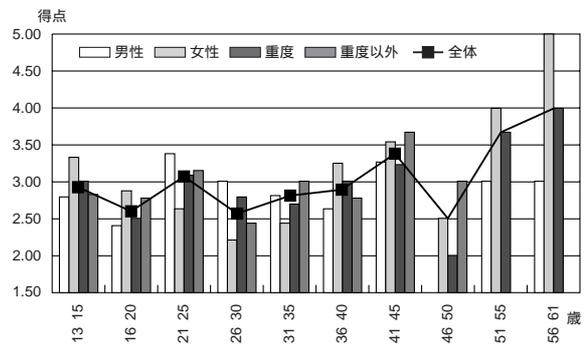


図5-21 「準備・後片付け」の年齢別平均

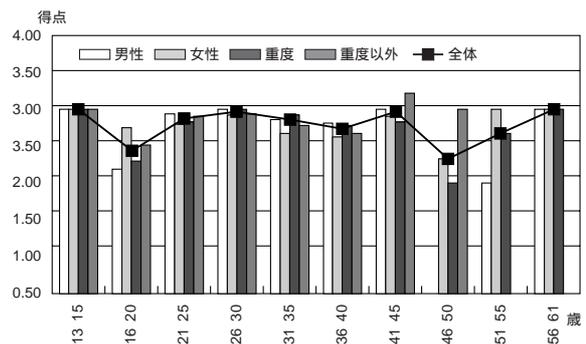


図5-22 「危険への配慮」の年齢別平均

## 第4節 対人態度

「挨拶・返事」の年齢別特徴(図5-23)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から45歳に至るまで上昇して41-45歳でもっとも高くなる。②この結果は、13-15歳は41-45歳群の77%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳、21-25歳そして31から40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、21-25歳で重度のほうが、26から40歳では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「素直さ」の年齢別特徴(図5-24)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16から35歳に至るまで上昇して31-35歳でもっとも高くなるが、その後の45歳まではやや低下する。②この結果は、16-20歳は31-35歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、あまり著しくなく、また、④「重度」と「重度以外」の差異も著しくない傾向にある。

「言葉使い」の年齢別特徴(図5-25)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、他の項目と比較して、どの年齢層も低い。②13-15歳よりも16から25歳の方が低下するが、26-30歳のもっとも高くなる場合を除くと、45歳に至るまでこくわずかな上昇傾向にある。③この結果は、16-20歳は26-30歳群の80%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、13から20歳と41-45歳では女性のほうが、26から40歳では男性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳、26-30歳そして36-40歳で重度のほ

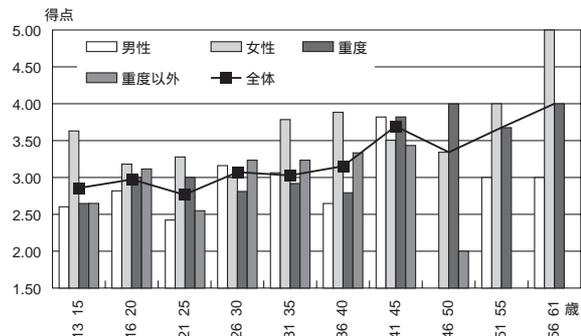


図5-23 「挨拶・返事」の年齢別平均

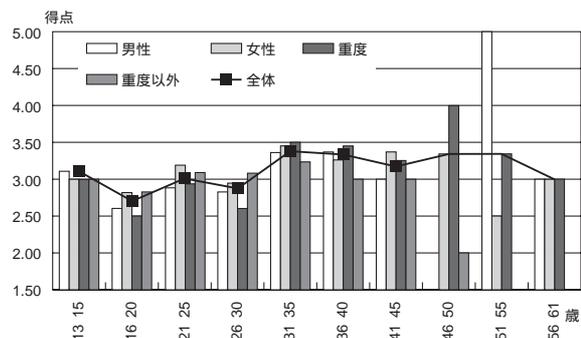


図5-24 「素直さ」の年齢別平均

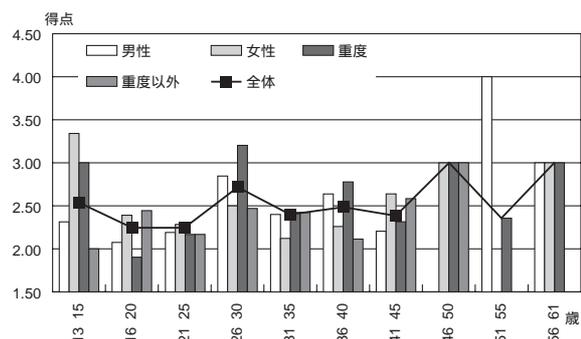


図5-25 「言葉使い」の年齢別平均

うが、16 20歳と41 45歳では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「感謝・謝罪」の年齢別特徴（図5 26）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳に至るまで下降するが、それ以降は上昇に転じて36 40歳でもっとも高くなる。②この結果は、21 25歳は36 40歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13から20歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳と36 40歳で重度のほうが高い傾向にある。

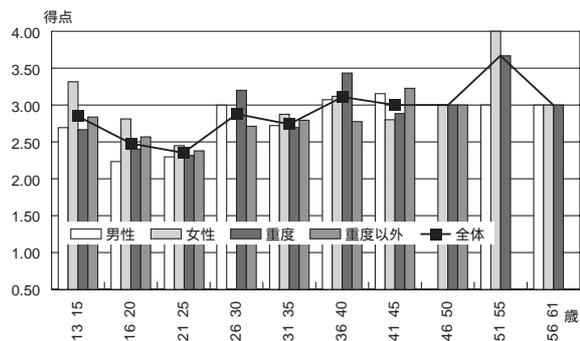


図5 26 「感謝・謝罪」の年齢別平均

「他者との協調」の年齢別特徴（図5 27）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から20歳で下降するが、それ以降は上昇に転じて36 40歳でもっとも高くなる。だが、41 45歳で再び低下する。②この結果は、16 20歳は36 40歳群の67%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16から25歳で女性のほうが、13 15歳と26 30歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36 40歳で重度のほうが、13 15歳と21 25歳で重度以外のほうが高い傾向にある。

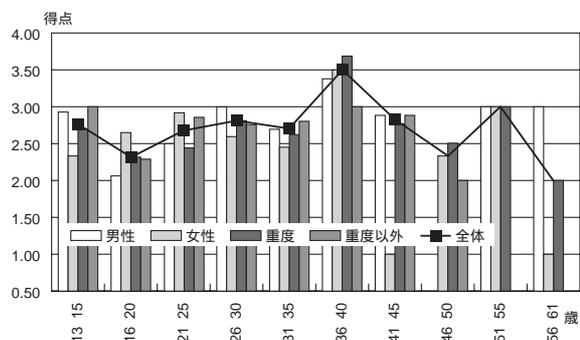


図5 27 「他者との協調」の年齢別平均

「会話への参加」の年齢別特徴（図5 28）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から20歳で下降する。それ以降は上昇に転じるが31 35歳で低下する。だが、再度の上昇をへて41 45歳でもっとも高くなる。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の83%程度である。③「男性」と「女性」の差異はあまり著しくない。④「重度」と「重度以外」の差異もあまりない。

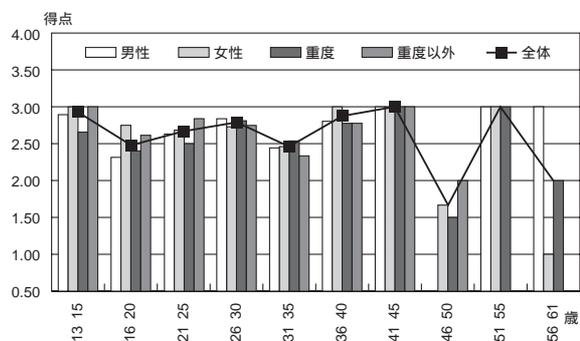


図5 28 「会話への参加」の年齢別平均

## 第5節 通 勤

「交通機関の利用」の年齢別特徴(図5-29)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳まで少しずつ上昇するが著しい変化はない。②この結果は、26-30歳は36-40歳群の85%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16-20歳、31-35歳および41-45歳で女性のほうが、36-40歳では男性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26から45歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

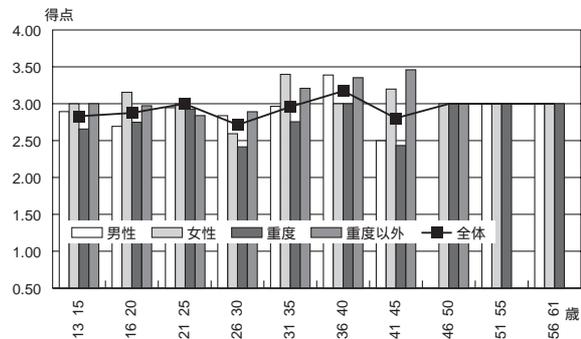


図5-29 「交通機関の利用」の年齢別平均

「車内等でのマナー」の年齢別特徴(図5-30)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から45歳まで少しずつ上昇するが著しい変化はない。②この結果は、16-20歳は41-45歳群の88%程度である。③「男性」と「女性」の差異は少なく、また、④「重度」と「重度以外」の差異もあまりない。

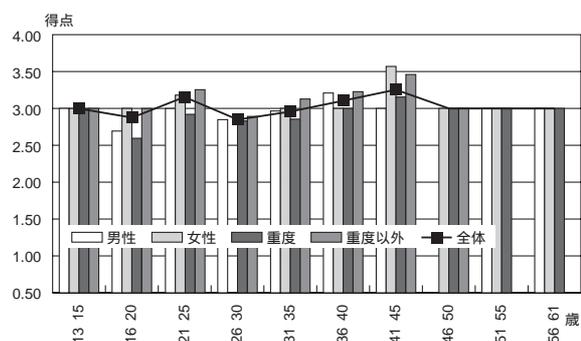


図5-30 「車内等でのマナー」の年齢別平均

## 第6節 職業準備性の年齢群別変化

第1に、「基本的ルール」「作業態度」「作業遂行力」「対人態度」および「通勤」のいずれの領域でも、その下位項目のほとんどは、年齢の上昇とともに得点が向上する。図5-1から図5-30までの「全体」結果をそれぞれの領域ごとに再掲した図5-31から図5-35からも明らかなように、対象者数の多い13から45歳までの範囲に限ると、年齢の上昇とともに得点が緩やかに上昇する下位項目は全30項目中のほとんどを占め、例外的な傾向を示すのは、基本的ルールの「継続勤務」だけである。

第2に、45歳に至るまでの変化を詳細に見ると、ほとんどの下位項目は、16-20歳あるいは20歳前半の年齢層ではむしろ低下の傾向を示した後で、それ以降は上昇に転じ、36-40歳のピークを境にして41-45歳では再度の低下を示す。

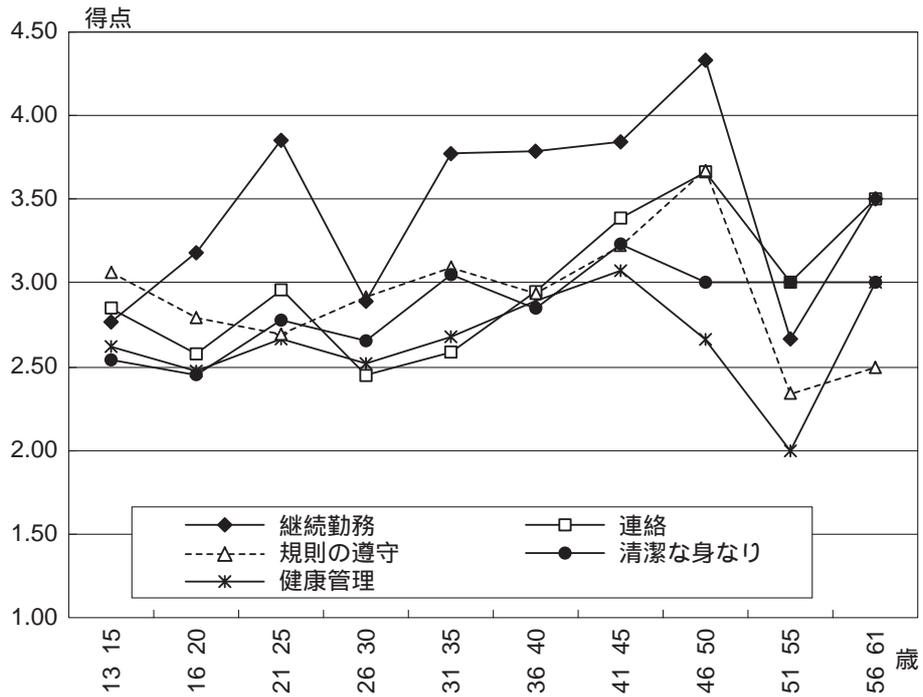


図5 31 基本的ルール「全体」結果の年齢別平均

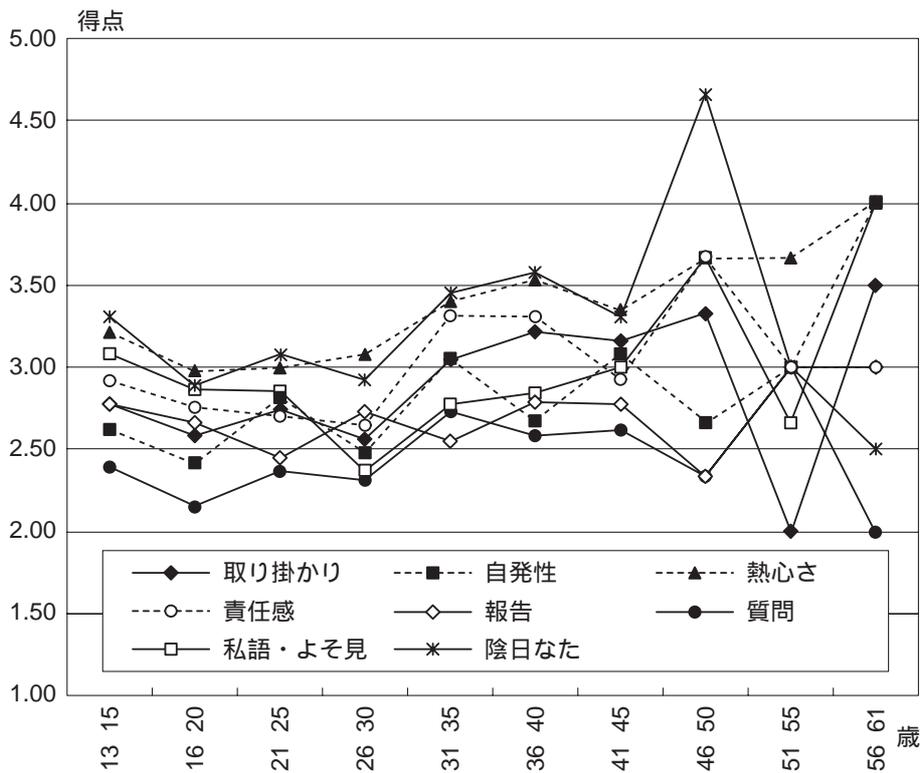


図5 32 作業態度「全体」結果の年齢別平均

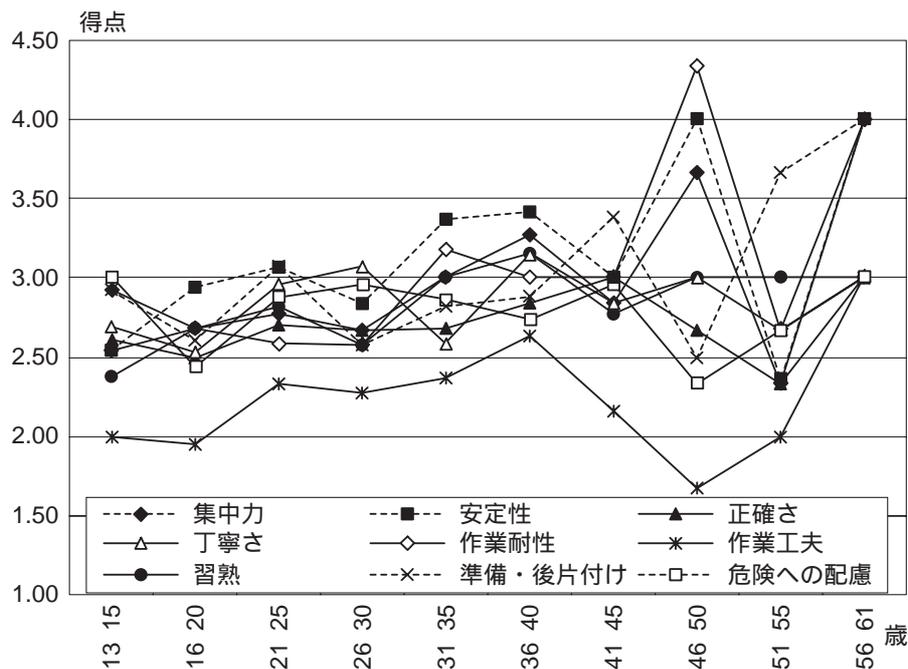


図5 33 作業遂行力の「全体」結果の年齢別平均

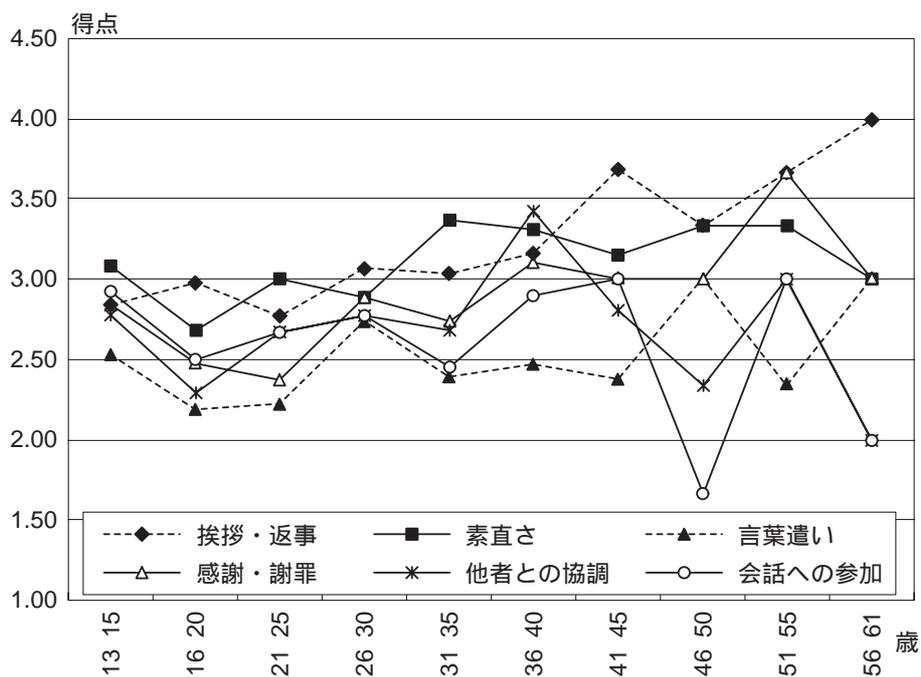


図5 34 対人態度の「全体」結果の年齢別平均

第3に、これは、言い換えると、「基本的ルール」「作業態度」「作業遂行力」などの諸側面は20代後半から30歳台前半を境にして上昇に転じることを示唆する。だが、他方で、その上昇傾向は長くは続かず、40歳代前半になると下降する傾向にある。

第4に、各年齢層ごとの性別による得点比較をした結果が、表5 1である。対象者数の多い

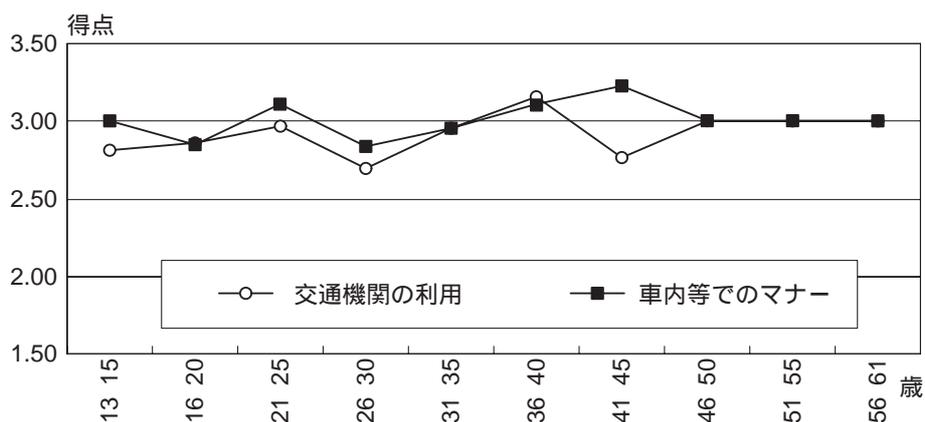


図5 35 通勤の「全体」結果の年齢別平均

13から45歳までの範囲に限ると、30項目のすべての領域に共通して、13から20歳までは女性の得点が高い傾向が強い。21歳以降については明確でないが、「作業態度」や「作業遂行力」の領域では26から35歳で男性のほうが、「対人態度」の領域では21 25歳で女性のほうが、それぞれ高得点になる傾向がある。

表5 1 職業準備訓練総合評価の「性別」結果の年齢別特徴

年 令	13 15	16 20	21 25	26 30	31 35	36 40	41 45
基本的ルール	継続勤務	男性	男性	男性	男性	男性	女性
	連絡	男性	女性	女性	男性	女性	女性
	規則の遵守	男性	女性	女性	男性	*	女性
	清潔な身なり	女性	女性	男性	*	女性	女性
	健康管理	女性	女性	男性	男性	女性	女性
作業態度	取り掛かり	女性	女性	女性	男性	男性	女性
	自発性	女性	女性	男性	男性	男性	女性
	熱心さ	男性	男性	男性	男性	女性	女性
	責任感	女性	女性	男性	男性	男性	女性
	報告	女性	女性	女性	男性	男性	男性
	質問	女性	女性	女性	男性	女性	男性
	私語・よそ見	女性	*	女性	男性	男性	女性
	陰ひなた	女性	女性	男性	男性	男性	女性
作業遂行力	集中力	女性	女性	男性	*	*	男性
	安定性	女性	女性	女性	男性	男性	女性
	正確さ	女性	女性	女性	女性	男性	男性
	丁寧さ	女性	女性	男性	男性	男性	女性
	作業耐性	女性	女性	女性	男性	男性	女性

(表5 1続き)

	作業工夫	女性	女性	女性	男性	男性	男性	女性
	習熟	女性	女性	男性	男性	男性	男性	男性
	準備・後片付け	女性	女性	男性	男性	男性	男性	女性
	危険への配慮	*	女性	男性	男性	男性	男性	男性
対人態度	挨拶・返事	女性	女性	女性	男性	女性	女性	男性
	素直さ	男性	女性	女性	女性	女性	男性	女性
	言葉遣い	女性	女性	女性	男性	男性	男性	男性
	感謝・謝罪	女性	女性	女性	男性	女性	女性	男性
	他者との協調	女性	女性	女性	女性	男性	女性	男性
	会話への参加	女性	女性	女性	男性	*	女性	*
通 勤	交通機関の利用	女性	女性	女性	男性	女性	女性	女性
	車内等でのマナー	*	女性	女性	*	男性	男性	女性

第5に、各年齢層ごとの障害程度による得点比較をした結果が、表5 2である。対象者数の多い13から45歳までの範囲に限ると、30項目のすべての領域に共通して、16 20歳は重度以外の人の得点が高い。また、「作業態度」領域の21 25歳と「作業遂行力」領域の26 30歳では重度の人のほうが、高得点になる傾向がある。

表5 2 職業準備訓練総合評価の「障害程度別」結果の年齢別特徴

年 令	13 15	16 20	21 25	26 30	31 35	36 40	41 45	
基本的ルール	継続勤務	重 度	重度以外	重度以外	重 度	*	重度以外	重 度
	連絡	*	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
	規則の遵守	*	重度以外	*	重 度	重度以外	重 度	重 度
	清潔な身なり	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	健康管理	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外
作 業 態 度	取り掛かり	*	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	*	重度以外
	自発性	重度以外	重 度	重 度	重 度	*	重度以外	重 度
	熱心さ	*	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重 度
	責任感	重 度	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	報告	重 度	重度以外	重 度	重 度	*	重度以外	*
	質問	重 度	重度以外	重 度	重 度	*	重度以外	*
	私語・よそ見	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重 度	*
	陰ひなた	重度以外	重度以外	重 度	重 度	*	重 度	重 度
作 業 遂 行 力	集中力	*	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重度以外	重 度
	安定性	重 度	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	正確さ	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外

(表5 2続き)

	丁寧さ	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重 度	重度以外
	作業耐性	重 度	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重 度	*
	作業工夫	重 度	重度以外	重 度	重 度	重 度	重 度	重度以外
	習熟	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重 度	重度以外
	準備・後片付け	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	危険への配慮	*	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重 度	重度以外
対 人 態 度	挨拶・返事	*	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重 度
	素直さ	*	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重 度
	言葉遣い	重 度	重度以外	*	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	感謝・謝罪	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	他者との協調	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
	会話への参加	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重 度	*	*
通 勤	交通機関の利用	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外
	車内等でのマナー	*	重度以外	重度以外	*	重度以外	重度以外	重度以外

# 第6章 職務試行評価の年齢別特徴

「職務試行評価票」の結果について、「A：本人の長所であると評価できる」に5点、「B：就職に支障はない」に3点、「C：改善に向けて努力を要する」に1点、AとBの中間評価に4点、BとCの中間評価に2点、を配して下位検査ごとの年齢別の平均を求めた。これらの統計数値は、「付表8：職務試行評価表」に示した。なお、同表に示すとおり、どの下位項目も、年齢別に見た対象者数が、46～50歳で2人、51～55歳で0人、56～61歳で0人と少なかった。それゆえ、以下の分析においては、対象者数が多かった13から45歳までの年齢層に焦点を当てて検討する。

## 第1節 作業的側面

「熱心な取り組み」の年齢別特徴（図6-1）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳の突出した部分を除くと、45歳に至るまで年齢とともに上昇し、41～45歳で最も高かった。②この結果は、13～15歳は41～45歳群の66%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16から25歳をのぞくどの年齢層も、女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が、26から45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

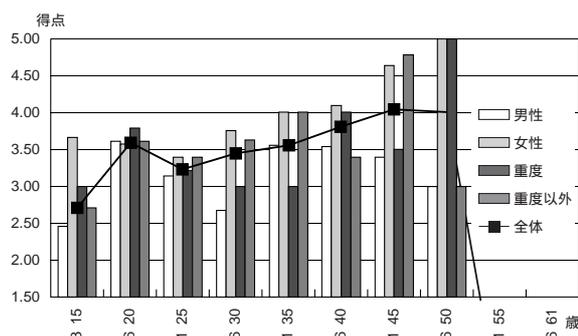


図6-1 「熱心な取り組み」の年齢別平均

「集中した取り組み」の年齢別特徴（図6-2）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳の突出のあとは21から40歳までは変化が少ない。だが、41～45歳で再び上昇に転じて最も高くなる。②この結果は、13～15歳は41～45歳群の70%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16～20歳と36～40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳

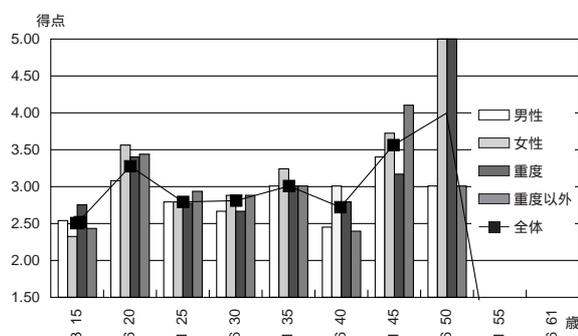


図6-2 「集中した取り組み」の年齢別平均

と36 40歳で重度の人が、41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「コンスタントな取り組み」の年齢別特徴（図6 3）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16 20歳の上昇に続いて40歳までは変化が少なくてやや下降する。だが、41 45歳で再び上昇に転じて最も高くなる。②この結果は、13 15歳は41 45歳群の61%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13 15歳、26 30歳と36 40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳で重度の人が、21 25歳と41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

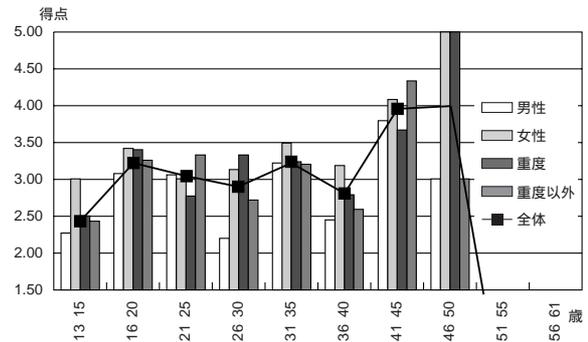


図6 3 「コンスタントな取り組み」の年齢別平均

「正確な作業」の年齢別特徴（図6 4）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16 20歳の上昇に続いて40歳までは変化が少なくてやや下降する。だが、41 45歳で再び上昇に転じて最も高くなる。②この結果は、13 15歳は41 45歳群の67%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21 25歳で男性のほうが、13 15歳、26 30歳と26から40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳と36 40歳で重度の人が、16から25歳と41 45歳では重度以外の人の方が高い傾向にある。

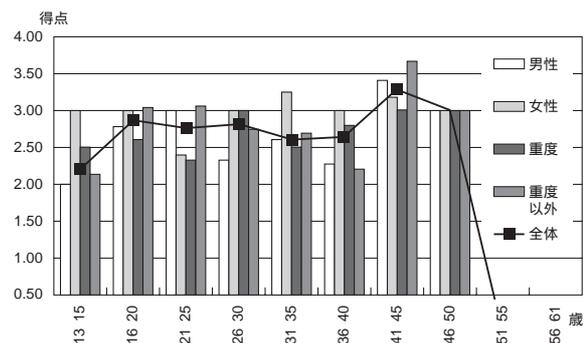


図6 4 「正確な取り組み」の年齢別平均

「指示どおりの作業」の年齢別特徴（図6 5）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までの緩やかな上昇に続いて26 30歳で著しく低下するが、その後は再び上昇に転じて、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、26 30歳は41 45歳群の43%程度である。③「男性」と「女性」の差

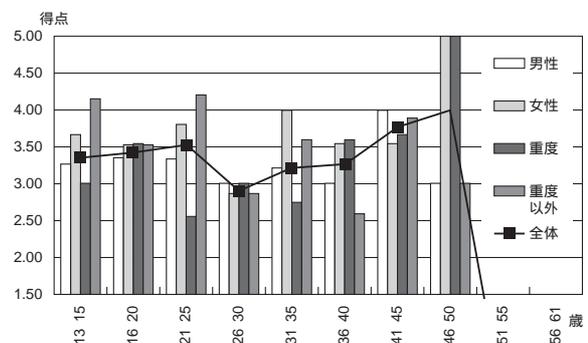


図6 5 「指示とおりの取り組み」の年齢別平均

異は、41 45歳で男性が、13 15歳、21 25歳、そして31から40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36 40歳で重度のほうが、13 15歳、21 25歳、そして31 35歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「工夫した取り組み」の年齢別特徴（図6 6）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢層も他の項目よりも著しく低い。②13から30歳までは変化はないが、それ以降の40歳までは急激に低下する。だが、その後の41 45歳では再び上昇に転じて、最も高くなる。③この結果は、36 40歳は41 45歳群の78%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、41 45歳で男性が、13から20歳で女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、31 35歳で重度のほうが、16 20歳、36 40歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「機器・部品扱いの丁寧さ」の年齢別特徴（図6 7）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から40歳までは、16 20歳の突出を除くとほとんど変化はないが、その後は上昇に転じて、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、13 15歳は41 45歳群の84%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13 15歳、26から40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳と41 45歳で重度のほうが、13 15歳、31から40歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「慣れに伴う習熟」の年齢別特徴（図6 8）は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16 20歳での著しい上昇の後は40歳

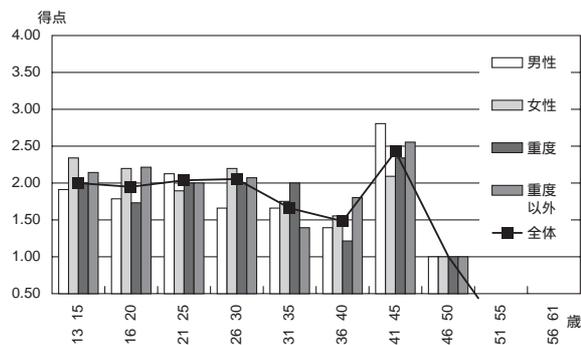


図6 6 「工夫した取り組み」の年齢別平均

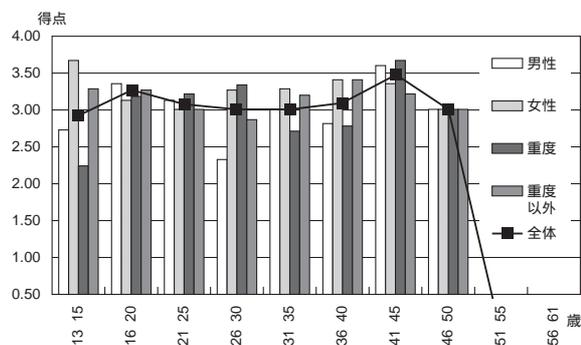


図6 7 「機器・部品扱いの丁寧さ」の年齢別平均

までは緩やかに低下する。だが、その後は上昇に転じて、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、13～15歳は41～45歳群の62%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21～25歳、31から45歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳と26～30歳で重度のほうが、21～25歳と41～45歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「終了・事故・異常の報告」の年齢別特徴(図6-9)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から30歳までは低下するが、その後の45歳までは上昇に転じ、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の92%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26～30歳と41～45歳では男性が、35～40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16～20歳で重度のほうが、13～15歳、21から30歳、そして36～40歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「指示理解困難時の質問」の年齢別特徴(図6-10)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは上昇の傾向にあるが、26～30歳で著しく低下する。その後は45歳までは上昇に転じ、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の78%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21～25歳と41～45歳では男性が、13～15と36～40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16～20歳で重度のほうが、13～15歳、31から45歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「作業準備・後片付け」の年齢別特徴(図

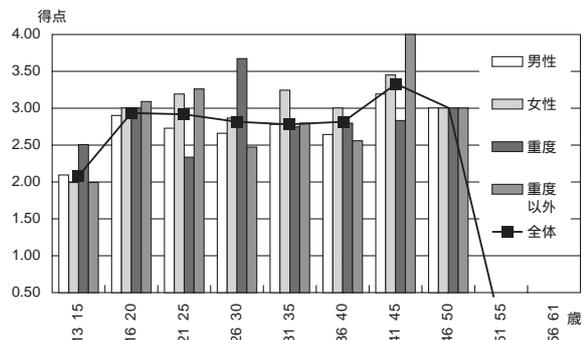


図6-8 「慣れに伴う習熟」の年齢別平均

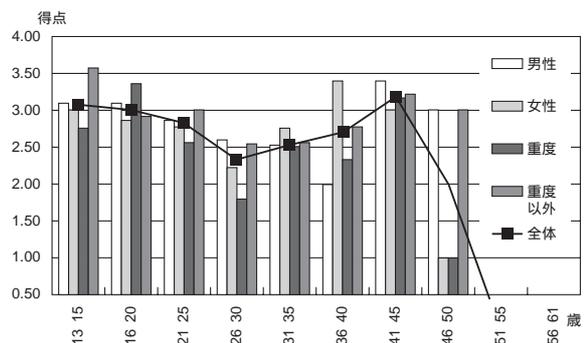


図6-9 「終了・事故・異常の報告」の年齢別平均

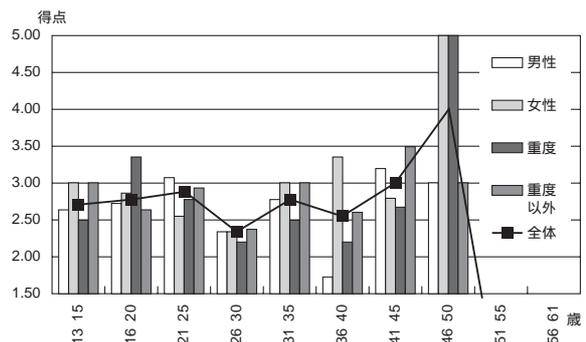


図6-10 「指示理解困難時の質問」の年齢別平均

6 11)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは上昇の傾向にあるが、26 30歳で著しく低下する。その後は上昇に転じるが31から45歳では大きな変化はなく、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、26 30歳は41 45歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13 15歳では男性が、21 25歳と31 35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳で重度のほうが、16から25歳と36 40歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

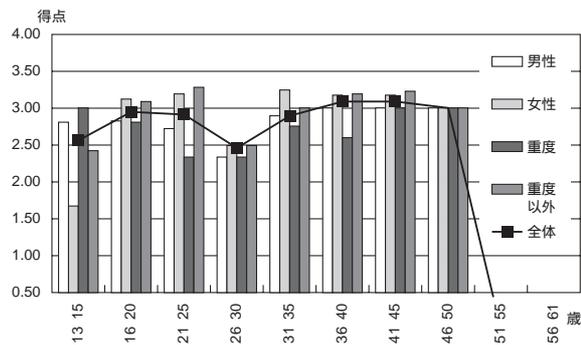


図6 11 「作業準備・後片付け」の年齢別平均

「危険への配慮と対応」の年齢別特徴(図6 12)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13 15歳よりも16 20歳のほうが減少する。21 25歳の突出を除くと、20から35歳までは大きな差異はない。その後は上昇に転じ、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、16 20歳は41 45歳群の72%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16 20歳、31から40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、あまりない。

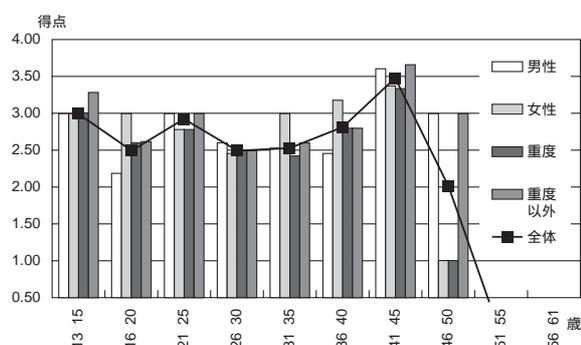


図6 12 「危険への配慮と対応」の年齢別平均

「仕事への責任感」の年齢別特徴(図6 12)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、どの年齢層も他の項目と比較して低い。②13から45歳まではゆるやかな上昇の傾向にあり、41 45歳で最も高くなる。③この結果は、13 15歳は41 45歳群の80%程度である。④「男性」と「女性」の差異は、31から45歳では女性のほうが高く、また、⑤「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳で重度のほうが、13 15歳、21 25歳、31から45歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

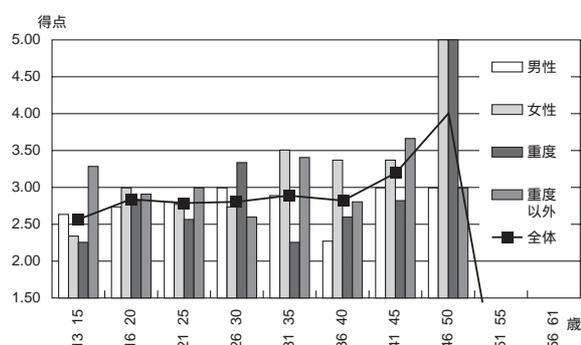


図6 13 「仕事への責任感」の年齢別平均

## 第2節 社会的側面

### 1. 勤労習慣

「欠勤・遅刻をしない」の年齢別特徴(図6-14)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳まではゆるやかに上昇するが、それ以降の35歳までは急激に低下する。だが、36-40歳では再度の上昇に転じて最も高くなるが、41-45歳でまた低下する。②この結果は、31-35歳は36-40歳群の83%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳で男性が、16-20歳、31から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、36-40歳で重度のほうが、13から20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「欠勤・遅刻・早退の連絡」の年齢別特徴(図6-15)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13-15歳よりも16-20歳のほうで低下し、21-25歳での高得点を挟んで26-30歳でも変わらない。だが、その後は45歳まで上昇に転じ、41-45歳で最も高くなる。②この結果は、31-35歳は41-45歳群の84%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳で男性が、16-20歳、26から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13から20歳で重度以外の人の方が高い傾向にある。

「職場規則・規律の遵守」の年齢別特徴(図6-16)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳に至るまでゆるやかに下降し、26-30歳の上昇を挟んで、35歳まで

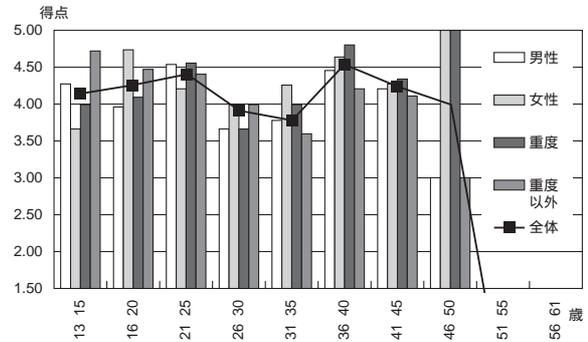


図6-14 「欠勤・遅刻をしない」の年齢別平均

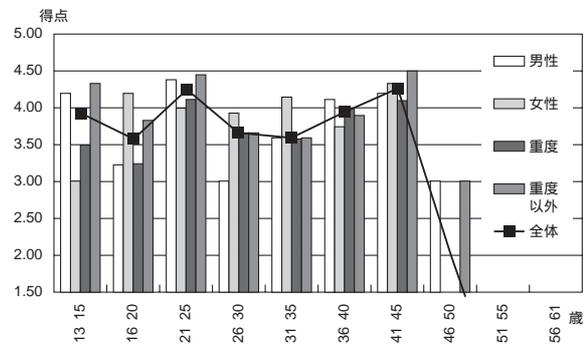


図6-15 「欠勤・遅刻・早退等の連絡」の年齢別平均

続く。だが、それ以降の45歳までは上昇に転じて、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、31～35歳は41～45歳群の82%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、16～20歳、26歳から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26～30歳と36～40歳で重度のほうが、その他の年齢層では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「清潔な身なり」の年齢別特徴(図6-17)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13歳から25歳に至るまでゆるやかに上昇するが、それ以降の35歳までは下降する。だが、その後は再び上昇に転じて、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、13～15歳は41～45歳群の88%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳で男性が、16歳から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～16歳と31～35歳、そして41～45歳の年齢層では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

## 2. 社会性・対人態度

「日常の挨拶や返事」の年齢別特徴(図6-18)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳までの上昇に続いてそれ以降は26～30歳まで下降する。だが、その後は45歳に至るまで上昇に転じ、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13歳から20歳で男性が、21～25歳、31歳から40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、16

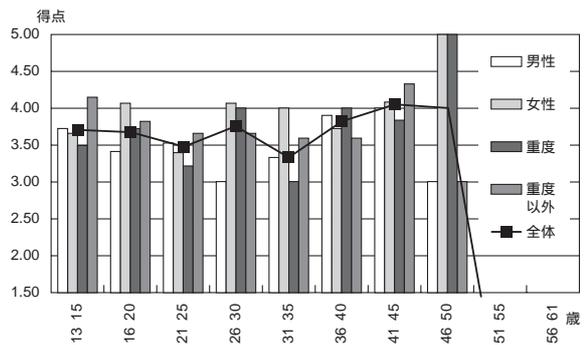


図6-16 「職場規則・規律の遵守」の年齢別平均

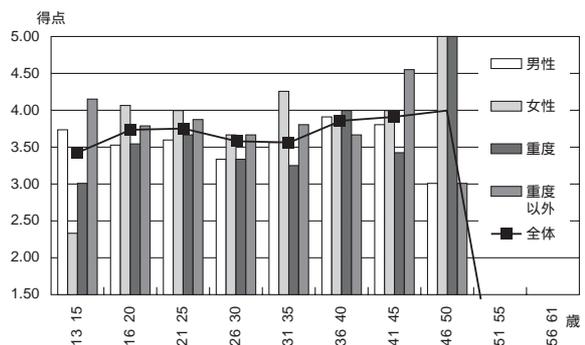


図6-17 「清潔な身なり」の年齢別平均

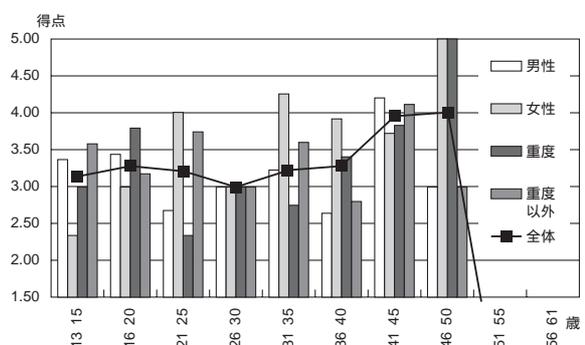


図6-18 「日常の挨拶や返事」の年齢別平均

20歳と36 40歳で重度の人が、13 15歳、21 25歳そして31 35歳の年齢層では重度以外の人のほうが高い傾向にある。

「指示・注意への従順」の年齢別特徴(図6 19)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16 20歳までの上昇後に21 25歳で最も低くなる。だが、その後は36 40歳での低下を経て45歳に至るまで上昇に転じ、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、21 25歳は41 45歳群の79%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、21から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26 30歳と36 40歳で重度の人が、21 25歳と31 35歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「他者に迷惑をかけない」の年齢別特徴(図6 20)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは下降して21 25歳で最も低くなる。だが、その後は26 30歳での突出を経て45歳に至るまで上昇に転じ、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、21 25歳は41 45歳群の85%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13 15歳で男性が、31 35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13 15歳と21から35歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「周囲の人との協調」の年齢別特徴(図6 21)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16 20歳までの上昇後に21 25歳で最も低くなる。だが、その後は26 30歳での突出を経て45歳に至るまで上昇に転じ、41 45歳で最も高くなる。②この結果は、21 25歳は41 45歳群の79%程度である。③「男

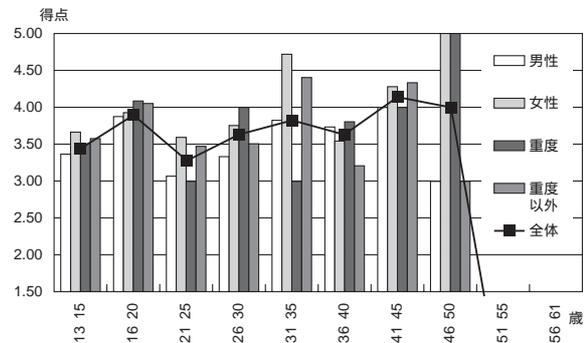


図6 19 「指示・注意への従順」の年齢別平均

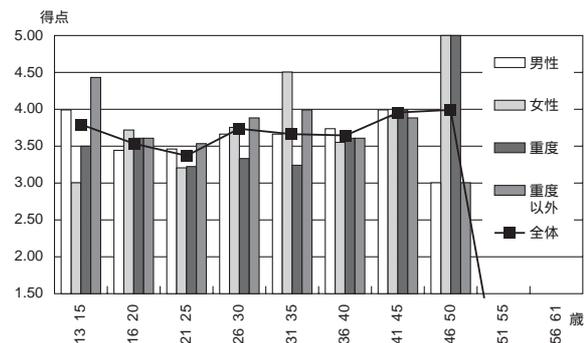


図6 20 「他者に迷惑をかけない」の年齢別平均

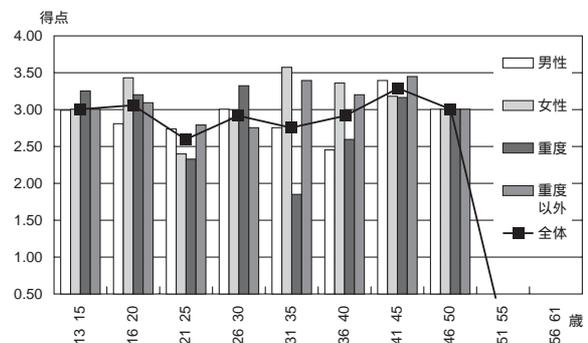


図6 21 「周囲の人との協調」の年齢別平均

性」と「女性」の差異は、16～20歳と31から40歳で女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、26～30歳で重度の人が、21～25歳と31から45歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

「休憩時やレクへの参加」の年齢別特徴(図6-22)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13から25歳までは下降して21～25歳で最も低くなる。だが、その後は26～30歳での突出を経て45歳に至るまで上昇に転じ、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、21～25歳は41～45歳群の66%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳で男性が、31から40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳と21から30歳では重度の人が、31から40歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

### 3. 労働の理解等

「仕事・作業への関心」の年齢別特徴(図6-23)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16～20歳までの上昇後に21～25歳で最も低くなる。だが、その後は31～35歳での突出を経て36歳から45歳に至るまで急激な上昇に転じ、41～45歳で最も高くなる。②この結果は、26～30歳は41～45歳群の73%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13～15歳で男性が、21から30歳と36から45歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13～15歳で重度の人が、21～25歳と31から45歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

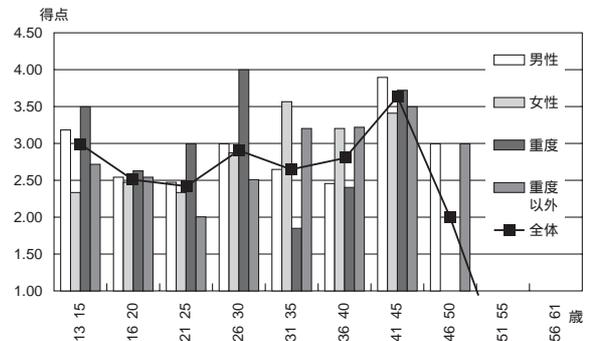


図6-22 「休憩時やレクへの参加」の年齢別平均

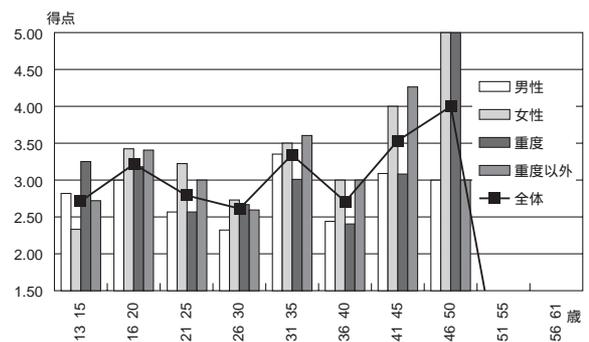


図6-23 「仕事・作業への関心」の年齢別平均

「働くことの意義の理解」の年齢別特徴(図6-24)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16-20歳までの上昇後に26-30歳で最も低くなる。だが、その後は45歳に至るまで上昇に転じ、41-45歳で最も高くなる。②この結果は、26-30歳は41-45歳群の68%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳と21-25歳で男性が、16-20歳と26から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳と41-45歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

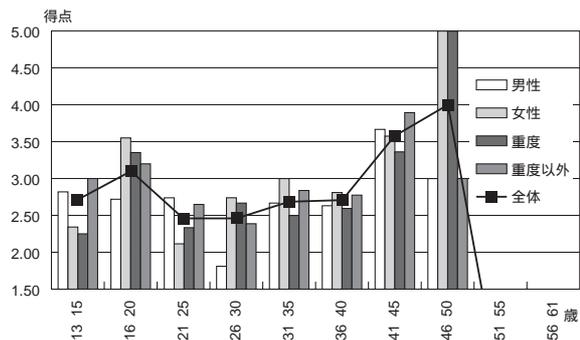


図6-24 「働くことの意義の理解」の年齢別平均

「健康の自己管理」の年齢別特徴(図6-25)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、16-20歳まではやや低下するが、その後は31-35歳で突出して最も高くなるものの、45歳に至るまで大きな変化はない。②この結果は、16-20歳は31-35歳群の87%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、13-15歳と41-45歳で男性が、16-20歳と26から35歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重度以外」の差異は、13-15歳と26-30歳で重度の人が、21-25歳と41-45歳の年齢層では重度以外の人の方が高い傾向にある。

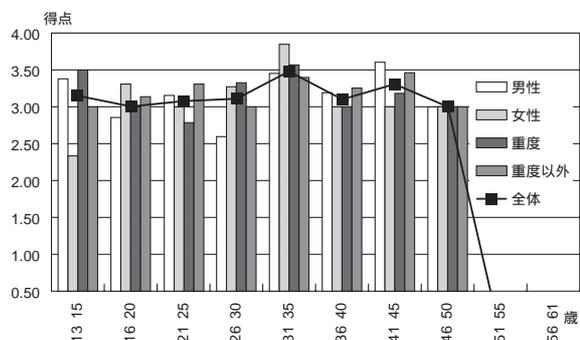


図6-25 「健康の自己管理」の年齢別平均

「家庭の援助指導体制」の年齢別特徴(図6-26)は、以下のとおりである。①「全体」の結果は、13-15歳よりも16-20歳のほうで低下するが、21-25歳で最も高くなる。だが、26-30歳での低下を挟んで、その後は45歳まで緩やかに低下する。②この結果は、16-20歳は21-25歳群の76%程度である。③「男性」と「女性」の差異は、26から40歳では女性のほうが高く、また、④「重度」と「重

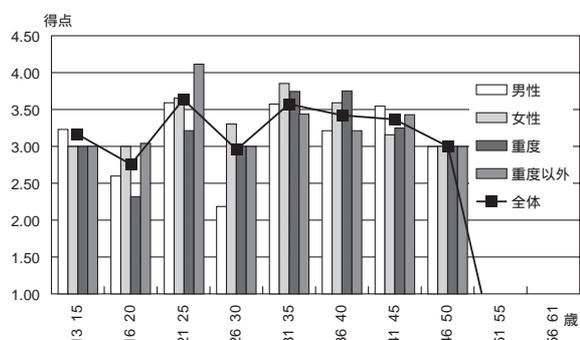


図6-26 「家庭の援助指導体制」の年齢別平均

度以外」の差異は、36～40歳で重度の人が、16から25歳で重度以外の人のほうが高い傾向にある。

### 第3節 職務試行評価の年齢別特徴

第1に、「作業的側面」の下位項目の多くは、16～20歳でピークを迎えた後で下降するものの、31から45歳に至るまでに上昇する。図6-1から図6-13までの「全体」結果をそれぞれの領域ごとに再掲した図6-27と図6-28からも明らかなように、対象者数の多い13から45歳までの範囲に限ると、年齢の上昇とともに得点が緩やかに上昇する下位項目は全13項目中のほとんどを占める。

第2に、こうした傾向と異なる例外的なものは、「工夫した取り組み」と「危険への配慮と対応」だけである。前者は、31から40歳にかけて下降するが、それでも、41～45歳には著しく上昇に転じる。また、後者の下位項目は、16～20歳で一時的な下降を示すが、それでも、31歳以降は上昇に転じる。

第3に、「勤労習慣」の下位項目は、21～25歳でピークを迎えた後に下降し、31から45歳に至るまでに上昇に転じる傾向にある。図6-14から図6-17までの「全体」結果をそれぞれの領域ごとに再掲した図6-29では、特に、26から35歳で低下した後で上昇に転じる傾向が著しい。

第4に、こうした傾向と異なる例外的なものは、「職場規律・規則の遵守」であり、35歳に至

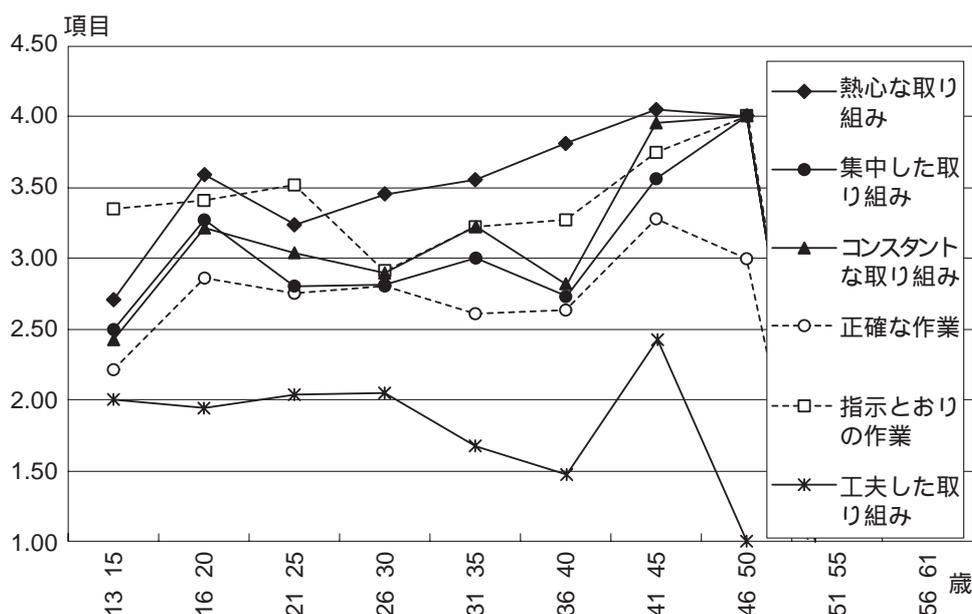


図6-27 作業的側面の「全体」結果の年齢別平均 1

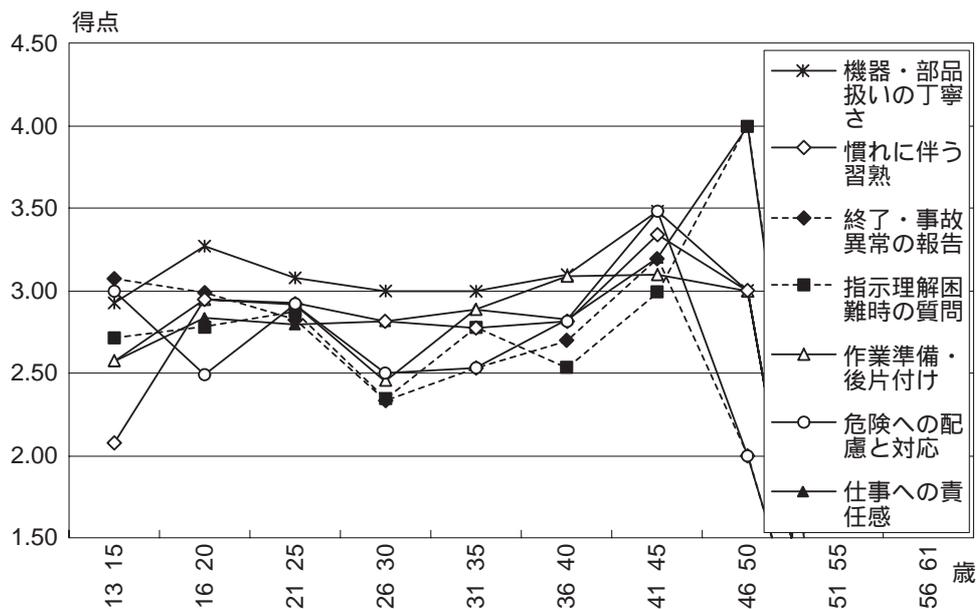


図6 28 作業的側面の「全体」結果の年齢別平均 2

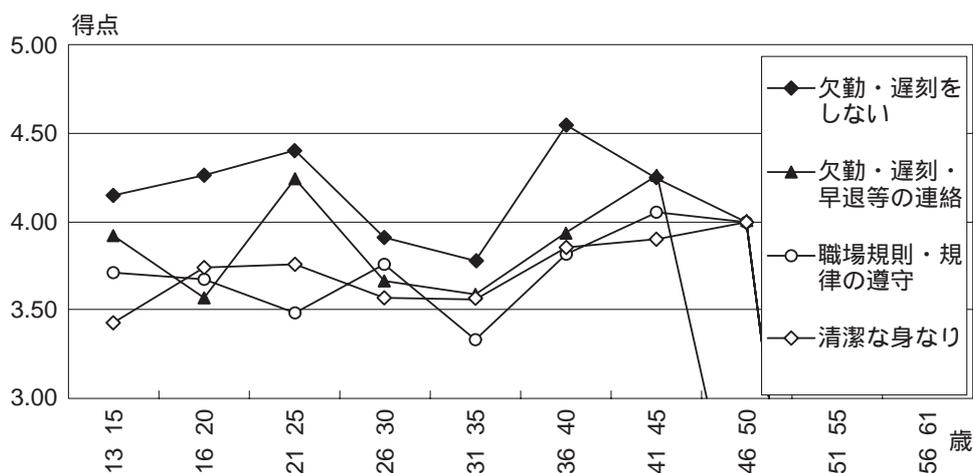


図6 29 勤労習慣の「全体」結果の年齢別平均

るまでは下降する傾向にあるが、その後は急激に上昇に転じる。

第5に、「社会性・対人態度」の下位項目は、21 25歳、あるいは26 30歳で最も下降するが、どの下位項目も、その後は上昇に転じる。図6 18から図6 22までの「全体」結果をそれぞれの領域ごとに再掲した図6 30では、「日常の挨拶や返事」は26 30歳で、その他の5項目は21 25歳を境に上昇に転じる。

第6に、「労働の理解」の下位項目の全体的な傾向は年齢の変化とともに上昇する傾向にある。図6 23から図6 26までの「全体」結果をそれぞれの領域ごとに再掲した図6 31では、26 30歳まで低下した後で上昇に転じる「働くことの意義の理解」「仕事・作業への関心」や、31 35歳を境に低下に転じる「健康の自己管理」「過程の援助指導体制」などに類型化される。

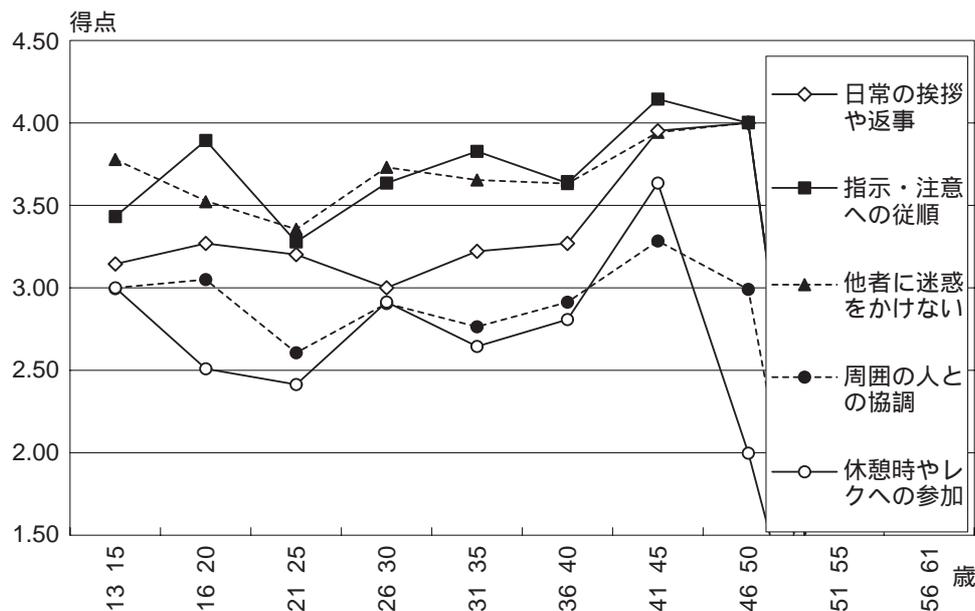


図6 30 社会性・対人態度の「全体」結果の年齢別平均

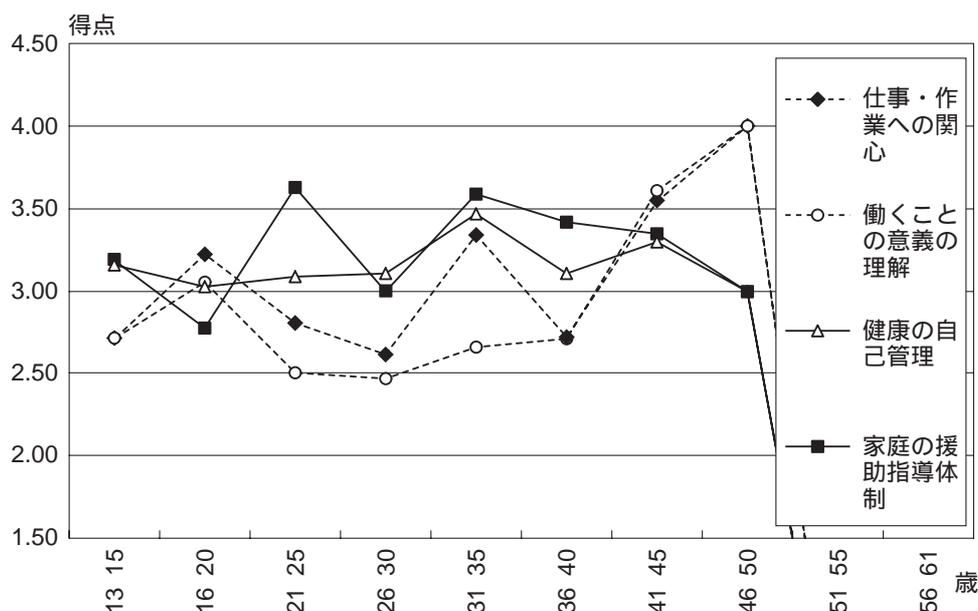


図6 31 労働の理解の「全体」結果の年齢別平均

第7に、どの年齢層でも最も低い得点は「工夫した取り組み」、最も高い得点は「欠勤・遅刻・早退等の連絡」だった。

第8に、各年齢層ごとの性別による得点比較をした結果が、表6 1である。対象者数の多い13から45歳までの範囲に限ると、26項目のすべての領域に共通して、16 20歳と26から40歳にかけて女性の得点が高い傾向が強い。領域別に見ると、「作業的側面」はこのいずれの年齢層でも、「勤労習慣」と「労働の理解等」は16 20歳と26から35歳で、「社会性・対人態度」は31 35歳で、女性のほうが高得点になる傾向がある。

表6 1 職務試行法評価の「性別」結果の年齢別特徴

年	令	13 15	16 20	21 25	26 30	31 35	36 40	41 45
作業的側面	熱心な取り組み	女性	男性	女性	女性	女性	女性	女性
	集中した取り組み	男性	女性	*	女性	女性	女性	女性
	コンスタントな取り組み	女性	女性	男性	女性	女性	女性	女性
	正確な作業	女性	女性	男性	女性	女性	女性	男性
	指示とおりの作業	女性	女性	女性	男性	女性	女性	男性
	工夫した取り組み	女性	女性	男性	女性	女性	女性	男性
	機器・部品扱いの丁寧さ	女性	男性	男性	女性	女性	女性	男性
	慣れに伴う習熟	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
	終了・事故・異常の報告	男性	男性	男性	男性	女性	女性	男性
	指示理解困難時の質問	女性	女性	男性	*	女性	女性	男性
	作業準備・後片付け	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
	危険への配慮と対応	*	女性	男性	男性	女性	女性	男性
	仕事への責任感	男性	女性	男性	男性	女性	女性	女性
勤労習慣	欠勤・遅刻をしない	男性	女性	男性	女性	女性	女性	女性
	欠勤・遅刻・早退等の連絡	男性	女性	男性	女性	女性	男性	女性
	職場規則・規律の遵守	男性	女性	男性	女性	女性	男性	女性
	清潔な身なり	男性	女性	女性	女性	女性	男性	女性
社会性・対人態度	日常の挨拶や返事	男性	男性	女性	*	女性	女性	男性
	指示・注意への従順	女性	女性	女性	女性	女性	男性	女性
	他者に迷惑をかけない	男性	女性	男性	女性	女性	男性	男性
	周囲の人との協調	*	女性	男性	男性	女性	女性	男性
	休憩時やレクへの参加	男性	男性	男性	男性	女性	女性	男性
労働の理解等	仕事・作業への関心	男性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
	働くことの意義の理解	男性	女性	男性	女性	女性	女性	男性
	健康の自己管理	男性	女性	男性	女性	女性	男性	男性
	家庭の援助指導体制	男性	女性	女性	女性	女性	女性	男性

第9に、各年齢層ごとの障害程度による得点比較をした結果が、表6 2である。対象者数の多い13から45歳までの範囲に限ると、26項目のすべての領域に共通して、21 25歳、31 35歳、41 45歳で重度以外の人得点が高い。

表6 2 職務試行法評価の「障害程度別」結果の年齢別特徴

年	令	13 15	16 20	21 25	26 30	31 35	36 40	41 45
作業的側面	熱心な取り組み	重 度	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外
	集中した取り組み	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	*	重 度	重度以外
	コンスタントな取り組み	重 度	重 度	重度以外	重 度	重 度	重 度	重度以外
	正確な作業	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	指示とおりの作業	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	工夫した取り組み	重度以外	重度以外	*	重度以外	重 度	重度以外	重度以外
	機器・部品扱いの丁寧さ	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重度以外	重 度
	慣れに伴う習熟	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	終了・事故・異常の報告	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外
	指示理解困難時の質問	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外
	作業準備・後片付け	重 度	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外
	危険への配慮と対応	重度以外	重度以外	重度以外	*	重度以外	*	重度以外
	仕事への責任感	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
勤 労 習 慣	欠勤・遅刻をしない	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重 度	重 度
	欠勤・遅刻・早退等の連絡	重度以外	重度以外	重度以外	*	重度以外	重 度	重度以外
	職場規則・規律の遵守	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	清潔な身なり	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重度以外	重 度	重度以外
社会性・対人態度	日常の挨拶や返事	重度以外	重 度	重度以外	*	重度以外	重 度	重度以外
	指示・注意への従順	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外
	他者に迷惑をかけない	重度以外	*	重度以外	重度以外	重度以外	*	重 度
	周囲の人との協調	重 度	重 度	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
	休憩時やレクへの参加	重 度	重 度	重 度	重 度	重度以外	重度以外	重 度
労働の理解等	仕事・作業への関心	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
	働くことの意義の理解	重度以外	重 度	重度以外	重 度	重度以外	重度以外	重度以外
	健康の自己管理	重 度	重度以外	重度以外	重 度	重 度	重度以外	重度以外
	家庭の援助指導體制	*	重度以外	重度以外	*	重 度	重 度	重度以外

# 第7章 まとめと結論

## 第1節 年齢群別の変化の特徴

以上の結果をもとに、各種の検査結果の年齢群別の変化の特徴をまとめると、次のことが明らかになった。なお、性別および障害程度が年齢群別の変化の特徴を規定していることは各章ごとのまとめからも示唆されるが、ここでは、これらの要因については言及しないで、年齢変化に伴う曲線の全体的な傾向に焦点を当てることとする。

### 1. 知能

第1に、知能の年齢群別の変化は、年齢の上昇とともに一義的に低下する傾向が強い。「田中ビネー」「鈴木ビネー」「WAIS R」のいずれの結果も、知能検査で測定された「IQ値」は年齢の上昇とともに低下する。

第2に、「知能」の構成因子によっては、年齢の上昇に伴う低下の傾向が異なることが見出された。「WAIS R」の下位検査で示される「知能」因子は、①年齢とともに一義的に低下する傾向があるもの（言語性検査の「算数」「理解」、動作性検査の「完成」「配列」）、②10代後半から20代前半の年齢層で最大となった後で低下を示すが、30代前半から後半にかけて再度の上昇に転じるもの（言語性検査の「類似」「数唱」、動作性検査の「模様」「符号」）、③10代後半から20代前半での最大傾向だけが著しいもの（動作性検査の「組み合わせ」）、④30代で上昇に転じる傾向だけが著しいもの（言語性検査の「単語」「知識」）などに分類される。

### 2. 作業検査

第1に、上肢と手腕の運動能力に依存する作業検査では、20代前半層を最高にその後は、一義的に下降する。労働省編一般職業適性検査の手腕作業検査盤（「M検査（差し込み）」「N検査（差し替え）」）や、指先器用検査盤（「O検査（組み合わせ）」「P検査（分解）」）のいずれもこの傾向が著しい。

第2に、高い巧み性と両手共応の動作を必要とする度合いの大きい上肢・手腕の運動能力ほど、年齢の変化とともに著しい上昇と下降を示す。これは、巧み性と両手共応動作の必要性が高い指先器用検査盤の結果のほうが、それらの能力の必要度の低い手腕作業検査盤の結果よりも、年齢の変化とともに著しい上昇と下降を示すためである。

第3に、実際作業で使用する器具や部品を用いた検査器具では、年齢の上昇に伴う成績の変化

は一定せず、検査の種類によって異なる。これは、ワークサンプル検査の結果は、①年齢の上昇と共に成績が変動するもの(「ボルトナットの組み立て」「ボルトナットの分解」「十字ドライバーのボルト取り付け」「十字ドライバーのボルトはずし」「ワッシャーの選別」「紐かけ検査」と、②変動の少ないもの(「蛇口の組み立て」「蛇口の分解」「ピンセットによる差し込み」「大小分類」「タッピング」)に分類されるためである。

第4に、年齢の変化に伴う成績の変動が少ないワークサンプル検査では、10代の年齢層で変動は認められるものの、それ以降は、ほぼ年齢の上昇に関わらず一定の作業成績だった。

第5に、年齢の変化に伴う成績の変動が著しいワークサンプル検査では、いずれも20代前半層でのピークに続く20代後半層での著しい低下があり、その後再び上昇に転じて30代後半から40代前半層で2度目のピークを迎える。

### 3．社会生活能力

第1に、社会生活能力は、年齢の上昇とともに緩やかに向上するが、40代後半層で著しく低下する。これは、「意思表示と交換能力」「移動能力」「日常生活能力」のいずれの領域にも認められるが、特に、「意思表示と交換能力」と「日常生活能力」は40代後半の時点での低下が著しい。

第2に、社会生活能力を構成する下位項目のすべてが、こうした年齢に伴う変化を示すのではない。下位項目の年齢変化には幾つかの類型が見られ、①どの年齢層でも得点が高く、40代後半での著しい低下も認められないもの(「自分の要求の表明」「自分の姓名の表明」「一人で外出」「特定の場所への往復」「自分と他人の物の区別」「簡単な電気機器の使用」)、②どの年齢層でも得点が低く、40代後半でも著しく低下するもの(「手紙の筆記」「尋ねながら目的地に到着」「地図を見て目的地に到着」「事件やニュースへの関心」)、③年齢の上昇に伴って成績は少しずつ上昇するが、40代後半層で著しく低下するもの(「見聞したことの表明」「他者への伝言」「ラジオやテレビの理解」「時間の観念に即した行動」「事件やニュースへの関心」「尋ねながら目的地に到達」「地図を見て目的地に到達」)などに類型化できる。

第3に、これらの類型化された能力の年齢変化は、①では、早期の発達段階で獲得されて高齢になっても低下しないこと、②では、知能の低下が直接的な影響を及ぼしていること、③では、社会生活の遂行とともに向上すること、が示唆される。

第4に、①を除くほとんどの項目は、40代前半層までの上昇傾向から一転して、40代後半層になると著しく低下する。こうした急激な低下は、個人の能力だけに起因すると見るよりも、むしろ、本人の社会生活能力を支えてきた家族や親族等の同居者など、周囲の支援体制の崩壊という環境要因に起因すると見なしたほうが適切かもしれない。言い換えると、家族の高齢化や支援者との離別による社会的支えを失った結果が反映されている、と考えるほうが適切かもしれない。

## 4．職業準備性

第1に、職業準備性を構成する「基本的ルール」「作業態度」「作業遂行力」「対人態度」および「通勤」のいずれの領域も、年齢の上昇とともに向上する。例外的な傾向を示すのは、基本的ルールの「継続勤務」だけである。

第2に、年齢変化を詳細に見ると、「基本的ルール」「作業態度」「作業遂行力」などの諸側面は、10代後半から20代前半の年齢層でやや低下の傾向を示した後で、20代後半から30歳台前半を境にして上昇に転じる。だが、その上昇傾向は長くは続かず、40歳代前半層になると下降する。

## 5．職務試行評価

第1に、「作業的側面」のほとんどは、10代後半でピークを迎えた後で下降するが、その後に上昇に転じて30代から40代前半層に至るまで上昇する。「工夫した取り組み」や「危険への配慮と対応」でこれらの変化が表出する年齢層にズレが認められるものの、基本的には、年齢変化にともなう、「上昇 下降 再上昇」の傾向は一致する。

第2に、「勤労習慣」も、20代前半でピークを迎えた後に下降するが、その後に上昇に転じて30代から40代前半層に至るまで上昇する。特に、20代後半から30代前半で低下した後、上昇に転じる傾向が著しい。

第3に、「社会性・対人態度」も、20代前半から後半層にかけて最も下降するが、その後は上昇に転じる。

第4に、「労働の理解」は、①20代後半までの低下の後で上昇に転じる「働くことの意義の理解」「仕事・作業への関心」や、②30代前半を境にそれまでの上昇から低下に転じる「健康の自己管理」「家庭の援助指導体制」、③どの年齢層でも最も低い「工夫した取り組み」や、最も高い「欠勤/遅刻/早退などの連絡」、などに類型化できる。

## 第2節 年齢変化曲線を規定するもの

### 1．検査の意味すること

ここで得られた各種の検査結果は、労働適応能力の要素としての心身機能の要素部分に対する年齢変化と、実際の職務遂行の能力に対する年齢変化を示していると思なすことができよう。

まず、「知能」や「作業検査」の結果は、労働適応能力の要素としての心身機能の中でも、知能や上肢・手腕の運動能力などの、ごく限られた要素についての年齢変化の曲線を反映している。次に、「社会生活能力」の結果も、労働適応能力を維持する上では不可欠と考えられる、意

思表示と交換能力、移動能力、日常生活能力などを構成する各種の要素について、それらを総合的に捉えた年齢変化の曲線を反映している。さらに、「職業準備性」の結果も、基本的ルール、作業態度、作業遂行力、対人態度および通勤などの、労働適応能力の各種の要素が統合された側面を捉えているが、模擬的な作業場内での評価であることから、必ずしも、実際場面での職務遂行能力を反映している年齢変化の曲線とは言えない。これらに対して、「職務試行評価」の結果は、実際の職場での評価に基づいており、現実の職務遂行能力を反映した年齢変化の曲線である。

言い換えると、「職務試行評価」の結果は実際場面での職務遂行能力の結果を真に反映している。これに対して、「職業準備性」の結果は実際場面を模擬的に再現した中での評価であり、「社会生活能力」の結果は労働適応能力構成する各種の心身機能の総合的な評価、「知能」や「作業検査」の結果はそうした労働適応能力の個別的な要素としての限られた側面の評価である。

このことは、「職務試行評価」の結果を従属変数と見なし、「職業準備性」「社会生活能力」「知能」「作業検査」などの結果を独立変数と見なすと、前者の職務遂行に伴う年齢変化曲線は後者の要素的な労働適応能力の示す年齢変化曲線がどのように反映されているか、あるいは、規定されているか、という課題を提起する。

## 2 . 年齢変化曲線に関する仮説

従属変数と見なした「職務試行評価」の結果で特徴的なことは、10代前半から40代後半までの年齢変化曲線では、①年齢変化とともに「上昇 下降 再上昇」の傾向があり、生涯的にみると職務遂行能力は成長の過程と衰退の過程をたどること、また、②10代後半から20代前半と30代から40代前半層に至る、2つのピークが見出されたことである。特に、「作業的側面」は10代後半で、「勤労習慣」は20代前半で、「社会性・対人態度」も10代後半で、それぞれピークを迎えた後で下降するが、その後に上昇に転じて30代から40代前半層に至るまで上昇した。

また、これと類似した傾向は、実際の作業を模擬したワークサンプル検査の「ボルトナットの組み立て」「ボルトナットの分解」「十字ドライバーのボルト取り付け」「十字ドライバーのボルトはずし」「ワッシャーの選別」「紐かけ検査」などの結果にも示され、20代前半層と30代後半から40代前半層での2度のピークを示す年齢変化曲線がある。

では、年齢変化とともに、こうした、①職務遂行能力が成長の過程と衰退の過程をたどり、また、②成績に2つのピークが見出されるのはなぜだろうか。

これらのうちで、前者の、実際の職務遂行能力の年齢変化に成長と衰退の過程が生ずることに関して、Welford (1958) と彼のモデルを改作したBaugher (1978) は、説得力のある仮説を提示している (雇用職業総合研究所1985)。

それによれば、第1に、職務の身体的要件と経験的要件では、職務遂行能力の年齢変化曲線が

違うとするものである。図7-1で示すように、曲線Aは、身体的要因の強い職務で、職務遂行能力の頂点は成人期の初期に表われ、その後に下降する。他方で、曲線Bは、経験的要因の強い職務で、職務遂行能力は生涯を通じて上昇する。そして、一般的には、これら二つの要因の程度によって、職務遂行能力の年齢変化曲線が変わってくるとしている。

第2に、図7-2と図7-3で示すように、職務課題の難易度によって、身体的能力と経験的能力のいずれも曲線が変化することを示している。

第3に、図7-4で示すように、①心身機能の中でも身体的衰退を反映し易い生物学的要因の強い職務では、曲線Aのように、20代前半がピークになり、30から50歳代で急速に低下し、65歳以降は比較的ゆるやかに低下する。②経験的要因の強い職務では、曲線Bのように、職務経験の蓄積が職務遂行を助けるために、身体機能の低下があっても年齢とともに改善されていく。また、40歳代以降は新規の職務経験の機会が減衰するとともに学習内容の忘却が加速されることか

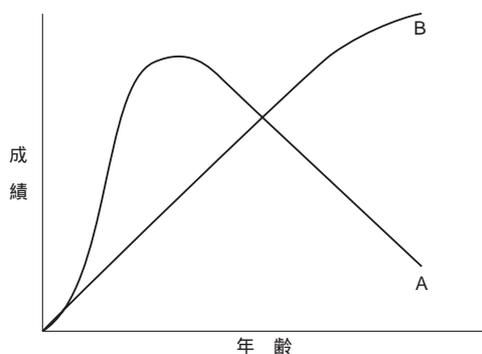


図7-1 身体的能力(A)と経験的能力(B)にもとづく仕事の成績を年齢と関係づける仮想的曲線 (Welford, 1958)

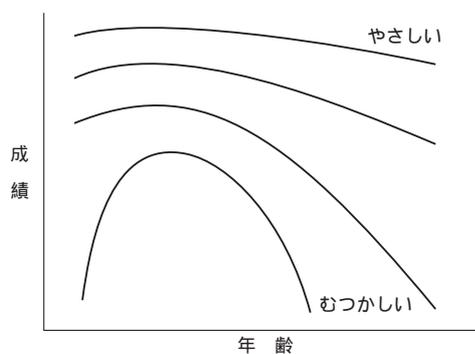


図7-2 身体的能力にもとづく仕事の成績と年齢とを関係づける仮想的曲線。(限界要因を考慮した場合) (Welford, 1958)

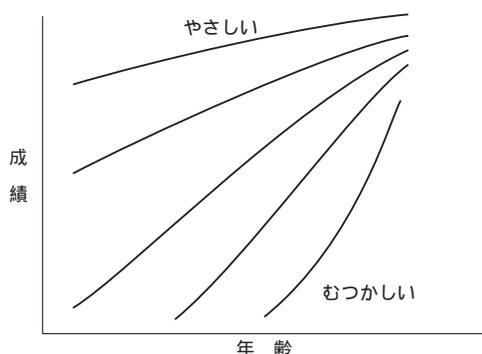


図7-3 経験的能力にもとづく仕事の成績と年齢とを関係づける仮想的曲線。(限界要因を考慮した場合) (Welford, 1958)

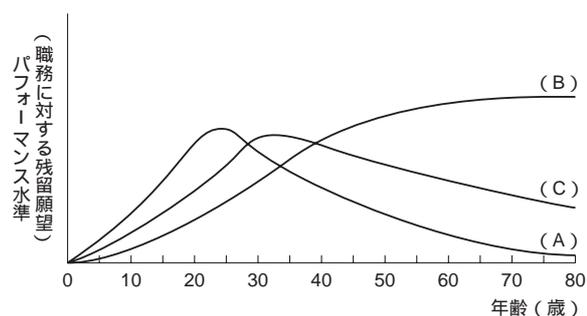


図7-4 職務の生物学的要件と経験的要因の相対的關係にもとづくパフォーマンスの年齢に対する関係を示す仮説曲線 (Baughner, 1978)

ら、改善の速度は低下する。③こうした、生物学的要因と経験的要因とが均衡している職務の場合には、曲線Cで示されるように、30歳代前半でピークとなり、累積された経験と年齢からくる生物学的衰退からの補償的行動によって、その後はゆるやかに低下する。

### 3 . 職務遂行能力の年齢変化曲線の特徴

これらのWelford (1958) やBaugher (1978) のモデルは、職務遂行能力の年齢変化曲線は身体的要件と経験的要件の相乗効果によって変わること、中でも、図7 4の曲線Cでは、生物学的要因と経験的要因とが均衡している職務内容の場合には、それぞれの要因による年齢変化曲線が複合して現れることを前提条件としている。

そうであるとすれば、前述した「実務作業を評価した職務試行評価の年齢変化曲線は、職業準備性、社会生活能力、知能、作業検査などの要素的な労働適応能力によってどのように規定されているか」という課題は、「職務試行評価の年齢変化曲線は、これらの要素的な年齢変化曲線とどのような相乗効果を生じているか」を検討することになる。

その検討にあたって、最初に、独立変数と見なしたこれらの要素的な労働適応能力の年齢変化の特徴を、前述の図7 1から7 4で示された仮想的な変化曲線と比較してみる。

第1に、「知能」の年齢変化は、図7 1から7 4のどの仮想的曲線とも一致しない。「田中ビネー」「鈴木ビネー」「WAIS R」のいずれの結果も、知能検査で測定された「IQ値」は年齢の上昇とともに低下する。測定された「知能」は、身体的能力とは異なることから、図7 2の年齢とともに低下する仮想的曲線とは異なる。

第2に、図7 1の身体的能力(A)に類似した年齢変化曲線は、「作業検査」の労働省編一般職業適性検査の手腕作業検査盤(「M検査(差し込み)」「N検査(差し替え)»)や、指先器用検査盤(「O検査(組み合わせ)」「P検査(分解)»)の結果で見られ、いずれも、上肢と手腕の運動能力は20代前半層を最高にその後は一義的に下降する。

第3に、図7 2の身体的能力の難易度に応じた年齢変化曲線の差異と類似した傾向は、巧巧性と共応動作の能力の必要度が高い指先器用検査盤と、その必要度の低い手腕作業検査盤の結果の差異に見られ、前者のほうが、年齢の変化とともに著しい上昇と下降を示す。

第4に、図7 1の経験的能力(B)に類似した年齢変化曲線は、「社会生活能力」の意思表示と交換能力、移動能力、日常生活能力のいずれの領域の結果でも見られ、年齢の上昇とともに緩やかに向上する。

第5に、図7 3の経験的能力の難易度に応じた年齢変化曲線の差異は、「社会生活能力」の下位項目ではみられない。下位項目の多くの項目は、年齢変化曲線の上昇を示すが、中には、①早期の発達段階で獲得されて年齢変化による低下がなくて高得点が維持されたり、②知能の低下が直接的な影響を及ぼしてどの年齢層でも低得点に留まる項目がある。

第6に、他方で、「社会生活能力」は、40代前半層までの上昇傾向から一転して、40代後半層になると著しく低下する。この傾向は、図7 1から7 4のどの仮想的曲線とも当てはまらない。身体あるいは経験などの個人的能力に起因するのではなく、周囲の支援体制などの急激な衰退を反映すると考えられる。

第7に、「職業準備性」の年齢変化曲線は、図7 1の経験的能力(B)に類似し、基本的ルール、作業態度、作業遂行力、対人態度および通勤のいずれの領域も、年齢の上昇とともに向上する。だが、その上昇傾向は長くは続かず、40歳代前半層になると下降する。

#### 4. 「職務試行評価」の年齢変化曲線を規定するもの

これらの結果から、「作業検査」「社会生活能力」「職業準備性」で測定された要素的な労働適応能力の年齢変化は、図7 1から図7 3で示された身体的能力(A)や経験的能力(B)などの仮想的曲線と一致する部分があると見なされよう。

それゆえ、知的障害者が行う実務作業に対する「職務試行評価」と、「職業準備性」「社会生活能力」「知能」「作業検査」などの要素的な労働適応能力、との相対的な関係を図7 5で示した場合、実務作業の職務遂行に係る年齢変化曲線は、次のような条件で規定されると考えられる。

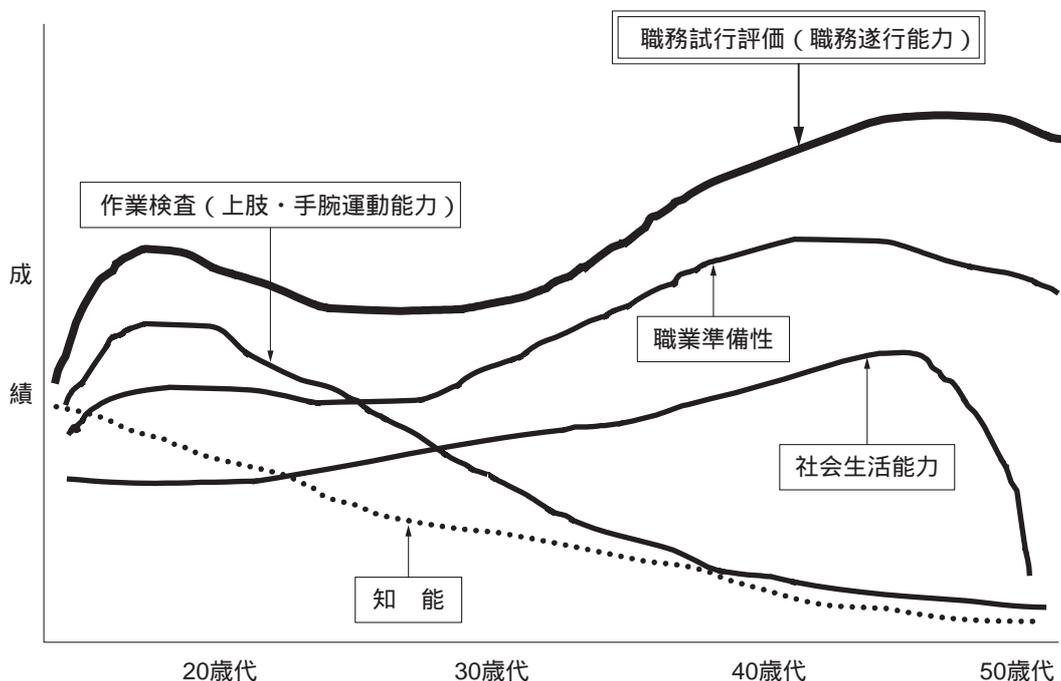


図7 5 職務遂行の年齢変化を規定する仮説曲線

第1に、知的障害者にとって、「知能」は実務作業の職務遂行に係る年齢変化曲線を規定しない。「知能」の年齢変化の傾向は、「職務試行評価」の仮説曲線とは異なり、相対的な関係が見出されない。

第2に、実務作業の職務遂行に係る年齢変化曲線が10代前半から40代後半まで向上するのは、「社会生活能力」や「職業準備性」で示される要素的な労働適応能力が、発達の過程とともに経験や知識が蓄積され、そのことが反映されていると見なされる。

第3に、実務作業の職務遂行に係る年齢変化曲線が10代後半から20代前半で最初のピークとなるのは、「作業検査」で示される上肢や手腕の運動能力がこの年齢層でピークとなり、そのことが反映されていると見なされる。

第4に、それゆえ、実務作業の職務遂行に係る年齢変化曲線が10代後半から20代前半と30代から40代前半層での2つのピークが見出されるのは、「社会生活能力」や「職業準備性」などの要素的な労働適応能力の経験や知識による蓄積と、「作業検査」で示される上肢や手腕の運動能力の向上と衰退過程が複合した結果であると見なされる。

第5に、「社会生活能力」は、40代後半層になると著しく低下する。これは、身体あるいは経験などの個人的能力に起因するのではなく、周囲の支援体制などの急激な衰退を反映すると考えられる

第6に、従って、対象者数が少なく分析の対象外となった40代後半層からの「職務試行評価」の仮説曲線は、「社会生活能力」の著しい低下を反映して、低下の傾向を示すことが推定される。しかも、その衰退過程は、「社会生活能力」に対する周囲の支援体制などの急激な衰退によってもたらされると見なされる。

「職務試行評価」の対象となった知的障害者が従事している実務作業の多くは、上肢・手腕の運動能力を要する工作や組み立ての作業であるとともに、比較や照合、収集や整理、検査や分類などが反復的に行われる定型的な作業である。そうした作業の多くは「作業検査」で要求される能力と類似し、また、「職業準備性」評価の対象となった知的障害者が従事している模擬的な作業も上肢・手腕の運動能力を要する定型的で反復的なものがほとんどである。こうしたことから、図7-5の職務試行評価（職務遂行能力）の年齢変化を規定する仮説曲線は、作業検査（上肢・手腕運動能力）や職業準備性の年齢変化の仮説曲線を反映していることは十分に予測されよう。その意味で、ここで示した6項目の指摘は、妥当なものと考えられる。

## 第3節 まとめと今後の課題

### 1. 職務遂行能力の年齢変化を規定するもの

ところで、職務の特性と職務遂行能力との関係は、前者が後者の衰退変化に対して促進要因的に作用したり、遅延要因的に作用したりすることが指摘されている。例えば、雇用職業総合研究所（1985）では、促進効果を「加齢」「陳腐化」「配置転換による不適応」の3つの機構で、また、

遅延効果も「経験と知識」「定型・反復化」「若年者の代替え」の3つの機構のうちのいずれかまたはその組み合わせによって説明できることを指摘する。それゆえ、図7-5の職務試行評価（職務遂行能力）の年齢変化を規定する仮説曲線は、従事する職務特性を反映した結果であり、職務特性の異なる広範で多様な職業に対しても、こうした効果が同じように作用するとは言えないだろう。

それゆえ、本研究で得られた前述の効果は、職務試行評価（職務遂行能力）の対象者が従事する職務の特性を有する職業分野に限って言えるものである。すなわち、上肢・手腕の運動能力を要する工作や組み立てとともに、比較や照合、収集や整理、検査や分類などが反復的に行われる定型的な作業内容をもつ職務に限っていえば、知的障害者の加齢に伴う職務遂行能力の変化は、「職業準備性」「社会生活能力」「作業検査」などの測定評価の対象となった要素的な労働適応能力の成長と衰退の過程を反映していると思っても良いかもしれない。この場合の職務遂行能力の衰退変化に対する促進的あるいは遅延的に作用する機構は、次のような特徴を持つと思われる。

第1に、上肢・手腕の運動能力などの身体的能力の加齢に伴う成長と衰退が、職務遂行能力の衰退変化を規定すると考えられる。

第2に、「社会生活能力」や「職業準備性」などの評価を構成する、意思表示と交換能力、移動能力および日常生活能力、あるいは、基本的ルール、作業態度、作業遂行力、対人態度および通勤などの労働適応能力は、加齢に伴う経験や知識が蓄積されて向上する。そのことが、職務遂行能力の衰退変化を遅延させると考えられる。

第3に、製造工程に見られる定型的で反復化する作業内容そのものが、職務遂行能力の衰退変化を遅延させると考えられる。職業準備性評価を構成する作業遂行力では、加齢に伴う衰退変化が見られないことから、このことが示唆される。

第4に、40代後半から顕在化する社会生活面の支援体制の変化が、「社会生活能力」の低下として現れて、そのことが職務遂行の衰退変化を促進させると考えられる。

## 2. 加齢問題に対する視点

職務の特性と職務遂行能力との関係は、ここで指摘したことだけで明らかになるとは言えない。例えば、雇用職業総合研究所（1985）では、これらに加えて、「陳腐化」「配置転換による不適応」の機構が促進的要因として、遅延効果も「若年者の代替え」の機構の作用することを指摘する。これらは、個人的な種々の労働適応能力というよりも、職務の特性を規定する環境的な要因であろう。それゆえ、職務遂行能力の年齢に伴う変化は、職務の特性と個人にそうした職務遂行を規制する種々の雇用管理的な側面との複合的な関係として捉えることが不可欠である。

従って、今後の課題として、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化とそれに対する対応を検

討する場合には、次のことを踏まえた論議が不可欠である。

第1に、職務遂行に係る年齢変化曲線を規定するものは、体力や感覚運動機能などに基づく身体的能力と、職業経験を通して獲得した知識やノウハウや熟練などの経験的能力の複合として捉えることが必要である。

第2に、これらの個人的要件としての「職務遂行能力」は、さらに、職務の特性などの「職務環境」や「制度的環境」などの環境側の要件によっても規定される。

第3に、それゆえ、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化とそれへの対応を検討する際には、個人的条件と環境条件の双方から併行して行うことが重要である。個人側の要因としては、心身機能の側面と職業的な知識や熟練の側面が含まれ、環境的な要因としては、職場での職務環境と社会状況や制度的環境が含まれる。

第4に、また、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化への対応には、環境条件の中に「社会生活能力」を支援する体制について言及することが不可欠である。雇用管理面からの対応と生活支援面からの対応を含めた、多様な側面からの検討が重要となろう。

### 3. 構造モデルと対象者の範囲

こうしたことを踏まえて、知的障害者の加齢に伴う職務遂行の変化とそれに対する対応の検討に際してのモデルを示したのが、図7-6である。

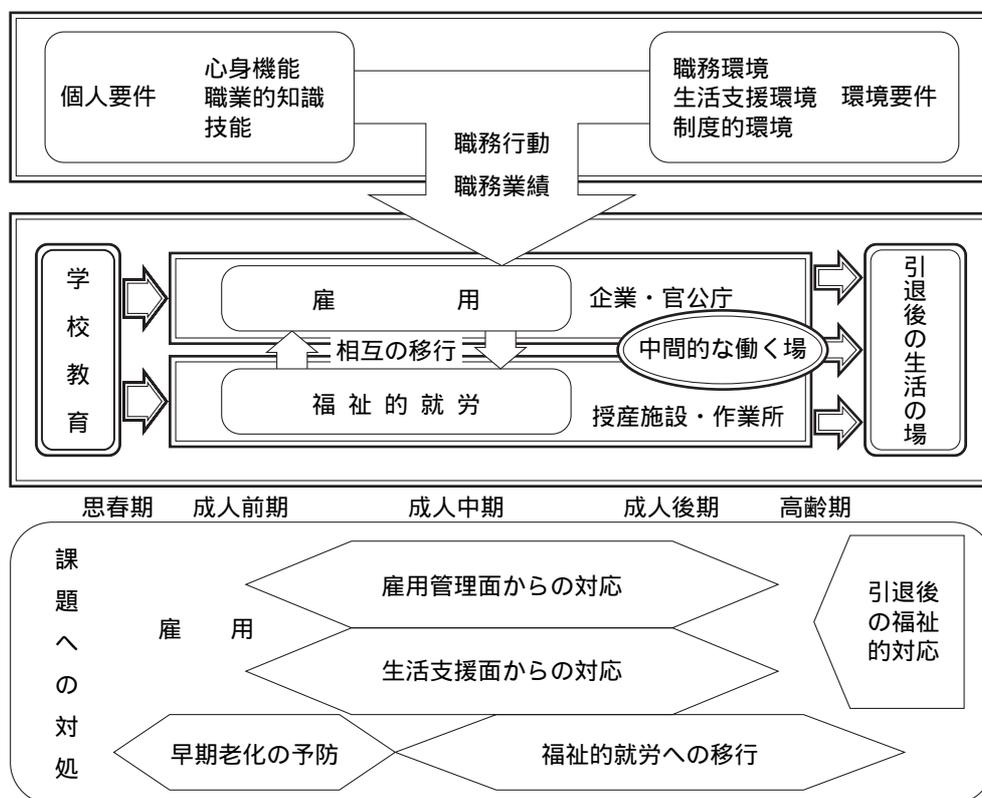


図7-6 研究の視点

これは、①雇用場面での職務行動や職務成績は、個人要件と環境要件の相互作用によって決定され、②職業的人生の移行の過程を踏まえた視点の重要性を指摘し、③障害のある人の働く場は、雇用と福祉的就労という二重の場面が準備されていることを意味している。ただし、加齢に伴う雇用・職業上の課題は、40歳代以降の全ての知的障害者に共通して生じる訳ではないことから、個人差のあることを了解した上での検討であることは言うまでもない。暦年齢を基準にした一律の対応は有り得ないのである。

これは、「障害者の加齢に伴う職業能力の変化と対策に関する実証的研究」の一環として実施した、「知的障害者の加齢に伴う雇用・職業上の課題と対策に関する総合研究委員会」で提示された研究モデルともなっている。なお、同委員会の報告書では、このモデルを踏まえて、①成人前期からの早期老化の予防、雇用後に職業生活を継続させるための②雇用管理面からの対応と③生活支援面からの対応、働くことからの柔軟な引退過程を導くための④福祉的就労への移行の在り方、そして、⑤引退後の福祉的対応、の視点から検討している。

# 文 献

厚生省：身体障害者実態調査、1996

厚生省：精神薄弱児（者）福祉対策基礎調査、1995

厚生省：知的障害者の高齢化対応検討会報告書、2000

雇用職業総合研究所：加齢に伴う職業能力の変化に関する研究、職研調査研究報告書、no 43、1985

障害者職業総合センター：障害者の加齢に伴う職業能力の変化に関する実態調査報告書、調査研究報告書、no 31、1998

知的障害者の高齢化対応検討会：知的障害者の高齢化対応検討会報告書、厚生省、2000。

東京都社会福祉局：精神薄弱者の高齢化に関する調査研究報告書、1990

東京都社会福祉局：知的発達障害者の高齢化に関する研究会報告書、1998

東京都立労働研究所：中高年齢障害者の就労と生活に関する調査、1990

日本障害者雇用促進協会：重度多数事業所における障害者の雇用状況と雇用管理に関する調査、調査研究報告書、no 6、1994

日本障害者雇用促進協会：重度多数事業所における障害者の雇用状況と雇用管理に関する調査。調査研究報告書、no 4、1995

日本精神薄弱者愛護協会：精神薄弱者加齢の軌跡 高齢精神薄弱者実態調査研究報告、1987。

# 第 部

「狩野運動能発達検査」に見る  
知的障害者の加齢変化

# 第1章 問題の所在と目的

従来の障害者の加齢変化に関する研究では、各年齢層にわたる異なる被験者群を対象に測定、収集したデータを用いて、異なる被験者群間の年齢的な差異を加齢変化とする横断的なデータを取り扱うのが一般で、同一被験者について年を追って測定、収集したデータを用いて、同一被験者内の加齢変化をそのまま加齢変化とする縦断的なデータを取り扱うのは稀であった。もちろん縦断的なデータを取り扱うには様々な問題、特に時間的問題などがあるのも事実であり、加齢変化について研究するに当たっては理想的なデータの形ではあるものの、実際的な利用には横断的なデータが適しているというのが現実と言える。しかし、今回幸運にもその縦断的なデータを取り扱う機会に恵まれた。精神薄弱者更生施設北総育成園の協力により、同園で20年以上にわたり実施されてきた狩野運動能発達検査の測定結果を集計、分析する機会を得た。同園では1974年から、途中測定を行っていない年も数年あるものの、現在に至るまで在園者を対象に年一回、同検査を実施し続けており、本研究の大目的でもある障害者の加齢に伴う職業能力変化を研究するに際して、横断的なデータを取り扱わざるを得ない状況がほとんどである中で、貴重な縦断的データを得ることが出来たといえる。

本研究では狩野運動能発達検査により測定される運動能を職業能力の一側面あるいは一部を為すものと考え、縦断的測定データを用いて各被検査者の個人内変化の傾向を分類することにより、知的障害者の加齢に伴う運動能力の変化の様相を明らかにしていく。

# 第2章 方 法

## 第1節 狩野運動能発達検査について

狩野運動能発達検査は、1953年に狩野広之によってOseretzkyの年齢別運動能尺度を基礎とし、それに模倣運動や作業テスト的なものを組み合わせることによって、標準化された運動能検査である。同検査は、少年期における運動能の発達過程を明らかにするとともに、年齢による一般的発達水準を、精神測定学的に定位するという研究目的のもとに作成されている。大筋群の運動を主体としたいわゆる体力テストと呼ばれる種類のものとは異なり、検査項目に体力的な要素を含むものを極力除外し、反応や運動速度、巧緻性というような作業テスト的な項目が取り入れられている同検査は、心身の協応的発達という立場で運動能を見ようとする種類の検査の一つである。

各種運動能検査において測定される運動能について明確な概念規定は難しく諸説様々であり、同検査の解説および手引きにおいても“運動能とは何であるかについて明確に概念規定することは困難である”と記述されており明確な表現はされていない。しかし、同検査の手引きから規定される一応の概念は、“運動能とは、人が日常の生活および労働をするに当たり、精神的、肉体的両側面から実践的に必要とされる課題遂行諸能力の一部を為すものである”と表現できよう。暫定的な概念規定という感は否めないが、本研究において運動能あるいは運動能力という言葉はこのような意味で用いるものとする。

同検査はもともと児童の運動能発達をみるために編成されたものであるが、基本的な運動能が概ね13～14歳で成熟すると考えられることから、成人に関しても運動能について普通の発達をしているかどうかを検査するという目的には十分に適用可能であるので、その適用年齢の範囲は4歳から成人までとなっている。

同検査の解説および手引きによれば、同検査の外形的な性質は

- 1：運動競技めいたSkillに属するような種目は除いた。
- 2：体力的な種目は除いてある。
- 3：極力、機械や器具を使用しないで、すなわち特殊なテスト条件を設定しないで、児童の日常生活における色々な運動的行動をとって課題としている。

というものである。

さらに、同検査に含まれる課題全67項目は、以下のように4つに大別される。

- A：平衡機能をみるもの（14項目）
- B：全身運動の協調をみるもの（22項目）

C：手指運動の協調をみるもの（17項目）（各種の作業テスト的なものはここに含まれる）

D：分離運動または模倣運動をみるもの（14項目）（多くの項目が実験者の模倣運動を伴い、左右の手や上肢下肢を別々の運動をさせるなどを含む）

以下に狩野運動能発達検査の全検査項目を示す。

A．平衡機能（14項目）

- 1：眼をとじて立つ。（15秒）
- 2：両腕を左右に水平に伸ばし、前屈の姿勢をとる。（10秒）
- 3：眼をあけて両足の爪先で立つ。（10秒）
- 4：眼をあけて片足で立つ。（10秒、左右交互）
- 5：眼をあけて胴を横にまげて爪先で立つ。（10秒）
- 6：眼をとじて両足の爪先で立つ。（15秒）
- 7：眼をとじて左右片足で立つ。（10秒）
- 8：眼をとじて左右片足で立ち、他方の足蹠を立った脚のひざの内側につける。（10秒）
- 9：右脚で立ち、左足を右足の背後でにぎり、右ひざをまげ左ひざを静かに床に着け、次に平衡を失うことなく立上がる。
- 10：両足を揃えて立ち、身体を前に曲げ両手をひざの間から足首の後ろを回し手前に組み、この姿勢を5秒間続ける。
- 11：眼をあけて左右交互に片足の爪先で立ち、他の脚はひざで直角に曲げる。（10秒）
- 12：手をひざの間を通して床に支持し、ひじを曲げて外側にはり、両ひざをひじの上ののせ、足を床から離して体重を両手で支える。（5秒）
- 13：右足を伸ばし、右足や手を床につけることなく、左ひざを曲げて踵を臀部につけ、次に平衡を失うことなく立上がる。
- 14：眼をとじて、左右交互に片足の爪先で立ち、他の足はひざで直角に曲げる。（10秒）

B．全身運動の協調（22項目）

- 1：眼をとじて右手または左手の指示頭を交互に鼻先につける。
- 2：両足のひざを曲げてとびあがる。
- 3：片足で5m以上とんでゆく。（左右交互）
- 4：地上20cmの高さの縄を両足そろえ、その場でとびこえる。1/3（3回中1回成功すれば合格）
- 5：1.5mの距離にある25cm×25cmのまとにゴムマリを投げつける。1/3
- 6：室内を歩きながら立ち止まらないで、手の指に1mの紐を1分以内にまきつける。
- 7：2mの距離を左右両蹠が1直線にあるようにして歩く。
- 8：5mの距離を片足で跳んで床上の小箱（10cm立方）をけておくる。
- 9：地上40cmの縄を両足そろえその場でとびこえる。1/3

- 10：1 mの所から走って40～45cmの台上へとびあがる。
- 11：1.5mの距離にある25cm×25cmのまるとにゴムまりを投げつける。2/3
- 12：2.5mの距離にある25×25cmのまるとにゴムまりを投げつける。1/3
- 13：その場で飛び上がりながら、両手で両足の踵をたたく。
- 14：3 mの距離からの投球を片手でうける。1/3
- 15：7 mの距離からの投球を片手でうける。1/3
- 16：その場でとびあがり、その間に手を3回以上たたく
- 17：その場で飛び上がりながら空中で手を2回以上たたき、同時に両足を1回打ち合わせ、両足を20cmはなしておける
- 18：直径40cmの円内で、両足をそろえてとびあがって左または右へ360°回転して円の外へ出ないようにおける。1/3
- 19：地上70cmの縄を、両足そろえ、その場でとびこえる。1/3
- 20：地上1 mの縄を、走ってきてとびこえる。1/3
- 21：地上1 mの縄を、その場で両足をそろえてとびこえる。1/3
- 22：7 mの距離にある25×25cmのまるとにゴムまりを投げつける。1/3

#### C．手指運動（17項目）

- 1：机上の小函に5個の小銭を投げ入れる
- 2：糸巻きに1 mの糸を、1分以内に巻き付ける
- 3：簡単反応300シグマ以内。1/5（5回施行中1回成功すれば合格）
- 4：36枚のカードを、1分以内に机上4カ所に積む
- 5：鉛筆で机上の紙に3本の平行線（10cm以上）を引く
- 6：タッピング、1分間100以上
- 7：幅1 mm長さ30cmの細長い迂回路を外へ出ないように鉛筆でたどる。1 cm毎に区画をしておいて10区画以上外へ出なければ合格
- 8：鋏を使って、直径5 cmの円を切り抜く。凹凸のないようきれいに切り抜けば合格
- 9：書物の100頁を1分以内に1枚ずつ次々とめくる
- 10：「山の上に大きな木があります」という文字を手本にして1分以内に書く
- 11：簡単反応。200シグマ以内。1/5
- 12：椅座位で片手を前方に伸ばし、示指端に50cmの鉄棒を立てる（5秒）
- 13：タッピング。1分間200以上
- 14：タッピング。1分間300以上
- 15：簡単反応。150シグマ以内。1/5
- 16：幅1 cm、長さ10cmの和紙を使って紙こよりをつくらせる。出来上がりが9 cm以上まっすぐになること

17：長さ6 cmの細い紙こよりを使って、直径1 mmの細い棒に花結びをさせる

D．分離運動、模倣運動（14項目）

- 1：指を順次に折る
- 2：椅座位で左右の足で交互に足踏みしながら、足に必ず側の手でひざをたたく
- 3：眼をとして両腕を水平に伸ばし、次に腕を曲げて、両手の示指端を前で接触させる
- 4：両腕を前方に伸ばして左右交互に拳を作り、また開く。これを反復する
- 5：弧（拇指にくすり指と中指を接触させ、示指と小指とをのばす）を左右の手で同時に作らせる
- 6：両腕を前に伸ばし、一方で拳を作り、他方の手を手首まで曲げて示指端を一方の拳につける。検査者の模倣をしながら、呼称に合わせて左右交互に反復する
- 7：右手示指端と左手拇指頭、左手示指端と右手拇指頭とをつけて指の輪を作り、次に一方の対の指を離して、円弧を描きながら他方の対の上方で接触させる。これを検査者の模倣をしながら反復する
- 8：両手を手背で合わせて指を組み、そのまま内側に曲げて、胸の前で指が上になり手背が外側に出るようにする（模倣）
- 9：椅座位で左右の足で足踏みしながら、右足の拍子に合わせて、両手で同時にひざをたたく
- 10：D 2 と D 9 とを実験者の模倣をしながら連続して10呼称づつ行う
- 11：拳でひざをたたき、手でひざをさする。検査者の模倣をしながら、左右交互に行う
- 12：拳でひざをさすり手でひざをたたく。同時に模倣実施
- 13：二本二本（示指と中指、くすり指と小指とを付け、中指とくすり指との間をはなす）を両手同時に作らせる
- 14：左右交互に片目をつぶらせる

上記に示したように、4種類の下位項目はそれぞれ異なる特徴を持つものである。また、各項目の課題遂行にはそれぞれ異なる資質を必要としている。「A：平衡機能」の課題遂行には身体の柔軟性や平衡感覚が必要とされ、「B：全身運動の協調」では体力的、筋力的な要素を、「C：手指運動」では反応速度や運動速度など、「D：分離運動・模倣運動」では運動神経の分節度が重要な要素となっているといえる。狩野運動能発達検査の測定項目においては、体力的な種目は除いてあるということになっているが、その測定内容からみて「B：全身運動の協調」の課題遂行には体力的な要素を必要とする項目が数項目含まれていると考えるのが妥当であると考えられるので、「B：全身運動の協調」の課題遂行に必要とされる要素を体力的、筋力的な要素とした。

また狩野運動能発達検査の採点方法は、一課題合格につき1点を与えるというものである。ただし、辛うじて成功した場合、課題が左右両方成功して合格となっている時に左右いずれか一方だけ成功した場合には0.5点を与える。このような基準で採点し、全項目の合計点を被験者の得

点とする。この得点は換算表により、運動能発達年齢に換算され、そこから知能指数と同様に次式により運動能発達指数の算出が可能である。

$$\text{運動能発達指数} = \text{運動発達年齢} / \text{生活年齢} \times 100$$

(生活年齢14歳以上は生活年齢14歳として算出する。)

ただし本研究においては、獲得点数が低いために運動能発達指数が算出できない事例が多数あるため、結果の集計、分析に関しては運動能発達指数の値を使用せず、単純に全項目の合計点を使用した。

## 第2節 分析対象

分析対象となるデータは、北総育成園の入所者を対象に狩野運動能発達検査を用いて1974、75年、1980～1997年の各年一度ずつの測定によって得られたものである。被検査者全98名のうち、①測定データ数が合計10年以上あり、②各年の合計得点が著しく低くない(67点満点中10点以上)という基準によって分析対象を選定し、その結果37名(男性20名、女性17名)の測定結果を分析の対象とした。1997年の測定時点での分析対象者の平均年齢は45.0歳(SD±9.09)であった。但し、平成9年度の時点で37名中2名は施設を退所していたため、値は35名の平均となっている。

## 第3節 分析方法

分析対象となった被検査者37名の各測定データについて、①加齢変化に対する合計得点の変化について回帰分析を行い、各被検査者の得点の変化傾向を分類する、②下位検査項目であるA：平衡機能、B：全身運動の協調、C：手指運動、D：分離・模倣運動の4項目の得点変化と加齢変化について回帰分析を行い、下位項目の得点の変化傾向を項目別に分類する、という2つの分析を行う。それぞれの分析には統計パッケージSPSS 7.5.1J for Windowsを使用した。

# 第3章 結 果

各被検査者ごとに、生活年齢「CA」と合計得点とを用いて線形回帰分析を行う。ここでは加齢変化に伴い運動能力が線形の変化をすることを仮定し、その時の回帰式

$$\text{合計得点} = a\text{CA} + b \quad (a, b \text{ はともに定数})$$

の回帰係数 $a$ とその時の生活年齢「CA」と合計得点の相関係数から、各被検査者の加齢変化に伴う合計得点の変化傾向の分類を行った。分類の基準は回帰係数 $a$ が負の値であり、回帰式、相関係数ともに1%水準で有意となる場合を加齢に伴う運動能力の変化が「下降傾向」にあるとし、回帰係数 $a$ が正の値であり、回帰式、相関係数ともに1%水準で有意となる場合を「上昇傾向」にあると分類し、それ以外の場合を「傾向なし」と分類した。ただし回帰式の適用範囲については、得点合計の推移傾向の変化点（上昇傾向から下降傾向、下降傾向から上昇傾向、あるいは変化なしから下降傾向など）を各個人ごとにグラフから決定し、その変化点以降のデータについて線形回帰分析を適用した。また下位項目A、B、C、DそれぞれとCAとの相関を求めて、下位項目の加齢変化についても分類を行った。

その結果、分析対象は表1のように分類された。分析対象者全37名中21名（表中の 1～21）が下降傾向、1名（表中の 22）が上昇傾向、15名（表中の 23～37）が傾向なしと分類された。

表1 被検査者データおよび回帰分析結果

	年齢	性別	IQ	回 帰 式	相 関 係 数					回帰分析適用範囲
					CA : 合計点	CA : A	CA : B	CA : C	CA : D	
1	60	男	B 1	$y = -0.629x + 58.586$	-0.822	-0.314	-0.647	-0.688	-0.663	45歳～59歳（15年分）
2	57	男	不明	$y = -0.679x + 54.977$	-0.862	-0.734	-0.659	-0.699	-0.595	39歳～56歳（18年分）
3	55	男	A 1	$y = -0.679x + 50.826$	-0.876	-0.822	-0.443	-0.857	0.169	40歳～54歳（15年分）
4	48	男	A 1	$y = -0.305x + 47.272$	-0.742	-0.877	-0.522	-0.686	0.772	32歳～47歳（16年分）
5	44	男	A 1	$y = -1.050x + 68.950$	-0.848	-0.767	-0.753	-0.467	-0.411	35歳～43歳（9年分）
6	44	男	A 1	$y = -0.548x + 59.602$	-0.780	-0.901	-0.535	-0.468	0.495	29歳～43歳（15年分）
7	43	男	B 1	$y = -0.333x + 52.066$	-0.596	-0.415	-0.390	-0.193	-0.527	25歳～42歳（18年分）
8	42	男	A 1	$y = -0.402x + 39.536$	-0.775	-0.020	-0.599	-0.870	-0.255	24歳～41歳（18年分）
9	42	男	A 1	$y = -0.509x + 56.579$	-0.730	-0.489	-0.667	-0.110	-0.772	28歳～41歳（14年分）
10	42	男	A 1	$y = -0.400x + 54.625$	-0.708	-0.300	-0.404	-0.537	-0.368	25歳～41歳（17年分）
11	40	男	A 1	$y = -0.711x + 50.500$	-0.890	-0.918	-0.345	-0.510	-0.772	26歳～39歳（14年分）
12	35	男	B 1	$y = -0.407x + 41.920$	-0.745	-0.476	-0.600	-0.166	-0.669	19歳～34歳（16年分）
13	64	女	不明	$y = -0.520x + 48.347$	-0.783	-0.616	-0.045	-0.863	-0.534	46歳～63歳（18年分）
14	62	女	不明	$y = -0.669x + 53.169$	-0.778	-0.647	-0.620	-0.751	-0.386	45歳～61歳（17年分）
15	58	女	A 1	$y = -0.744x + 67.146$	-0.847	-0.368	-0.642	-0.848	-0.819	38歳～57歳（18年分）
16	50	女	A 1	$y = -1.089x + 62.962$	-0.929	-0.875	-0.518	-0.810	-0.853	33歳～49歳（17年分）

(表 1 続き)

17	47	女	A 1	$y = -0.533x + 40.805$	-0.864	-0.722	-0.191	-0.713	-0.654	31歳～46歳(16年分)
18	43	女	不明	$y = -0.728x + 50.191$	-0.876	-0.742	-0.660	-0.743	-0.273	26歳～42歳(17年分)
19	42	女	B 1	$y = -0.461x + 54.038$	-0.852	0.004	-0.778	-0.766	0.000	26歳～41歳(16年分)
20	42	女	A 1	$y = -0.728x + 47.640$	-0.838	-0.343	-0.778	-0.729	0.112	25歳～41歳(17年分)
21	39	女	A 1	$y = -0.716x + 50.593$	-0.690	-0.721	0.000	-0.883	-0.358	23歳～38歳(16年分)
22	50	男	A 1	$y = 0.295x + 25.799$	0.611	-0.284	0.365	0.323	0.876	25歳～49歳(20年分)
23	42	男	B 2	$y = -0.289x + 51.269$	-0.631	-0.628	-0.760	0.100	0.163	27歳～41歳(15年分)
24	41	男	B 1	$y = 0.495x + 12.159$	0.508	0.235	0.387	-0.562	0.705	30歳～40歳(11年分)
25	39	男	B 1	$y = -0.225x + 54.680$	-0.576	-0.661	0.188	-0.626	0.704	21歳～38歳(18年分)
26	39	男	A 1	$y = 0.096x + 34.697$	0.261	0.087	0.062	-0.601	0.658	16歳～38歳(19年分)
27	32	男	A 1	$y = 0.147x + 21.535$	0.231	-0.124	0.132	-0.423	0.532	18歳～31歳(14年分)
28	32	男	A 2	$y = 0.322x + 15.790$	0.615	-0.713	0.641	0.004	0.701	18歳～31歳(14年分)
29	#	男	不明	$y = -0.209x + 45.573$	-0.408	-0.240	0.306	-0.803	0.582	26歳～36歳(11年分)
30	60	女	不明	$y = -0.132x + 30.839$	-0.339	-0.283	0.126	-0.560	-0.618	42歳～59歳(18年分)
31	59	女	A 2	$y = -0.350x + 42.907$	-0.603	-0.659	-0.772	-0.429	0.638	42歳～58歳(17年分)
32	54	女	B 1	$y = -0.588x + 60.802$	-0.601	-0.006	-0.379	-0.652	-0.847	40歳～53歳(14年分)
33	47	女	A 1	$y = -0.226x + 41.032$	-0.503	-0.645	0.281	-0.412	-0.445	31歳～46歳(16年分)
34	47	女	A 1	$y = -0.151x + 25.110$	-0.396	0.064	-0.190	-0.351	-0.343	30歳～46歳(17年分)
35	40	女	A 1	$y = -0.074x + 40.186$	-0.168	-0.358	-0.074	-0.591	0.693	23歳～39歳(16年分)
36	27	女	B 1	$y = 0.341x + 19.886$	0.602	-0.520	0.389	0.326	0.800	16歳～26歳(11年分)
37	#	女	不明	$y = -0.250x + 25.168$	-0.372	-0.563	-0.161	-0.595	0.310	22歳～32歳(10年分)

相関係数の網かけは1%水準で有意となったことを示す。

年齢は平成10年現在。但し平成2年度に施設を退所していた2名については「#」で示す。

IQは千葉県療育手帳交付判断基準による。

分類された各傾向のうち、1名だけとなった上昇傾向を除く下降傾向群と傾向なし群の二つの群について詳細を検討していくと、男女比は下降傾向群「男12名：女9名」、傾向なし群「男7名：女8名」となり、統計的に有意な差は見られない( $\chi^2 = 0.385$ 、 $p < 0.736$ )。

生活年齢(平成10年現在)についても、下降傾向群が平均47.57歳( $SD \pm 8.38$ )、傾向なし群が平均43.00歳( $SD \pm 10.17$ )であり、統計的に両傾向群間に有意な差は見られない( $t = 1.425$ 、 $p < 0.164$ )。

また知能指数に関して、不明の被検査者もいるが、両傾向群間の人数比の差の検討を行った結果、両傾向群間には統計的に有意な差は見られなかった( $\chi^2 = 5.868$ 、 $p < 0.088$ )。

次に合計点の変化傾向分類と同様に、各被検査者ごとに4つの下位項目の変化傾向を各項目ごとに分類していく。生活年齢CAの変化に対して正の相関、負の相関(両方ともに1%有意水準)を持つ、すなわち下降傾向、上昇傾向が見られたものと、変化傾向なしとなるものごとに分類していくと、その被検査者全体の数の内訳は表2および図1に示した通りとなった(ただしこの集計では上昇傾向と分類された被検査者22を傾向なし群に含めた)。

表2 下位項目変化傾向分類内訳

		下降傾向群			傾向なし群+上昇傾向		
		下降	なし	上昇	下降	なし	上昇
A	男	5	7	0	2	6	0
	女	3	6	0	2	6	0
B	男	3	9	0	1	7	0
	女	3	6	0	1	7	0
C	男	5	7	0	3	5	0
	女	9	0	0	0	8	0
D	男	5	6	1	0	5	3
	女	3	6	0	2	3	3

(単位：人)

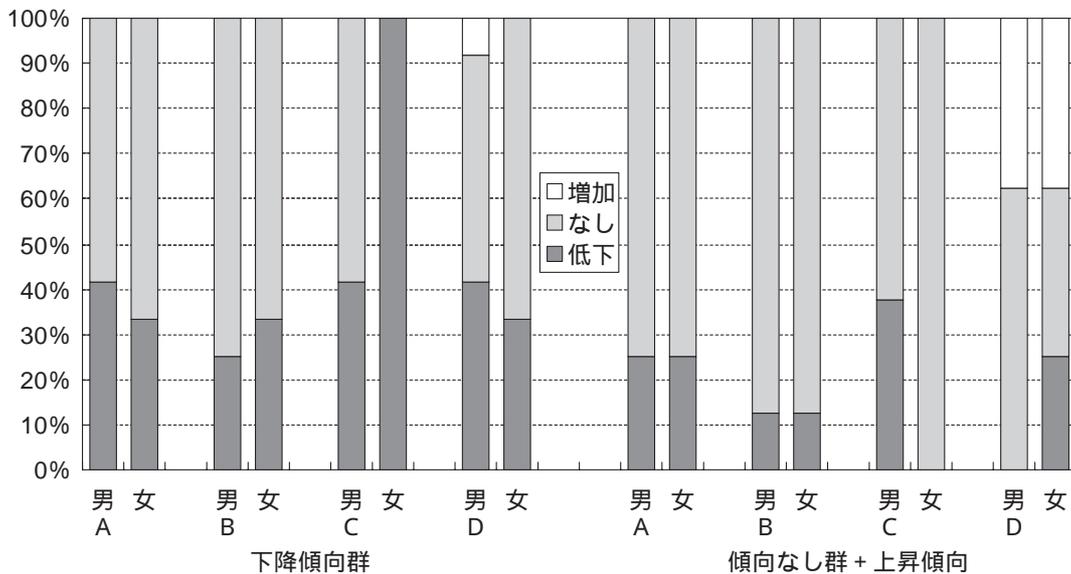


図1 下位項目別加齢変化傾向傾向男女別内訳

顕著な傾向としては「C手指運動」において、下降傾向群女性の全員が加齢変化に対して得点低下の傾向を示し、その一方で傾向なし群女性では全く逆に全員が変化なしという傾向を示した。また傾向なし群の「D分離・模倣運動」においてのみ見られる傾向として、加齢変化に対して得点上昇の傾向を示す割合が高くなっているということがあげられる。「A平衡運動」、「B全身運動の協調」、「C手指運動」の3つの項目では両傾向群ともに得点上昇という傾向は皆無であり、下降傾向群の「D分離・模倣運動」でも男性で8.3%（全12名中1名）だけが上昇傾向を示したにも関わらず、傾向なし群の「D分離・模倣運動」では男性、女性ともに全体の37.5%（各々8名中3名）が得点上昇の傾向を示した。また同じ「D分離・模倣運動」において、下降傾向群男性で41.7%（12名中5名）、女性で33.3%（9名中3名）、傾向なし群女性で25%（8名中2名）

が得点低下傾向を示したが、傾向なし群男性では得点低下の傾向が皆無であったということも顕著な傾向と言える。

# 第4章 考 察

## 第1節 運動能下降開始年齢について

加齢変化に伴い身体的能力等が低下していくのは健常者、知的障害者を問わず避けられない事実であるが、知的障害者は健常者とは異なりその能力低下が早期に始まるのではないのか、という見方が存在しているのも事実である。そこで運動能力の加齢変化について、各被検査者のその能力の下降開始年齢の分布のグラフから特徴的な傾向を見出し、知的障害者の運動能力下降開始年齢について考察する。

まずグラフの変化点（上昇から下降へ、あるいは横ばいから下降へ）を下降開始年齢と仮定した時の下降傾向群の下降開始年齢の度数分布を図2に示す。グラフからは20歳代から30歳代前半をピークに運動能が下降し始める傾向が強いといえる。

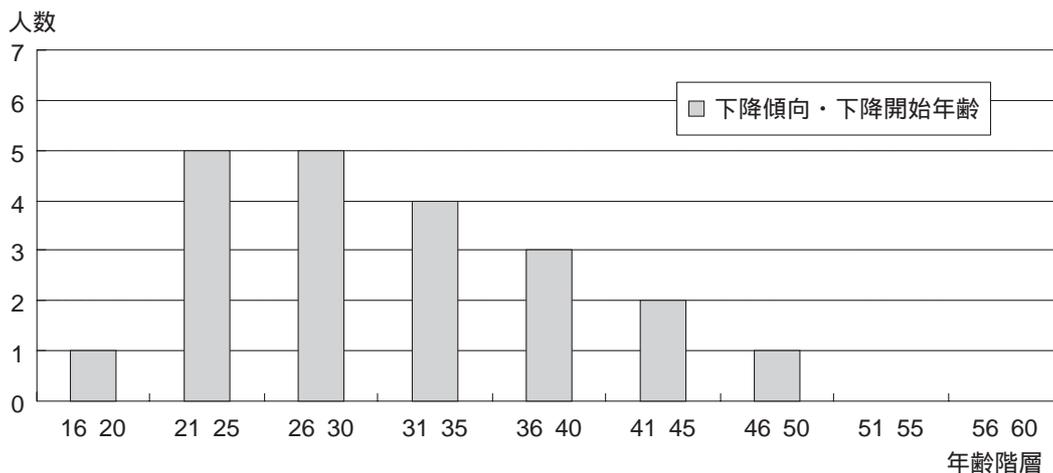


図2 下降傾向群・下降開始年齢 度数分布

しかし、ここで傾向なし群と上昇傾向の被検査者のデータを考慮するとその様相は一変する。傾向なし群および上昇傾向の被検査者が現在の年齢をピークに運動能が下降し始めると仮定して、図2のグラフに傾向なし群の現在の年齢の度数を加えると、20歳代から40歳代まで度数が広く分布するのである（図3）。

下降傾向群と傾向なし群の間には男女比、平均年齢、IQについて有意な差はないので、両群間の差は運動能力が下降し始めた後か、運動能力が下降し始める前かという差だけであると言える。したがって運動能力の下降開始年齢については、知的障害の程度によって差があるとか、男女差があるということはなく、その下降開始年齢を決定するような明確な要因は見出せないのである。

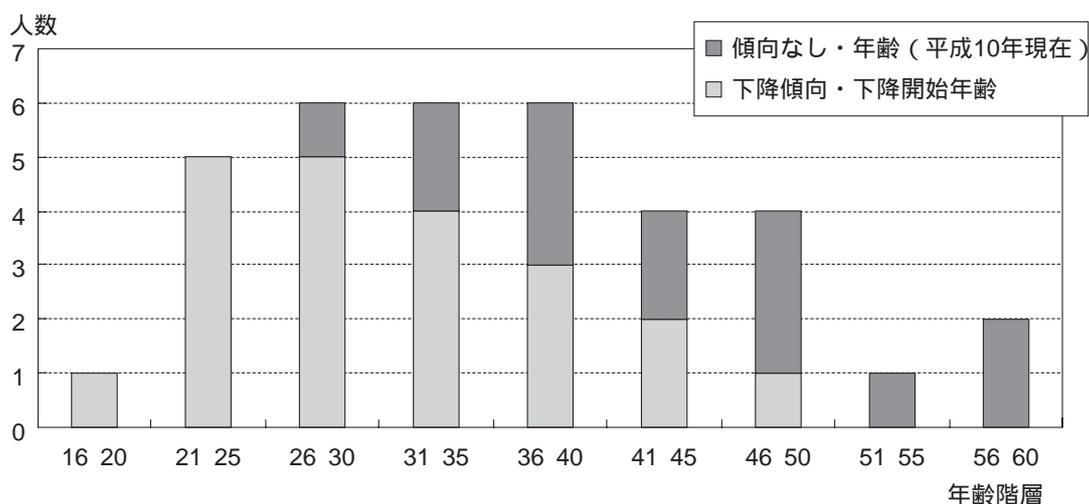


図3 下降傾向郡・下降開始年齢 + 傾向なし郡・年齢 度数分布

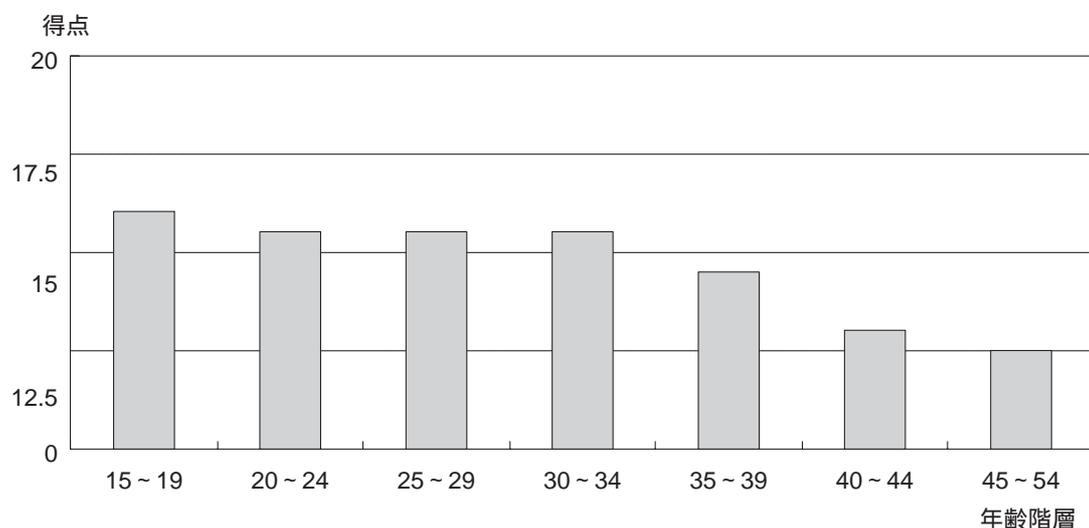


図4 健常成人運動能の加齢変化

(成人用20課題使用・横断データ平均値：1959狩野)

下降傾向群のデータだけから考察すると、運動能力に関して知的障害者全般に適用され得るような年齢的な限界が明示されているように見えるが、傾向なし群のデータも考慮した時、その年齢的な限界は明確なものとは言えなくなる。また、下降傾向群と傾向なし群との間に得点変化の傾向以外に顕著な差が見られないことから、下降開始年齢の分布は同一の集団内での値のばらつき、すなわち各被検査者の個人差が反映されたものであると考えられる。さらに、健常者成人を被検査者とした年齢階層別の得点変化のグラフを図4に示した。このグラフのデータは、本研究が用いた狩野運動能発達検査全67項目の内、成人用として抜粋されている20項目を使用し横断的に測定を行って得られたものである。そのため、単純に本研究のデータとの比較は出来ないが、健常者と知的障害者の運動能力の加齢変化の差を検討する上での参考資料としては十分なものと考えられる。

図4から健常者の運動能力の下降開始年齢を推定すると、30～34歳の年齢階層を境界として、

それ以降の年齢階層では順次得点が低下する傾向が見られる。この30～34歳という値は、図3の知的障害者の運動能力の下降開始年齢推定と比較してみても大差のないものと考えられる。ただし知的障害者の被検査者と比較して、健常者の被検査者の方が高い得点率であるということは明らかである。健常者の得点の平均値は概ね70～80%の得点率の付近にあり、最も低い145～54歳の年齢階層でも62.5%となっているのに対して、今回分析の対象とした知的障害者では、70～80%という比較的高い得点率の場合もいくつかあるものの、そのほとんどが50%前後の得点率の付近であり、明らかに低い数値を示している。

そのため、運動能力の加齢変化において、その下降開始年齢には健常者と知的障害者との間に明確な差はないという見解は、両者の単純な比較が可能ではないことを念頭に置いたうえで、その下降開始がほぼ同じ年齢層にあるということのみを意味するものである。

分析対象となった知的障害者各個人の運動能力の加齢変化傾向の分類からも、健常者の運動能力の加齢変化との比較からも、知的障害者の運動能力はある特定の年齢を境界として低下していくというような、知的障害者全般に共通するような特徴的な傾向の存在はなく、被検査者各個人によって様々な変化の傾向を示すものであった。これらの結果から、知的障害者全般に共通するような加齢変化の傾向や運動能力についての絶対的な限界年齢というものは特定できないということが示唆される。

## 第2節 「D分離・模倣運動」に見られる得点の上昇傾向について

下位項目の得点変化の分析の結果、特徴的な傾向として示された「D分離・模倣運動」の得点上昇の傾向は、「D分離・模倣運動」の持つ検査項目の性質に起因するものと考えられる部分がある。

「D：分離・模倣運動」に含まれる検査項目の課題遂行には、他の項目と比較して体力的要素をほとんど必要とせず、検査者の行う複雑な動きを目で見て実行するための思考力あるいは理解力といったものが必要とすると考えられる。またこの項目の主たる目的も運動神経の分節度を見るということにあるため、やはり他の項目とは異なる性質の項目であると考えざるを得ない。それゆえ、他の項目に比して加齢変化に伴って低下すると考えられる体力的な変化の影響を受け難いといえる。得点の上昇傾向が見られたのが全体を通じても「D：分離・模倣運動」だけであったこともこの考えを支持する一因である。また年1回の測定ではあるものの、慣れや繰り返しの効果が課題達成に関して促進的な影響をもたらしているということも十分に予測されるものである。

従って、傾向なし群における「D：分離・模倣運動」の得点の上昇傾向は、運動能の体力的な

側面とは別の側面の能力の向上からもたらされるものと考えられる。運動能をその定義から考えてみると、単に体力的な要素だけでなく、精神的な要素も必要とするものであると言えるので、この「D分離・模倣運動」の得点上昇の傾向は精神的側面からもたらされた能力向上の結果であると言える。

この「D分離・模倣運動」における得点上昇の結果は様々な可能性、方向性を示唆している。加齢変化に伴い各種能力が一貫して低下していくというだけではなく、種類によっては逆にその能力が向上する場合もあるということは注目に値する点であるし、体力的な側面での能力低下を精神的側面での能力の向上によって補っているという可能性を示唆しているとも言える。この得点上昇という結果が何を意味するものなのか、あるいは何の影響で得点上昇という結果が生じたのかは限定できるものではなく、この結果についてのより細かな検証および検討が今後の研究において必要とされるものである。

### 第3節 横断データと縦断データの比較

施設より提供された約20年分のデータについて個人ごとに集計、分析を行わず、すべてのデータを各年齢ごとに集計し横断的に処理を行った。ただし個人内の得点変動を見るのではないので、測定データ数が何年分あるかは問題とせず、全てのデータを集計の対象としたが、合計得点が10点に満たない被検査者のデータだけは除外することとした。

図5が男性33名分のデータについて集計した結果をグラフ化したものであり、図6が女性25名分のデータについての結果をグラフ化したものである。ただし男女のデータを総合した全体の集計、分析は、男女間で得点や変化の傾向に差があるため行わなかった。

各グラフより、加齢変化に伴い男性の運動能は25歳～30歳付近をピークに低下していく傾向を示し、女性の運動能は20歳付近から30歳付近まで低下、以後50歳付近まで横這い状態、そしてまたそれ以降低下、というような二段階に分かれた低下の傾向を示している。

一方、縦断的データ処理の結果「傾向なし」、「下降傾向」の2つの傾向群に分類された37名のデータを各傾向群ごとに集計、分析を行い、その加齢変化に伴う総体的な傾向を見た。図7、8がそれぞれ傾向なし群男性および女性のグラフ、図9、10がそれぞれ下降傾向群男性および女性のグラフである。

図7、8から、加齢変化に伴い傾向なし群男性では若干の上昇の傾向が見られ、女性では幾分データにばらつきがあるものの一貫した横ばい傾向が見られる。次に図9、10から、下降傾向群では20歳代をピークにして一貫した運動能低下傾向が男女共通の特徴として言える。

また、回帰直線の傾きにも顕著な差はなく、下降傾向群の男女間には特徴的な差はないと言える。縦断的データ処理から分類された2つの傾向群ごとにデータをまとめた結果は、各傾向群の

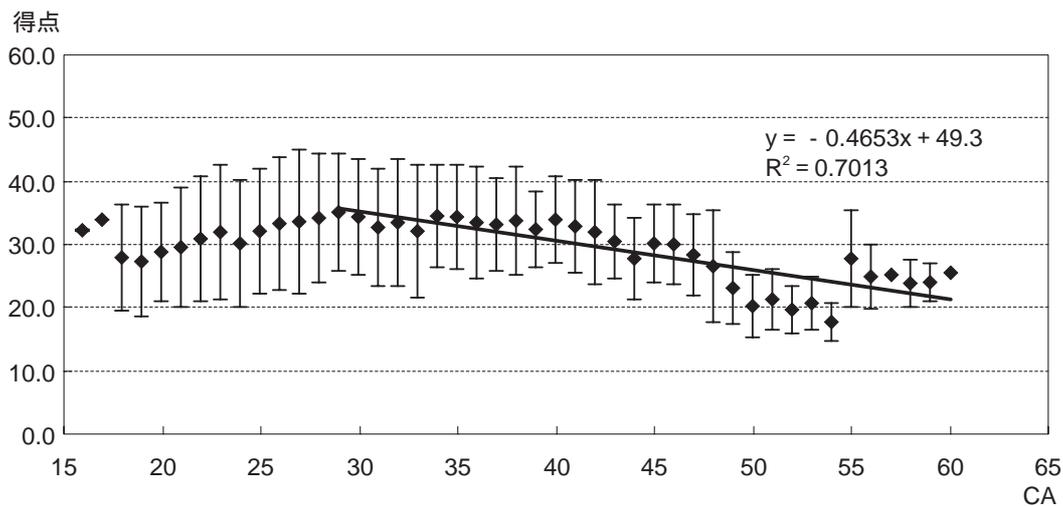


図5 横断データ集計による加齢変化のグラフ（男性）

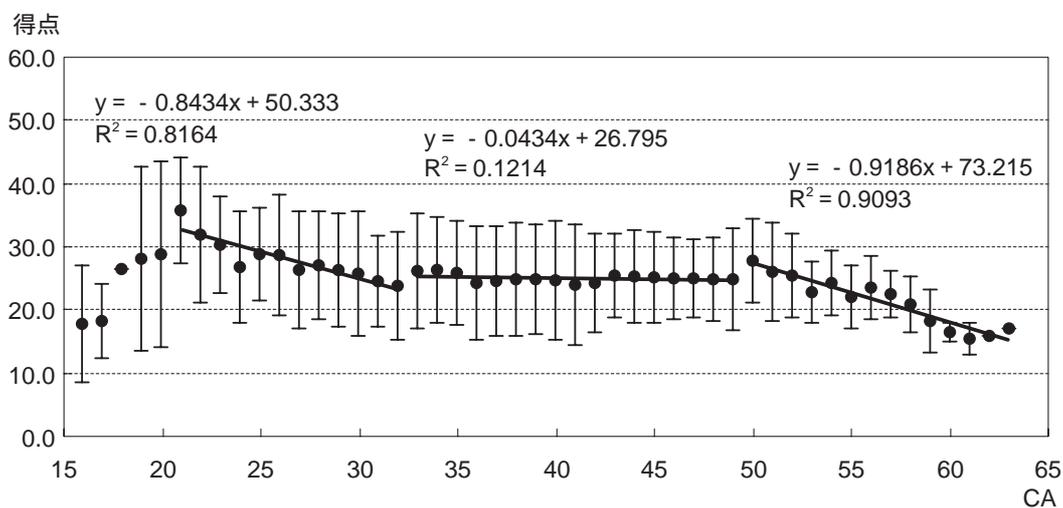


図6 横断データ集計による加齢変化のグラフ（女性）

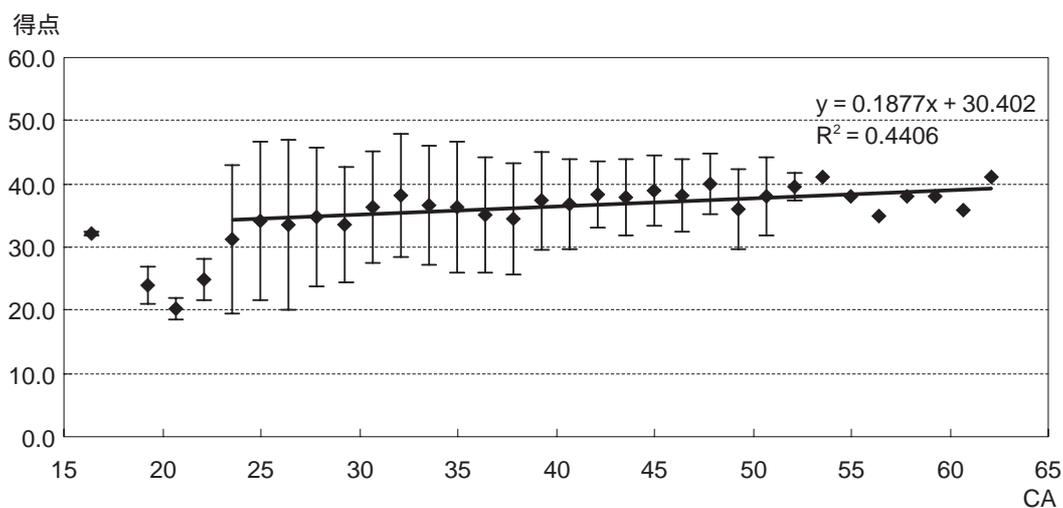


図7 縦断データ集計による傾向なし群男性・合計点平均の加齢変化

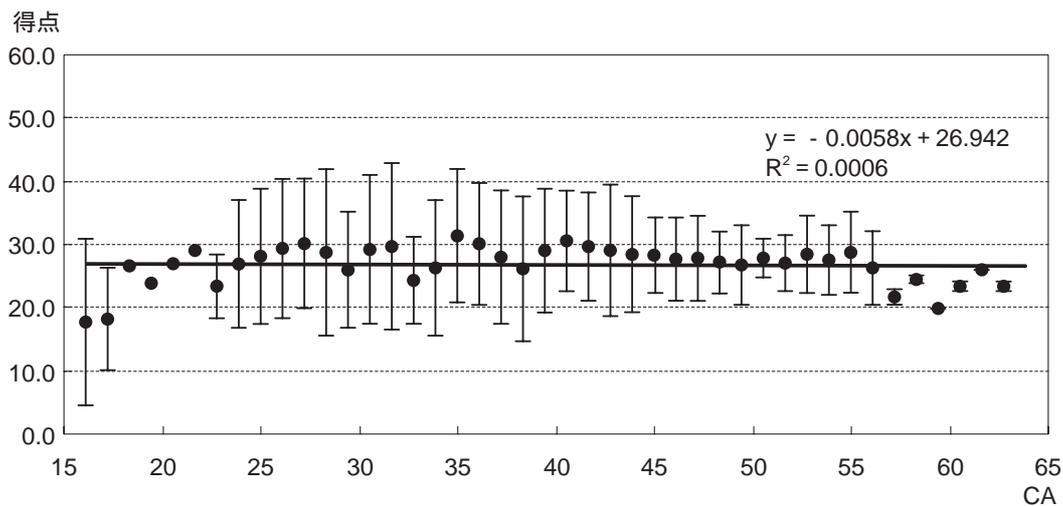


図8 縦断データ集計による傾向なし群女性・合計点平均の加齢変化

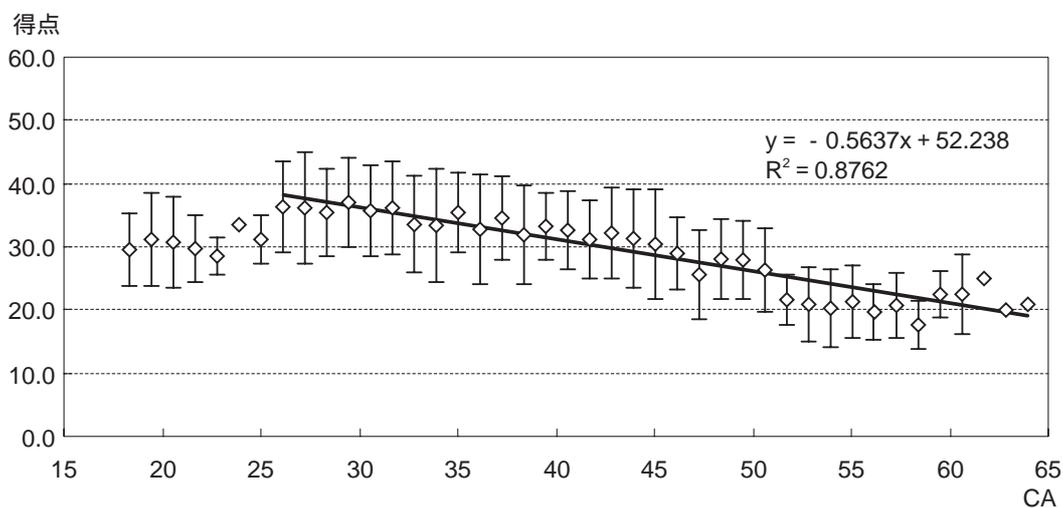


図9 縦断データ集計による下降傾向群男性・合計点平均の加齢変化

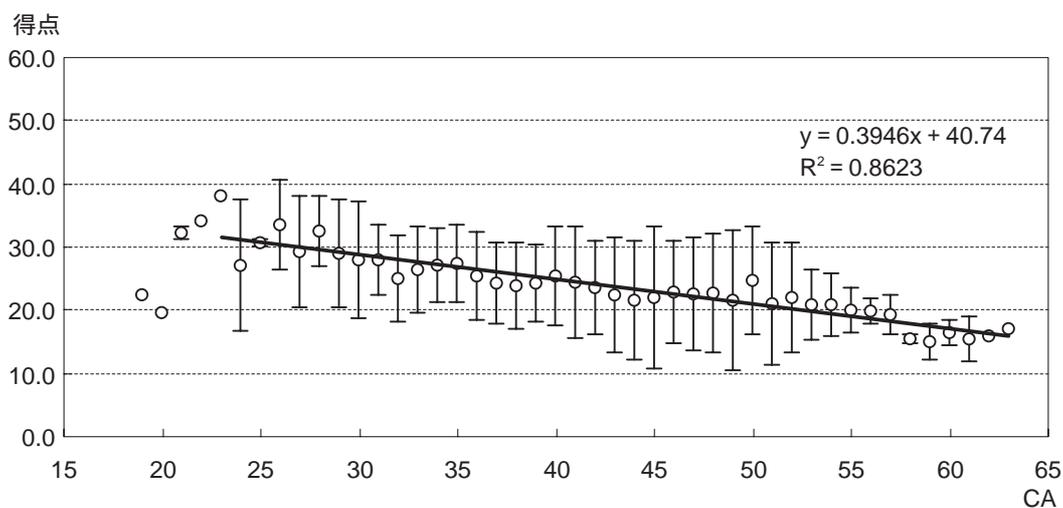


図10 縦断データ集計による下降傾向群女性・合計点平均の加齢変化

特徴をそのまま反映したようなものとなり、加齢変化に伴って運動能が一貫して下降の傾向だけを示すものではない、ということが示されている。

一方、横断的処理を行った結果は全てのデータを平均化してしまうため、縦断的な処理から示されたような横ばいの傾向や上昇の傾向は見出されず、その変化の仕方に差こそあれ、全体的に運動能低下の傾向だけを示すという結果となった。確かに全体的なデータから見れば、縦断的データ処理によって示された傾向なし群男性の上昇傾向などは一般的な傾向とは言えない外れ値であるかもしれないが、縦断的データ処理によって、平均値からは示すことの出来ない個々人の特性を反映した結果が得られたということも事実である。

横断的データ集計では一度に大量のデータの収集、分析が可能であり、一般的な傾向を見る上では時間もかからず扱いやすいものである、しかし本研究で行ったような縦断的データ集計によって得られた加齢変化の個人差を見ることはできない。2つのデータ集計方法の比較から全体的な加齢変化の傾向は、横断的データ集計が示す一貫した低下傾向だけではなく、変化なしまたは上昇傾向といったものも存在することが示された。そのため、横断的なデータ処理によって知的障害者全般について論じるだけでなく、縦断的なデータ処理によって各個人ごとに細かな対応を行う必要性が示唆される。

## 第5章 まとめ

本研究では、知的障害者の加齢に伴う運動能力の変化について、従来の研究で用いられてきた横断的データ集計では見ることのできなかつた、被検査者一人一人の加齢に伴う運動能力の変化を、縦断的データ集計によって検証した。

一般に加齢変化というと能力低下であると考えやすいが、本研究の知的障害者の運動能力では各被検査者において様々な変化の様相を呈した。分析の対象とした被検査者は下降傾向、上昇傾向、傾向なし、といった形で分類され、全体として一つの変化傾向にまとまるという結果にはならず、知的障害者全般に適用できるような共通した傾向の存在は示されなかつた。また、特に狩野運動能発達検査の下位項目となる「D分離・模倣運動」においては加齢に伴って得点が上昇するという傾向が多数見られ、職業能力に関わる各種能力が加齢に伴い変化していく中で、このような能力向上という結果は今後の研究においても注目すべき点であるといえる。

さらに、分析結果をもとに運動能力の下降開始年齢の推定を試みたが、運動能力が下降の傾向へと転じるような絶対的な年齢境界のようなものを特定することはできず、運動能力の下降開始年齢は各被検査者間で大きく差があるということが示唆された。

本研究の結果から知的障害者の運動能力の加齢変化について、知的障害者全般に適用可能な傾向は見出されず、「加齢変化 = 運動能力の低下」というような単純な図式では解釈できないことが示された。また運動能力を規定する体力的側面と精神的側面のうち、精神的側面において能力向上の可能性が示唆された。

# 文 献

- 1 . 労働科学研究所編：労研・適性検査の手びき。労働科学研究所、1972。
- 2 . 伊藤隆二、松原達哉：新訂増補 心理テスト入門。日本文化科学社、1983。
- 3 . 松原達哉：最新 心理テスト法入門。日本文化科学社、1995。
- 4 . 内山喜久雄監修：知能障害事典。岩崎学術出版社、1978。
- 5 . 清水亜也、武井敏朗、荒井道貴、田中敦士、松為信雄、小畑宣子：狩野運動能発達検査に見る知的障害者の運動能力の加齢変化、第6回職リハ研究発表会発表論文集 120-123、障害者職業総合センター、1998。

# 第 部

付表・付図

# 第 部 付 表

## 附表 1 身体的側面 1

### 表 1 1 身体的側面 (身長)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	58	239	146	138	149	119	61	46	10	5										
	平均 (cm)	155.1	157.0	160.4	159.8	159.9	157.7	155.2	157.6	155.0	152.9										
	標準偏差	7.29	16.19	9.83	9.09	9.31	8.84	20.48	7.64	10.78	8.99										
男 性	人 数	35	120	80	71	85	60	29	31	6	3										
	平均 (cm)	158.0	162.4	166.2	164.7	159.9	162.9	158.7	159.0	160.2	156.1										
	標準偏差	6.54	15.93	7.88	7.12	9.31	7.19	28.83	7.57	9.45	9.03										
女 性	人 数	23	119	66	67	64	59	32	15	4	2										
	平均 (cm)	150.8	151.5	153.5	154.6	153.7	152.4	152.0	154.9	147.1	148.1										
	標準偏差	6.24	14.60	7.07	8.01	8.06	7.06	6.23	7.25	7.89	9.12										
重 度	人 数	11	82	58	43	59	50	18	16	5	2										
	平均 (cm)	159.3	157.7	161.1	158.8	159.8	156.9	152.0	156.7	156.7	152.7										
	標準偏差	8.72	9.54	10.95	9.65	9.76	9.98	35.19	7.04	7.49	9.76										
重度以外	人 数	42	139	84	90	87	62	42	30	5	3										
	平均 (cm)	154.8	156.2	159.9	159.8	160.1	158.3	156.3	158.1	153.2	153.0										
	標準偏差	6.82	19.73	8.82	8.86	9.15	7.74	9.56	8.02	14.06	10.68										

### 表 1 2 身体的側面 (体重)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	58	240	144	137	149	119	60	46	10	5										
	平均 (kg)	51.7	54.8	59.1	61.0	60.5	58.9	64.5	57.8	52.2	59.3										
	標準偏差	11.97	12.14	12.48	13.73	14.22	11.21	57.33	10.33	6.34	14.05										
男 性	人 数	35	121	79	71	86	61	28	31	6	3										
	平均 (kg)	51.2	57.3	63.3	64.0	60.5	61.0	65.0	58.2	53.0	53.3										
	標準偏差	10.79	13.24	10.93	12.88	14.22	10.94	15.06	11.38	7.44	4.55										
女 性	人 数	23	119	65	66	63	58	32	15	4	2										
	平均 (kg)	52.6	52.2	54.0	57.9	54.6	56.7	64.0	57.1	50.9	68.4										
	標準偏差	13.80	10.33	12.41	14.02	11.28	11.16	77.83	8.01	4.97	21.78										
重 度	人 数	11	83	56	43	59	50	18	16	5	2										
	平均 (kg)	53.7	54.6	60.2	60.1	62.2	60.6	57.8	53.0	52.6	55.4										
	標準偏差	10.78	11.59	11.92	13.21	16.07	10.79	12.82	7.82	8.93	4.03										
重度以外	人 数	42	139	84	89	87	62	41	30	5	3										
	平均 (kg)	50.7	54.7	57.9	61.2	59.5	58.0	67.2	60.4	51.7	62.0										
	標準偏差	10.39	12.83	12.58	13.95	12.99	11.87	68.91	10.70	3.19	18.97										

### 表 1 3 身体的側面 (背筋力)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	31	114	67	61	55	49	19	20	3	2										
	平均 (kg)	56.9	63.1	74.0	72.6	70.0	65.3	62.8	65.9	89.0	56.0										
	標準偏差	24.63	25.78	33.26	33.68	30.53	27.17	26.99	28.71	6.08	8.49										
男 性	人 数	18	61	36	34	32	25	8	11	3	1										
	平均 (kg)	70.6	73.2	89.6	92.7	70.0	83.3	72.3	81.8	89.0	62.0										
	標準偏差	21.87	28.98	32.36	30.48	30.53	22.79	30.19	25.89	6.08	*										
女 性	人 数	13	53	31	27	23	24	11	9	0	1										
	平均 (kg)	38.1	51.4	55.9	47.2	44.1	46.5	56.0	46.4	*	50.0										
	標準偏差	13.21	14.72	24.14	15.48	16.15	16.69	23.47	18.59	*	*										
重 度	人 数	5	38	29	19	20	16	5	8	1	1										
	平均 (kg)	50.6	60.2	69.6	85.5	59.0	61.2	74.4	54.5	96.0	62.0										
	標準偏差	11.78	21.05	33.11	36.71	29.07	24.65	38.42	23.38	*	*										
重度以外	人 数	24	67	36	39	35	30	14	12	2	1										
	平均 (kg)	57.4	65.0	78.7	62.0	76.3	70.0	58.7	73.5	85.5	50.0										
	標準偏差	25.04	28.63	33.78	26.04	29.94	28.27	22.02	30.30	0.71	*										

## 附表 1 身体的側面 2

### 表 1 4 身体的側面 (握力: 右)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	59	230	147	136	148	123	63	50	10	5										
	平均(kg)	23.6	24.7	28.3	28.3	31.5	28.7	27.4	29.0	24.9	29.4										
	標準偏差	7.18	8.71	9.73	10.12	27.82	10.15	9.30	9.69	8.06	6.17										
男 性	人 数	36	116	79	72	88	62	30	34	6	3										
	平均(kg)	25.2	29.0	34.0	33.9	31.5	35.3	33.4	32.0	30.1	32.7										
	標準偏差	7.36	9.14	8.63	9.29	27.82	8.64	9.17	8.69	5.39	5.43										
女 性	人 数	23	114	68	64	60	61	33	16	4	2										
	平均(kg)	21.1	20.3	21.7	22.1	22.6	22.0	22.0	22.6	17.1	24.5										
	標準偏差	6.24	5.50	6.09	6.88	6.80	6.55	5.21	8.68	3.34	3.54										
重 度	人 数	12	80	57	42	57	55	18	20	5	2										
	平均(kg)	24.2	24.9	29.0	27.9	34.3	27.9	30.0	27.0	27.1	30.6										
	標準偏差	8.26	9.27	10.75	10.48	43.11	10.84	12.05	7.96	7.83	5.59										
重度以外	人 数	43	132	85	89	88	61	43	29	5	3										
	平均(kg)	23.6	24.6	27.8	28.1	30.0	29.6	25.6	30.5	22.7	28.7										
	標準偏差	6.63	8.72	9.13	9.93	10.10	9.28	6.98	10.77	8.54	7.64										

### 表 1 5 身体的側面 (握力: 左)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	55	225	144	133	147	122	62	48	10	5										
	平均(kg)	22.8	23.7	27.5	27.5	28.2	26.9	25.7	28.5	23.7	31.2										
	標準偏差	6.97	8.86	9.89	10.19	9.77	10.28	8.73	9.19	8.37	8.00										
男 性	人 数	32	112	76	70	86	61	29	32	6	3										
	平均(kg)	24.7	28.3	33.3	32.9	28.2	33.3	31.4	31.4	28.8	35.7										
	標準偏差	7.51	9.04	8.54	9.18	9.77	8.34	8.81	8.88	5.98	7.29										
女 性	人 数	23	113	68	63	61	61	33	16	4	2										
	平均(kg)	20.1	19.1	21.0	21.4	21.3	20.5	20.8	22.7	16.0	24.5										
	標準偏差	5.17	5.75	6.80	7.54	6.77	7.72	4.86	6.96	4.32	0.71										
重 度	人 数	11	80	57	41	58	55	18	19	5	2										
	平均(kg)	23.7	23.3	28.0	27.0	28.1	25.7	28.3	24.7	25.4	32.3										
	標準偏差	7.96	9.12	10.85	10.92	9.50	10.75	10.64	8.07	7.67	6.01										
重度以外	人 数	40	128	82	87	86	60	42	28	5	3										
	平均(kg)	22.6	23.9	27.0	27.3	28.6	28.3	24.0	31.0	22.0	30.5										
	標準偏差	6.42	9.12	9.37	9.84	10.02	9.61	6.97	9.31	9.57	10.40										

付表2 知能検査 1

表2 1 田中ビネー検査

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	23	79		54		43		34		28		16		7		2		2		
	平均(IQ)	52.0	52.3		48.4		50.0		47.7		47.6		44.7		37.3		42.5		33.5		
	標準偏差	9.85	10.22		10.57		11.27		8.60		10.09		10.25		5.62		12.02		4.95		
男 性	人 数	13	40		25		24		19		14		9		5		2		1		
	平均(IQ)	49.6	52.1		51.8		51.5		47.7		48.0		41.6		38.4		42.5		30.0		
	標準偏差	10.75	11.07		11.76		10.15		8.60		12.93		9.66		6.23		12.02		*		
女 性	人 数	10	39		29		19		15		14		7		2		0		1		
	平均(IQ)	55.1	52.6		45.3		48.0		48.9		47.3		48.7		34.5		*		37.0		
	標準偏差	8.02	9.42		8.53		12.56		8.70		6.65		10.24		3.54		*		*		
重 度	人 数	7	31		35		24		19		18		11		5		1		0		
	平均(IQ)	45.0	54.4		46.5		47.2		46.7		45.8		42.7		35.0		34.0		*		
	標準偏差	6.68	10.34		8.64		11.10		7.86		8.35		11.26		4.90		*		*		
重度以外	人 数	13	40		15		15		14		7		4		2		1		2		
	平均(IQ)	55.4	51.9		49.8		51.3		47.8		47.1		50.0		43.0		51.0		33.5		
	標準偏差	9.82	10.47		11.85		11.05		8.66		11.20		7.16		1.41		*		4.95		

表2 2 鈴木ビネー検査

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	10	58		37		44		65		61		30		19		5		2		
	平均(IQ)	55.4	51.9		51.7		49.4		48.3		47.7		46.8		45.9		52.4		40.5		
	標準偏差	6.20	9.98		10.60		8.23		8.59		8.54		7.33		6.81		11.01		6.36		
男 性	人 数	8	31		18		22		36		31		14		11		2		1		
	平均(IQ)	56.6	53.2		50.6		50.8		48.3		48.5		49.2		45.6		49.5		45.0		
	標準偏差	6.25	10.54		10.60		6.78		8.59		8.64		8.43		7.72		9.19		*		
女 性	人 数	2	27		19		22		29		30		16		8		3		1		
	平均(IQ)	50.5	50.5		52.8		48.0		48.4		46.7		44.7		46.3		54.3		36.0		
	標準偏差	3.54	9.27		10.76		9.41		9.16		8.47		5.65		5.82		13.65		*		
重 度	人 数	1	27		21		23		36		37		18		11		4		2		
	平均(IQ)	66.0	49.0		52.3		50.8		46.8		46.9		46.0		46.5		48.0		40.5		
	標準偏差	*	8.15		9.90		7.37		7.82		8.46		4.81		4.99		5.72		6.36		
重度以外	人 数	6	29		15		21		27		22		11		8		1		0		
	平均(IQ)	54.3	55.8		51.5		47.9		49.4		49.0		47.5		45.0		70.0		*		
	標準偏差	5.99	9.83		11.95		9.00		9.05		8.73		10.52		9.07		*		*		

表2 3 WAIS R (言語性検査：知識(基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	28		23		21		27		12		8		7		2		0		
	平均(点)	6.0	4.6		3.8		3.0		5.4		5.2		3.1		3.9		3.0		*		
	標準偏差	2.65	4.14		2.57		2.12		4.06		4.51		1.89		3.18		1.41		*		
男 性	人 数	0	15		15		13		18		7		4		5		1		0		
	平均(点)	*	4.8		4.2		3.5		5.4		6.6		4.3		4.8		4.0		*		
	標準偏差	*	4.30		3.05		2.57		4.06		5.35		1.71		3.35		*		*		
女 性	人 数	3	13		8		8		9		5		4		2		1		0		
	平均(点)	6.0	4.5		3.1		2.3		3.6		3.2		2.0		1.5		2.0		*		
	標準偏差	2.65	4.12		1.13		0.71		2.46		2.17		1.41		0.71		*		*		
重 度	人 数	1	13		8		10		10		5		3		1		2		0		
	平均(点)	4.0	3.4		3.9		2.5		6.6		5.2		2.3		5.0		3.0		*		
	標準偏差	*	2.02		3.23		2.01		4.84		3.27		2.08		*		1.41		*		
重度以外	人 数	1	13		14		11		17		6		4		5		0		0		
	平均(点)	9.0	5.9		3.4		3.5		4.7		5.8		3.3		4.0		*		*		
	標準偏差	*	5.56		1.55		2.21		3.50		5.67		1.89		3.74		*		*		

## 付表2 知能検査 2

表2 4 WAIS R (言語性検査：数唱(基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	27	23	21	27	12	8	7	2	0										
	平均(点)	8.3	9.4	7.8	5.6	8.4	5.8	4.4	6.6	3.5	*										
	標準偏差	4.93	4.65	3.09	3.12	4.83	2.79	3.25	3.46	0.71	*										
男 性	人 数	0	15	15	13	18	7	4	5	1	0										
	平均(点)	*	9.4	7.5	5.0	8.4	6.9	6.0	5.6	4.0	*										
	標準偏差	*	3.91	3.44	3.29	4.83	2.91	2.16	3.65	*	*										
女 性	人 数	3	12	8	8	9	5	4	2	1	0										
	平均(点)	8.3	9.3	8.4	6.5	6.2	4.4	2.8	9.0	3.0	*										
	標準偏差	4.93	5.63	2.39	2.78	3.49	2.07	3.59	1.41	*	*										
重 度	人 数	1	13	8	10	10	5	3	1	2	0										
	平均(点)	5.0	8.0	6.6	4.9	10.4	6.2	2.3	7.0	3.5	*										
	標準偏差	*	3.46	2.39	3.75	5.42	2.59	3.21	*	0.71	*										
重度以外	人 数	1	12	14	11	17	6	4	5	0	0										
	平均(点)	14.0	11.3	8.4	6.2	7.2	6.0	5.8	6.6	*	*										
	標準偏差	*	4.69	3.43	2.44	4.18	3.16	3.30	4.22	*	*										

表2 5 WAIS R (言語性検査：単語(基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	28	23	21	27	12	8	7	2	0										
	平均(点)	10.3	8.9	5.5	4.4	6.7	9.9	4.4	5.7	4.0	*										
	標準偏差	4.04	6.59	3.58	4.51	3.90	9.02	1.30	4.27	0.00	*										
男 性	人 数	0	15	15	13	18	7	4	5	1	0										
	平均(点)	*	8.8	5.6	4.9	6.7	13.3	4.3	6.4	4.0	*										
	標準偏差	*	6.68	4.21	5.47	3.90	10.06	0.50	5.03	*	*										
女 性	人 数	3	13	8	8	9	5	4	2	1	0										
	平均(点)	10.3	9.0	5.4	3.6	6.1	5.2	4.5	4.0	4.0	*										
	標準偏差	4.04	6.76	2.20	2.39	4.96	4.92	1.91	0.00	*	*										
重 度	人 数	1	13	8	10	10	5	3	1	2	0										
	平均(点)	6.0	6.4	5.3	3.8	6.8	9.2	3.3	1.0	4.0	*										
	標準偏差	*	3.52	1.49	4.87	3.85	5.72	0.58	*	0.00	*										
重度以外	人 数	1	13	14	11	17	6	4	5	0	0										
	平均(点)	14.0	10.8	5.1	5.0	6.6	11.5	5.3	6.2	*	*										
	標準偏差	*	8.32	4.00	4.31	4.05	11.93	1.26	4.49	*	*										

表2 6 WAIS R (言語性検査：算数(基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	28	22	21	27	12	8	7	2	0										
	平均(点)	6.0	4.8	4.2	3.5	4.0	4.4	3.0	3.7	3.0	*										
	標準偏差	2.00	2.32	2.02	2.06	1.82	3.26	1.60	1.25	0.00	*										
男 性	人 数	0	15	15	13	18	7	4	5	1	0										
	平均(点)	*	5.1	4.2	2.9	4.0	5.4	4.0	3.4	3.0	*										
	標準偏差	*	2.79	2.01	1.61	1.82	3.51	0.82	1.34	*	*										
女 性	人 数	3	13	7	8	9	5	4	2	1	0										
	平均(点)	6.0	4.5	4.1	4.5	3.1	3.0	2.0	4.5	3.0	*										
	標準偏差	2.00	1.66	2.19	2.45	1.54	2.55	1.63	0.71	*	*										
重 度	人 数	1	13	8	10	10	5	3	1	2	0										
	平均(点)	4.0	3.9	4.0	2.8	4.1	5.0	2.3	4.0	3.0	*										
	標準偏差	*	1.38	2.14	1.93	2.13	3.39	0.58	*	0.00	*										
重度以外	人 数	1	13	13	11	17	6	4	5	0	0										
	平均(点)	8.0	5.6	4.2	4.2	3.9	4.5	3.3	3.6	*	*										
	標準偏差	*	2.93	2.09	2.04	1.68	3.39	2.22	1.52	*	*										

付表2 知能検査 3

表2 7 WAIS R (言語性検査：理解 (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	28		23		21		27		12		8		7		2		0		
	平均(点)	9.3	6.1		4.6		5.1		5.1		4.8		4.6		5.1		4.0		*		
	標準偏差	3.06	4.89		3.23		3.85		3.43		3.89		0.92		3.48		2.83		*		
男 性	人 数	0	15		15		13		18		7		4		5		1		0		
	平均(点)	*	6.5		4.0		5.5		5.1		4.7		5.3		6.2		6.0		*		
	標準偏差	*	5.76		3.16		4.48		3.43		3.55		0.50		3.63		*		*		
女 性	人 数	3	13		8		8		9		5		4		2		1		0		
	平均(点)	9.3	5.7		5.8		4.4		5.1		4.8		4.0		2.5		2.0		*		
	標準偏差	3.06	3.86		3.24		2.62		2.71		4.76		0.82		0.71		*		*		
重 度	人 数	1	13		8		10		10		5		3		1		2		0		
	平均(点)	6.0	4.2		5.0		5.3		4.2		5.0		4.7		6.0		4.0		*		
	標準偏差	*	2.77		2.62		4.76		2.49		4.47		0.58		*		2.83		*		
重度以外	人 数	1	13		14		11		17		6		4		5		0		0		
	平均(点)	12.0	7.5		4.2		4.9		5.6		5.0		4.3		4.4		*		*		
	標準偏差	*	6.21		3.64		3.02		3.86		3.95		0.96		3.91		*		*		

表2 8 WAIS R (言語性検査：類似 (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	3	28		23		20		27		12		8		7		2		0		
	平均(点)	4.7	5.9		4.1		5.1		5.9		4.2		1.3		2.4		0.0		*		
	標準偏差	1.53	4.88		3.40		3.09		4.60		4.34		1.39		1.99		0.00		*		
男 性	人 数	0	15		15		12		18		7		4		5		1		0		
	平均(点)	*	5.5		3.8		4.8		5.9		5.7		2.0		2.6		0.0		*		
	標準偏差	*	5.07		2.48		3.46		4.60		5.02		1.41		2.30		*		*		
女 性	人 数	3	13		8		8		9		5		4		2		1		0		
	平均(点)	4.7	6.4		4.6		5.4		5.2		2.0		0.5		2.0		0.0		*		
	標準偏差	1.53	4.81		4.84		2.62		4.71		2.00		1.00		1.41		*		*		
重 度	人 数	1	13		8		9		10		5		3		1		2		0		
	平均(点)	5.0	5.2		3.1		4.2		7.1		3.2		1.0		3.0		0.0		*		
	標準偏差	*	4.74		2.23		3.15		5.07		2.59		1.00		*		0.00		*		
重度以外	人 数	1	13		14		11		17		6		4		5		0		0		
	平均(点)	6.0	7.2		4.7		5.7		5.1		5.3		1.5		2.2		*		*		
	標準偏差	*	5.15		3.97		3.00		4.28		5.72		1.91		2.39		*		*		

表2 9 WAIS R (動作性検査：完成 (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	5	31		27		24		29		14		8		7		2		0		
	平均(点)	12.6	8.2		7.2		5.8		6.1		5.8		5.6		4.3		5.5		*		
	標準偏差	7.77	4.31		3.91		3.87		3.78		3.31		3.38		3.25		3.54		*		
男 性	人 数	1	16		18		15		20		8		4		5		1		0		
	平均(点)	3.0	9.3		7.3		6.1		6.1		5.5		7.5		5.2		8.0		*		
	標準偏差	*	3.72		4.17		4.47		3.78		3.74		3.00		3.49		*		*		
女 性	人 数	4	15		9		9		9		6		4		2		1		0		
	平均(点)	15.0	7.0		7.0		5.2		5.3		6.2		3.8		2.0		3.0		*		
	標準偏差	6.48	4.69		3.57		2.73		4.09		2.93		2.87		0.00		*		*		
重 度	人 数	1	15		8		10		12		5		3		1		2		0		
	平均(点)	7.0	8.5		6.1		4.7		5.4		6.8		5.7		5.0		5.5		*		
	標準偏差	*	4.05		4.29		4.32		2.97		1.79		2.89		*		3.54		*		
重度以外	人 数	3	14		18		14		17		8		4		5		0		0		
	平均(点)	14.3	8.2		7.4		6.6		6.6		5.8		5.8		4.0		*		*		
	標準偏差	10.02	4.69		3.79		3.46		4.27		3.81		4.57		3.94		*		*		

付表2 知能検査 4

表2 10 WAIS R (動作性検査：配列 (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	5	31		27		24		29		14		8		7		2		0		
	平均(点)	13.6	8.5		6.2		5.1		5.9		6.2		3.9		4.9		3.5		*		
	標準偏差	12.70	4.63		4.34		3.64		4.22		5.35		1.81		3.39		3.54		*		
男 性	人 数	1	16		18		15		20		8		4		5		1		0		
	平均(点)	1.0	9.0		6.8		4.9		5.9		7.3		4.8		5.4		6.0		*		
	標準偏差	*	4.24		4.19		4.18		4.22		6.45		2.22		3.97		*		*		
女 性	人 数	4	15		9		9		9		6		4		2		1		0		
	平均(点)	16.8	7.9		5.0		5.4		5.1		4.8		3.0		3.5		1.0		*		
	標準偏差	12.20	5.10		4.64		2.70		3.92		3.49		0.82		0.71		*		*		
重 度	人 数	1	15		8		10		12		5		3		1		2		0		
	平均(点)	3.0	7.6		4.4		4.1		5.8		2.8		4.3		4.0		3.5		*		
	標準偏差	*	4.31		2.33		3.87		4.85		1.30		3.21		*		3.54		*		
重度以外	人 数	3	14		18		14		17		8		4		5		0		0		
	平均(点)	12.3	9.6		7.1		5.9		5.9		8.9		3.5		4.8		*		*		
	標準偏差	12.66	5.06		4.93		3.42		3.88		5.77		0.58		4.09		*		*		

表2 11 WAIS R (動作性検査：模様 (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	5	31		27		24		29		14		8		7		2		0		
	平均(点)	17.4	20.8		15.1		13.3		16.9		14.1		11.8		9.9		14.0		*		
	標準偏差	11.30	11.93		10.97		11.39		11.20		10.38		11.12		10.16		18.38		*		
男 性	人 数	1	16		18		15		20		8		4		5		1		0		
	平均(点)	6.0	24.3		16.7		13.1		16.9		12.1		12.3		11.8		27.0		*		
	標準偏差	*	9.80		11.62		12.88		11.20		8.06		8.34		11.56		*		*		
女 性	人 数	4	15		9		9		9		6		4		2		1		0		
	平均(点)	20.3	17.1		12.1		13.7		15.1		16.8		11.3		5.0		1.0		*		
	標準偏差	10.78	13.18		9.43		9.08		13.79		13.20		14.77		4.24		*		*		
重 度	人 数	1	15		8		10		12		5		3		1		2		0		
	平均(点)	6.0	17.1		11.1		10.8		16.9		15.2		7.0		15.0		14.0		*		
	標準偏差	*	7.01		9.05		8.44		11.03		8.29		1.73		*		18.38		*		
重度以外	人 数	3	14		18		14		17		8		4		5		0		0		
	平均(点)	17.0	26.5		16.4		15.1		16.8		15.1		13.3		4.8		*		*		
	標準偏差	10.54	14.19		11.64		13.10		11.65		11.59		15.44		3.83		*		*		

表2 12 WAIS R (動作性検査：組み合わせ (基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	5	31		27		24		29		14		8		7		2		0		
	平均(点)	11.4	17.6		16.0		12.8		13.1		11.4		11.4		6.1		18.5		*		
	標準偏差	7.77	9.15		11.71		10.43		9.48		6.42		5.80		2.73		17.68		*		
男 性	人 数	1	16		18		15		20		8		4		5		1		0		
	平均(点)	3.0	20.6		17.9		13.1		13.1		10.4		10.5		5.6		6.0		*		
	標準偏差	*	9.06		12.47		11.92		9.48		6.86		6.95		1.95		*		*		
女 性	人 数	4	15		9		9		9		6		4		2		1		0		
	平均(点)	13.5	14.4		12.2		12.2		14.2		12.7		12.3		7.5		6.0		*		
	標準偏差	7.14	8.40		9.51		7.95		11.29		6.12		5.32		4.95		*		*		
重 度	人 数	1	15		8		10		12		5		3		1		2		0		
	平均(点)	3.0	16.7		13.1		12.6		9.8		12.8		8.7		8.0		18.5		*		
	標準偏差	*	7.08		10.82		8.58		7.58		6.22		2.08		*		17.68		*		
重度以外	人 数	3	14		18		14		17		8		4		5		0		0		
	平均(点)	12.7	19.4		16.5		12.9		15.5		11.8		13.5		6.0		*		*		
	標準偏差	8.50	11.40		12.00		11.89		10.17		6.11		7.90		3.16		*		*		

## 付表2 知能検査 5

表2 13 WAIS R (動作性検査：符号(基準年令換算評価点))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	5	31		27		23		29		14		8		7		2		0		0
	平均(点)	28.0	36.1		26.4		28.2		32.8		26.4		19.4		17.4		17.0		*		*
	標準偏差	12.88	13.25		18.55		16.38		12.63		12.45		11.82		11.21		16.97		*		*
男 性	人 数	1	16		18		14		20		8		4		5		1		0		0
	平均(点)	8.0	41.3		28.4		23.4		32.8		27.6		23.8		19.2		29.0		*		*
	標準偏差	*	11.61		19.39		18.03		12.63		14.46		15.65		11.17		*		*		*
女 性	人 数	4	15		9		9		9		6		4		2		1		0		0
	平均(点)	33.0	30.6		22.3		35.7		31.4		24.7		15.0		13.0		5.0		*		*
	標準偏差	7.39	12.98		17.10		10.30		15.18		10.21		5.48		14.14		*		*		*
重 度	人 数	1	15		8		9		12		5		3		1		2		0		0
	平均(点)	28.0	36.5		24.1		24.7		33.8		32.4		15.3		22.0		17.0		*		*
	標準偏差	*	8.25		17.06		13.97		14.47		10.16		8.50		*		16.97		*		*
重度以外	人 数	3	14		18		14		17		8		4		5		0		0		0
	平均(点)	23.3	35.4		26.8		30.4		32.2		25.8		20.8		14.6		*		*		*
	標準偏差	14.19	18.18		19.96		17.89		11.59		10.51		15.63		12.26		*		*		*

### 付表3 一般職業適性検査 1

表3 1 GATB (器具検査1 : M検査 (差し込み))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	65	262	173	167	179	160	119	69	15	8											
	平均(素点)	56.9	60.2	62.2	62.1	62.3	61.7	59.1	59.5	58.9	61.0											
	標準偏差	12.38	12.48	12.08	11.39	12.09	11.09	11.77	12.41	9.65	8.00											
男 性	人 数	38	126	92	90	104	78	64	46	8	6											
	平均(素点)	55.3	62.6	64.8	62.9	62.3	63.6	59.7	59.8	55.8	62.0											
	標準偏差	12.57	13.58	10.04	11.89	12.09	11.12	11.57	12.06	9.71	8.85											
女 性	人 数	27	136	81	77	75	82	55	23	7	2											
	平均(素点)	59.0	58.1	59.2	61.2	61.0	59.8	58.3	58.9	62.6	58.0											
	標準偏差	12.02	10.97	13.49	10.79	12.28	10.80	12.06	13.35	8.85	5.66											
重 度	人 数	14	87	72	62	74	79	66	37	10	5											
	平均(素点)	59.2	60.6	61.0	61.8	61.1	60.6	58.9	59.2	62.6	61.2											
	標準偏差	11.48	12.97	11.79	10.99	11.10	9.78	12.62	9.35	7.12	9.65											
重度以外	人 数	43	154	94	98	101	74	51	31	5	3											
	平均(素点)	56.2	59.9	63.4	62.2	62.7	63.5	58.9	59.5	51.6	60.7											
	標準偏差	11.32	12.31	12.40	11.84	12.72	11.82	10.80	15.51	10.53	6.11											

表3 2 GATB (器具検査2 : N検査 (差し替え))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	65	261	173	166	179	160	119	69	15	8											
	平均(素点)	60.5	63.3	66.2	65.0	64.9	64.4	62.6	63.0	59.1	60.3											
	標準偏差	12.32	13.14	12.71	12.32	12.37	11.49	12.67	10.77	10.07	12.19											
男 性	人 数	38	126	92	89	104	78	64	46	8	6											
	平均(素点)	59.5	64.4	67.9	63.3	64.9	64.2	61.9	62.8	53.6	63.8											
	標準偏差	12.06	14.60	10.56	11.84	12.37	11.85	12.55	10.91	8.68	12.09											
女 性	人 数	27	135	81	77	75	82	55	23	7	2											
	平均(素点)	61.9	62.3	64.2	66.8	64.7	64.6	63.4	63.5	65.3	49.5											
	標準偏差	12.78	11.57	14.61	12.66	13.27	11.21	12.88	10.71	8.01	0.71											
重 度	人 数	14	87	72	62	74	80	66	37	10	5											
	平均(素点)	62.5	63.1	64.0	64.6	63.5	63.7	62.5	60.6	61.0	61.6											
	標準偏差	12.85	13.47	12.32	12.38	11.45	10.39	13.06	10.03	9.56	12.05											
重度以外	人 数	43	153	94	97	101	73	51	31	5	3											
	平均(素点)	60.1	63.2	68.2	64.8	65.3	65.8	62.3	65.6	55.2	58.0											
	標準偏差	10.90	13.09	12.78	12.59	12.78	12.18	12.23	11.24	11.03	14.73											

表3 3 GATB (器具検査3 : O検査 (組み合わせ))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	57	226	149	137	153	123	62	44	8	5											
	平均(素点)	13.5	14.0	15.6	15.3	14.9	14.6	14.0	13.5	10.9	12.4											
	標準偏差	5.55	5.19	7.68	5.22	4.73	4.36	4.29	4.80	3.94	2.61											
男 性	人 数	32	109	83	72	87	61	27	31	4	3											
	平均(素点)	12.9	14.1	15.4	15.5	14.9	14.5	13.9	12.8	10.5	14.0											
	標準偏差	5.82	5.69	4.66	5.67	4.73	3.94	3.93	4.05	5.45	2.00											
女 性	人 数	25	117	66	65	66	62	35	13	4	2											
	平均(素点)	14.3	13.9	15.8	15.2	15.6	14.7	14.2	15.3	11.3	10.0											
	標準偏差	5.20	4.70	10.34	4.70	4.53	4.78	4.60	6.05	2.50	0.00											
重 度	人 数	10	69	61	48	62	56	22	16	4	2											
	平均(素点)	12.7	13.7	14.9	14.7	13.9	14.3	14.2	14.0	12.8	13.0											
	標準偏差	4.81	5.78	4.27	4.64	5.13	4.28	4.49	4.94	3.59	1.41											
重度以外	人 数	39	141	83	85	87	62	39	27	4	3											
	平均(素点)	14.2	14.4	16.2	15.5	15.5	15.0	14.0	13.2	9.0	12.0											
	標準偏差	5.85	4.99	9.52	5.40	4.33	4.35	4.28	4.86	3.74	3.46											

### 付表3 一般職業適性検査 2

表3 4 GATB (器具検査4 : P検査(分解))

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	57	226		149		137		152		122		62		44		8		5		
	平均(素点)	15.9	17.2		19.3		18.3		18.0		17.3		17.0		17.4		14.6		14.2		
	標準偏差	6.25	5.62		7.38		5.27		5.19		4.88		5.06		8.83		6.76		2.49		
男 性	人 数	32	109		83		72		86		61		27		31		4		3		
	平均(素点)	15.2	17.4		19.7		18.1		18.0		17.5		16.9		17.8		13.3		15.3		
	標準偏差	6.78	6.15		5.05		4.96		5.19		4.43		4.44		9.80		6.95		2.31		
女 性	人 数	25	117		66		65		66		61		35		13		4		2		
	平均(素点)	16.9	17.0		18.7		18.6		18.9		17.1		17.0		16.5		16.0		12.5		
	標準偏差	5.49	5.08		9.55		5.61		5.13		5.32		5.55		6.15		7.30		2.12		
重 度	人 数	10	69		61		48		62		56		22		16		4		2		
	平均(素点)	16.6	16.7		18.4		18.1		17.6		16.4		18.0		19.6		17.0		16.0		
	標準偏差	6.72	6.34		5.18		5.37		5.43		4.49		5.04		12.86		5.35		2.83		
重度以外	人 数	39	141		83		85		86		61		39		27		4		3		
	平均(素点)	16.2	17.5		20.0		18.4		18.2		18.3		16.4		16.0		12.3		13.0		
	標準偏差	6.31	5.18		8.70		5.23		5.03		5.02		5.11		5.30		7.93		1.73		

付表4 ワークサンプル法 1

表4 1 ワークサンプル法(ボルト・ナットの組み立て)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	21	54	19	15	42	24	19	6	0	1											
	平均(秒)	140.1	164.3	181.6	120.3	119.9	151.7	147.3	129.7	*	107.0											
	標準偏差	43.69	50.72	79.59	74.39	45.65	70.83	34.08	25.23	*	*											
男 性	人 数	13	20	10	10	22	9	9	5	0	0											
	平均(秒)	145.2	161.5	152.4	130.9	119.9	176.3	144.7	135.4	*	*											
	標準偏差	52.44	44.09	65.91	79.35	45.65	79.65	30.11	23.44	*	*											
女 性	人 数	8	34	9	5	20	15	10	1	0	1											
	平均(秒)	131.9	165.9	214.1	99.0	130.0	136.9	149.6	101.0	*	107.0											
	標準偏差	24.76	54.81	84.34	65.98	52.79	63.19	38.78	*	*	*											
重 度	人 数	3	25	7	5	17	12	11	2	0	1											
	平均(秒)	123.3	172.0	181.5	107.2	125.8	178.9	135.6	131.0	*	107.0											
	標準偏差	40.86	47.11	67.78	92.69	51.54	75.70	32.03	35.36	*	*											
重度以外	人 数	13	26	11	10	25	11	8	4	0	0											
	平均(秒)	150.3	161.5	177.5	126.8	115.9	128.7	163.3	129.0	*	*											
	標準偏差	45.62	54.16	91.77	68.18	41.81	56.77	31.89	25.35	*	*											

表4 2 ワークサンプル法(ボルト・ナットの分解)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	20	31	11	9	37	17	19	6	0	1											
	平均(秒)	74.8	90.1	94.3	63.9	73.8	101.2	85.6	77.8	*	47.0											
	標準偏差	18.17	32.18	40.36	16.65	27.98	56.59	26.63	18.30	*	*											
男 性	人 数	12	19	7	7	21	6	9	5	0	0											
	平均(秒)	72.5	95.8	96.7	62.3	73.8	128.5	89.9	81.6	*	*											
	標準偏差	17.60	35.39	45.29	15.15	27.98	64.25	31.86	17.67	*	*											
女 性	人 数	8	12	4	2	16	11	10	1	0	1											
	平均(秒)	78.1	80.9	90.0	69.5	77.9	86.4	81.8	59.0	*	47.0											
	標準偏差	19.67	25.01	35.92	27.58	35.23	48.69	21.94	*	*	*											
重 度	人 数	3	13	4	3	16	9	11	2	0	1											
	平均(秒)	65.3	96.6	113.8	58.3	77.2	123.6	80.6	73.0	*	47.0											
	標準偏差	13.32	24.15	53.54	24.42	30.42	61.85	26.29	21.21	*	*											
重度以外	人 数	12	17	7	6	21	8	8	4	0	0											
	平均(秒)	79.2	87.2	83.1	66.7	71.2	76.1	92.5	80.3	*	*											
	標準偏差	16.25	37.14	29.75	13.32	26.44	39.82	27.26	19.62	*	*											

表4 3 ワークサンプル法(十字ドライバーのボルト取り付け)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	12	35	46	8	31	8	7	3	1	2											
	平均(秒)	53.8	49.5	70.4	56.4	62.2	50.6	59.7	70.0	47.0	91.5											
	標準偏差	14.53	11.08	30.76	21.51	27.70	17.79	20.01	28.58	*	12.02											
男 性	人 数	9	17	22	6	21	4	3	3	1	0											
	平均(秒)	55.1	52.1	68.4	51.2	62.2	58.0	52.0	70.0	47.0	*											
	標準偏差	16.22	11.24	34.51	19.69	27.70	23.25	16.09	28.58	*	*											
女 性	人 数	3	18	24	2	10	4	4	0	0	2											
	平均(秒)	50.0	47.1	72.2	72.0	60.9	43.3	65.5	*	*	91.5											
	標準偏差	8.89	10.65	27.51	25.46	23.09	7.27	22.88	*	*	12.02											
重 度	人 数	2	11	15	4	14	3	5	1	0	1											
	平均(秒)	38.5	48.9	72.4	53.8	66.6	40.0	64.4	54.0	*	100.0											
	標準偏差	6.36	10.44	30.80	24.89	21.70	4.00	22.45	*	*	*											
重度以外	人 数	8	19	29	4	16	5	2	2	1	1											
	平均(秒)	57.5	49.4	70.3	59.0	60.0	57.0	48.0	78.0	47.0	83.0											
	標準偏差	14.33	12.08	31.76	21.01	32.51	20.26	1.41	35.36	*	*											

付表4 ワークサンプル法 2

表4 4 ワークサンプル法(十字ドライバーのボルトはずし)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	12	26		10		5		28		8		7		3		1		2		
	平均(秒)	33.0	31.3		38.8		31.0		38.5		34.8		38.9		47.0		30.0		83.5		
	標準偏差	7.59	10.13		12.53		11.58		17.71		14.32		19.71		14.00		*		45.96		
男 性	人 数	9	15		7		4		20		4		3		3		1		0		
	平均(秒)	33.9	32.9		34.0		26.3		38.5		37.0		38.7		47.0		30.0		*		
	標準偏差	8.07	10.49		6.08		5.32		17.71		14.90		24.66		14.00		*		*		
女 性	人 数	3	11		3		1		8		4		4		0		0		2		
	平均(秒)	30.3	29.0		50.0		50.0		42.3		32.5		39.0		*		*		83.5		
	標準偏差	6.51	9.62		18.08		*		22.16		15.59		19.27		*		*		45.96		
重 度	人 数	2	8		4		2		13		3		5		1		0		1		
	平均(秒)	25.5	27.1		40.3		30.5		45.8		25.0		35.8		37.0		*		116.0		
	標準偏差	0.71	5.72		7.41		3.54		21.34		5.20		18.21		*		*		*		
重度以外	人 数	8	15		5		3		15		5		2		2		1		1		
	平均(秒)	34.3	32.9		39.8		31.3		32.1		40.6		46.5		52.0		30.0		51.0		
	標準偏差	7.89	10.70		16.72		16.17		11.01		15.21		28.99		15.56		*		*		

表4 5 ワークサンプル法(蛇口の組み立て)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	53	144		96		63		65		29		49		4		13		3		
	平均(秒)	94.0	109.7		108.1		104.3		110.4		111.3		115.5		91.8		114.3		97.0		
	標準偏差	22.90	49.34		31.70		35.27		34.50		38.52		40.53		8.96		50.44		27.00		
男 性	人 数	31	78		55		31		43		16		19		1		7		2		
	平均(秒)	98.6	109.2		108.0		96.6		110.4		117.9		109.9		100.0		109.6		83.5		
	標準偏差	24.82	47.89		32.89		24.74		34.50		41.28		33.11		*		33.64		19.09		
女 性	人 数	22	66		41		32		22		13		30		3		6		1		
	平均(秒)	87.5	110.3		108.3		111.8		112.8		103.2		119.0		89.0		119.8		124.0		
	標準偏差	18.54	51.36		30.43		42.18		43.11		34.66		44.79		8.66		68.42		*		
重 度	人 数	8	43		39		26		29		15		26		1		8		2		
	平均(秒)	89.0	115.4		107.4		106.8		108.5		111.1		119.2		99.0		124.0		83.5		
	標準偏差	22.54	56.85		30.45		45.93		30.85		35.04		49.61		*		62.33		19.09		
重度以外	人 数	37	89		53		35		33		13		23		3		5		1		
	平均(秒)	95.7	110.4		107.7		102.6		113.5		105.0		111.3		89.3		98.8		124.0		
	標準偏差	24.08	47.65		33.10		25.44		38.11		37.07		27.44		9.24		18.59		*		

表4 6 ワークサンプル法(蛇口の分解)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	50	129		75		53		59		28		41		3		13		3		
	平均(秒)	65.0	74.0		72.7		74.7		75.2		72.4		79.4		51.7		72.0		67.7		
	標準偏差	15.41	40.09		20.86		26.39		24.53		21.45		23.51		5.03		30.82		21.96		
男 性	人 数	28	76		45		28		43		15		16		0		7		2		
	平均(秒)	64.9	76.3		73.0		72.7		75.2		73.1		74.0		*		64.1		55.0		
	標準偏差	15.52	47.94		22.97		21.83		24.53		23.92		19.59		*		30.32		1.41		
女 性	人 数	22	53		30		25		16		13		25		3		6		1		
	平均(秒)	65.2	70.9		72.2		77.0		80.8		71.5		82.9		51.7		81.2		93.0		
	標準偏差	15.64	24.96		17.57		31.03		28.02		19.13		25.48		5.03		31.45		*		
重 度	人 数	8	39		27		23		27		14		20		1		8		2		
	平均(秒)	65.3	73.4		69.8		75.0		80.5		68.1		78.5		57.0		72.3		55.0		
	標準偏差	18.48	28.64		19.77		28.52		24.58		20.32		27.28		*		38.34		1.41		
重度以外	人 数	34	77		44		28		30		13		21		2		5		1		
	平均(秒)	63.2	76.5		73.9		75.3		70.4		72.9		80.3		49.0		71.6		93.0		
	標準偏差	14.65	47.13		22.11		25.55		23.96		18.31		19.91		2.83		16.64		*		

付表4 ワークサンプル法 3

表4 7 ワークサンプル法(ワッシャーの選別)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	45	146	79	61	72	48	38	5	5	5										
	平均(秒)	78.8	80.5	90.3	73.1	88.9	82.4	84.7	116.0	99.4	81.6										
	標準偏差	22.86	27.76	34.62	23.93	55.48	39.90	25.91	42.02	27.12	31.50										
男 性	人 数	27	66	40	32	44	22	18	5	2	3										
	平均(秒)	76.6	82.8	81.4	72.9	88.9	80.8	90.1	116.0	75.5	94.0										
	標準偏差	23.23	33.53	27.75	17.92	55.48	15.51	27.56	42.02	16.26	34.39										
女 性	人 数	18	80	39	29	28	26	20	0	3	2										
	平均(秒)	82.1	78.7	99.4	73.4	81.3	83.7	79.8	*	115.3	63.0										
	標準偏差	22.55	21.94	38.77	29.53	21.82	52.78	23.98	*	19.66	21.21										
重 度	人 数	5	54	33	27	31	25	18	2	3	3										
	平均(秒)	66.8	83.1	92.0	70.1	101.5	90.8	80.7	98.0	110.0	69.0										
	標準偏差	8.29	30.97	35.15	25.44	79.18	50.89	28.67	67.88	25.87	29.72										
重度以外	人 数	32	77	43	34	39	20	19	3	2	2										
	平均(秒)	79.9	81.1	88.9	75.5	78.4	74.3	88.3	128.0	83.5	100.5										
	標準偏差	22.96	27.32	35.65	22.77	21.15	20.99	23.96	26.23	27.58	31.82										

表4 8 ワークサンプル法(ピンセットによる差し込み)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	24	40	28	16	20	17	34	4	1	0										
	平均(秒)	88.0	107.1	111.4	105.9	104.1	101.6	106.5	109.3	98.0	*										
	標準偏差	33.45	63.27	40.79	33.62	57.23	33.32	43.85	20.61	*	*										
男 性	人 数	13	15	9	7	16	7	14	3	0	0										
	平均(秒)	98.1	123.8	110.9	97.7	104.1	104.1	113.6	116.0	*	*										
	標準偏差	35.92	87.51	50.81	19.01	57.23	35.60	39.49	19.08	*	*										
女 性	人 数	11	25	19	9	4	10	20	1	1	0										
	平均(秒)	76.1	97.1	111.6	112.3	122.5	99.9	101.6	89.0	98.0	*										
	標準偏差	27.15	41.94	36.72	41.76	70.12	33.48	47.01	*	*	*										
重 度	人 数	6	12	12	9	9	9	15	1	0	0										
	平均(秒)	89.2	118.1	101.7	114.9	126.6	98.2	123.7	106.0	*	*										
	標準偏差	31.15	99.81	34.31	35.20	75.62	33.78	57.75	*	*	*										
重度以外	人 数	16	22	16	5	10	7	18	3	1	0										
	平均(秒)	86.9	107.1	118.7	94.4	86.5	109.0	91.1	110.3	98.0	*										
	標準偏差	34.56	41.77	44.71	33.45	30.03	35.88	21.29	25.11	*	*										

付表5 その他の器具検査 1

表5 1 大小分類検査

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	38	53	20	56	61	36	5	12	5											
	平均(秒)	223.2	209.0	243.7	236.0	235.9	220.0	252.0	267.8	233.0	230.6											
	標準偏差	53.75	63.58	63.48	82.88	85.00	69.10	81.03	51.10	60.54	82.97											
男 性	人 数	7	21	27	10	33	27	10	3	7	4											
	平均(秒)	200.7	207.0	244.2	226.5	235.9	236.9	252.0	286.3	226.6	244.8											
	標準偏差	38.51	59.67	49.63	91.65	85.00	69.28	88.26	45.65	69.38	88.57											
女 性	人 数	6	17	26	10	23	34	26	2	5	1											
	平均(秒)	249.5	211.4	243.2	245.5	253.7	206.5	236.7	240.0	242.0	174.0											
	標準偏差	60.13	69.89	76.29	76.81	86.86	66.92	79.50	60.81	51.82	*											
重 度	人 数	2	10	24	8	24	30	16	1	7	3											
	平均(秒)	220.5	225.8	241.2	193.5	230.7	212.6	238.9	258.0	234.7	203.0											
	標準偏差	45.96	56.84	65.91	61.90	91.41	70.11	90.06	*	41.66	36.17											
重度以外	人 数	7	22	25	10	32	28	19	4	5	2											
	平均(秒)	245.1	212.2	248.3	280.4	239.8	225.8	231.9	270.3	230.6	272.0											
	標準偏差	60.28	70.29	66.27	84.22	81.14	70.22	59.85	58.66	86.39	*											

表5 2 紐かけ検査

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	39	44	91	28	43	60	50	5	10	0											
	平均(秒)	62.3	55.9	78.7	61.9	52.5	66.6	75.7	61.4	98.5	*											
	標準偏差	41.31	37.33	71.99	55.27	37.72	43.30	61.60	33.16	82.37	*											
男 性	人 数	21	17	50	12	25	29	25	3	6	0											
	平均(秒)	61.2	54.4	79.5	67.4	52.5	54.3	68.4	67.0	130.8	*											
	標準偏差	41.13	34.68	71.82	62.97	37.72	30.43	49.67	45.57	92.79	*											
女 性	人 数	18	27	41	16	18	31	25	2	4	0											
	平均(秒)	63.5	56.8	77.7	57.7	50.8	78.2	83.0	53.0	50.0	*											
	標準偏差	42.67	39.52	73.08	50.47	37.53	50.39	71.90	2.83	27.83	*											
重 度	人 数	7	10	37	11	20	28	24	2	8	0											
	平均(秒)	72.3	71.7	58.8	69.6	62.9	66.2	95.3	45.0	106.9	*											
	標準偏差	52.77	45.31	31.69	57.93	45.05	41.53	79.63	35.36	89.29	*											
重度以外	人 数	28	30	49	15	23	30	26	3	2	0											
	平均(秒)	66.0	51.2	89.6	59.9	43.5	60.5	57.6	72.3	65.0	*											
	標準偏差	45.14	35.17	82.98	57.57	27.92	31.54	29.94	33.55	49.50	*											

表5 3 タッピング

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	33	90	103	21	68	61	36	9	16	5											
	平均(回)	281.7	268.8	247.7	261.7	258.0	267.7	263.1	287.6	270.9	301.8											
	標準偏差	37.93	55.59	55.09	61.17	53.49	43.60	40.13	40.26	54.31	26.62											
男 性	人 数	17	39	51	14	43	28	14	6	9	4											
	平均(回)	274.6	267.9	243.4	246.9	258.0	256.1	262.7	294.8	274.9	301.0											
	標準偏差	38.37	68.38	61.54	63.85	53.49	44.41	49.35	40.55	42.08	30.67											
女 性	人 数	16	51	52	7	25	33	22	3	7	1											
	平均(回)	289.3	269.4	252.1	291.3	254.0	277.6	263.4	273.0	265.9	305.0											
	標準偏差	37.15	44.12	48.15	45.88	47.61	41.00	34.30	43.55	70.43	*											
重 度	人 数	8	31	47	11	28	29	18	4	12	3											
	平均(回)	258.1	264.3	240.7	254.7	255.0	263.3	256.9	301.0	269.9	314.0											
	標準偏差	26.60	52.43	48.27	58.45	66.41	42.85	41.52	37.97	56.59	19.92											
重度以外	人 数	24	46	51	9	40	28	16	5	4	2											
	平均(回)	289.5	265.0	260.5	264.7	260.1	270.1	269.6	276.8	274.0	283.5											
	標準偏差	38.84	59.17	52.58	68.59	43.02	39.17	41.08	42.84	54.67	30.41											

付表5 その他の器具検査 2

表5 4 反応速度検査(落下棒)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	40		44		7		4		7		16		0		2		0		
	平均(1/1000秒)	245.4	244.7		262.1		253.3		278.0		256.4		267.4		*		260.0		*		
	標準偏差	31.19	54.30		46.17		45.02		25.94		34.73		29.97		*		56.57		*		
男 性	人 数	11	7		26		7		3		1		3		0		1		0		
	平均(1/1000秒)	244.5	226.7		262.8		253.3		278.0		270.0		259.0		*		220.0		*		
	標準偏差	32.90	84.25		35.97		45.02		25.94		*		30.05		*		*		*		
女 性	人 数	2	33		18		0		1		6		13		0		1		0		
	平均(1/1000秒)	250.0	248.5		260.9		*		315.0		254.2		269.4		*		300.0		*		
	標準偏差	28.28	46.66		59.04		*		*		37.47		30.83		*		*		*		
重 度	人 数	3	17		18		4		2		3		9		0		1		0		
	平均(1/1000秒)	241.7	254.7		253.7		253.3		268.5		288.3		268.3		*		220.0		*		
	標準偏差	46.46	21.82		26.76		31.87		12.02		17.56		33.12		*		*		*		
重度以外	人 数	10	21		23		3		2		4		7		0		1		0		
	平均(1/1000秒)	246.5	234.6		266.0		253.3		287.5		232.5		266.3		*		300.0		*		
	標準偏差	28.48	71.51		58.81		67.52		38.89		20.62		27.93		*		*		*		

## 付表6 社会生活能力検査 1

表6 1 S M式社会生活能力検査 (A. 意思表示と交換能力：合計得点)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		138		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	16.8	15.6		15.9		15.9		16.4		16.7		16.5		12.7		15.8		16.1		
	標準偏差	3.34	3.61		4.21		3.55		3.70		3.30		3.47		3.33		2.39		1.86		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	17.1	16.0		15.7		15.8		16.4		16.4		16.1		13.2		16.8		15.8		
	標準偏差	2.78	3.74		4.06		3.52		3.70		3.59		4.06		3.33		1.26		2.50		
女 性	人 数	9	117		42		66		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	16.1	15.2		16.1		15.9		16.6		17.0		16.9		11.8		12.0		16.7		
	標準偏差	4.37	3.47		4.38		3.62		3.96		2.95		2.61		3.21		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		50		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	18.3	15.1		16.0		15.5		16.7		16.7		16.7		12.6		15.3		15.8		
	標準偏差	1.50	3.41		4.77		3.66		3.89		3.17		3.50		3.39		2.36		2.17		
重度以外	人 数	19	122		44		81		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	17.0	15.9		15.7		16.1		16.2		16.6		16.4		12.8		18.0		17.0		
	標準偏差	3.27	3.61		3.76		3.57		3.58		3.55		3.37		3.37		*		0.00		

表6 2 S M式社会生活能力検査 (A. 意思表示と交換能力：1 自分の要求の表現)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.81	1.79		1.70		1.80		1.83		1.84		1.85		1.68		2.00		2.00		
	標準偏差	0.40	0.43		0.56		0.46		0.41		0.37		0.39		0.51		0.00		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.83	1.82		1.66		1.83		1.83		1.83		1.81		1.68		2.00		2.00		
	標準偏差	0.38	0.41		0.57		0.41		0.41		0.38		0.44		0.53		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.78	1.75		1.74		1.75		1.86		1.85		1.89		1.68		2.00		2.00		
	標準偏差	0.44	0.45		0.54		0.51		0.40		0.36		0.32		0.48		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.76		1.71		1.72		1.83		1.87		1.86		1.68		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.43		0.57		0.50		0.46		0.34		0.40		0.48		0.00		0.00		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.84	1.81		1.68		1.84		1.83		1.78		1.82		1.71		2.00		2.00		
	標準偏差	0.37	0.41		0.56		0.44		0.38		0.42		0.39		0.55		*		0.00		

表6 3 S M式社会生活能力検査 (A. 意思表示と交換能力：2 自分の姓名の表明)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.96	1.96		1.93		1.96		1.99		1.99		1.92		1.96		2.00		2.00		
	標準偏差	0.19	0.23		0.34		0.26		0.17		0.09		0.34		0.19		0.00		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	2.00	1.96		1.90		1.97		1.99		1.99		1.87		1.95		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.25		0.37		0.24		0.17		0.12		0.44		0.23		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.89	1.97		1.95		1.95		2.00		2.00		1.98		2.00		2.00		2.00		
	標準偏差	0.33	0.22		0.31		0.28		0.00		0.00		0.15		0.00		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.99		1.91		1.98		1.97		2.00		1.90		2.00		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.12		0.37		0.15		0.25		0.00		0.42		0.00		0.00		0.00		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	2.00	1.96		1.93		1.95		2.00		1.98		1.93		1.92		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.24		0.33		0.32		0.00		0.13		0.25		0.28		*		0.00		

## 付表6 社会生活能力検査 2

表6 4 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 3住所や家族名の表明)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.81	1.79		1.81		1.86		1.83		1.89		1.78		1.45		1.80		2.00		
	標準偏差	0.40	0.48		0.48		0.42		0.46		0.38		0.48		0.66		0.45		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.89	1.81		1.76		1.89		1.83		1.86		1.79		1.41		2.00		2.00		
	標準偏差	0.32	0.51		0.54		0.40		0.46		0.39		0.50		0.69		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.67	1.77		1.86		1.84		1.86		1.92		1.78		1.53		1.00		2.00		
	標準偏差	0.50	0.46		0.42		0.45		0.44		0.37		0.47		0.61		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.74		1.86		1.85		1.81		1.91		1.82		1.48		1.75		2.00		
	標準偏差	0.00	0.50		0.49		0.42		0.53		0.28		0.44		0.72		0.50		0.00		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.79	1.82		1.75		1.86		1.86		1.85		1.76		1.38		2.00		2.00		
	標準偏差	0.42	0.45		0.49		0.45		0.39		0.48		0.53		0.58		*		0.00		

表6 5 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 4日常的な会話)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.81	1.71		1.72		1.70		1.78		1.77		1.82		1.57		1.80		2.00		
	標準偏差	0.56	0.52		0.53		0.51		0.48		0.44		0.38		0.53		0.45		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.94	1.77		1.73		1.67		1.78		1.70		1.77		1.59		2.00		2.00		
	標準偏差	0.24	0.49		0.50		0.53		0.48		0.49		0.43		0.55		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.56	1.67		1.71		1.74		1.74		1.85		1.89		1.53		1.00		2.00		
	標準偏差	0.88	0.54		0.55		0.48		0.55		0.36		0.32		0.51		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.69		1.69		1.64		1.80		1.77		1.84		1.61		1.75		2.00		
	標準偏差	0.00	0.49		0.53		0.53		0.51		0.46		0.37		0.50		0.50		0.00		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.89	1.75		1.75		1.72		1.75		1.75		1.82		1.54		2.00		2.00		
	標準偏差	0.46	0.52		0.53		0.50		0.47		0.44		0.39		0.59		*		0.00		

表6 6 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 5見聞したことの表明)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.74	1.56		1.53		1.55		1.65		1.73		1.74		1.50		1.40		1.57		
	標準偏差	0.59	0.54		0.63		0.62		0.54		0.51		0.46		0.50		0.89		0.53		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.78	1.63		1.51		1.54		1.65		1.71		1.67		1.57		1.75		1.75		
	標準偏差	0.55	0.53		0.64		0.63		0.54		0.55		0.51		0.50		0.50		0.50		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.67	1.50		1.55		1.56		1.64		1.75		1.82		1.37		0.00		1.33		
	標準偏差	0.71	0.55		0.63		0.62		0.55		0.47		0.39		0.50		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.49		1.43		1.47		1.66		1.70		1.78		1.48		1.25		1.60		
	標準偏差	0.00	0.53		0.65		0.65		0.60		0.55		0.46		0.51		0.96		0.55		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.74	1.62		1.59		1.61		1.63		1.75		1.71		1.54		2.00		1.50		
	標準偏差	0.56	0.54		0.62		0.61		0.49		0.47		0.46		0.51		*		0.71		

## 付表6 社会生活能力検査 3

表6 7 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 6他者への伝言)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	213		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.52	1.36		1.37		1.43		1.42		1.57		1.56		0.95		1.40		1.57		
	標準偏差	0.58	0.58		0.69		0.68		0.66		0.59		0.56		0.55		0.89		0.53		
男 性	人 数	18	96		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.50	1.38		1.32		1.40		1.42		1.55		1.58		1.03		1.75		1.50		
	標準偏差	0.51	0.58		0.72		0.66		0.66		0.63		0.57		0.44		0.50		0.58		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.56	1.35		1.43		1.46		1.43		1.58		1.53		0.79		0.00		1.67		
	標準偏差	0.73	0.58		0.67		0.70		0.73		0.56		0.55		0.71		*		0.58		
重 度	人 数	4	73		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	1.50	1.34		1.31		1.40		1.45		1.64		1.56		0.94		1.25		1.40		
	標準偏差	0.58	0.53		0.72		0.68		0.71		0.57		0.61		0.63		0.96		0.55		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.47	1.37		1.39		1.41		1.41		1.48		1.56		0.96		2.00		2.00		
	標準偏差	0.61	0.62		0.69		0.69		0.62		0.62		0.50		0.46		*		0.00		

表6 8 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 7文字の筆記)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.74	1.57		1.65		1.66		1.67		1.61		1.63		1.20		1.60		1.71		
	標準偏差	0.45	0.56		0.55		0.52		0.54		0.56		0.56		0.72		0.55		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.72	1.62		1.61		1.67		1.67		1.61		1.52		1.35		1.50		1.75		
	標準偏差	0.46	0.55		0.59		0.53		0.54		0.55		0.64		0.72		0.58		0.50		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.78	1.53		1.69		1.66		1.72		1.62		1.76		0.89		2.00		1.67		
	標準偏差	0.44	0.57		0.52		0.51		0.52		0.58		0.43		0.66		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	2.00	1.51		1.63		1.64		1.73		1.59		1.64		1.06		1.50		1.80		
	標準偏差	0.00	0.58		0.60		0.57		0.54		0.55		0.53		0.77		0.58		0.45		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.74	1.59		1.66		1.70		1.61		1.63		1.62		1.33		2.00		1.50		
	標準偏差	0.45	0.56		0.53		0.49		0.55		0.58		0.61		0.64		*		0.71		

表6 9 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力: 8文字の読解)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.70	1.43		1.58		1.50		1.55		1.57		1.48		1.13		1.80		1.29		
	標準偏差	0.47	0.64		0.59		0.62		0.60		0.63		0.63		0.79		0.45		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.72	1.46		1.59		1.44		1.55		1.55		1.42		1.22		1.75		1.00		
	標準偏差	0.46	0.61		0.55		0.69		0.60		0.63		0.72		0.79		0.50		0.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.67	1.40		1.57		1.57		1.59		1.58		1.56		0.95		2.00		1.67		
	標準偏差	0.50	0.67		0.63		0.53		0.59		0.63		0.50		0.78		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	1.75	1.30		1.60		1.53		1.59		1.56		1.50		1.13		1.75		1.20		
	標準偏差	0.50	0.68		0.65		0.55		0.58		0.65		0.61		0.81		0.50		0.45		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.74	1.51		1.52		1.47		1.52		1.58		1.47		1.08		2.00		1.50		
	標準偏差	0.45	0.63		0.55		0.68		0.63		0.62		0.66		0.78		*		0.71		

## 付表6 社会生活能力検査 4

表6 10 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力：9ラジオやテレビの理解)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.41	1.40		1.45		1.44		1.49		1.54		1.65		1.04		1.00		1.29		
	標準偏差	0.69	0.62		0.63		0.68		0.62		0.57		0.54		0.54		0.00		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.39	1.49		1.49		1.42		1.49		1.45		1.65		1.11		1.00		1.25		
	標準偏差	0.70	0.63		0.51		0.71		0.62		0.61		0.59		0.46		0.00		0.50		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.44	1.32		1.40		1.46		1.48		1.65		1.64		0.89		1.00		1.33		
	標準偏差	0.73	0.60		0.73		0.65		0.63		0.51		0.48		0.66		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	1.50	1.28		1.51		1.43		1.52		1.53		1.70		0.94		1.00		1.20		
	標準偏差	0.58	0.61		0.66		0.65		0.67		0.56		0.46		0.57		0.00		0.45		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.53	1.48		1.36		1.46		1.46		1.55		1.62		1.13		1.00		1.50		
	標準偏差	0.70	0.62		0.61		0.69		0.58		0.59		0.58		0.45		*		0.71		

表6 11 S M式社会生活能力検査(A. 意思表示と交換能力：10手紙の筆記)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	214		83		133		139		134		97		56		5		7		
	平均(点)	1.26	1.01		1.18		1.03		1.19		1.17		1.06		0.27		1.00		0.71		
	標準偏差	0.66	0.74		0.78		0.71		0.80		0.79		0.86		0.45		0.00		0.76		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		52		37		4		4		
	平均(点)	1.33	1.09		1.12		1.01		1.19		1.13		1.04		0.32		1.00		0.50		
	標準偏差	0.69	0.72		0.75		0.78		0.80		0.80		0.88		0.47		0.00		1.00		
女 性	人 数	9	117		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.11	0.95		1.24		1.05		1.29		1.22		1.09		0.16		1.00		1.00		
	標準偏差	0.60	0.75		0.82		0.62		0.77		0.78		0.85		0.37		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		47		64		70		50		31		4		5		
	平均(点)	1.50	0.99		1.31		1.02		1.31		1.09		1.08		0.29		1.00		0.60		
	標準偏差	0.58	0.71		0.76		0.71		0.79		0.79		0.83		0.46		0.00		0.89		
重度以外	人 数	19	122		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.26	1.04		1.05		1.03		1.11		1.27		1.04		0.25		1.00		1.00		
	標準偏差	0.73	0.75		0.78		0.72		0.78		0.80		0.90		0.44		*		0.00		

表6 12 S M式社会生活能力検査(B. 移動能力：合計得点)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		139		139		134		98		56		5		7		
	平均(点)	6.70	6.59		6.57		6.73		6.87		7.10		6.96		6.11		6.60		7.14		
	標準偏差	2.05	2.19		2.36		2.15		2.35		2.27		1.96		1.78		0.89		1.46		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		4		4		
	平均(点)	6.83	7.02		6.49		6.57		6.87		6.80		6.77		6.24		6.75		6.50		
	標準偏差	1.69	2.23		2.05		2.00		2.35		2.54		2.10		1.83		0.96		0.58		
女 性	人 数	9	118		42		67		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	6.44	6.23		6.64		6.91		6.59		7.43		7.18		5.84		6.00		8.00		
	標準偏差	2.74	2.11		2.66		2.30		2.56		1.92		1.77		1.68		*		2.00		
重 度	人 数	4	74		35		51		64		70		51		31		4		5		
	平均(点)	8.00	6.42		6.63		6.57		6.64		7.44		6.96		6.06		6.75		7.20		
	標準偏差	1.63	2.53		2.28		1.98		2.57		1.98		1.70		1.81		0.96		1.64		
重度以外	人 数	19	123		44		81		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	6.84	6.72		6.30		6.83		6.99		6.63		7.00		6.08		6.00		7.00		
	標準偏差	2.03	2.01		2.41		2.18		2.15		2.54		2.10		1.77		*		1.41		

## 付表6 社会生活能力検査 5

表6 13 S M式社会生活能力検査 (B. 移動能力：1ひとりで外出)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		134		139		134		98		56		4		7		
	平均(点)	1.74	1.74		1.83		1.81		1.80		1.81		1.87		1.86		2.00		2.00		
	標準偏差	0.59	0.52		0.46		0.48		0.47		0.43		0.37		0.35		0.00		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		3		4		
	平均(点)	1.78	1.79		1.88		1.81		1.80		1.80		1.83		1.84		2.00		2.00		
	標準偏差	0.55	0.50		0.33		0.49		0.47		0.44		0.38		0.37		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	118		42		62		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.67	1.70		1.79		1.81		1.76		1.82		1.91		1.89		2.00		2.00		
	標準偏差	0.71	0.54		0.56		0.47		0.57		0.43		0.36		0.32		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		64		70		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.69		1.86		1.79		1.75		1.87		1.86		1.84		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.62		0.43		0.41		0.56		0.34		0.35		0.37		0.00		0.00		
重度以外	人 数	19	123		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.74	1.80		1.80		1.84		1.83		1.73		1.89		1.88		2.00		2.00		
	標準偏差	0.65	0.44		0.51		0.49		0.38		0.52		0.38		0.34		*		0.00		

表6 14 S M式社会生活能力検査 (B. 移動能力：2 特定の場所への往復)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		133		139		134		98		56		4		7		
	平均(点)	1.89	1.88		1.84		1.93		1.90		1.93		1.90		1.95		2.00		2.00		
	標準偏差	0.32	0.35		0.51		0.28		0.35		0.28		0.30		0.23		0.00		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		3		4		
	平均(点)	1.94	1.94		1.90		1.94		1.90		1.90		1.83		1.92		2.00		2.00		
	標準偏差	0.24	0.24		0.37		0.29		0.35		0.35		0.38		0.28		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	118		42		61		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.78	1.84		1.79		1.92		1.90		1.97		1.98		2.00		2.00		2.00		
	標準偏差	0.44	0.41		0.61		0.28		0.41		0.17		0.15		0.00		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		64		70		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.80		1.89		1.92		1.89		1.97		1.88		1.94		2.00		2.00		
	標準偏差	0.00	0.44		0.40		0.28		0.40		0.17		0.33		0.25		0.00		0.00		
重度以外	人 数	19	123		44		78		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.95	1.93		1.80		1.94		1.90		1.88		1.93		1.96		2.00		2.00		
	標準偏差	0.23	0.28		0.59		0.29		0.30		0.37		0.25		0.20		*		0.00		

表6 15 S M式社会生活能力検査 (B. 移動能力：3 一人で乗り物の利用)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		134		139		134		98		56		4		7		
	平均(点)	1.52	1.53		1.53		1.57		1.54		1.51		1.62		1.38		1.75		1.71		
	標準偏差	0.58	0.69		0.74		0.67		0.72		0.75		0.65		0.78		0.50		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		3		4		
	平均(点)	1.61	1.59		1.46		1.50		1.54		1.39		1.57		1.46		1.67		1.75		
	標準偏差	0.50	0.67		0.74		0.73		0.72		0.83		0.69		0.73		0.58		0.50		
女 性	人 数	9	118		42		62		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.33	1.49		1.60		1.65		1.40		1.65		1.69		1.21		2.00		1.67		
	標準偏差	0.71	0.70		0.73		0.58		0.82		0.65		0.60		0.85		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		48		64		70		51		31		3		5		
	平均(点)	1.75	1.50		1.49		1.54		1.44		1.60		1.65		1.39		2.00		1.80		
	標準偏差	0.50	0.71		0.78		0.68		0.81		0.73		0.63		0.76		0.00		0.45		
重度以外	人 数	19	123		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.58	1.54		1.52		1.58		1.61		1.40		1.62		1.33		1.00		1.50		
	標準偏差	0.61	0.69		0.73		0.65		0.64		0.79		0.65		0.82		*		0.71		

## 付表6 社会生活能力検査 6

表6 16 S M式社会生活能力検査(B・移動能力：4 尋ねながら目的地に到達)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		134		139		134		98		56		4		7		
	平均(点)	0.89	0.84		0.76		0.90		1.02		1.06		0.97		0.61		0.75		0.71		
	標準偏差	0.75	0.76		0.79		0.81		0.84		0.80		0.81		0.78		0.50		0.76		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		3		4		
	平均(点)	0.83	0.96		0.73		0.89		1.02		0.97		0.92		0.68		1.00		0.50		
	標準偏差	0.71	0.80		0.71		0.81		0.84		0.86		0.83		0.82		0.00		0.58		
女 性	人 数	9	118		42		62		58		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.00	0.74		0.79		0.90		1.00		1.15		1.02		0.47		0.00		1.00		
	標準偏差	0.87	0.71		0.87		0.80		0.84		0.73		0.78		0.70		*		1.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		64		70		51		31		3		5		
	平均(点)	1.00	0.80		0.80		0.88		1.00		1.17		0.94		0.58		0.67		0.80		
	標準偏差	0.82	0.78		0.80		0.79		0.87		0.78		0.79		0.76		0.58		0.84		
重度以外	人 数	19	123		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	0.95	0.87		0.66		0.90		1.01		0.90		1.00		0.58		1.00		0.50		
	標準偏差	0.78	0.77		0.78		0.81		0.80		0.82		0.83		0.78		*		0.71		

表6 17 S M式社会生活能力検査(B・移動能力：5 地図を見て目的地に到達)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		134		138		134		98		56		4		7		
	平均(点)	0.67	0.59		0.60		0.56		0.62		0.79		0.60		0.34		0.25		0.71		
	標準偏差	0.78	0.72		0.80		0.71		0.77		0.75		0.74		0.64		0.50		0.76		
男 性	人 数	18	97		41		72		81		69		53		37		3		4		
	平均(点)	0.67	0.74		0.51		0.43		0.62		0.74		0.62		0.38		0.33		0.25		
	標準偏差	0.77	0.79		0.78		0.62		0.77		0.74		0.79		0.64		0.58		0.50		
女 性	人 数	9	118		42		62		57		65		45		19		1		3		
	平均(点)	0.67	0.46		0.69		0.71		0.54		0.85		0.58		0.26		0.00		1.33		
	標準偏差	0.87	0.64		0.81		0.78		0.78		0.75		0.69		0.65		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		48		63		70		51		31		3		5		
	平均(点)	1.25	0.64		0.60		0.56		0.57		0.83		0.63		0.35		0.33		0.60		
	標準偏差	0.96	0.75		0.81		0.71		0.76		0.72		0.72		0.66		0.58		0.89		
重度以外	人 数	19	123		44		79		71		60		45		24		1		2		
	平均(点)	0.63	0.59		0.52		0.54		0.63		0.72		0.56		0.33		0.00		1.00		
	標準偏差	0.76	0.73		0.73		0.69		0.76		0.78		0.76		0.64		*		0.00		

表6 18 S M式社会生活能力検査(C・日常生活能力：合計得点)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		142		132		133		98		56		5		7		
	平均(点)	12.4	11.9		12.3		12.3		12.3		12.7		13.2		10.4		10.8		13.6		
	標準偏差	2.74	2.96		3.14		3.21		3.33		3.01		2.63		2.61		1.64		2.30		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		4		4		
	平均(点)	12.6	12.3		12.8		12.3		12.3		12.3		12.7		10.6		11.3		12.5		
	標準偏差	2.25	3.08		2.71		3.13		3.33		3.24		2.95		2.24		1.50		2.65		
女 性	人 数	9	118		42		68		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	12.1	11.5		11.8		12.4		12.4		13.2		13.7		10.1		9.0		15.0		
	標準偏差	3.66	2.84		3.47		3.32		3.32		2.71		2.12		3.25		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		51		62		69		51		31		4		5		
	平均(点)	14.0	11.4		12.4		11.8		12.8		13.2		13.1		10.0		10.5		13.0		
	標準偏差	2.16	3.18		3.55		3.47		3.40		2.64		2.87		2.75		1.73		2.55		
重度以外	人 数	19	123		44		84		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	12.5	12.1		12.0		12.7		11.9		12.1		13.4		10.9		12.0		15.0		
	標準偏差	2.89	2.86		2.82		2.98		3.29		3.36		2.33		2.41		*		0.00		

## 付表6 社会生活能力検査 7

表6 19 S M式社会生活能力検査(C:日常生活能力:1自分と他人御物の区別)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.89	1.93		1.92		1.94		1.92		1.95		1.89		1.95		1.75		2.00		
	標準偏差	0.32	0.30		0.32		0.24		0.32		0.24		0.40		0.30		0.50		0.00		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.94	1.92		1.93		1.97		1.92		1.94		1.83		2.00		1.67		2.00		
	標準偏差	0.24	0.34		0.26		0.16		0.32		0.29		0.47		0.00		0.58		0.00		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.78	1.93		1.90		1.90		1.94		1.97		1.96		1.84		2.00		2.00		
	標準偏差	0.44	0.25		0.37		0.30		0.30		0.17		0.30		0.50		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.89		1.86		1.92		1.97		1.97		1.88		1.90		1.67		2.00		
	標準偏差	0.00	0.39		0.43		0.28		0.25		0.17		0.38		0.40		0.58		0.00		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.89	1.94		1.95		1.96		1.88		1.93		1.89		2.00		2.00		2.00		
	標準偏差	0.32	0.23		0.21		0.19		0.37		0.31		0.44		0.00		*		0.00		

表6 20 S M式社会生活能力検査(C:日常生活能力:2時間の観念に則した行動)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		131		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.52	1.40		1.59		1.54		1.57		1.60		1.70		1.34		2.00		1.86		
	標準偏差	0.51	0.65		0.64		0.65		0.67		0.60		0.52		0.64		0.00		0.38		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.50	1.40		1.61		1.49		1.57		1.53		1.58		1.35		2.00		2.00		
	標準偏差	0.51	0.66		0.63		0.69		0.67		0.66		0.60		0.68		0.00		0.00		
女 性	人 数	9	118		42		63		53		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.56	1.41		1.57		1.60		1.66		1.68		1.84		1.32		2.00		1.67		
	標準偏差	0.53	0.64		0.67		0.61		0.65		0.53		0.37		0.58		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		48		61		69		51		31		3		5		
	平均(点)	1.75	1.30		1.54		1.42		1.59		1.65		1.67		1.35		2.00		2.00		
	標準偏差	0.50	0.68		0.66		0.68		0.69		0.56		0.55		0.55		0.00		0.00		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.53	1.45		1.59		1.63		1.55		1.53		1.76		1.33		2.00		1.50		
	標準偏差	0.51	0.64		0.66		0.62		0.66		0.65		0.48		0.76		*		0.71		

表6 21 S M式社会生活能力検査(C:日常生活能力:3家の仕事の手伝い)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.33	1.40		1.43		1.34		1.48		1.44		1.55		1.36		1.00		1.86		
	標準偏差	0.68	0.66		0.70		0.72		0.70		0.64		0.61		0.55		0.00		0.38		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.33	1.42		1.68		1.41		1.48		1.37		1.57		1.35		1.00		1.75		
	標準偏差	0.59	0.69		0.52		0.70		0.70		0.71		0.60		0.59		0.00		0.50		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.33	1.38		1.19		1.27		1.56		1.52		1.53		1.37		1.00		2.00		
	標準偏差	0.87	0.64		0.77		0.75		0.63		0.56		0.63		0.50		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	1.25	1.32		1.46		1.13		1.56		1.46		1.55		1.29		1.00		1.80		
	標準偏差	0.50	0.70		0.70		0.84		0.72		0.61		0.64		0.59		0.00		0.45		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.37	1.46		1.39		1.45		1.42		1.42		1.56		1.42		1.00		2.00		
	標準偏差	0.76	0.64		0.72		0.63		0.70		0.70		0.59		0.50		*		0.00		

付表 6 社会生活能力検査 8

表 6 22 S M式社会生活能力検査 (C: 日常生活能力: 4 一人で留守番)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		131		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.67	1.46		1.55		1.55		1.53		1.58		1.64		0.91		1.75		1.57		
	標準偏差	0.55	0.69		0.61		0.67		0.71		0.63		0.58		0.75		0.50		0.53		
男 性	人 数	18	97		41		74		77		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.72	1.53		1.61		1.51		1.53		1.51		1.57		0.97		2.00		1.25		
	標準偏差	0.46	0.68		0.54		0.73		0.71		0.66		0.60		0.69		0.00		0.50		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.56	1.40		1.50		1.60		1.50		1.65		1.73		0.79		1.00		2.00		
	標準偏差	0.73	0.69		0.67		0.61		0.75		0.60		0.54		0.85		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.34		1.49		1.46		1.55		1.67		1.61		0.77		1.67		1.40		
	標準偏差	0.00	0.73		0.66		0.71		0.74		0.59		0.60		0.76		0.58		0.55		
重度以外	人 数	19	123		44		82		66		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.68	1.53		1.59		1.59		1.48		1.45		1.69		1.08		2.00		2.00		
	標準偏差	0.58	0.67		0.58		0.67		0.68		0.67		0.56		0.72		*		0.00		

表 6 23 S M式社会生活能力検査 (C: 日常生活能力: 5 簡単な電気器具の使用)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.70	1.63		1.61		1.64		1.63		1.74		1.79		1.63		1.00		1.71		
	標準偏差	0.54	0.52		0.54		0.57		0.57		0.46		0.41		0.56		0.00		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.67	1.71		1.76		1.62		1.63		1.68		1.83		1.62		1.00		1.50		
	標準偏差	0.59	0.50		0.43		0.57		0.57		0.50		0.38		0.49		0.00		0.58		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.78	1.57		1.48		1.67		1.56		1.80		1.73		1.63		1.00		2.00		
	標準偏差	0.44	0.53		0.59		0.57		0.60		0.40		0.45		0.68		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.65		1.63		1.63		1.65		1.80		1.78		1.48		1.00		1.60		
	標準偏差	0.00	0.51		0.55		0.53		0.63		0.41		0.42		0.63		0.00		0.55		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.74	1.61		1.59		1.67		1.61		1.67		1.80		1.79		1.00		2.00		
	標準偏差	0.56	0.54		0.54		0.57		0.52		0.51		0.40		0.41		*		0.00		

表 6 24 S M式社会生活能力検査 (C: 日常生活能力: 6 簡単な使い走り)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.56	1.49		1.61		1.63		1.53		1.58		1.70		1.21		1.50		1.71		
	標準偏差	0.58	0.61		0.58		0.61		0.62		0.58		0.52		0.65		0.58		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.56	1.52		1.61		1.65		1.53		1.51		1.62		1.19		1.67		1.50		
	標準偏差	0.51	0.68		0.59		0.61		0.62		0.66		0.56		0.57		0.58		0.58		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.56	1.47		1.62		1.60		1.44		1.65		1.80		1.26		1.00		2.00		
	標準偏差	0.73	0.55		0.58		0.61		0.69		0.48		0.46		0.81		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	1.75	1.51		1.66		1.65		1.56		1.68		1.65		1.13		1.33		1.60		
	標準偏差	0.50	0.58		0.54		0.60		0.64		0.47		0.56		0.72		0.58		0.55		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.58	1.48		1.55		1.62		1.49		1.43		1.78		1.33		2.00		2.00		
	標準偏差	0.61	0.63		0.63		0.60		0.61		0.67		0.47		0.56		*		0.00		

## 付表6 社会生活能力検査 9

表6 25 S M式社会生活能力検査(C:日常生活能力:7電話の使用)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.67	1.48		1.47		1.53		1.54		1.71		1.64		1.34		1.75		1.71		
	標準偏差	0.55	0.70		0.70		0.71		0.65		0.59		0.65		0.84		0.50		0.49		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.67	1.62		1.46		1.46		1.54		1.69		1.49		1.30		2.00		1.50		
	標準偏差	0.59	0.64		0.64		0.76		0.65		0.58		0.75		0.85		0.00		0.58		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	1.67	1.37		1.48		1.60		1.57		1.72		1.82		1.42		1.00		2.00		
	標準偏差	0.50	0.74		0.77		0.64		0.57		0.60		0.44		0.84		*		0.00		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	2.00	1.38		1.57		1.48		1.63		1.81		1.67		1.39		1.67		1.60		
	標準偏差	0.00	0.75		0.70		0.71		0.61		0.49		0.62		0.80		0.58		0.55		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.63	1.54		1.34		1.56		1.46		1.58		1.62		1.25		2.00		2.00		
	標準偏差	0.60	0.67		0.71		0.70		0.68		0.67		0.68		0.90		*		0.00		

表6 26 S M式社会生活能力検査(C:日常生活能力:8事件やニュースへの関心)

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	27	215		83		137		132		133		98		56		4		7		
	平均(点)	1.11	1.06		1.11		1.19		1.17		1.11		1.26		0.71		0.50		1.14		
	標準偏差	0.70	0.68		0.72		0.71		0.73		0.77		0.66		0.62		0.58		0.69		
男 性	人 数	18	97		41		74		78		68		53		37		3		4		
	平均(点)	1.22	1.15		1.15		1.20		1.17		1.06		1.25		0.84		0.67		1.00		
	標準偏差	0.65	0.71		0.69		0.72		0.73		0.81		0.70		0.65		0.58		0.82		
女 性	人 数	9	118		42		63		54		65		45		19		1		3		
	平均(点)	0.89	0.97		1.07		1.17		1.19		1.17		1.27		0.47		0.00		1.33		
	標準偏差	0.78	0.65		0.75		0.71		0.75		0.72		0.62		0.51		*		0.58		
重 度	人 数	4	74		35		48		62		69		51		31		3		5		
	平均(点)	1.25	0.99		1.17		1.23		1.27		1.14		1.25		0.71		0.67		1.00		
	標準偏差	0.96	0.65		0.75		0.72		0.75		0.77		0.66		0.64		0.58		0.71		
重度以外	人 数	19	123		44		82		67		60		45		24		1		2		
	平均(点)	1.11	1.11		1.02		1.18		1.06		1.05		1.27		0.71		0.00		1.50		
	標準偏差	0.74	0.70		0.70		0.70		0.72		0.77		0.69		0.62		*		0.71		

付表7 職業準備訓練総合評価表 1

表7 1 職業準備訓練生総合評価（基本的ルール：継続勤務）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		27		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.77	3.18		3.85		2.89		3.77		3.79		3.85		4.33		2.67		3.50		
	標準偏差	0.60	1.35		1.13		1.28		1.38		1.08		1.41		1.15		0.58		2.12		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.90	2.82		3.69		3.08		3.77		3.73		3.53		*		3.00		2.00		
	標準偏差	0.32	1.30		1.20		1.00		1.38		1.01		1.41		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		15		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	2.33	3.69		4.09		2.73		3.56		3.88		4.27		4.33		2.50		5.00		
	標準偏差	1.15	1.30		1.04		1.49		1.51		1.25		1.35		1.15		0.71		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	3.00	3.10		3.33		2.90		3.77		3.67		3.94		5.00		2.67		3.50		
	標準偏差	0.00	1.52		1.15		1.37		1.30		1.00		1.43		0.00		0.58		2.12		
重度以外	人 数	6	23		13		17		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	2.83	3.39		4.31		2.88		3.78		3.78		3.67		3.00		*		*		
	標準偏差	0.41	1.34		0.95		1.27		1.56		1.20		1.41		*		*		*		

表7 2 職業準備訓練生総合評価（基本的ルール：連絡）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		27		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.85	2.58		2.96		2.44		2.59		2.95		3.38		3.67		3.00		3.50		
	標準偏差	0.38	1.00		0.81		0.85		1.01		0.71		1.13		2.31		0.00		2.12		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.90	2.36		2.69		2.58		2.59		3.18		3.27		*		3.00		2.00		
	標準偏差	0.32	1.05		0.70		0.79		1.01		0.60		1.03		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		15		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	2.67	2.88		3.36		2.33		2.67		2.63		3.55		3.67		3.00		5.00		
	標準偏差	0.58	0.89		0.81		0.90		0.71		0.74		1.29		2.31		0.00		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	3.00	2.50		2.83		2.50		2.38		2.78		3.35		3.00		3.00		3.50		
	標準偏差	0.00	0.85		0.58		0.85		0.96		0.67		1.06		2.83		0.00		2.12		
重度以外	人 数	6	23		13		17		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	3.00	2.74		3.08		2.41		2.89		3.11		3.44		5.00		*		*		
	標準偏差	0.00	1.05		1.04		0.87		1.05		0.78		1.33		*		*		*		

表7 3 職業準備訓練生総合評価（基本的ルール：規則の遵守）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		27		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	3.08	2.79		2.70		2.93		3.09		2.95		3.23		3.67		2.33		2.50		
	標準偏差	0.64	1.04		0.87		0.68		0.97		1.18		1.03		1.15		0.58		0.71		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	3.10	2.45		2.56		3.17		3.09		3.00		3.00		*		3.00		2.00		
	標準偏差	0.74	1.14		1.09		0.58		0.97		1.26		0.76		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		15		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	3.00	3.25		2.91		2.73		3.00		2.88		3.55		3.67		2.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.68		0.30		0.70		1.00		1.13		1.29		1.15		0.00		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	3.00	2.60		2.67		3.00		3.00		3.22		3.35		4.00		2.33		2.50		
	標準偏差	0.00	0.70		0.78		0.94		0.82		1.20		0.79		1.41		0.58		0.71		
重度以外	人 数	6	23		13		17		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	3.00	3.04		2.69		2.88		3.22		2.67		3.00		3.00		*		*		
	標準偏差	0.00	1.11		1.03		0.49		1.20		1.22		1.41		*		*		*		

付表7 職業準備訓練総合評価表 2

表7 4 職業準備訓練生総合評価（基本的ルール：清潔な身なり）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		26		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.54	2.45		2.78		2.65		3.05		2.84		3.23		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.78	0.98		0.75		0.69		0.79		0.50		1.03		0.00		0.00		0.00		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.40	2.09		2.81		2.67		3.05		2.82		2.87		*		3.00		3.00		
	標準偏差	0.84	0.97		0.83		0.65		0.79		0.60		0.92		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		14		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	3.00	2.94		2.73		2.64		3.11		2.88		3.73		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.77		0.65		0.74		0.78		0.35		1.01		0.00		0.00		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	2.67	2.50		2.67		2.80		2.92		3.00		3.00		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.58	0.85		0.65		0.63		0.28		0.00		1.00		0.00		0.00		0.00		
重度以外	人 数	6	23		13		16		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	2.17	2.57		2.92		2.56		3.22		2.67		3.67		3.00		*		*		
	標準偏差	0.98	0.99		0.86		0.73		1.20		0.71		1.00		*		*		*		

表7 5 職業準備訓練生総合評価（基本的ルール：健康管理）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		25		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.62	2.47		2.67		2.52		2.68		2.89		3.08		2.67		2.00		3.00		
	標準偏差	0.65	0.95		0.88		0.82		0.72		0.46		1.06		0.58		1.00		0.00		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.60	2.14		2.69		2.75		2.68		2.82		3.00		*		3.00		3.00		
	標準偏差	0.70	0.94		0.95		0.62		0.72		0.60		1.31		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		13		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	2.67	2.94		2.64		2.31		2.78		3.00		3.18		2.67		1.50		3.00		
	標準偏差	0.58	0.77		0.81		0.95		0.67		0.00		0.60		0.58		0.71		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	3.00	2.50		2.58		2.30		2.77		2.78		2.88		3.00		2.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.85		0.79		0.95		0.60		0.67		1.11		0.00		1.00		0.00		
重度以外	人 数	6	23		13		15		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	2.83	2.57		2.69		2.67		2.56		3.00		3.44		2.00		*		*		
	標準偏差	0.41	0.99		1.03		0.72		0.88		0.00		0.88		*		*		*		

表7 6 職業準備訓練生総合評価（作業態度：取り掛かり）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		27		27		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.77	2.58		2.74		2.56		3.05		3.21		3.15		3.33		2.00		3.50		
	標準偏差	0.73	1.45		0.98		0.80		1.17		0.63		1.12		1.53		1.00		2.12		
男 性	人 数	10	22		16		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.60	2.14		2.69		2.75		3.05		3.18		3.00		*		2.00		2.00		
	標準偏差	0.70	1.28		1.01		0.62		1.17		0.60		1.07		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		11		15		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	3.33	3.19		2.82		2.40		2.67		3.25		3.36		3.33		2.00		5.00		
	標準偏差	0.58	1.47		0.98		0.91		1.22		0.71		1.21		1.53		1.41		*		
重 度	人 数	3	10		12		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	2.67	2.30		2.75		2.50		2.92		3.22		3.12		3.50		2.00		3.50		
	標準偏差	0.58	1.64		0.75		0.85		1.19		0.67		1.11		2.12		1.00		2.12		
重度以外	人 数	6	23		13		17		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	2.67	2.78		2.85		2.59		3.22		3.22		3.22		3.00		*		*		
	標準偏差	1.03	1.48		1.21		0.80		1.20		0.67		1.20		*		*		*		

付表7 職業準備訓練総合評価表 3

表7 7 職業準備訓練生総合評価（作業態度：自発性）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	38	27	27	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	2.62	2.42	2.81	2.48	3.05	2.68	3.08	2.67	3.00	4.00											
	標準偏差	0.77	1.29	0.83	1.01	1.17	1.38	1.32	0.58	0.00	1.41											
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	2.50	2.09	2.94	2.92	3.05	2.82	3.00	*	3.00	3.00											
	標準偏差	0.85	1.27	0.93	0.90	1.17	1.40	1.31	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.00	2.88	2.64	2.13	2.89	2.50	3.18	2.67	3.00	5.00											
	標準偏差	0.00	1.20	0.67	0.99	1.05	1.41	1.40	0.58	0.00	*											
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	2.00	2.70	3.08	2.70	3.08	2.56	3.12	2.50	3.00	4.00											
	標準偏差	1.00	1.49	0.29	0.67	1.04	1.33	1.11	0.71	0.00	1.41											
重度以外	人 数	6	23	13	17	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	2.67	2.30	2.62	2.35	3.00	3.00	3.00	3.00	*	*											
	標準偏差	0.82	1.26	1.12	1.17	1.41	1.41	1.73	*	*	*											

表7 8 職業準備訓練生総合評価（作業態度：熱心さ）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	3.23	2.97	3.00	3.08	3.41	3.53	3.35	3.67	3.67	4.00											
	標準偏差	0.93	1.15	0.96	1.06	1.01	1.12	1.29	1.15	1.15	1.41											
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	3.20	2.73	3.13	3.33	3.41	3.36	3.40	*	5.00	3.00											
	標準偏差	1.03	1.28	0.96	0.78	1.01	1.21	1.35	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.33	3.31	2.82	2.86	3.33	3.75	3.27	3.67	3.00	5.00											
	標準偏差	0.58	0.87	0.98	1.23	1.22	1.04	1.27	1.15	0.00	*											
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	3.00	2.60	3.42	3.00	3.31	3.89	3.53	4.00	3.67	4.00											
	標準偏差	0.00	1.17	0.79	1.33	0.75	1.05	1.42	1.41	1.15	1.41											
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	3.00	3.26	2.69	3.13	3.56	3.22	3.00	3.00	*	*											
	標準偏差	1.10	1.18	1.03	0.89	1.33	1.20	1.00	*	*	*											

表7 9 職業準備訓練生総合評価（作業態度：責任感）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	2.92	2.76	2.70	2.65	3.32	3.32	2.92	3.67	3.00	3.00											
	標準偏差	0.76	1.26	0.82	0.94	1.04	1.20	1.32	1.15	0.00	2.83											
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	2.80	2.45	2.81	3.08	3.32	3.36	2.73	*	3.00	1.00											
	標準偏差	0.79	1.34	0.91	0.67	1.04	1.21	1.49	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.33	3.19	2.55	2.29	2.89	3.25	3.18	3.67	3.00	5.00											
	標準偏差	0.58	1.05	0.69	0.99	1.05	1.28	1.08	1.15	0.00	*											
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	3.00	2.60	2.83	2.70	3.23	3.67	2.65	4.00	3.00	3.00											
	標準偏差	0.00	1.58	0.58	1.16	0.83	1.00	1.27	1.41	0.00	2.83											
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	2.83	2.91	2.69	2.63	3.44	3.00	3.44	3.00	*	*											
	標準偏差	1.17	1.24	1.03	0.81	1.33	1.41	1.33	*	*	*											

付表 7 職業準備訓練総合評価表 4

表 7 10 職業準備訓練生総合評価（作業態度：報告）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	9	38	27	26	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	2.78	2.66	2.44	2.73	2.55	2.79	2.77	2.33	3.00	3.00											
	標準偏差	0.67	1.49	0.80	1.04	0.80	0.92	0.86	1.15	0.00	0.00											
男 性	人 数	6	22	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	2.67	2.50	2.19	3.00	2.55	2.82	2.87	*	3.00	3.00											
	標準偏差	0.82	1.60	0.91	0.85	0.80	1.08	0.92	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.00	2.88	2.82	2.50	2.44	2.75	2.64	2.33	3.00	3.00											
	標準偏差	0.00	1.36	0.40	1.16	0.88	0.71	0.81	1.15	0.00	*											
重 度	人 数	2	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	3.00	2.60	2.67	2.80	2.54	2.33	2.76	2.00	3.00	3.00											
	標準偏差	0.00	1.78	0.65	0.63	0.78	1.00	0.97	1.41	0.00	0.00											
重度以外	人 数	4	23	13	16	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	2.50	2.83	2.23	2.69	2.56	3.22	2.78	3.00	*	*											
	標準偏差	1.00	1.47	0.93	1.25	0.88	0.67	0.67	*	*	*											

表 7 11 職業準備訓練生総合評価（作業態度：質問）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	2.38	2.16	2.37	2.31	2.73	2.58	2.62	2.33	3.00	2.00											
	標準偏差	0.77	1.26	0.88	0.97	0.88	0.84	0.80	1.15	0.00	1.41											
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	2.20	2.00	2.13	2.83	2.73	2.45	2.73	*	3.00	3.00											
	標準偏差	0.79	1.35	0.96	0.58	0.88	0.93	0.70	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.00	2.38	2.73	1.86	3.11	2.75	2.45	2.33	3.00	1.00											
	標準偏差	0.00	1.15	0.65	1.03	0.78	0.71	0.93	1.15	0.00	*											
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	2.00	2.00	2.58	2.60	2.54	2.33	2.53	2.00	3.00	2.00											
	標準偏差	1.00	1.41	0.79	0.84	1.13	1.00	0.87	1.41	0.00	1.41											
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	2.33	2.30	2.15	2.13	3.00	2.78	2.78	3.00	*	*											
	標準偏差	0.82	1.26	0.99	1.02	0.00	0.67	0.67	*	*	*											

表 7 12 職業準備訓練生総合評価（作業態度：死後・よそ見）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	13	37	27	27	22	19	26	3	3	2											
	平均(点)	3.08	2.86	2.85	2.37	2.77	2.84	3.00	3.67	2.67	4.00											
	標準偏差	0.76	1.27	1.29	1.04	1.63	0.96	1.26	1.15	0.58	1.41											
男 性	人 数	10	21	16	12	13	11	15	0	1	1											
	平均(点)	3.00	2.86	2.81	2.42	2.77	2.64	3.00	*	3.00	3.00											
	標準偏差	0.82	1.39	1.11	0.90	1.63	0.81	1.31	*	*	*											
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1											
	平均(点)	3.33	2.88	2.91	2.33	2.56	3.13	3.00	3.67	2.50	5.00											
	標準偏差	0.58	1.15	1.58	1.18	1.33	1.13	1.26	1.15	0.71	*											
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2											
	平均(点)	2.67	2.50	3.08	2.30	2.15	2.78	3.00	4.00	2.67	4.00											
	標準偏差	0.58	1.27	1.00	0.95	1.28	0.67	1.22	1.41	0.58	1.41											
重度以外	人 数	6	22	13	17	9	9	9	1	0	0											
	平均(点)	3.00	3.14	2.69	2.41	3.67	2.67	3.00	3.00	*	*											
	標準偏差	0.63	1.36	1.60	1.12	1.73	1.00	1.41	*	*	*											

付表 7 職業準備訓練総合評価表 5

表 7 13 職業準備訓練生総合評価（作業態度：陰日なた）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13		37		27		26		22		19		26		3		3		2	
	平均(点)	3.31		2.89		3.07		2.92		3.45		3.58		3.31		4.67		3.00		2.50	
	標準偏差	0.63		0.84		1.30		0.89		1.06		1.12		1.23		0.58		1.73		0.71	
男 性	人 数	10		21		16		12		13		11		15		0		1		1	
	平均(点)	3.20		2.71		3.13		3.17		3.45		3.55		3.27		*		5.00		2.00	
	標準偏差	0.63		1.01		1.36		0.58		1.06		1.29		1.28		*		*		*	
女 性	人 数	3		16		11		14		9		8		11		3		2		1	
	平均(点)	3.67		3.13		3.00		2.71		3.00		3.63		3.36		4.67		2.00		3.00	
	標準偏差	0.58		0.50		1.26		1.07		1.00		0.92		1.21		0.58		0.00		*	
重 度	人 数	3		10		12		10		13		9		17		2		3		2	
	平均(点)	3.00		2.50		3.17		3.00		3.46		3.67		3.47		5.00		3.00		2.50	
	標準偏差	0.00		0.85		1.34		0.94		0.88		1.00		1.50		0.00		1.73		0.71	
重度以外	人 数	6		22		13		16		9		9		9		1		0		0	
	平均(点)	3.17		3.18		3.00		2.88		3.44		3.33		3.00		4.00		*		*	
	標準偏差	0.41		0.80		1.41		0.89		1.33		1.22		0.00		*		*		*	

表 7 14 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：集中力）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13		38		27		27		22		19		26		3		3		2	
	平均(点)	2.92		2.68		2.78		2.67		3.00		4.47		2.85		3.67		2.33		4.00	
	標準偏差	0.49		1.12		0.93		0.92		1.23		7.02		1.12		1.15		1.15		1.41	
男 性	人 数	10		22		16		12		13		11		15		0		1		1	
	平均(点)	2.80		2.36		2.81		2.67		3.00		5.36		2.87		*		3.00		3.00	
	標準偏差	0.42		1.00		0.83		1.15		1.23		9.24		1.19		*		*		*	
女 性	人 数	3		16		11		15		9		8		11		3		2		1	
	平均(点)	3.33		3.13		2.73		2.67		3.00		3.25		2.82		3.67		2.00		5.00	
	標準偏差	0.58		1.15		1.10		0.72		1.00		1.28		1.08		1.15		1.41		*	
重 度	人 数	3		10		12		10		13		9		17		2		3		2	
	平均(点)	3.00		2.10		3.00		2.80		2.54		7.00		2.88		4.00		2.33		4.00	
	標準偏差	0.00		0.99		0.74		1.14		0.88		9.80		1.32		1.41		1.15		1.41	
重度以外	人 数	6		23		13		17		9		9		9		1		0		0	
	平均(点)	3.00		3.04		2.62		2.59		3.67		2.11		2.78		3.00		*		*	
	標準偏差	0.63		1.11		1.12		0.80		1.41		1.05		0.67		*		*		*	

表 7 15 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：安定性）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13		38		27		26		22		19		26		3		3		2	
	平均(点)	2.54		2.95		3.07		2.85		3.36		3.42		3.00		4.00		2.33		4.00	
	標準偏差	1.05		1.39		0.96		0.92		1.33		1.43		1.13		1.00		0.58		1.41	
男 性	人 数	10		22		16		12		13		11		15		0		1		1	
	平均(点)	2.40		2.73		3.00		3.00		3.36		3.00		2.73		*		2.00		3.00	
	標準偏差	1.07		1.58		0.97		0.85		1.33		1.55		1.03		*		*		*	
女 性	人 数	3		16		11		14		9		8		11		3		2		1	
	平均(点)	3.00		3.25		3.18		2.71		3.00		4.00		3.36		4.00		2.50		5.00	
	標準偏差	1.00		1.06		0.98		0.99		1.41		1.07		1.21		1.00		0.71		*	
重 度	人 数	3		10		12		10		13		9		17		2		3		2	
	平均(点)	3.33		2.90		3.25		3.00		3.15		3.89		2.88		4.00		2.33		4.00	
	標準偏差	0.58		1.66		0.87		0.94		1.28		1.05		1.11		1.41		0.58		1.41	
重度以外	人 数	6		23		13		16		9		9		9		1		0		0	
	平均(点)	2.17		3.09		2.92		2.75		3.67		2.78		3.22		4.00		*		*	
	標準偏差	1.33		1.35		1.12		0.93		1.41		1.56		1.20		*		*		*	

付表 7 職業準備訓練総合評価表 6

表 7 16 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：正確さ）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	27	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.62	2.50	2.70	2.67	2.68	2.84	3.00	2.67	2.33	3.00										
	標準偏差	0.96	1.31	1.14	1.18	1.13	1.26	1.13	0.58	1.15	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.50	2.18	2.63	2.50	2.68	2.82	3.13	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.97	1.26	1.09	0.80	1.13	1.66	1.19	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.00	2.94	2.82	2.80	2.44	2.88	2.82	2.67	2.00	3.00										
	標準偏差	1.00	1.29	1.25	1.42	0.88	0.35	1.08	0.58	1.41	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	2.10	2.67	2.80	2.62	3.22	2.65	2.50	2.33	3.00										
	標準偏差	1.53	1.37	1.15	0.63	1.39	1.20	1.06	0.71	1.15	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	17	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.83	2.74	2.85	2.59	2.78	2.44	3.67	3.00	*	*										
	標準偏差	0.75	1.36	1.21	1.42	0.67	1.33	1.00	*	*	*										

表 7 17 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：丁寧さ）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.69	2.53	2.96	3.08	2.59	3.16	2.85	3.00	2.67	3.00										
	標準偏差	0.95	1.31	0.98	1.02	1.01	1.50	1.26	0.00	0.58	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.60	2.27	3.25	3.17	2.59	3.00	2.73	*	2.00	3.00										
	標準偏差	0.97	1.39	1.00	0.58	1.01	1.79	1.28	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.00	2.88	2.55	3.00	2.22	3.38	3.00	3.00	3.00	3.00										
	標準偏差	1.00	1.15	0.82	1.30	0.97	1.06	1.26	0.00	0.00	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	2.00	2.75	3.20	2.62	3.44	2.53	3.00	2.67	3.00										
	標準偏差	1.53	1.41	1.06	0.63	1.12	1.33	1.33	0.00	0.58	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	3.00	2.83	3.31	3.00	2.56	2.89	3.44	3.00	*	*										
	標準偏差	0.63	1.30	0.75	1.21	0.88	1.76	0.88	*	*	*										

表 7 18 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：作業耐性）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.54	2.68	2.59	2.58	3.18	3.00	3.00	4.33	2.67	4.00										
	標準偏差	1.05	1.12	0.64	1.06	1.22	0.67	1.13	0.58	0.58	1.41										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.30	2.50	2.56	3.00	3.18	2.82	3.00	*	3.00	3.00										
	標準偏差	1.06	1.26	0.73	0.85	1.22	0.60	1.31	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.33	2.94	2.64	2.21	2.78	3.25	3.00	4.33	2.50	5.00										
	標準偏差	0.58	0.85	0.50	1.12	1.20	0.71	0.89	0.58	0.71	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	3.00	2.30	2.67	2.60	3.15	3.22	3.00	4.50	2.67	4.00										
	標準偏差	0.00	1.34	0.49	1.26	0.99	0.67	1.22	0.71	0.58	1.41										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.50	2.87	2.54	2.56	3.22	2.78	3.00	4.00	*	*										
	標準偏差	1.38	1.06	0.78	0.96	1.56	0.67	1.00	*	*	*										

付表 7 職業準備訓練総合評価表 7

表 7 19 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：作業工夫）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.00	1.95	2.33	2.27	2.36	2.63	2.15	1.67	2.00	3.00										
	標準偏差	1.15	1.04	0.88	0.96	0.95	1.01	1.01	0.58	1.00	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	1.70	1.77	2.31	2.58	2.36	2.91	2.07	*	2.00	3.00										
	標準偏差	1.06	1.07	0.87	0.79	0.95	0.94	1.03	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.00	2.19	2.36	2.00	1.89	2.25	2.27	1.67	2.00	3.00										
	標準偏差	1.00	0.98	0.92	1.04	1.05	1.04	1.01	0.58	1.41	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	1.90	2.42	2.70	2.38	3.00	2.06	1.50	2.00	3.00										
	標準偏差	1.53	1.20	0.90	0.67	0.96	1.00	1.03	0.71	1.00	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	1.83	2.04	2.31	2.00	2.33	2.44	2.33	2.00	*	*										
	標準偏差	1.17	1.02	0.95	1.03	1.00	0.88	1.00	*	*	*										

表 7 20 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：習熟）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	2	3	2										
	平均(点)	2.38	2.68	2.81	2.58	3.00	3.16	2.77	3.00	3.00	3.00										
	標準偏差	1.04	1.16	0.74	1.10	1.07	1.26	1.03	0.00	0.00	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.10	2.45	2.88	2.33	3.00	2.82	3.00	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.99	1.37	0.81	0.89	1.07	1.40	1.07	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	2	2	1										
	平均(点)	3.33	3.00	2.73	2.79	2.56	3.63	2.45	3.00	3.00	3.00										
	標準偏差	0.58	0.73	0.65	1.25	0.88	0.92	0.93	0.00	0.00	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	1	3	2										
	平均(点)	3.00	2.50	2.75	2.80	3.15	3.67	2.65	3.00	3.00	3.00										
	標準偏差	0.00	1.35	0.62	0.63	0.99	1.00	0.79	*	0.00	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.17	2.87	2.85	2.44	2.78	2.67	3.00	3.00	*	*										
	標準偏差	1.33	1.14	0.90	1.31	1.20	1.41	1.41	*	*	*										

表 7 21 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：準備・後片付け）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	2	3	2										
	平均(点)	2.92	2.61	3.07	2.58	2.82	2.89	3.38	2.50	3.67	4.00										
	標準偏差	0.64	1.26	1.04	0.95	0.91	1.05	0.80	0.71	1.15	1.41										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.80	2.41	3.38	3.00	2.82	2.64	3.27	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.63	1.33	1.15	0.74	0.91	1.21	0.70	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	2	2	1										
	平均(点)	3.33	2.88	2.64	2.21	2.44	3.25	3.55	2.50	4.00	5.00										
	標準偏差	0.58	1.15	0.67	0.97	0.88	0.71	0.93	0.71	1.41	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	1	3	2										
	平均(点)	3.00	2.50	3.08	2.80	2.69	3.00	3.24	2.00	3.67	4.00										
	標準偏差	0.00	1.27	0.90	1.14	0.85	1.00	0.66	*	1.15	1.41										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.83	2.78	3.15	2.44	3.00	2.78	3.67	3.00	*	*										
	標準偏差	0.98	1.31	1.21	0.81	1.00	1.20	1.00	*	*	*										

付表 7 職業準備訓練総合評価表 8

表 7 22 職業準備訓練生総合評価（作業遂行力：危険への配慮）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	37	25	26	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	3.00	2.43	2.88	2.96	2.86	2.74	2.96	2.33	2.67	3.00										
	標準偏差	0.00	0.87	0.73	0.20	0.47	0.65	0.60	1.15	0.58	0.00										
男 性	人 数	10	21	15	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	3.00	2.19	2.93	3.00	2.86	2.82	3.00	*	2.00	3.00										
	標準偏差	0.00	0.93	0.80	0.00	0.47	0.60	0.00	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	10	14	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.00	2.75	2.80	2.93	2.67	2.63	2.91	2.33	3.00	3.00										
	標準偏差	0.00	0.68	0.63	0.27	0.71	0.74	0.94	1.15	0.00	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	3.00	2.30	2.83	3.00	2.92	2.78	2.82	2.00	2.67	3.00										
	標準偏差	0.00	0.95	0.58	0.00	0.28	0.67	0.53	1.41	0.58	0.00										
重度以外	人 数	6	23	11	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	3.00	2.52	2.91	2.94	2.78	2.67	3.22	3.00	*	*										
	標準偏差	0.00	0.85	0.94	0.25	0.67	0.71	0.67	*	*	*										

表 7 23 職業準備訓練生総合評価（対人態度：挨拶・返事）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	27	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.85	2.97	2.78	3.07	3.05	3.16	3.69	3.33	3.67	4.00										
	標準偏差	0.80	1.24	1.01	1.30	1.17	1.26	1.12	1.53	1.15	1.41										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.60	2.82	2.44	3.17	3.05	2.64	3.80	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.70	1.37	0.96	1.34	1.17	1.21	1.01	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.67	3.19	3.27	3.00	3.78	3.88	3.55	3.33	4.00	5.00										
	標準偏差	0.58	1.05	0.90	1.31	1.20	0.99	1.29	1.53	1.41	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	3.00	3.00	2.80	2.92	2.78	3.82	4.00	3.67	4.00										
	標準偏差	0.58	1.25	1.28	1.14	1.19	1.20	1.01	1.41	1.15	1.41										
重度以外	人 数	6	23	13	17	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.67	3.13	2.54	3.24	3.22	3.33	3.44	2.00	*	*										
	標準偏差	1.03	1.29	0.78	1.39	1.20	1.22	1.33	*	*	*										

表 7 24 職業準備訓練生総合評価（対人態度：素直さ）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	27	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	3.08	2.68	3.00	2.89	3.36	3.32	3.15	3.33	3.33	3.00										
	標準偏差	0.64	1.12	1.27	1.05	1.18	1.20	1.49	1.53	1.53	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	3.10	2.59	2.88	2.83	3.36	3.36	3.00	*	5.00	3.00										
	標準偏差	0.74	1.40	1.20	1.03	1.18	1.21	1.51	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.00	2.81	3.18	2.93	3.44	3.25	3.36	3.33	2.50	3.00										
	標準偏差	0.00	0.54	1.40	1.10	1.33	1.28	1.50	1.53	0.71	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	3.00	2.50	2.92	2.60	3.46	3.44	3.24	4.00	3.33	3.00										
	標準偏差	0.00	1.27	1.62	1.26	1.20	0.88	1.71	1.41	1.53	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	17	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	3.00	2.83	3.08	3.06	3.22	3.00	3.00	2.00	*	*										
	標準偏差	0.00	1.11	1.04	0.90	1.20	1.41	1.00	*	*	*										

付表 7 職業準備訓練総合評価表 9

表 7 25 職業準備訓練生総合評価（対人態度：言葉遣い）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	37	27	27	23	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.54	2.19	2.22	2.74	2.39	2.47	2.38	3.00	2.33	3.00										
	標準偏差	0.97	1.13	0.93	1.13	1.12	1.12	0.94	0.00	1.53	0.00										
男 性	人 数	10	21	16	12	14	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.30	2.05	2.19	2.83	2.39	2.64	2.20	*	4.00	3.00										
	標準偏差	0.95	1.12	0.98	1.27	1.12	1.21	1.01	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.33	2.38	2.27	2.67	2.11	2.25	2.64	3.00	1.50	3.00										
	標準偏差	0.58	1.15	0.90	1.05	1.45	1.04	0.81	0.00	0.71	*										
重 度	人 数	3	9	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	3.00	1.89	2.17	3.20	2.38	2.78	2.29	3.00	2.33	3.00										
	標準偏差	0.00	1.36	0.94	1.14	0.96	1.20	0.99	0.00	1.53	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	17	10	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.00	2.43	2.15	2.47	2.40	2.11	2.56	3.00	*	*										
	標準偏差	1.26	1.08	0.99	1.07	1.35	1.05	0.88	*	*	*										

表 7 26 職業準備訓練生総合評価（対人態度：感謝・謝罪）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	27	23	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.85	2.47	2.37	2.89	2.74	3.11	3.00	3.00	3.67	3.00										
	標準偏差	0.69	0.83	0.84	0.64	0.86	0.99	1.02	0.00	1.15	0.00										
男 性	人 数	10	22	16	12	14	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.70	2.23	2.31	3.00	2.74	3.09	3.13	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.67	0.81	0.87	0.74	0.86	0.70	0.92	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	15	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	3.33	2.81	2.45	2.80	2.89	3.13	2.82	3.00	4.00	3.00										
	標準偏差	0.58	0.75	0.82	0.56	1.05	1.36	1.17	0.00	1.41	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	2.40	2.33	3.20	2.69	3.44	2.88	3.00	3.67	3.00										
	標準偏差	0.58	0.84	0.89	0.63	0.63	1.33	0.93	0.00	1.15	0.00										
重度以外	人 数	6	23	13	17	10	9	9	1	0	0										
	平均(点)	2.83	2.57	2.38	2.71	2.80	2.78	3.22	3.00	*	*										
	標準偏差	0.98	0.73	0.87	0.59	1.14	0.44	1.20	*	*	*										

表 7 27 職業準備訓練生総合評価（対人態度：他者との協調）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38	27	26	22	19	26	3	3	2										
	平均(点)	2.77	2.29	2.67	2.77	2.68	3.42	2.81	2.33	3.00	2.00										
	標準偏差	0.60	0.93	0.88	1.03	1.29	1.26	1.13	0.58	0.00	1.41										
男 性	人 数	10	22	16	12	13	11	15	0	1	1										
	平均(点)	2.90	2.05	2.50	3.00	2.68	3.36	2.87	*	3.00	3.00										
	標準偏差	0.32	0.95	0.82	0.85	1.29	1.21	1.19	*	*	*										
女 性	人 数	3	16	11	14	9	8	11	3	2	1										
	平均(点)	2.33	2.63	2.91	2.57	2.44	3.50	2.73	2.33	3.00	1.00										
	標準偏差	1.15	0.81	0.94	1.16	0.88	1.41	1.10	0.58	0.00	*										
重 度	人 数	3	10	12	10	13	9	17	2	3	2										
	平均(点)	2.67	2.30	2.42	2.80	2.62	3.67	2.76	2.50	3.00	2.00										
	標準偏差	0.58	0.95	0.90	1.14	1.39	1.41	1.20	0.71	0.00	1.41										
重度以外	人 数	6	23	13	16	9	9	9	1	0	0										
	平均(点)	3.00	2.26	2.85	2.75	2.78	3.00	2.89	2.00	*	*										
	標準偏差	0.00	0.96	0.90	1.00	1.20	1.00	1.05	*	*	*										

付表 7 職業準備訓練総合評価表 10

表 7 28 職業準備訓練生総合評価（対人態度：会話への参加）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	38		24		26		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	2.92	2.50		2.67		2.77		2.45		2.89		3.00		1.67		3.00		2.00		
	標準偏差	0.28	0.92		0.64		0.86		1.37		1.05		1.26		0.58		0.00		1.41		
男 性	人 数	10	22		14		12		13		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.90	2.32		2.64		2.83		2.45		2.82		3.00		*		3.00		3.00		
	標準偏差	0.32	1.04		0.74		0.58		1.37		1.08		1.31		*		*		*		
女 性	人 数	3	16		10		14		9		8		11		3		2		1		
	平均(点)	3.00	2.75		2.70		2.71		2.44		3.00		3.00		1.67		3.00		1.00		
	標準偏差	0.00	0.68		0.48		1.07		1.33		1.07		1.26		0.58		0.00		*		
重 度	人 数	3	10		10		10		13		9		17		2		3		2		
	平均(点)	2.67	2.40		2.50		2.80		2.54		2.78		3.00		1.50		3.00		2.00		
	標準偏差	0.58	0.97		0.71		0.63		1.39		1.20		1.41		0.71		0.00		1.41		
重度以外	人 数	6	23		12		16		9		9		9		1		0		0		
	平均(点)	3.00	2.61		2.83		2.75		2.33		2.78		3.00		2.00		*		*		
	標準偏差	0.00	0.94		0.58		1.00		1.41		0.67		1.00		*		*		*		

表 7 29 職業準備訓練生総合評価（通勤：交通機関の利用）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	11	37		27		26		22		19		26		2		3		2		
	平均(点)	2.82	2.86		2.96		2.69		2.95		3.16		2.77		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.40	0.89		0.94		0.93		0.90		0.69		1.18		0.00		0.00		0.00		
男 性	人 数	8	22		16		12		14		11		15		0		1		1		
	平均(点)	2.75	2.68		2.94		2.83		2.95		3.36		2.47		*		3.00		3.00		
	標準偏差	0.46	0.84		0.77		0.58		0.90		0.81		1.19		*		*		*		
女 性	人 数	3	15		11		14		8		8		11		2		2		1		
	平均(点)	3.00	3.13		3.00		2.57		3.38		2.88		3.18		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.92		1.18		1.16		1.06		0.35		1.08		0.00		0.00		*		
重 度	人 数	3	9		12		10		12		9		17		1		3		2		
	平均(点)	2.67	2.78		2.92		2.40		2.75		3.00		2.41		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.58	0.44		0.90		0.97		0.62		0.00		0.94		*		0.00		0.00		
重度以外	人 数	4	23		13		16		10		9		9		1		0		0		
	平均(点)	3.00	2.96		2.85		2.88		3.20		3.33		3.44		3.00		*		*		
	標準偏差	0.00	1.02		0.90		0.89		1.14		1.00		1.33		*		*		*		

表 7 30 職業準備訓練生総合評価（通勤：車内等でのマナー）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	11	32		27		25		22		19		26		3		3		2		
	平均(点)	3.00	2.84		3.11		2.84		2.95		3.11		3.23		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.63		1.01		0.80		0.72		0.46		0.65		0.00		0.00		0.00		
男 性	人 数	8	17		16		12		14		11		15		0		1		1		
	平均(点)	3.00	2.71		3.06		2.83		2.95		3.18		3.00		*		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.85		0.93		0.58		0.72		0.60		0.00		*		*		*		
女 性	人 数	3	15		11		13		8		8		11		3		2		1		
	平均(点)	3.00	3.00		3.18		2.85		2.88		3.00		3.55		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.00		1.17		0.99		0.35		0.00		0.93		0.00		0.00		0.00		
重 度	人 数	3	7		12		10		12		9		17		2		3		2		
	平均(点)	3.00	2.57		2.92		2.80		2.83		3.00		3.12		3.00		3.00		3.00		
	標準偏差	0.00	0.79		0.90		0.63		0.72		0.00		0.49		0.00		0.00		0.00		
重度以外	人 数	4	21		13		15		10		9		9		1		0		0		
	平均(点)	3.00	3.00		3.23		2.87		3.10		3.22		3.44		3.00		*		*		
	標準偏差	0.00	0.55		1.17		0.92		0.74		0.67		0.88		*		*		*		

付表 8 職務試行評価表 1

表 8 1 職務試行法評価（作業的側面：熱心な取り組み）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	37	25	22	18	22	21	2	0	0											
	平均(点)	2.71	3.59	3.24	3.45	3.56	3.82	4.05	4.00	*	*											
	標準偏差	1.54	1.24	1.67	1.37	1.50	1.18	1.36	1.41	*	*											
男 性	人 数	11	23	15	6	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	2.45	3.61	3.13	2.67	3.56	3.55	3.40	3.00	*	*											
	標準偏差	1.57	1.41	1.60	1.51	1.50	1.29	1.58	*	*	*											
女 性	人 数	3	14	10	16	8	11	11	1	0	0											
	平均(点)	3.67	3.57	3.40	3.75	4.00	4.09	4.64	5.00	*	*											
	標準偏差	1.15	0.94	1.84	1.24	1.51	1.04	0.81	*	*	*											
重 度	人 数	4	10	9	6	8	10	12	1	0	0											
	平均(点)	3.00	3.80	3.22	3.00	3.00	4.00	3.50	5.00	*	*											
	標準偏差	1.63	1.03	1.56	1.79	1.51	1.05	1.51	*	*	*											
重度以外	人 数	7	23	15	16	10	10	9	1	0	0											
	平均(点)	2.71	3.61	3.40	3.63	4.00	3.40	4.78	3.00	*	*											
	標準偏差	1.80	1.27	1.72	1.20	1.41	1.26	0.67	*	*	*											

表 8 2 職務試行法評価（作業的側面：集中した取り組み）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	37	25	22	18	22	21	2	0	0											
	平均(点)	2.50	3.27	2.80	2.82	3.00	2.73	3.57	4.00	*	*											
	標準偏差	1.61	1.35	1.68	1.50	1.37	1.12	1.43	1.41	*	*											
男 性	人 数	11	23	15	6	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	2.55	3.09	2.80	2.67	3.00	2.45	3.40	3.00	*	*											
	標準偏差	1.75	1.41	1.70	1.51	1.37	0.93	1.26	*	*	*											
女 性	人 数	3	14	10	16	8	11	11	1	0	0											
	平均(点)	2.33	3.57	2.80	2.88	3.25	3.00	3.73	5.00	*	*											
	標準偏差	1.15	1.22	1.75	1.54	1.67	1.26	1.62	*	*	*											
重 度	人 数	4	10	9	6	8	10	12	1	0	0											
	平均(点)	2.75	3.40	2.78	2.67	3.00	2.80	3.17	5.00	*	*											
	標準偏差	1.71	1.58	1.86	1.51	1.51	0.63	1.34	*	*	*											
重度以外	人 数	7	23	15	16	10	10	9	1	0	0											
	平均(点)	2.43	3.43	2.93	2.88	3.00	2.40	4.11	3.00	*	*											
	標準偏差	1.51	1.20	1.62	1.54	1.33	1.35	1.45	*	*	*											

表 8 3 職務試行法評価（作業的側面：コンスタントな取り組み）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	37	25	20	18	22	21	2	0	0											
	平均(点)	2.43	3.22	3.04	2.90	3.22	2.82	3.95	4.00	*	*											
	標準偏差	0.94	1.32	1.59	1.37	1.35	1.05	1.20	1.41	*	*											
男 性	人 数	11	23	15	5	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	2.27	3.09	3.07	2.20	3.22	2.45	3.80	3.00	*	*											
	標準偏差	1.01	1.53	1.44	1.79	1.35	0.93	1.40	*	*	*											
女 性	人 数	3	14	10	15	8	11	11	1	0	0											
	平均(点)	3.00	3.43	3.00	3.13	3.50	3.18	4.09	5.00	*	*											
	標準偏差	0.00	0.85	1.89	1.19	1.41	1.08	1.04	*	*	*											
重 度	人 数	4	10	9	6	8	10	12	1	0	0											
	平均(点)	2.50	3.40	2.78	3.33	3.25	2.80	3.67	5.00	*	*											
	標準偏差	1.00	1.26	1.20	0.82	1.67	1.14	1.30	*	*	*											
重度以外	人 数	7	23	15	14	10	10	9	1	0	0											
	平均(点)	2.43	3.26	3.33	2.71	3.20	2.60	4.33	3.00	*	*											
	標準偏差	0.98	1.25	1.76	1.54	1.14	0.84	1.00	*	*	*											

付表 8 職務試行評価表 2

表 8 4 職務試行法評価（作業的側面：正確な作業）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	36	25	22	18	22	21	2	0	0										
	平均(点)	2.21	2.86	2.76	2.82	2.61	2.64	3.29	3.00	*	*										
	標準偏差	0.97	1.27	1.48	1.62	1.24	1.18	1.31	0.00	*	*										
男 性	人 数	11	22	15	6	10	11	10	1	0	0										
	平均(点)	2.00	2.77	3.00	2.33	2.61	2.27	3.40	3.00	*	*										
	標準偏差	1.00	1.23	1.36	1.63	1.24	1.01	1.26	*	*	*										
女 性	人 数	3	14	10	16	8	11	11	1	0	0										
	平均(点)	3.00	3.00	2.40	3.00	3.25	3.00	3.18	3.00	*	*										
	標準偏差	0.00	1.36	1.65	1.63	1.28	1.26	1.40	*	*	*										
重 度	人 数	4	10	9	6	8	10	12	1	0	0										
	平均(点)	2.50	2.60	2.33	3.00	2.50	2.80	3.00	3.00	*	*										
	標準偏差	1.00	1.26	1.00	2.19	1.41	1.14	1.21	*	*	*										
重度以外	人 数	7	22	15	16	10	10	9	1	0	0										
	平均(点)	2.14	3.05	3.07	2.75	2.70	2.20	3.67	3.00	*	*										
	標準偏差	1.07	1.33	1.71	1.44	1.16	1.03	1.41	*	*	*										

表 8 5 職務試行法評価（作業的側面：指示とおりの作業）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38	25	22	18	22	21	2	0	0										
	平均(点)	3.36	3.42	3.52	2.91	3.22	3.27	3.76	4.00	*	*										
	標準偏差	1.22	1.33	1.39	1.44	1.66	1.42	1.18	1.41	*	*										
男 性	人 数	11	23	15	6	10	11	10	1	0	0										
	平均(点)	3.27	3.35	3.33	3.00	3.22	3.00	4.00	3.00	*	*										
	標準偏差	0.90	1.43	1.40	1.79	1.66	1.55	1.05	*	*	*										
女 性	人 数	3	15	10	16	8	11	11	1	0	0										
	平均(点)	3.67	3.53	3.80	2.88	4.00	3.55	3.55	5.00	*	*										
	標準偏差	2.31	1.19	1.40	1.36	1.51	1.29	1.29	*	*	*										
重 度	人 数	4	11	9	6	8	10	12	1	0	0										
	平均(点)	3.00	3.55	2.56	3.00	2.75	3.60	3.67	5.00	*	*										
	標準偏差	0.00	1.29	1.33	1.26	1.67	0.97	0.98	*	*	*										
重度以外	人 数	7	23	15	16	10	10	9	1	0	0										
	平均(点)	4.14	3.52	4.20	2.88	3.60	2.60	3.89	3.00	*	*										
	標準偏差	1.07	1.38	1.01	1.54	1.65	1.58	1.45	*	*	*										

表 8 6 職務試行法評価（作業的側面：工夫した取り組み）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38	25	21	18	21	21	2	0	0										
	平均(点)	2.00	1.95	2.04	2.05	1.67	1.48	2.43	1.00	*	*										
	標準偏差	1.04	1.21	1.14	1.36	1.19	0.87	1.43	0.00	*	*										
男 性	人 数	11	23	15	6	10	10	10	1	0	0										
	平均(点)	1.91	1.78	2.13	1.67	1.67	1.40	2.80	1.00	*	*										
	標準偏差	1.04	1.17	1.25	1.03	1.19	0.84	1.48	*	*	*										
女 性	人 数	3	15	10	15	8	11	11	1	0	0										
	平均(点)	2.33	2.20	1.90	2.20	1.75	1.55	2.09	1.00	*	*										
	標準偏差	1.15	1.26	0.99	1.47	1.49	0.93	1.38	*	*	*										
重 度	人 数	4	11	9	6	8	9	12	1	0	0										
	平均(点)	2.00	1.73	2.00	2.00	2.00	1.22	2.33	1.00	*	*										
	標準偏差	1.15	1.01	1.00	1.10	1.51	0.67	1.30	*	*	*										
重度以外	人 数	7	23	15	15	10	10	9	1	0	0										
	平均(点)	2.14	2.22	2.00	2.07	1.40	1.80	2.56	1.00	*	*										
	標準偏差	1.07	1.31	1.25	1.49	0.84	1.03	1.67	*	*	*										

付表 8 職務試行評価表 3

表 8 7 職務試行法評価（作業的側面：機器・部品扱いの丁寧さ）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		25		21		17		21		21		2		0		0		0
	平均(点)	2.93	3.27		3.08		3.00		3.00		3.10		3.48		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.14	0.96		1.08		1.10		1.22		1.18		1.08		0.00		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.73	3.36		3.13		2.33		3.00		2.82		3.60		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.10	1.18		1.19		1.03		1.22		1.40		0.97		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		15		7		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.67	3.13		3.00		3.27		3.29		3.40		3.36		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	0.52		0.94		1.03		1.38		0.84		1.21		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		7		9		12		1		0		0		0
	平均(点)	2.25	3.18		3.22		3.33		2.71		2.78		3.67		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.96	0.60		1.20		0.82		1.38		1.20		0.98		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	22		15		15		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.29	3.27		3.00		2.87		3.20		3.40		3.22		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.38	1.12		1.07		1.19		1.14		1.26		1.20		*		*		*		*

表 8 8 職務試行法評価（作業的側面：慣れに伴う習熟）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	35		25		21		18		21		21		2		0		0		0
	平均(点)	2.08	2.94		2.92		2.81		2.78		2.81		3.33		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.32	1.24		1.35		1.25		1.35		1.25		1.53		0.00		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.09	2.91		2.73		2.67		2.78		2.64		3.20		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.38	1.44		1.28		1.51		1.35		1.50		1.75		*		*		*		*
女 性	人 数	2	13		10		15		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.00	3.00		3.20		2.87		3.25		3.00		3.45		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.41	0.82		1.48		1.19		1.67		0.94		1.37		*		*		*		*
重 度	人 数	4	9		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	2.50	3.00		2.33		3.67		2.75		2.80		2.83		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.91	1.41		1.00		1.03		1.28		1.14		1.59		*		*		*		*
重度以外	人 数	6	22		15		15		10		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	2.00	3.09		3.27		2.47		2.80		2.56		4.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.10	1.15		1.49		1.19		1.48		1.33		1.22		*		*		*		*

表 8 9 職務試行法評価（作業的側面：終了・事故・異常の報告）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38		24		18		17		20		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.07	3.00		2.83		2.33		2.53		2.70		3.19		2.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	1.32		1.27		1.37		1.33		1.63		1.25		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		5		9		10		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.09	3.09		2.87		2.60		2.53		2.00		3.40		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.70	1.41		1.36		1.67		1.33		1.41		1.58		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		9		13		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	2.87		2.78		2.23		2.75		3.40		3.00		1.00		*		*		*
	標準偏差	2.00	1.19		1.20		1.30		1.67		1.58		0.89		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		5		8		9		12		1		0		0		0
	平均(点)	2.75	3.36		2.56		1.80		2.50		2.33		3.17		1.00		*		*		*
	標準偏差	0.50	0.81		1.33		1.10		1.41		1.73		1.34		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		14		13		9		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.57	2.91		3.00		2.54		2.56		2.78		3.22		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.98	1.41		1.30		1.45		1.33		1.56		1.20		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 4

表 8 10 職務試行法評価（作業的側面：指示理解困難時の質問）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	37	24	21	18	22	20	2	0	0											
	平均(点)	2.71	2.78	2.88	2.33	2.78	2.55	3.00	4.00	*	*											
	標準偏差	1.07	1.32	1.39	1.32	1.35	1.50	1.45	1.41	*	*											
男 性	人 数	11	22	15	6	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	2.64	2.73	3.07	2.33	2.78	1.73	3.20	3.00	*	*											
	標準偏差	1.21	1.42	1.22	1.03	1.35	1.35	1.75	*	*	*											
女 性	人 数	3	15	9	15	8	11	10	1	0	0											
	平均(点)	3.00	2.87	2.56	2.33	3.00	3.36	2.80	5.00	*	*											
	標準偏差	0.00	1.19	1.67	1.45	1.51	1.21	1.14	*	*	*											
重 度	人 数	4	11	9	5	8	10	12	1	0	0											
	平均(点)	2.50	3.36	2.78	2.20	2.50	2.20	2.67	5.00	*	*											
	標準偏差	1.00	1.21	1.20	1.10	1.41	1.03	1.44	*	*	*											
重度以外	人 数	7	22	14	16	10	10	8	1	0	0											
	平均(点)	3.00	2.64	2.93	2.38	3.00	2.60	3.50	3.00	*	*											
	標準偏差	1.15	1.33	1.59	1.41	1.33	1.84	1.41	*	*	*											

表 8 11 職務試行法評価（作業的側面：作業準備・後片付け）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	38	24	22	18	22	21	2	0	0											
	平均(点)	2.57	2.95	2.92	2.45	2.89	3.09	3.10	3.00	*	*											
	標準偏差	1.40	1.09	1.25	1.41	1.08	0.97	1.18	0.00	*	*											
男 性	人 数	11	23	14	6	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	2.82	2.83	2.71	2.33	2.89	3.00	3.00	3.00	*	*											
	標準偏差	1.40	1.03	1.33	1.03	1.08	0.89	1.33	*	*	*											
女 性	人 数	3	15	10	16	8	11	11	1	0	0											
	平均(点)	1.67	3.13	3.20	2.50	3.25	3.18	3.18	3.00	*	*											
	標準偏差	1.15	1.19	1.14	1.55	0.71	1.08	1.08	*	*	*											
重 度	人 数	4	11	9	6	8	10	12	1	0	0											
	平均(点)	3.00	2.82	2.33	2.33	2.75	2.60	3.00	3.00	*	*											
	標準偏差	1.63	1.08	1.00	1.63	1.28	0.84	1.48	*	*	*											
重度以外	人 数	7	23	14	16	10	10	9	1	0	0											
	平均(点)	2.43	3.09	3.29	2.50	3.00	3.20	3.22	3.00	*	*											
	標準偏差	1.51	1.12	1.33	1.37	0.94	0.63	0.67	*	*	*											

表 8 12 職務試行法評価（作業的側面：危険への配慮と対応）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61	
全 体	人 数	14	35	24	16	17	22	21	2	0	0											
	平均(点)	3.00	2.49	2.92	2.50	2.53	2.82	3.48	2.00	*	*											
	標準偏差	0.78	1.12	0.93	0.89	1.33	0.85	0.87	1.41	*	*											
男 性	人 数	11	22	15	5	10	11	10	1	0	0											
	平均(点)	3.00	2.18	3.00	2.60	2.53	2.45	3.60	3.00	*	*											
	標準偏差	0.89	1.01	1.07	0.89	1.33	0.93	0.97	*	*	*											
女 性	人 数	3	13	9	11	7	11	11	1	0	0											
	平均(点)	3.00	3.00	2.78	2.45	3.00	3.18	3.36	1.00	*	*											
	標準偏差	0.00	1.15	0.67	0.93	1.63	0.60	0.81	*	*	*											
重 度	人 数	4	10	9	4	7	10	12	1	0	0											
	平均(点)	3.00	2.60	2.78	2.50	2.43	2.80	3.33	1.00	*	*											
	標準偏差	0.00	0.84	0.67	1.00	1.51	0.63	0.78	*	*	*											
重度以外	人 数	7	21	14	12	10	10	9	1	0	0											
	平均(点)	3.29	2.62	3.00	2.50	2.60	2.80	3.67	3.00	*	*											
	標準偏差	0.76	1.20	1.11	0.90	1.26	1.14	1.00	*	*	*											

付表 8 職務試行評価表 5

表 8 13 職務試行法評価（作業的側面：仕事への責任感）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		24		21		18		22		20		2		0		0		0
	平均(点)	2.57	2.84		2.79		2.81		2.89		2.82		3.20		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.09	0.99		1.32		1.40		1.45		1.22		1.28		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		9		1		0		0		0
	平均(点)	2.64	2.73		2.80		3.00		2.89		2.27		3.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.12	1.12		1.42		1.26		1.45		1.01		1.73		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		9		15		8		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	3.00		2.78		2.73		3.50		3.36		3.36		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	0.76		1.20		1.49		1.41		1.21		0.81		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.25	2.82		2.56		3.33		2.25		2.60		2.82		5.00		*		*		*
	標準偏差	0.96	0.60		0.88		1.51		1.49		0.84		1.40		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	22		14		15		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.29	2.91		3.00		2.60		3.40		2.80		3.67		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.76	0.97		1.57		1.35		1.26		1.48		1.00		*		*		*		*

表 8 14 職務試行法評価（勤労習慣：欠勤・遅刻をしない）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38		25		22		18		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	4.14	4.26		4.40		3.91		3.78		4.55		4.24		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.03	1.35		1.00		1.34		1.56		1.06		1.34		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	4.27	3.96		4.53		3.67		3.78		4.45		4.20		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.01	1.58		0.99		1.03		1.56		0.93		1.40		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		16		8		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.67	4.73		4.20		4.00		4.25		4.64		4.27		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	0.70		1.03		1.46		1.49		1.21		1.35		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	4.00	4.09		4.56		3.67		4.00		4.80		4.33		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.38		0.88		1.63		1.51		0.63		1.30		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		15		16		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	4.71	4.48		4.40		4.00		3.60		4.20		4.11		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.76	1.24		1.06		1.26		1.65		1.40		1.45		*		*		*		*

表 8 15 職務試行法評価（勤労習慣：欠勤・遅刻・早退等の連絡）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	28		21		18		17		17		17		19		2		0		0
	平均(点)	3.92	3.57		4.24		3.67		3.59		3.94		4.26		2.00		*		*		*
	標準偏差	1.32	1.32		1.00		1.37		1.54		1.25		0.99		1.41		*		*		*
男 性	人 数	10	18		13		5		10		9		10		1		0		0		0
	平均(点)	4.20	3.22		4.38		3.00		3.59		4.11		4.20		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.40	1.35		0.96		1.41		1.54		1.05		1.03		*		*		*		*
女 性	人 数	3	10		8		13		7		8		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	4.20		4.00		3.92		4.14		3.75		4.33		1.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	1.03		1.07		1.32		1.57		1.49		1.00		*		*		*		*
重 度	人 数	4	8		9		6		7		6		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	3.25		4.11		3.67		3.57		4.00		4.09		1.00		*		*		*
	標準偏差	1.91	1.28		1.05		1.63		1.51		1.10		1.04		*		*		*		*
重度以外	人 数	6	17		11		12		10		9		8		1		0		0		0
	平均(点)	4.33	3.82		4.45		3.67		3.60		3.89		4.50		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.03	1.24		0.93		1.30		1.65		1.45		0.93		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 6

表 8 16 職務試行法評価（勤労習慣：職場規則・規律の遵守）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		25		21		18		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.71	3.68		3.48		3.76		3.33		3.82		4.05		4.00		*		*		*
	標準偏差	0.99	1.11		1.05		1.18		1.24		1.18		1.20		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.73	3.41		3.53		3.00		3.33		3.91		4.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.01	1.10		0.92		1.26		1.24		1.04		1.05		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		15		8		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.67	4.07		3.40		4.07		4.00		3.73		4.09		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.03		1.26		1.03		1.07		1.35		1.38		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	3.73		3.22		4.00		3.00		4.00		3.83		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	1.01		1.20		1.10		1.51		1.05		1.03		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	22		15		15		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	4.14	3.82		3.67		3.67		3.60		3.60		4.33		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.07	1.18		0.98		1.23		0.97		1.35		1.41		*		*		*		*

表 8 17 職務試行法評価（勤労習慣：清潔な身なり）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38		25		21		18		21		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.43	3.74		3.76		3.57		3.56		3.86		3.90		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.40	1.08		0.97		1.29		1.34		1.01		1.09		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.73	3.52		3.60		3.33		3.56		3.91		3.80		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.35	1.08		0.91		1.51		1.34		1.04		1.03		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		15		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	4.07		4.00		3.67		4.25		3.80		4.00		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.03		1.05		1.23		1.04		1.03		1.18		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.55		3.67		3.33		3.25		4.00		3.42		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.63	0.93		1.00		1.51		0.71		1.05		1.00		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		15		15		10		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	4.14	3.78		3.87		3.67		3.80		3.67		4.56		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.07	1.17		0.99		1.23		1.69		1.00		0.88		*		*		*		*

表 8 18 職務試行法評価（社会性・対人態度：日常の挨拶や返事）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		25		22		18		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.14	3.27		3.20		3.00		3.22		3.27		3.95		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.66	1.35		1.63		1.38		1.52		1.67		1.36		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.36	3.43		2.67		3.00		3.22		2.64		4.20		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.75	1.34		1.40		1.26		1.52		1.75		1.40		*		*		*		*
女 性	人 数	3	14		10		16		8		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	3.00		4.00		3.00		4.25		3.91		3.73		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.36		1.70		1.46		1.04		1.38		1.35		*		*		*		*
重 度	人 数	4	10		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.80		2.33		3.00		2.75		3.40		3.83		5.00		*		*		*
	標準偏差	2.31	1.03		1.73		1.79		1.67		1.58		1.59		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		15		16		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.57	3.17		3.73		3.00		3.60		2.80		4.11		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.51	1.34		1.44		1.26		1.35		1.75		1.05		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 7

表 8 19 職務試行法評価（社会性・対人態度：指示・注意への従順）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	38		25		22		17		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.43	3.89		3.28		3.64		3.82		3.64		4.14		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.16	1.20		1.46		1.29		1.42		1.14		1.20		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.36	3.87		3.07		3.33		3.82		3.73		4.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.21	1.32		1.10		1.51		1.42		1.01		1.41		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		16		7		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.67	3.93		3.60		3.75		4.71		3.55		4.27		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.03		1.90		1.24		0.76		1.29		1.01		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		7		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	4.09		3.00		4.00		3.00		3.80		4.00		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	1.04		1.41		1.10		1.63		1.03		1.35		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		15		16		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.57	4.04		3.47		3.50		4.40		3.20		4.33		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.51	1.19		1.55		1.37		0.97		1.14		1.00		*		*		*		*

表 8 20 職務試行法評価（社会性・対人態度：他者に迷惑をかけない）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		25		22		18		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.79	3.54		3.36		3.73		3.67		3.67		3.95		4.00		*		*		*
	標準偏差	1.12	1.22		1.19		0.98		1.19		1.14		1.02		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	23		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	4.00	3.43		3.47		3.67		3.67		3.73		4.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.18	1.34		1.25		1.03		1.19		1.01		1.05		*		*		*		*
女 性	人 数	3	14		10		16		8		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.71		3.20		3.75		4.50		3.55		3.91		5.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	0.99		1.14		1.00		0.93		1.29		1.04		*		*		*		*
重 度	人 数	4	10		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	3.60		3.22		3.33		3.25		3.60		4.00		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	0.97		1.56		0.82		1.28		0.97		1.04		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	23		15		16		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	4.43	3.61		3.53		3.88		4.00		3.60		3.89		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.98	1.27		0.92		1.02		1.05		1.35		1.05		*		*		*		*

表 8 21 職務試行法評価（社会性・対人態度：周囲の人との協調）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	36		25		22		17		22		21		2		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.06		2.60		2.91		2.76		2.91		3.29		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.04	1.12		1.32		1.15		1.39		0.97		0.96		0.00		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	2.82		2.73		3.00		2.76		2.45		3.40		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.18	1.05		1.33		1.26		1.39		0.93		1.26		*		*		*		*
女 性	人 数	3	14		10		16		7		11		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.43		2.40		2.88		3.57		3.36		3.18		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	1.16		1.35		1.15		0.98		0.81		0.60		*		*		*		*
重 度	人 数	4	10		9		6		7		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.25	3.20		2.33		3.33		1.86		2.60		3.17		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.26	1.14		1.00		0.82		1.57		1.26		1.03		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	22		15		16		10		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.09		2.80		2.75		3.40		3.20		3.44		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.15		1.52		1.24		0.84		0.63		0.88		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 8

表 8 22 職務試行法評価（社会性・対人態度：休憩時やレクへの参加）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	37		24		22		17		21		19		2		0		0		0
	平均(点)	3.00	2.51		2.42		2.91		2.65		2.81		3.63		2.00		*		*		*
	標準偏差	1.11	1.37		1.35		1.44		1.27		1.40		1.50		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	22		15		6		10		11		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.18	2.55		2.47		3.00		2.65		2.45		3.89		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.08	1.50		1.36		1.26		1.27		1.57		1.76		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		9		16		7		10		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	2.47		2.33		2.88		3.57		3.20		3.40		1.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.19		1.41		1.54		0.98		1.14		1.26		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		7		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	2.64		3.00		4.00		1.86		2.40		3.73		1.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	1.50		1.41		1.67		1.07		1.35		1.62		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	22		14		16		10		9		8		1		0		0		0
	平均(点)	2.71	2.55		2.00		2.50		3.20		3.22		3.50		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.38	1.37		1.24		1.15		1.14		1.56		1.41		*		*		*		*

表 8 23 職務試行法評価（労働の理解等：仕事・作業への関心）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	36		25		21		18		22		20		2		0		0		0
	平均(点)	2.71	3.22		2.80		2.62		3.33		2.73		3.55		4.00		*		*		*
	標準偏差	0.99	1.05		1.12		1.20		1.24		0.94		1.36		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	21		15		6		10		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.82	3.10		2.53		2.33		3.33		2.45		3.10		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.98	1.18		1.06		1.03		1.24		0.93		1.52		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		10		15		8		11		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	3.40		3.20		2.73		3.50		3.00		4.00		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	0.83		1.14		1.28		1.41		0.89		1.05		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		12		1		0		0		0
	平均(点)	3.25	3.18		2.56		2.67		3.00		2.40		3.08		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.26	0.60		0.88		1.51		1.07		0.97		1.38		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	21		15		15		10		10		8		1		0		0		0
	平均(点)	2.71	3.38		3.00		2.60		3.60		3.00		4.25		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.76	1.02		1.25		1.12		1.35		0.94		1.04		*		*		*		*

表 8 24 職務試行法評価（労働の理解等：働くことの意義の理解）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	14	36		24		19		18		21		20		2		0		0		0
	平均(点)	2.71	3.06		2.50		2.47		2.67		2.71		3.60		4.00		*		*		*
	標準偏差	0.99	1.12		1.10		1.31		1.41		0.72		1.31		1.41		*		*		*
男 性	人 数	11	21		15		5		10		11		9		1		0		0		0
	平均(点)	2.82	2.71		2.73		1.80		2.67		2.64		3.67		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.98	1.15		1.10		1.10		1.41		0.81		1.41		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		9		14		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	3.53		2.11		2.71		3.00		2.80		3.55		5.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	0.92		1.05		1.33		1.51		0.63		1.29		*		*		*		*
重 度	人 数	4	11		9		6		8		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	2.25	3.36		2.33		2.67		2.50		2.60		3.36		5.00		*		*		*
	標準偏差	0.96	0.81		1.00		1.51		1.77		0.84		1.21		*		*		*		*
重度以外	人 数	7	21		14		13		10		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.19		2.64		2.38		2.80		2.78		3.89		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	1.08		1.22		1.26		1.14		0.67		1.45		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 9

表 8 25 職務試行法評価（労働の理解等：健康の自己管理）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	13	34		23		19		17		19		20		2		0		0		0
	平均(点)	3.15	3.03		3.09		3.11		3.47		3.11		3.30		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.99	1.17		0.73		0.81		0.87		1.05		1.17		0.00		*		*		*
男 性	人 数	10	21		13		5		10		10		10		1		0		0		0
	平均(点)	3.40	2.86		3.15		2.60		3.47		3.20		3.60		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.84	1.20		0.55		0.89		0.87		1.14		1.35		*		*		*		*
女 性	人 数	3	13		10		14		7		9		10		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	3.31		3.00		3.29		3.86		3.00		3.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.15	1.11		0.94		0.73		1.07		1.00		0.94		*		*		*		*
重 度	人 数	4	10		9		6		7		9		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.50	3.00		2.78		3.33		3.57		3.00		3.18		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.00	0.94		0.67		0.82		0.98		1.41		1.08		*		*		*		*
重度以外	人 数	6	20		13		13		10		8		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.15		3.31		3.00		3.40		3.25		3.44		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.26	1.31		0.75		0.82		0.84		0.71		1.33		*		*		*		*

表 8 26 職務試行法評価（労働の理解等：家庭の援助指導体制）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	11	31		19		18		17		19		20		2		0		0		0
	平均(点)	3.18	2.77		3.63		3.00		3.59		3.42		3.35		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.08	1.31		1.16		0.97		0.94		1.26		1.50		0.00		*		*		*
男 性	人 数	8	19		10		5		10		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.25	2.63		3.60		2.20		3.59		3.22		3.56		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.28	1.38		0.97		1.10		0.94		1.56		1.67		*		*		*		*
女 性	人 数	3	12		9		13		7		10		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.00		3.67		3.31		3.86		3.60		3.18		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	1.21		1.41		0.75		1.07		0.97		1.40		*		*		*		*
重 度	人 数	4	9		9		6		8		8		11		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	2.33		3.22		3.00		3.75		3.75		3.27		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.63	1.00		1.20		0.00		1.04		1.49		1.42		*		*		*		*
重度以外	人 数	4	19		9		12		9		9		9		1		0		0		0
	平均(点)	3.00	3.05		4.11		3.00		3.44		3.22		3.44		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.00	1.43		1.05		1.21		0.88		1.20		1.67		*		*		*		*

表 8 27 職務試行法評価（総合評価結果）

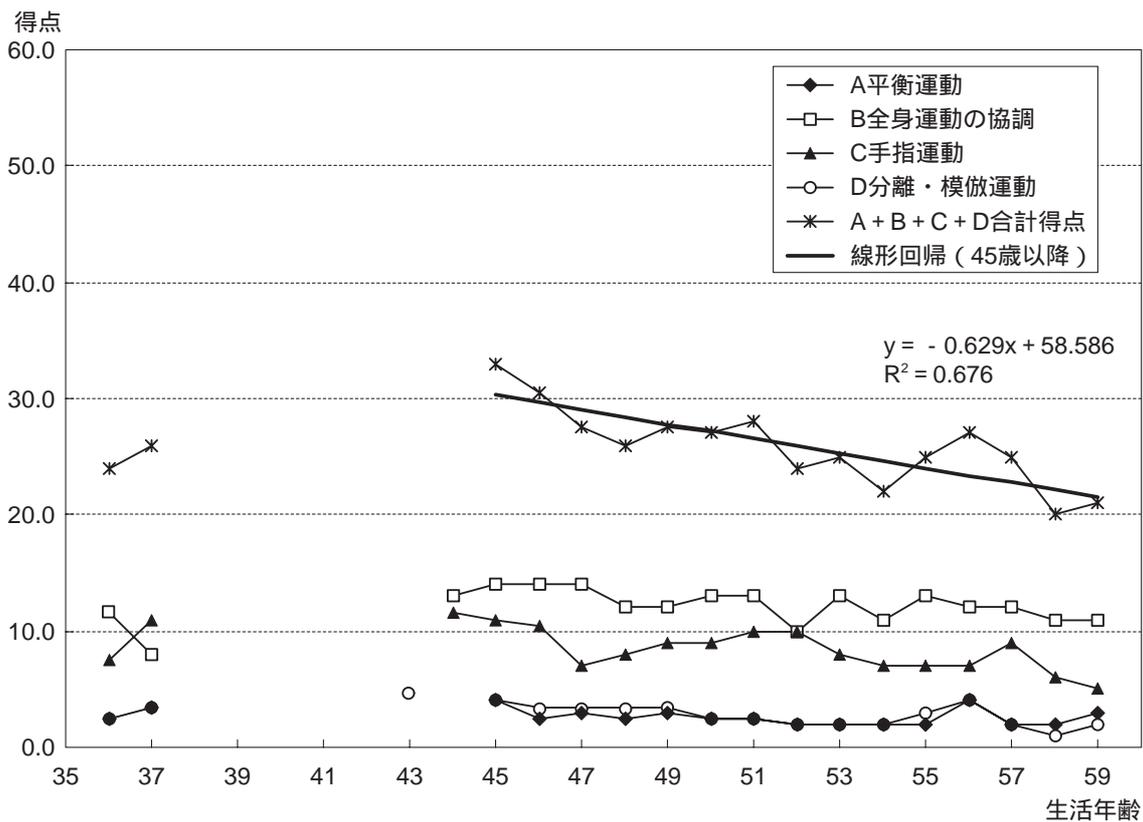
年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	12	34		23		21		17		21		21		16		2		0		0
	平均(点)	2.17	2.76		2.70		2.57		2.65		2.52		3.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.83	0.82		0.82		0.81		0.86		0.98		0.89		0.00		*		*		*
男 性	人 数	9	19		14		6		9		11		7		1		0		0		0
	平均(点)	2.11	2.63		2.71		2.33		2.65		2.55		3.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.93	1.01		0.91		0.82		0.86		1.13		1.15		*		*		*		*
女 性	人 数	3	15		9		15		8		10		9		1		0		0		0
	平均(点)	2.33	2.93		2.67		2.67		2.75		2.50		3.00		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.58	0.46		0.71		0.82		1.04		0.85		0.71		*		*		*		*
重 度	人 数	3	9		7		6		8		10		10		1		0		0		0
	平均(点)	1.67	2.78		3.00		2.67		2.50		3.10		2.60		3.00		*		*		*
	標準偏差	0.58	0.67		0.82		1.03		1.07		0.88		0.84		*		*		*		*
重度以外	人 数	6	21		15		15		9		9		6		1		0		0		0
	平均(点)	2.50	2.86		2.60		2.53		2.78		1.78		3.67		3.00		*		*		*
	標準偏差	1.05	0.85		0.83		0.74		0.67		0.67		0.52		*		*		*		*

付表 8 職務試行評価表 10

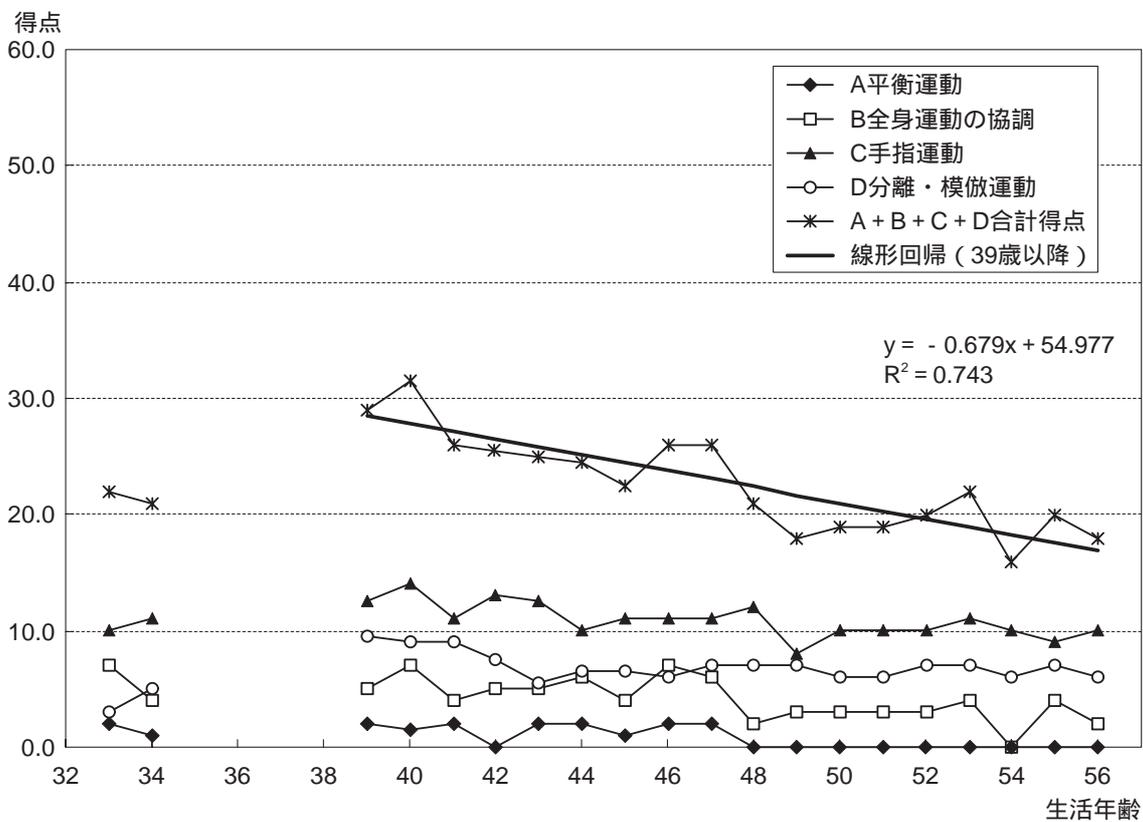
表 8 28 職務試行法評価（採用対象の可能性）

年 令		13	15	16	20	21	25	26	30	31	35	36	40	41	45	46	50	51	55	56	61
全 体	人 数	11	26		19		19		12		18		14		2		0		0		0
	平均(点)	1.55	1.19		1.37		1.32		1.25		1.28		1.07		1.50		*		*		*
	標準偏差	0.52	0.40		0.50		0.48		0.45		0.46		0.27		0.71		*		*		*
男 性	人 数	9	12		12		5		7		10		6		1		0		0		0
	平均(点)	1.56	1.33		1.33		1.40		1.25		1.40		1.17		2.00		*		*		*
	標準偏差	0.53	0.49		0.49		0.55		0.45		0.52		0.41		*		*		*		*
女 性	人 数	2	14		7		14		5		8		8		1		0		0		0
	平均(点)	1.50	1.07		1.43		1.29		1.40		1.13		1.00		1.00		*		*		*
	標準偏差	0.71	0.27		0.53		0.47		0.55		0.35		0.00		*		*		*		*
重 度	人 数	3	7		6		6		6		9		10		1		0		0		0
	平均(点)	1.33	1.14		1.33		1.17		1.33		1.22		1.10		1.00		*		*		*
	標準偏差	0.58	0.38		0.52		0.41		0.52		0.44		0.32		*		*		*		*
重度以外	人 数	5	16		12		13		6		7		4		1		0		0		0
	平均(点)	1.40	1.19		1.33		1.38		1.17		1.43		1.00		2.00		*		*		*
	標準偏差	0.55	0.40		0.49		0.51		0.41		0.53		0.00		*		*		*		*

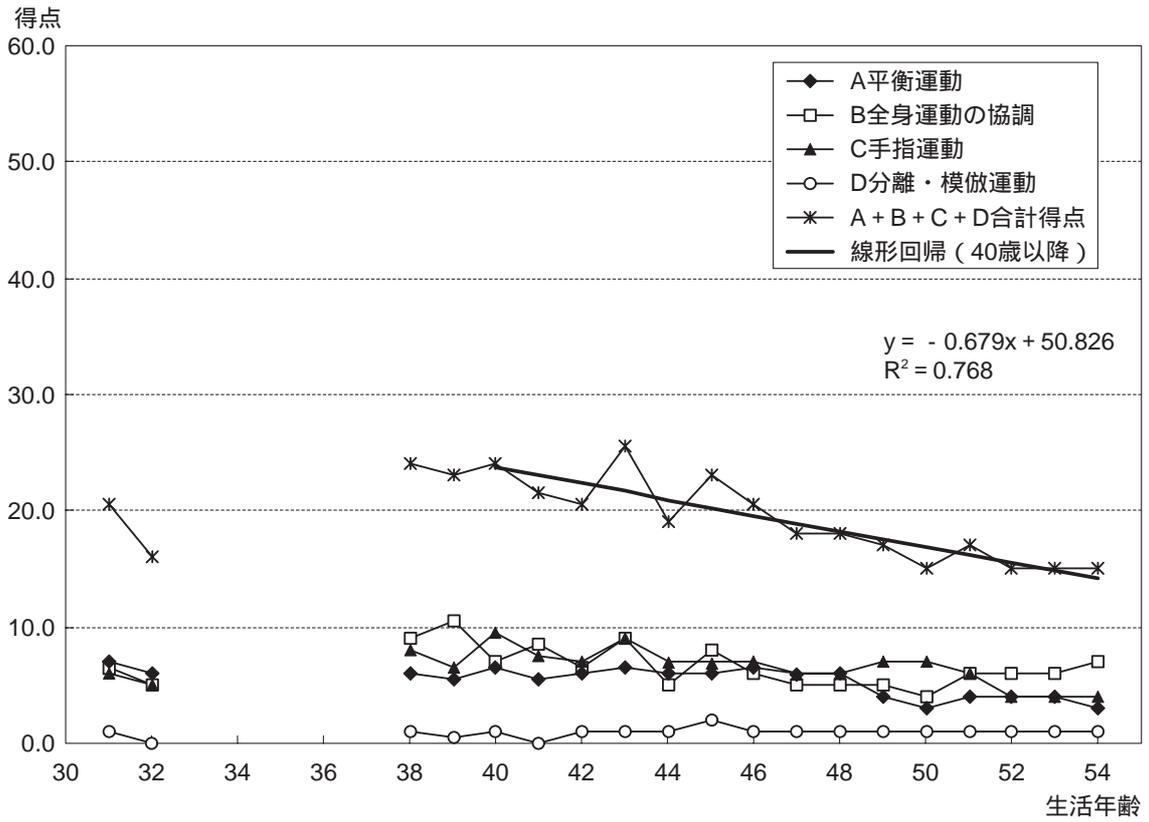
# 第 部 付 図



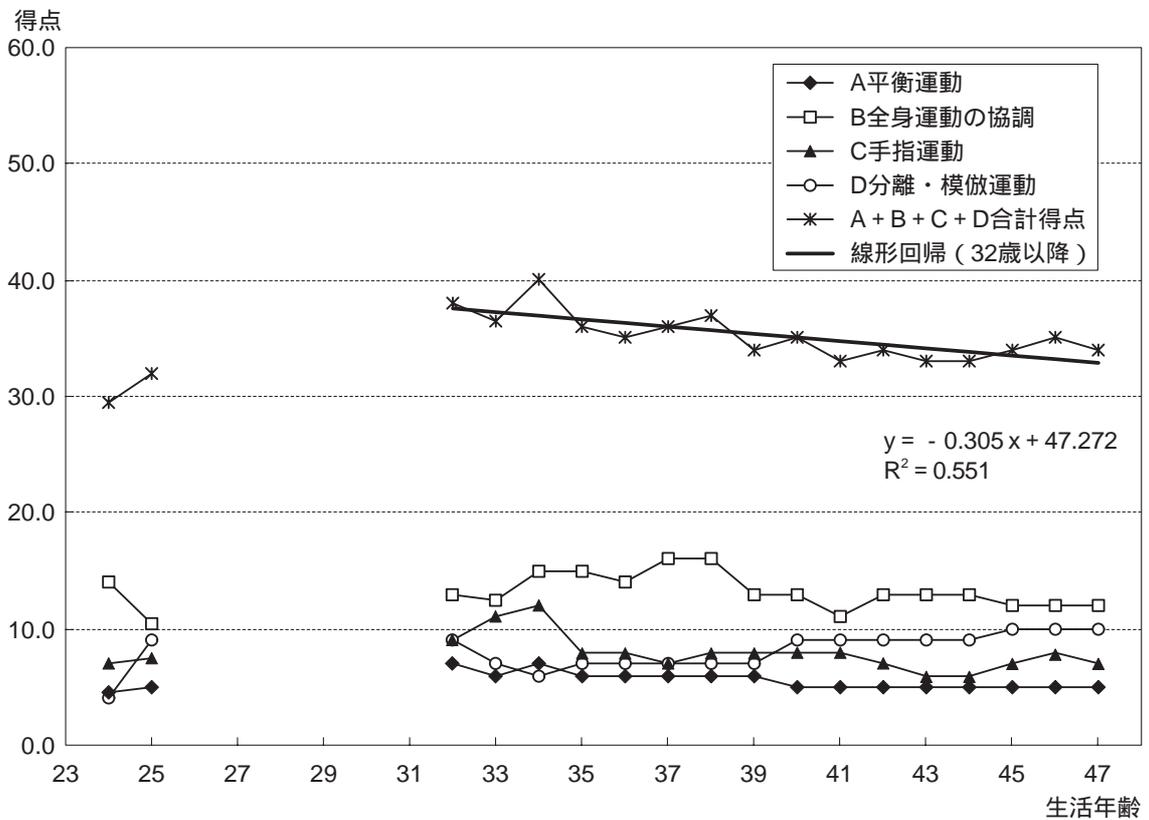
被検査者No. 1



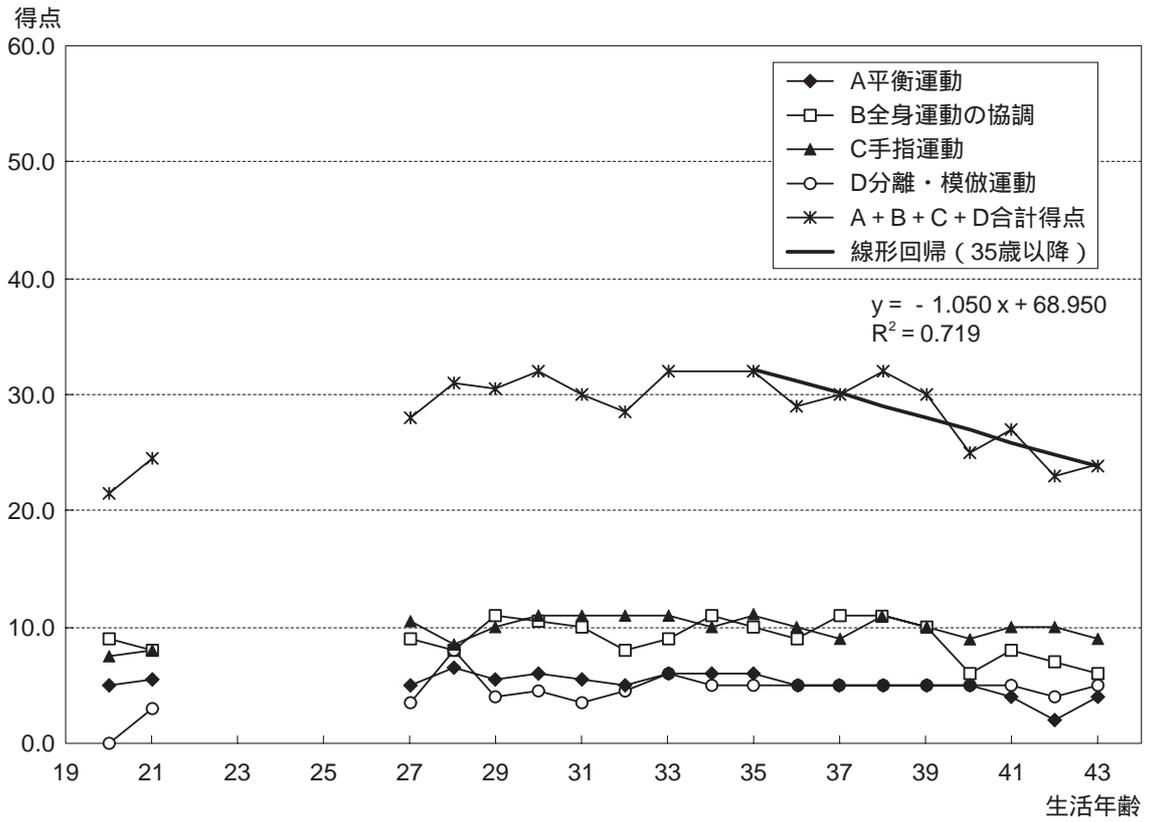
被検査者No. 2



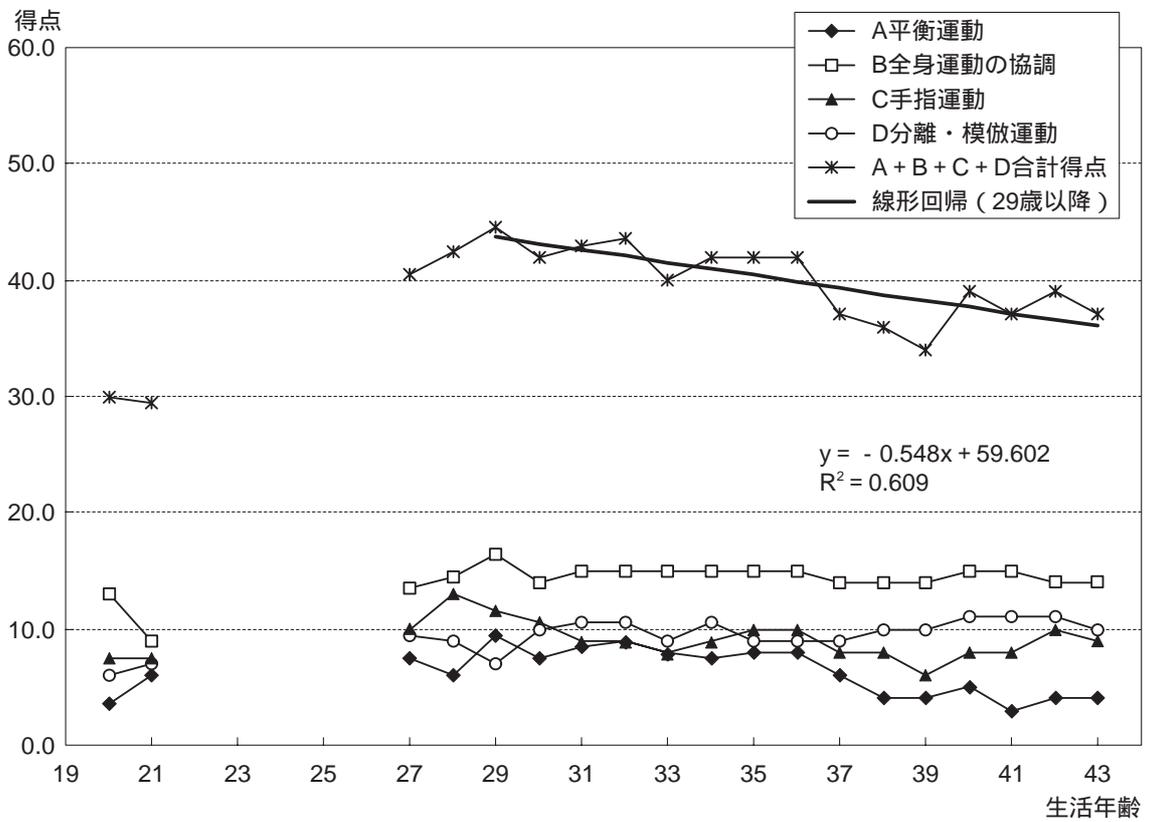
被検査者No. 3



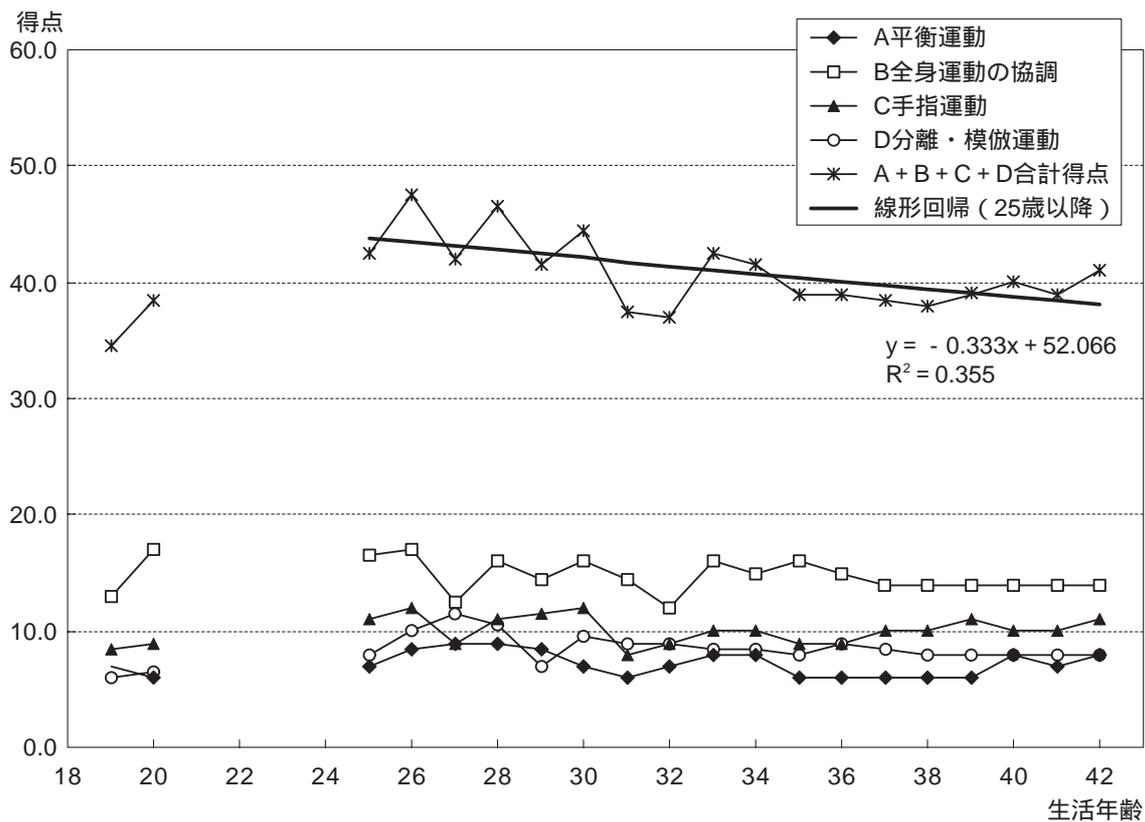
被検査者No. 4



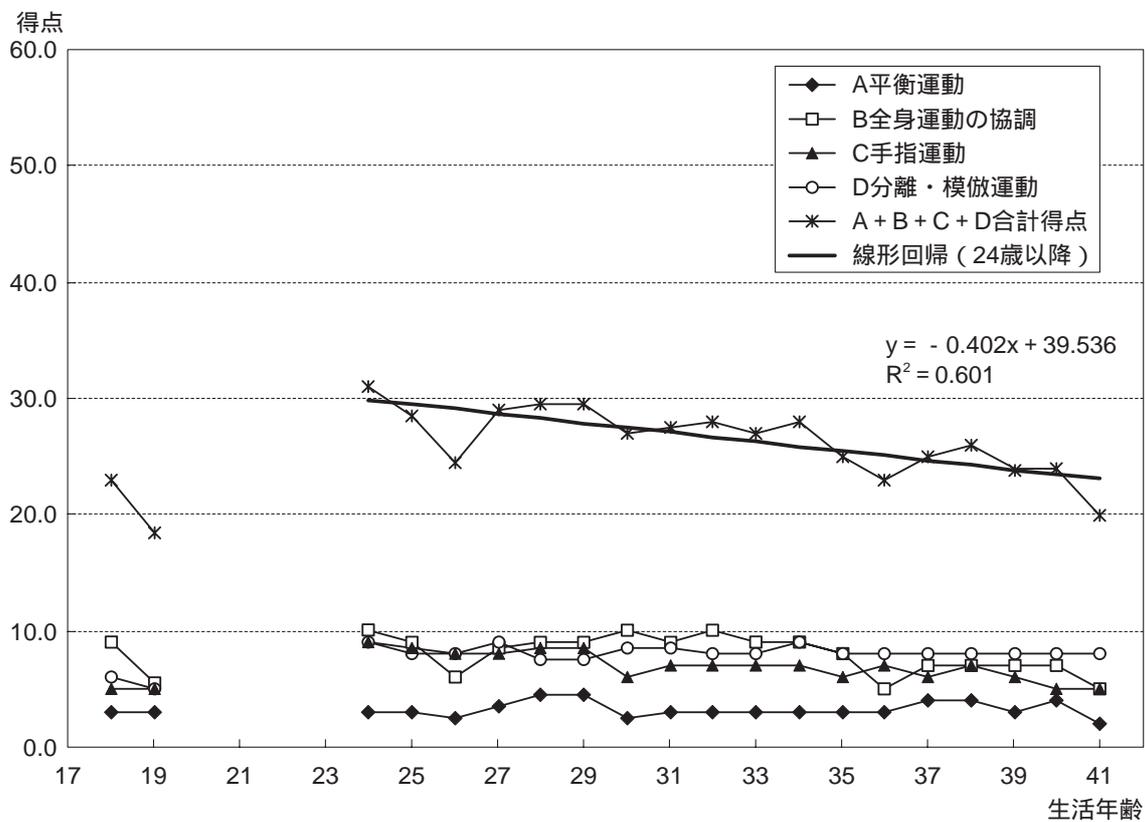
被検査者No. 5



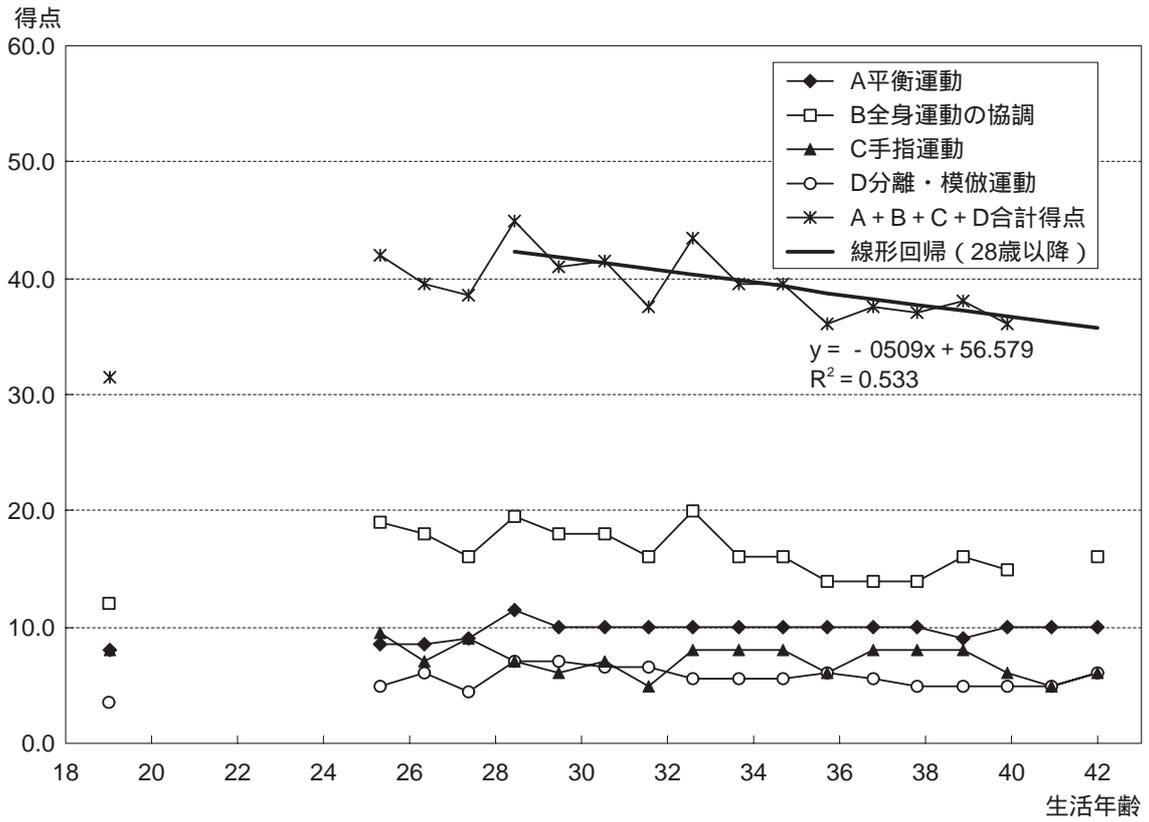
被検査者No. 6



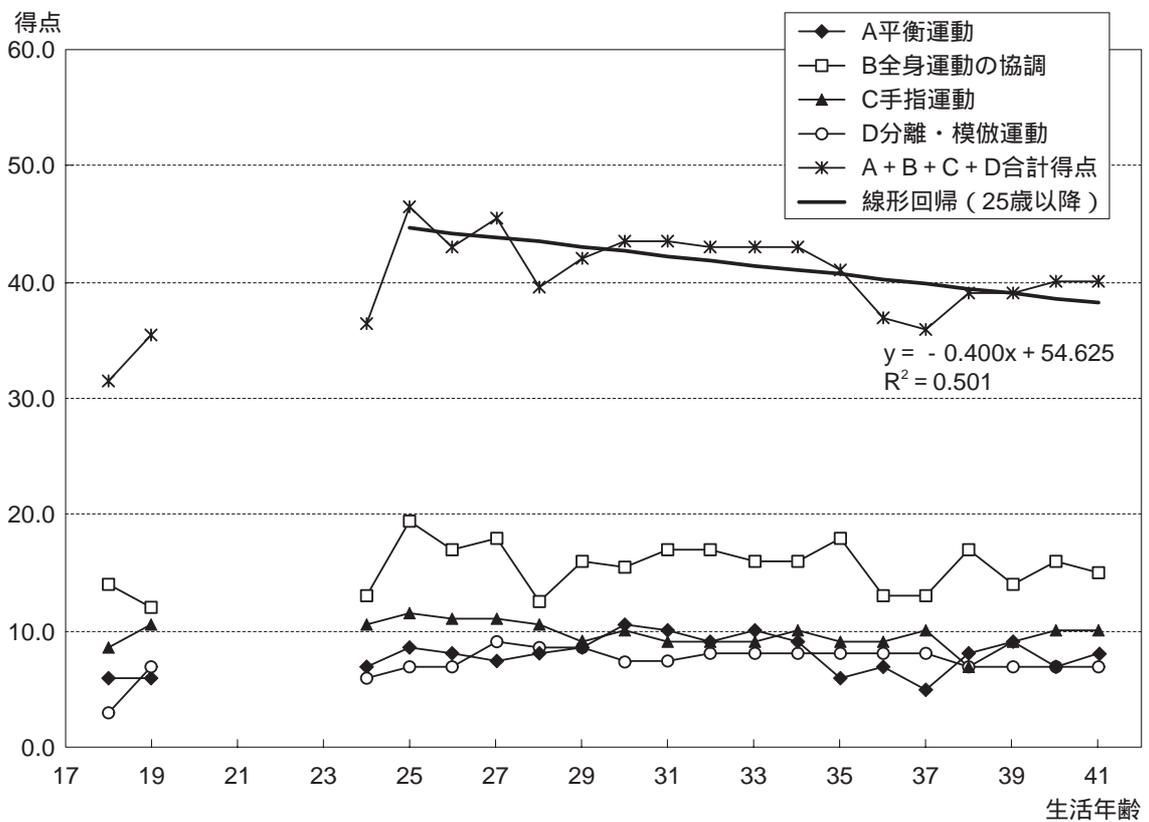
被検査者No. 7



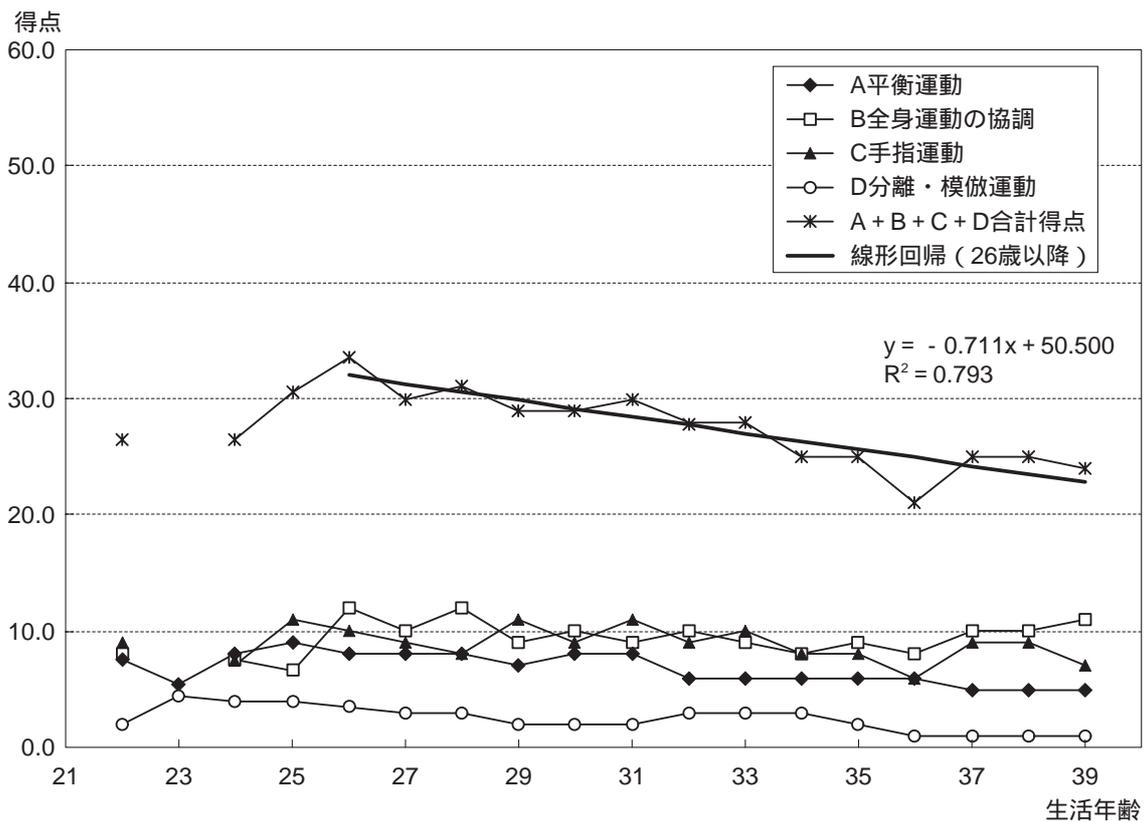
被検査者No. 8



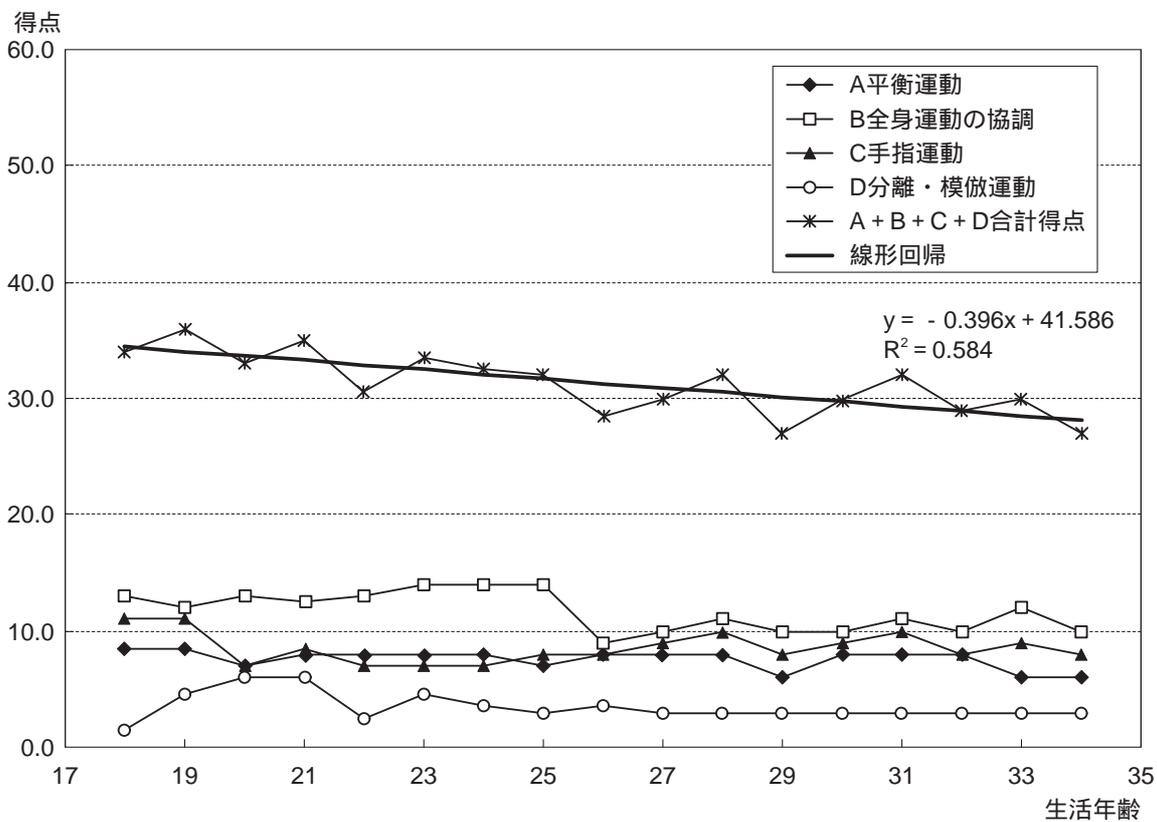
被検査者No. 9



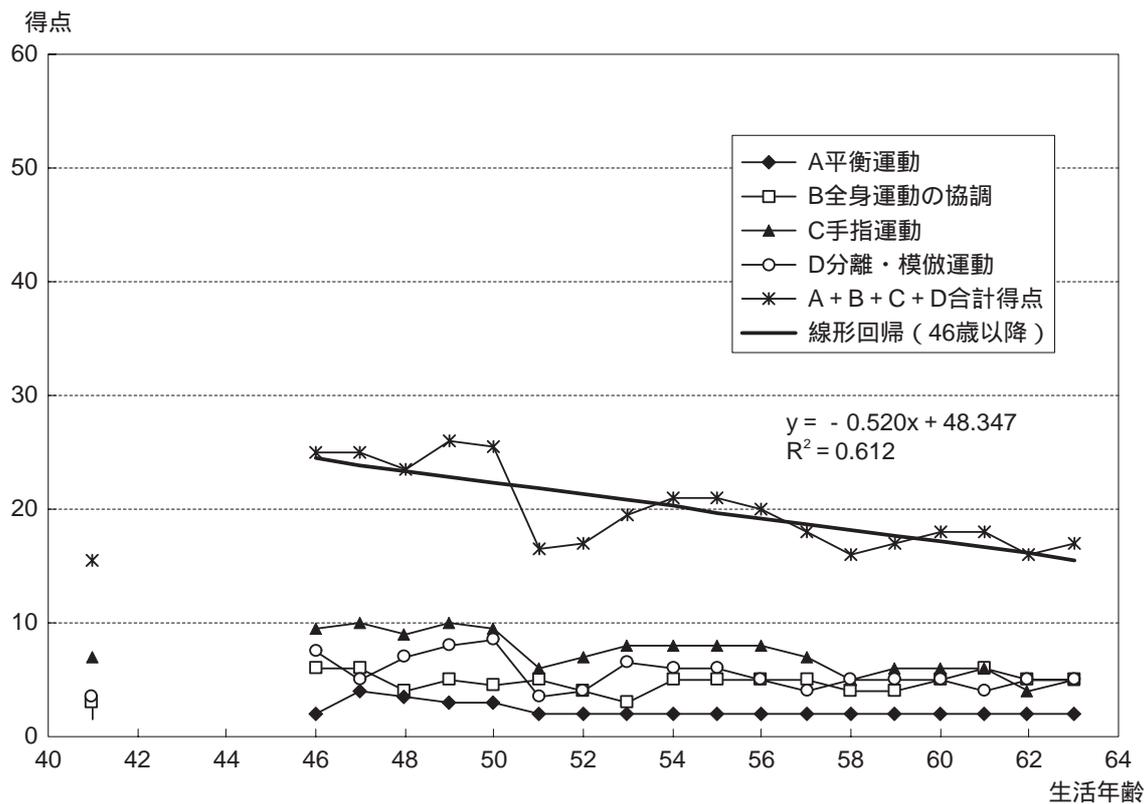
被検査者No. 10



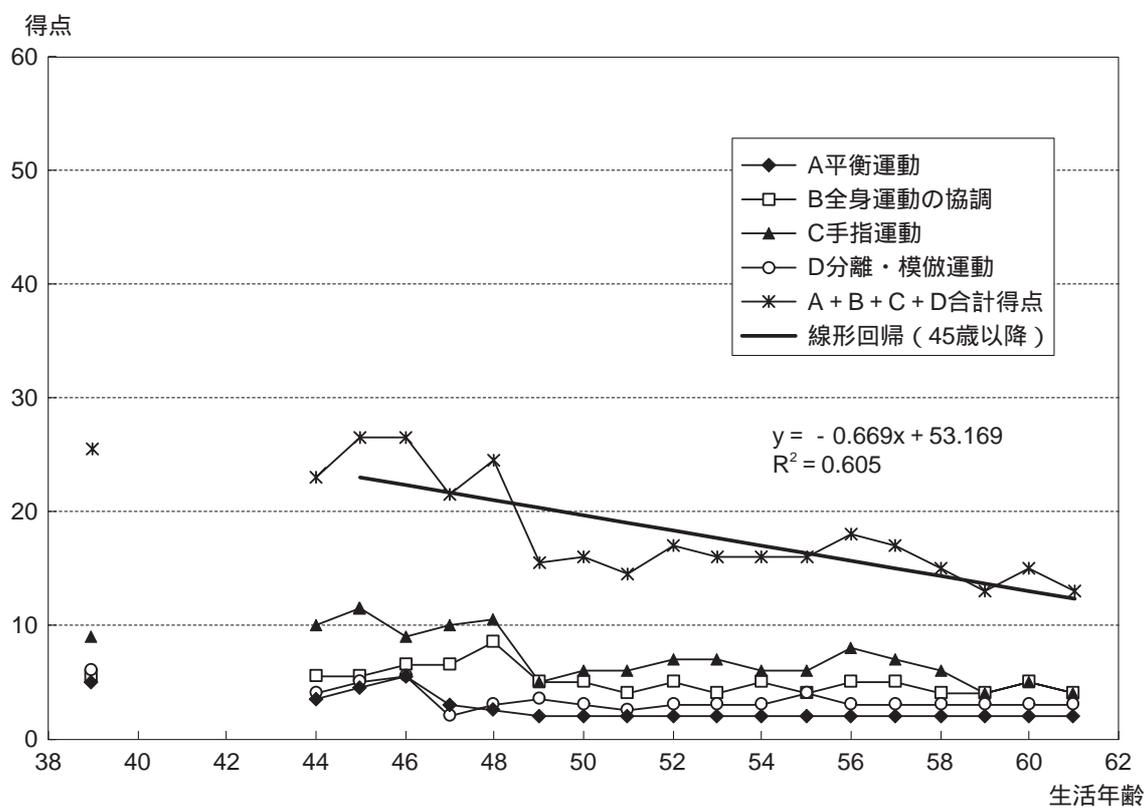
被検査者No. 11



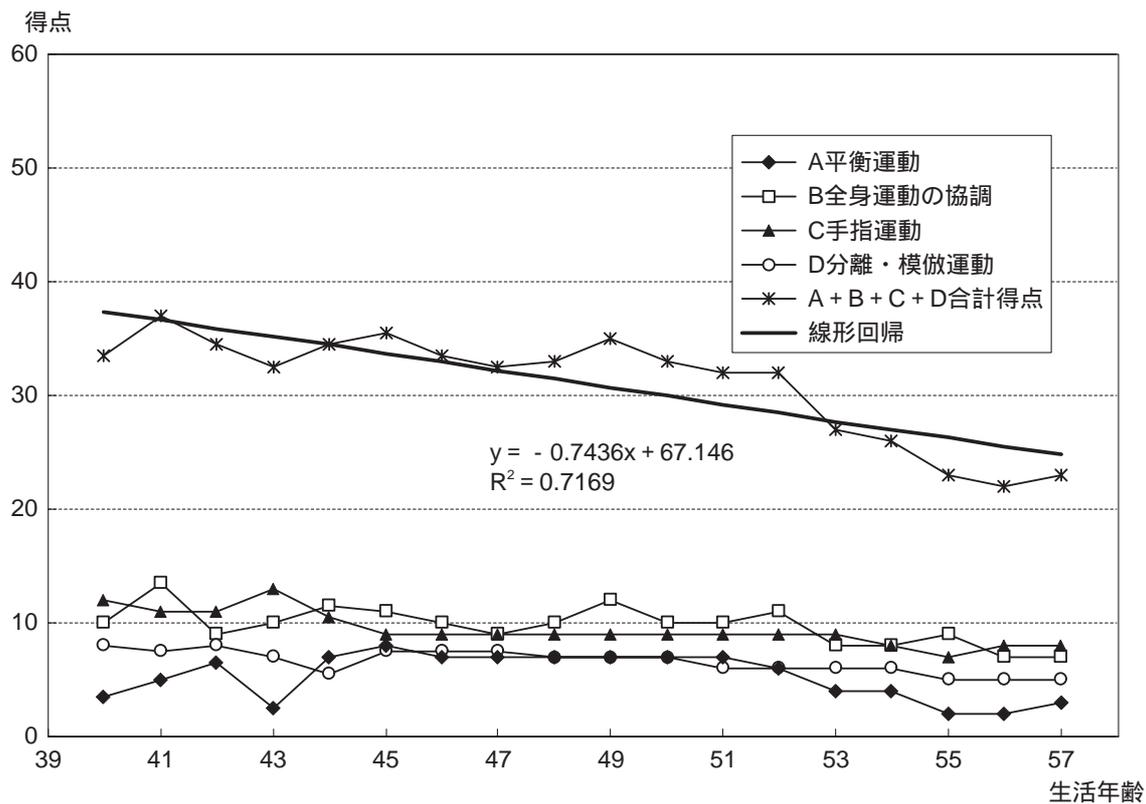
被検査者No. 12



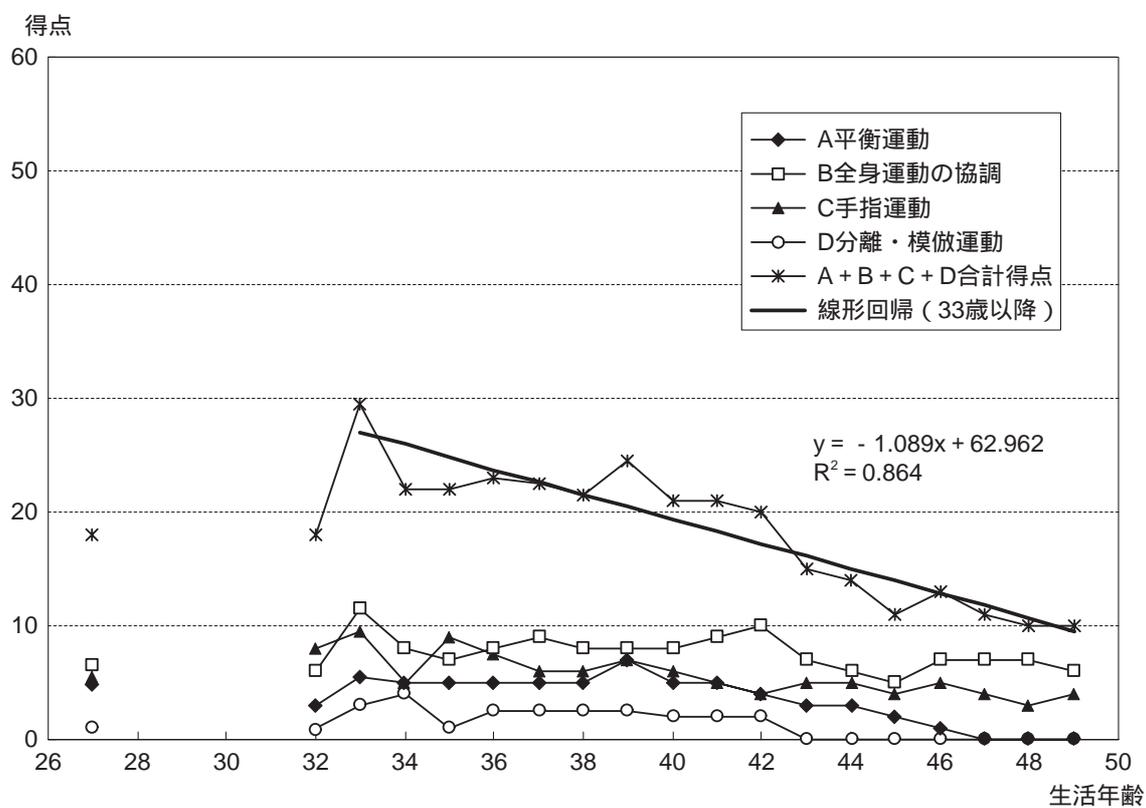
被検査者No. 13



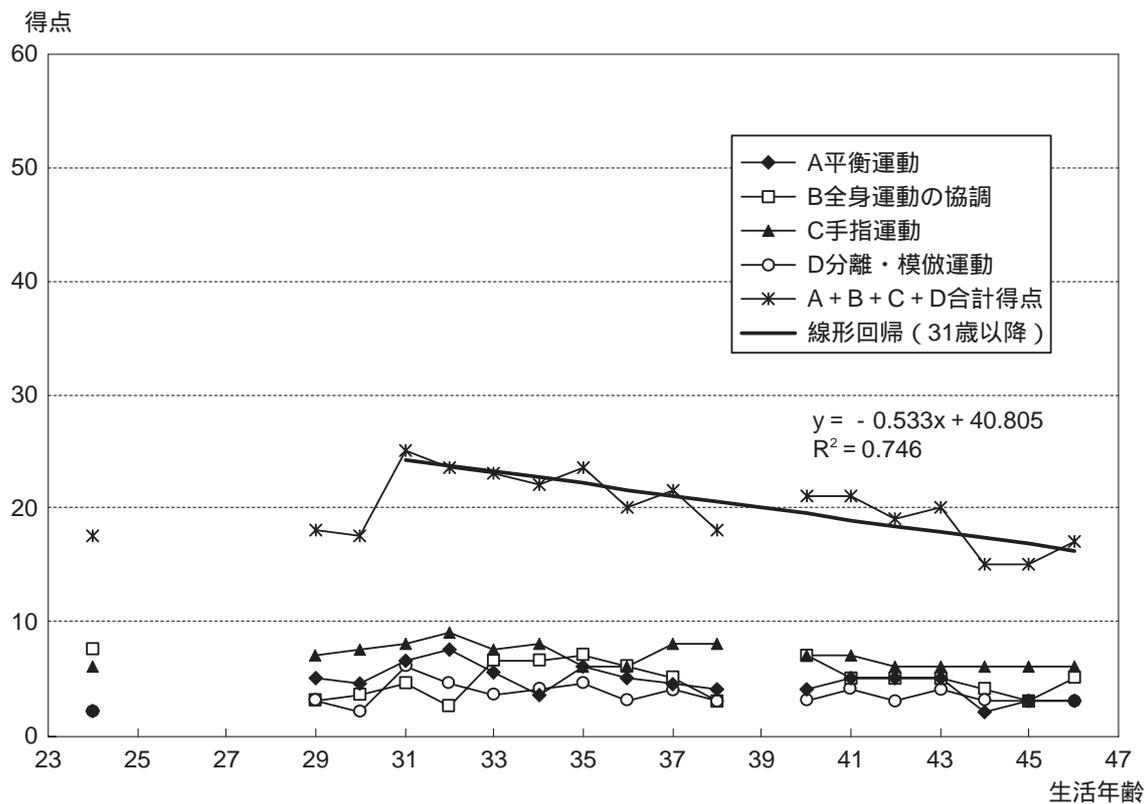
被検査者No. 14



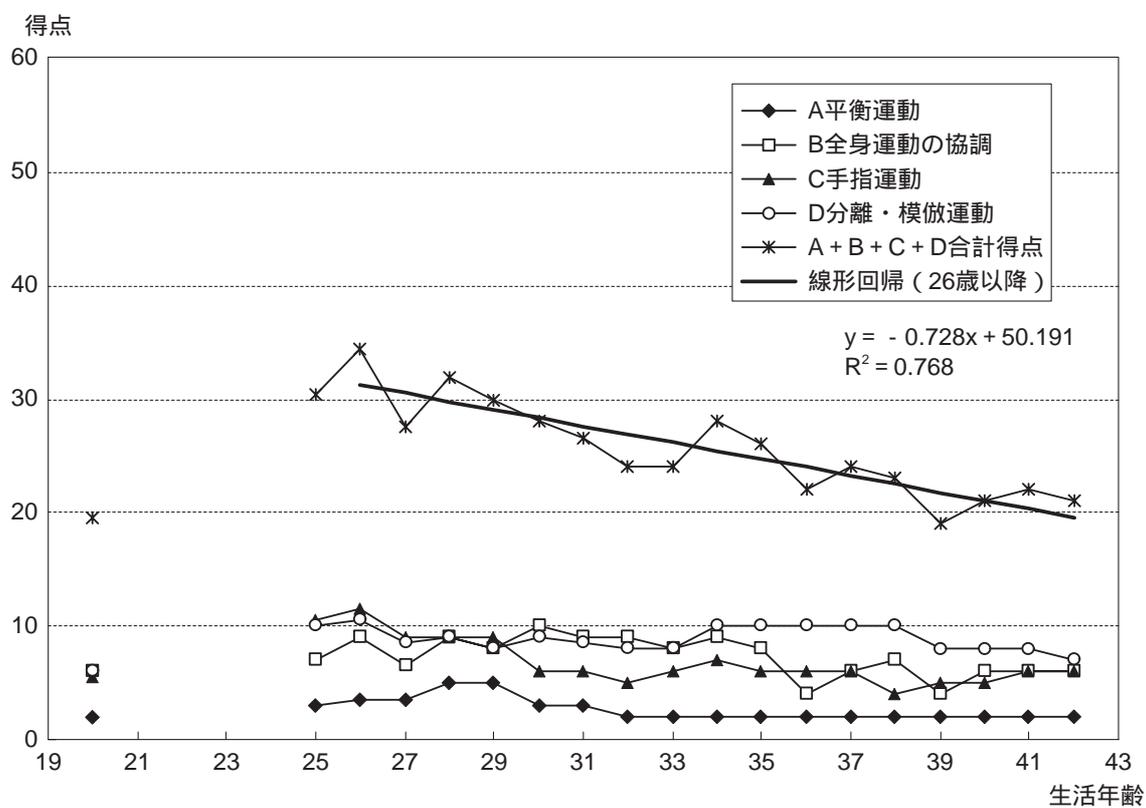
被検査者No. 15



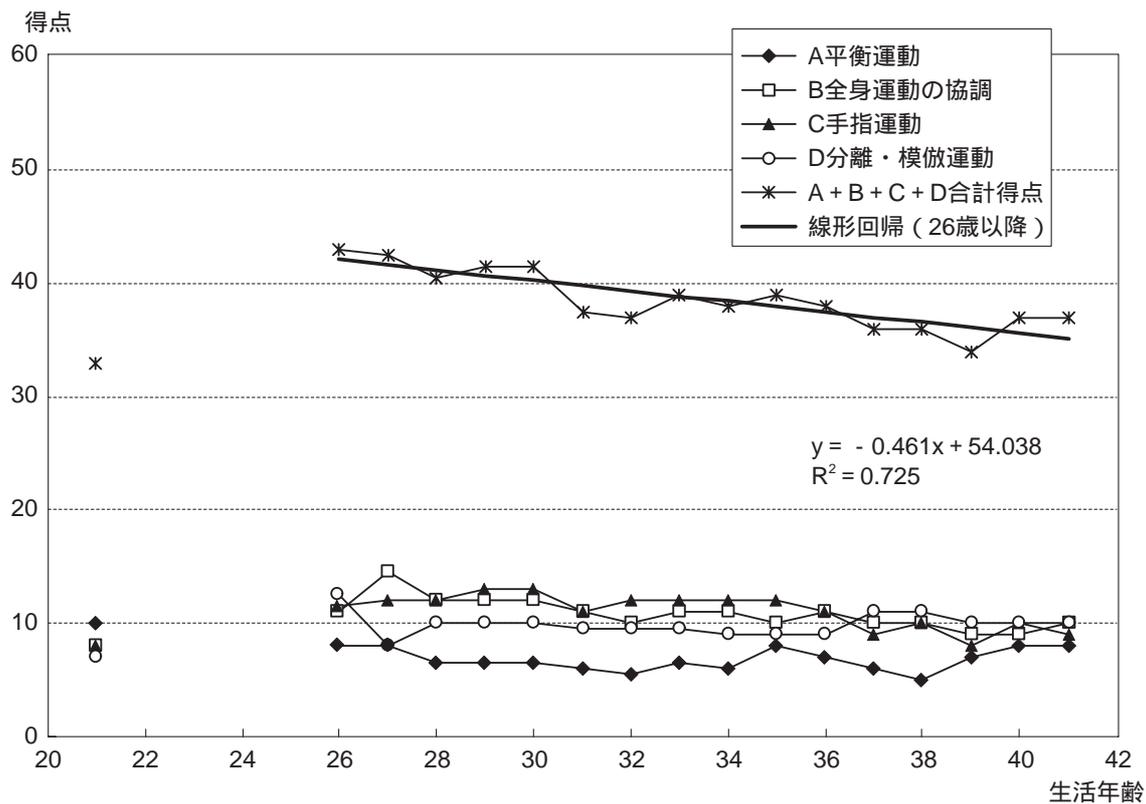
被検査者No. 16



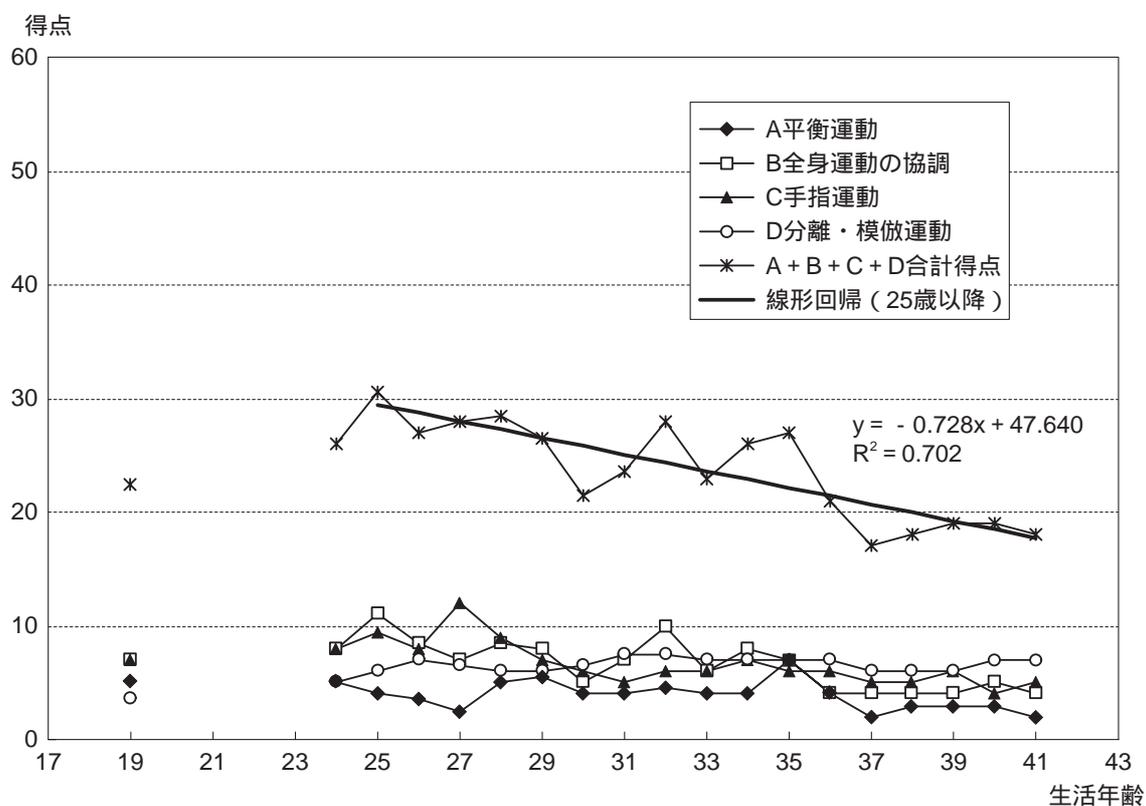
被検査者No. 17



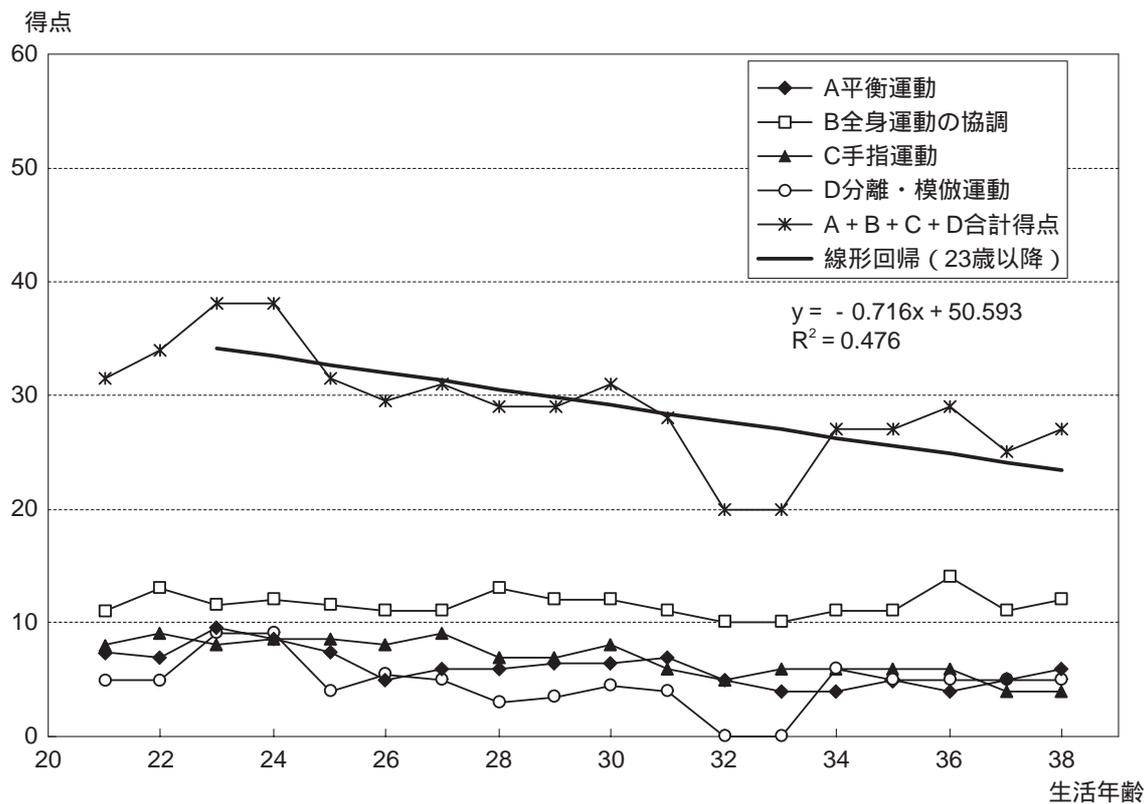
被検査者No. 18



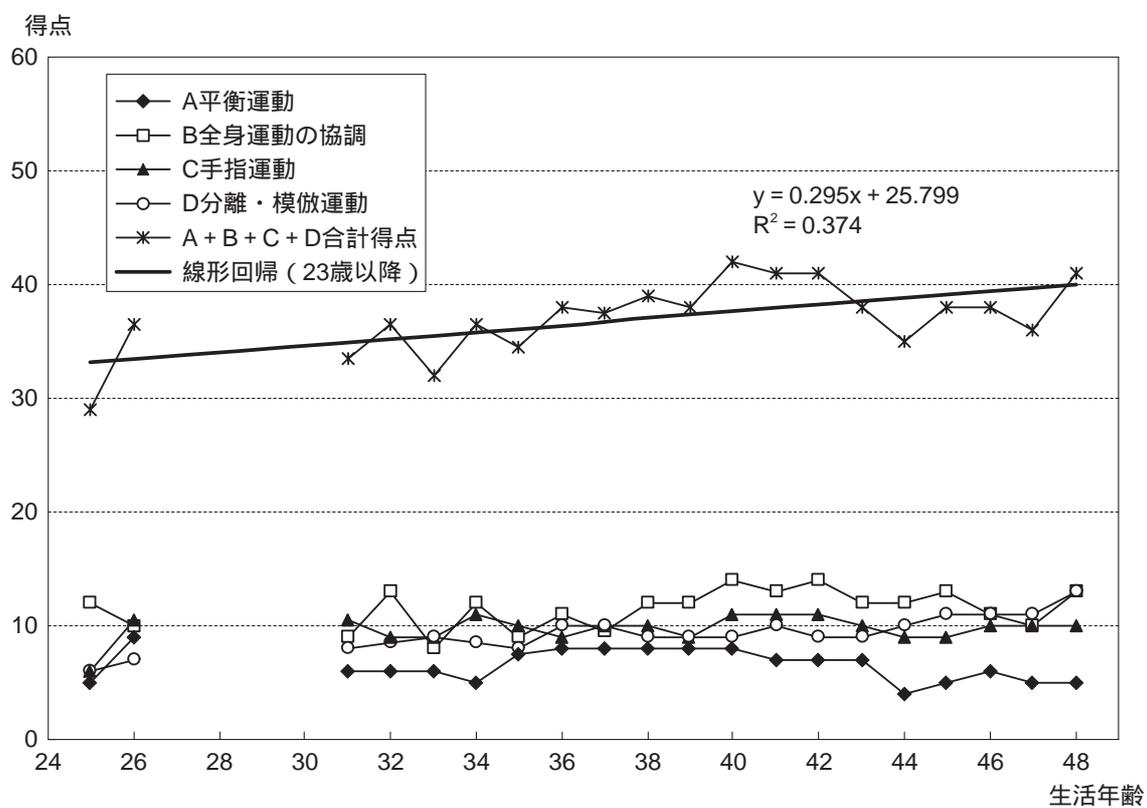
被検査者No. 19



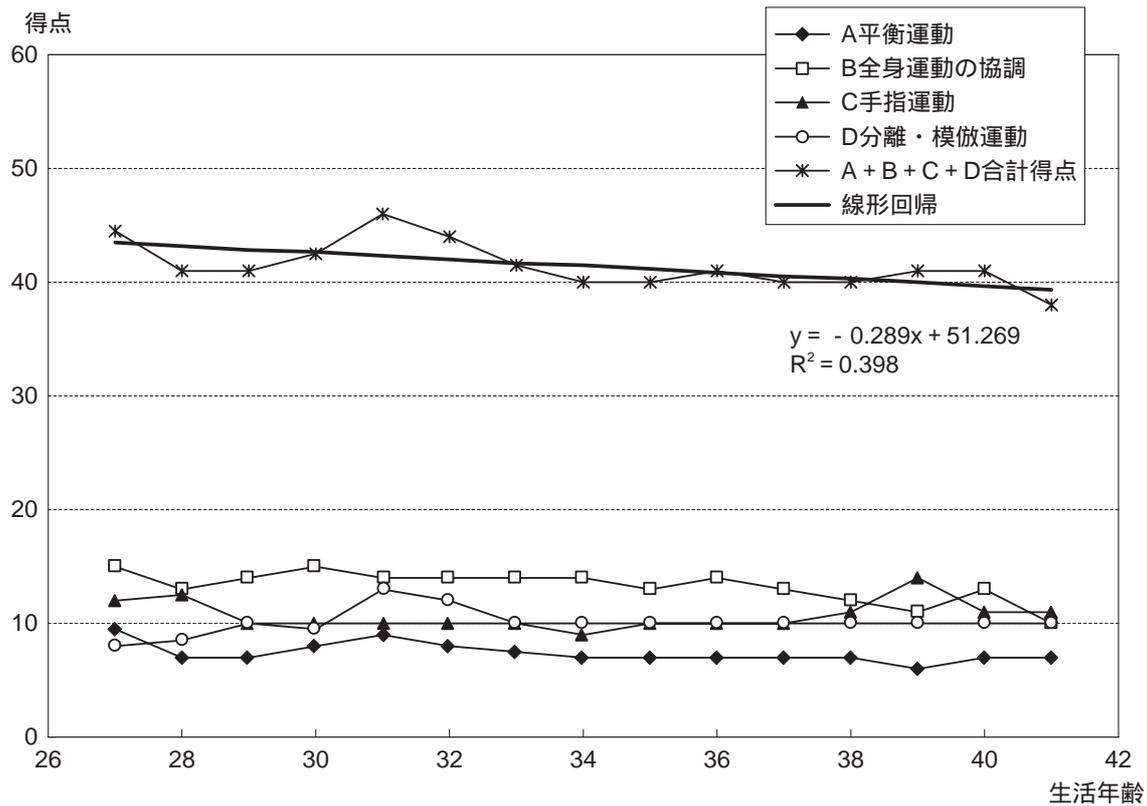
被検査者No. 20



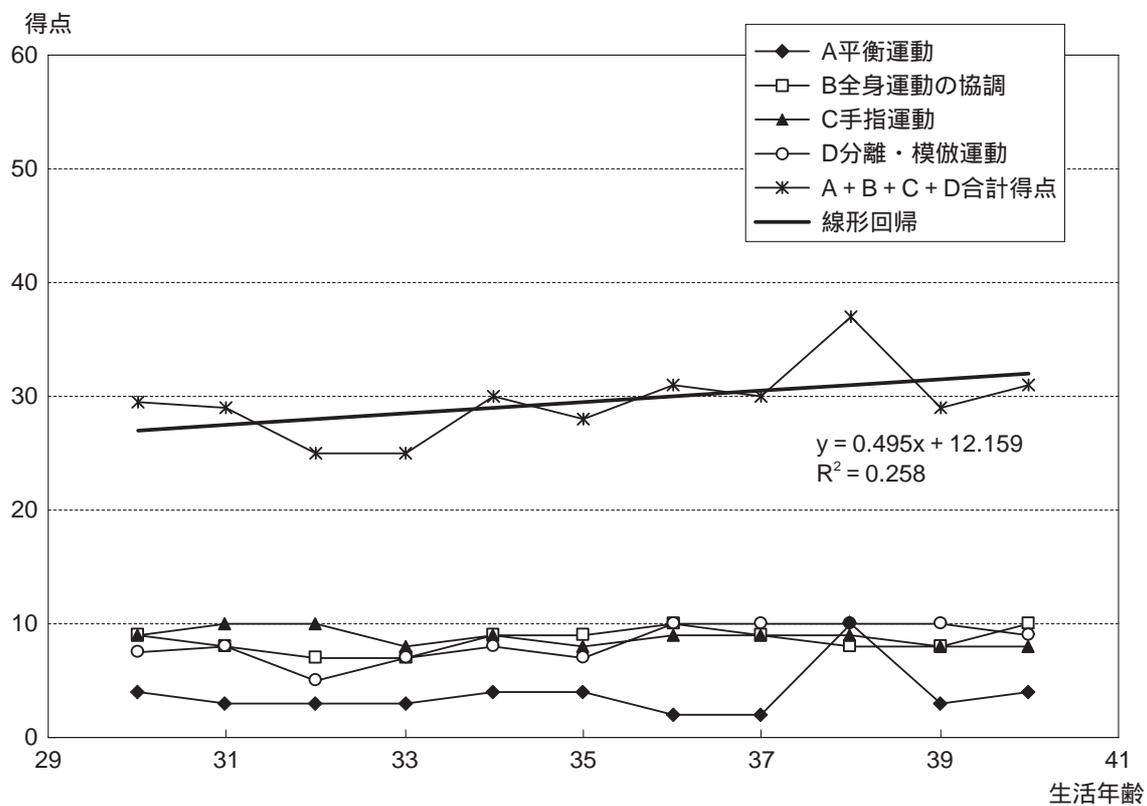
被検査者No. 21



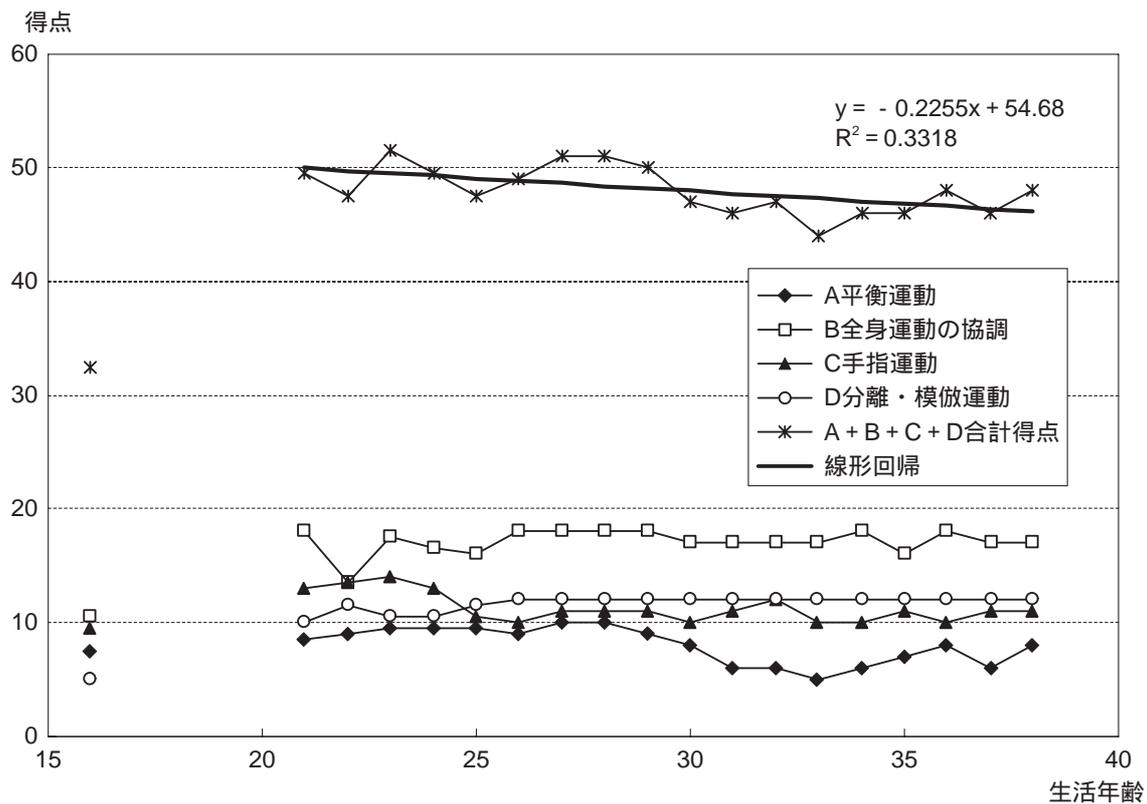
被検査者No. 22



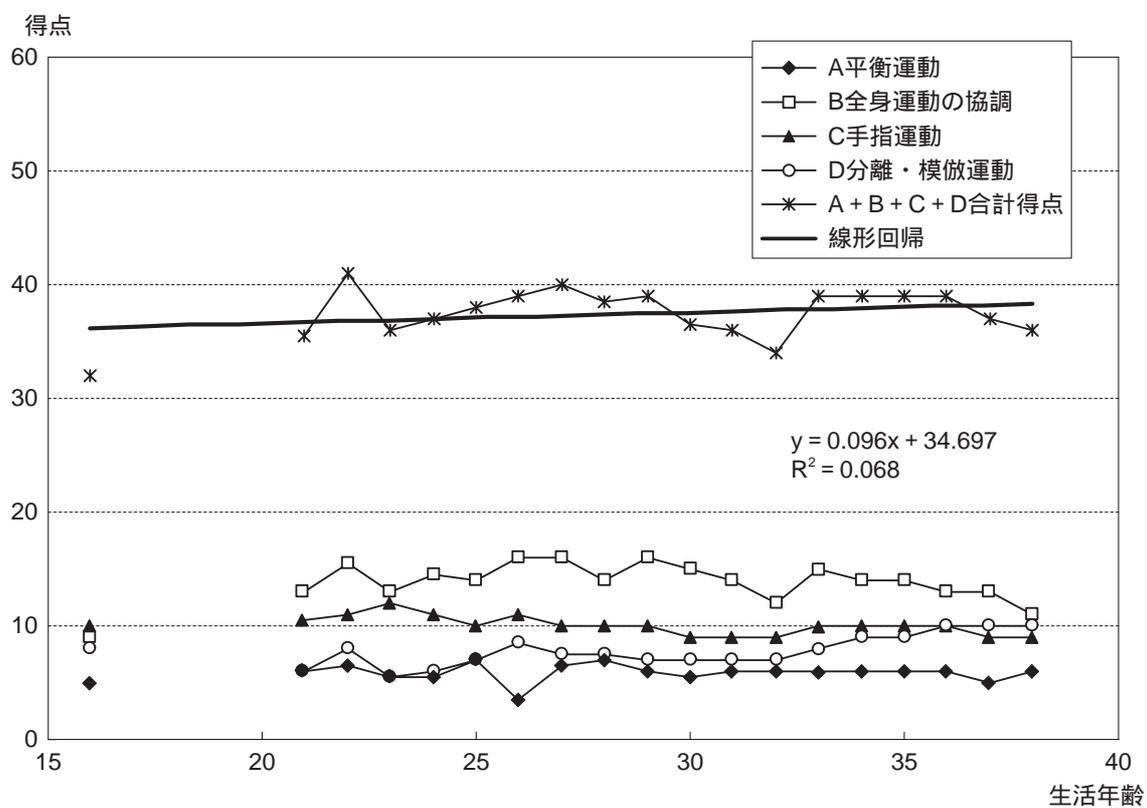
被検査者No. 23



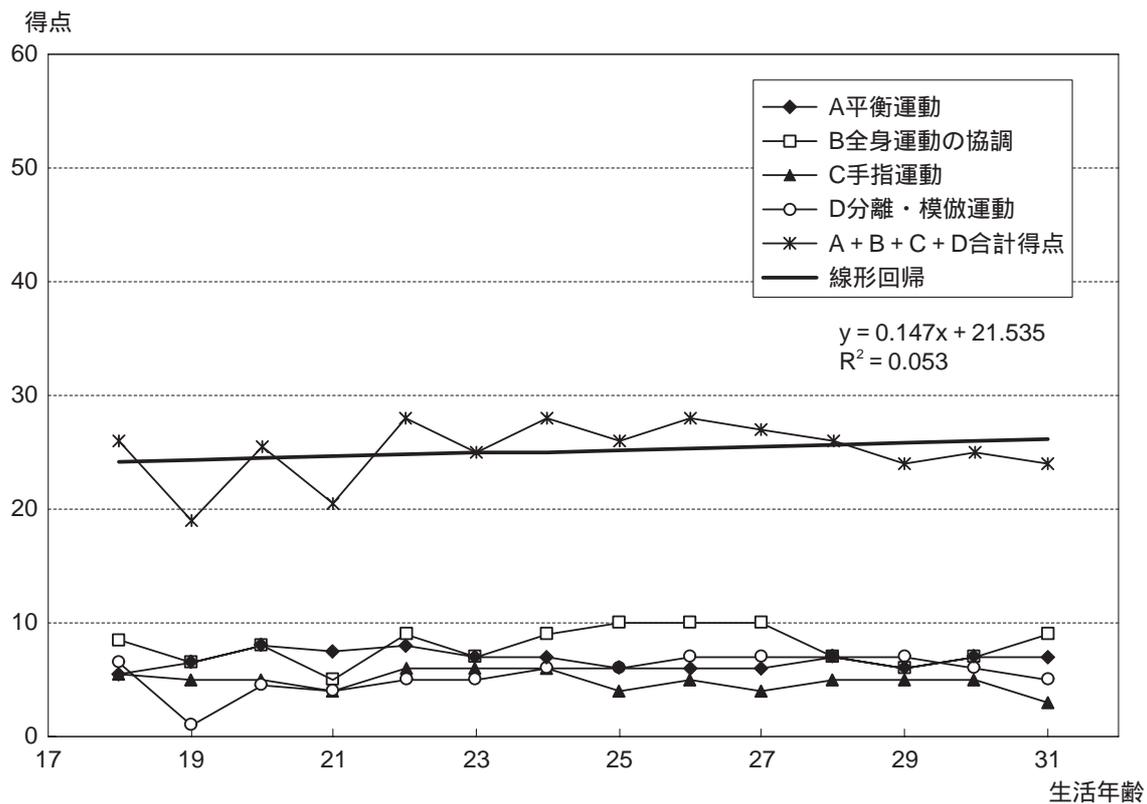
被検査者No. 24



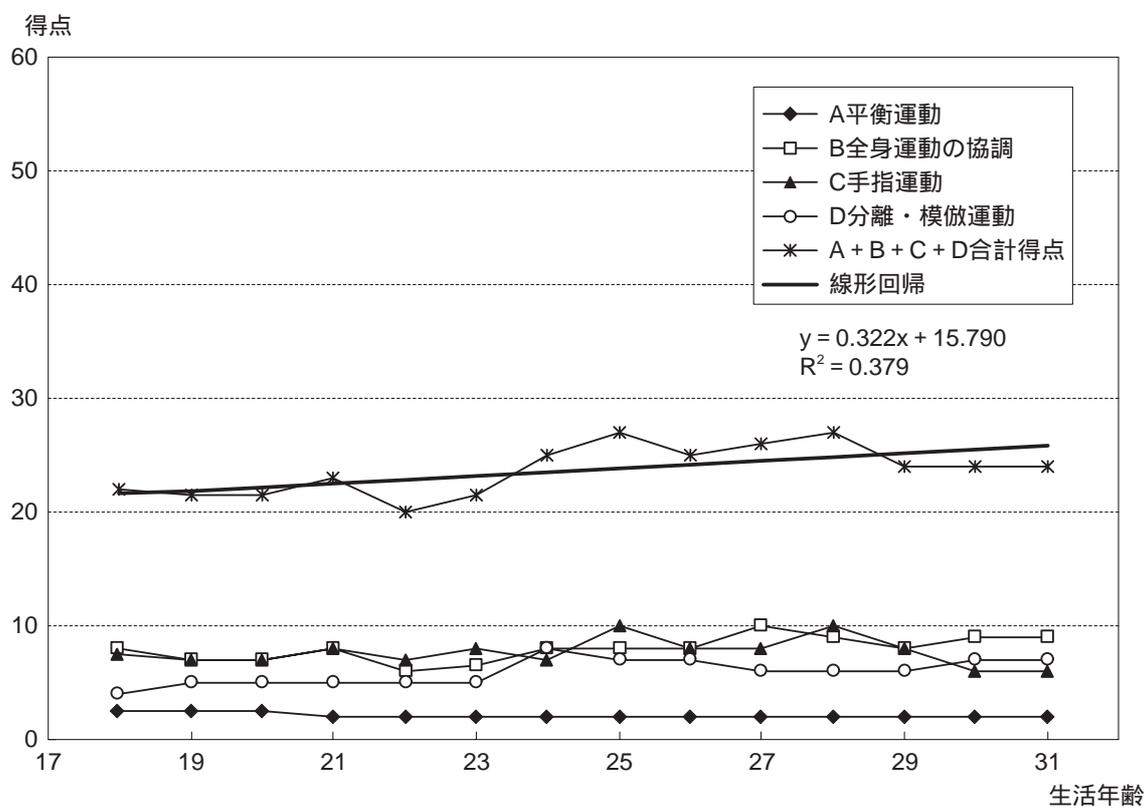
被検査者No. 25



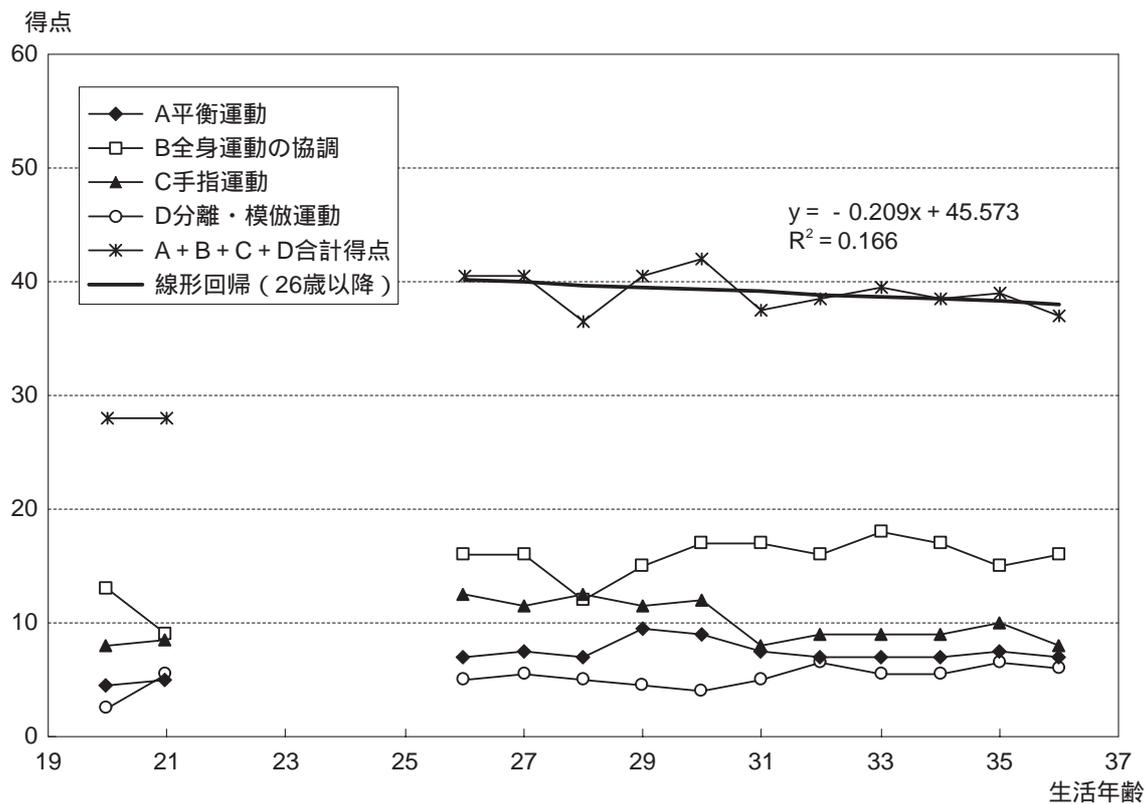
被検査者No. 26



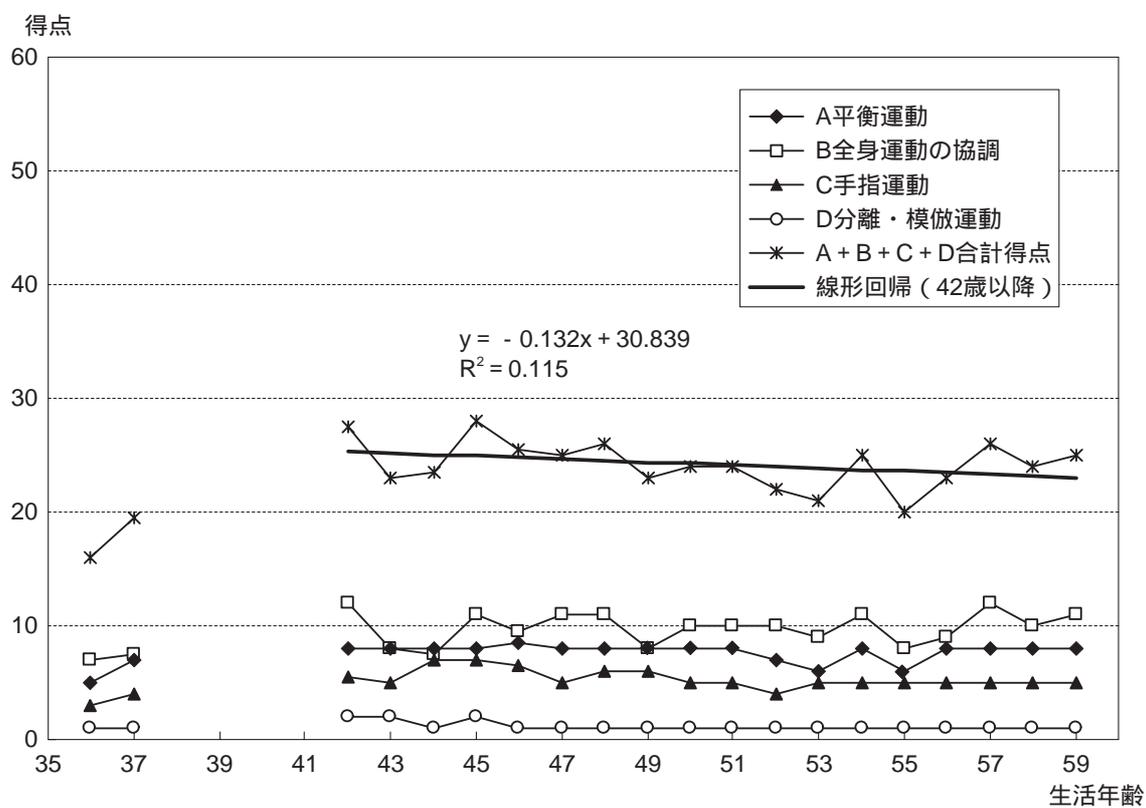
被検査者No. 27



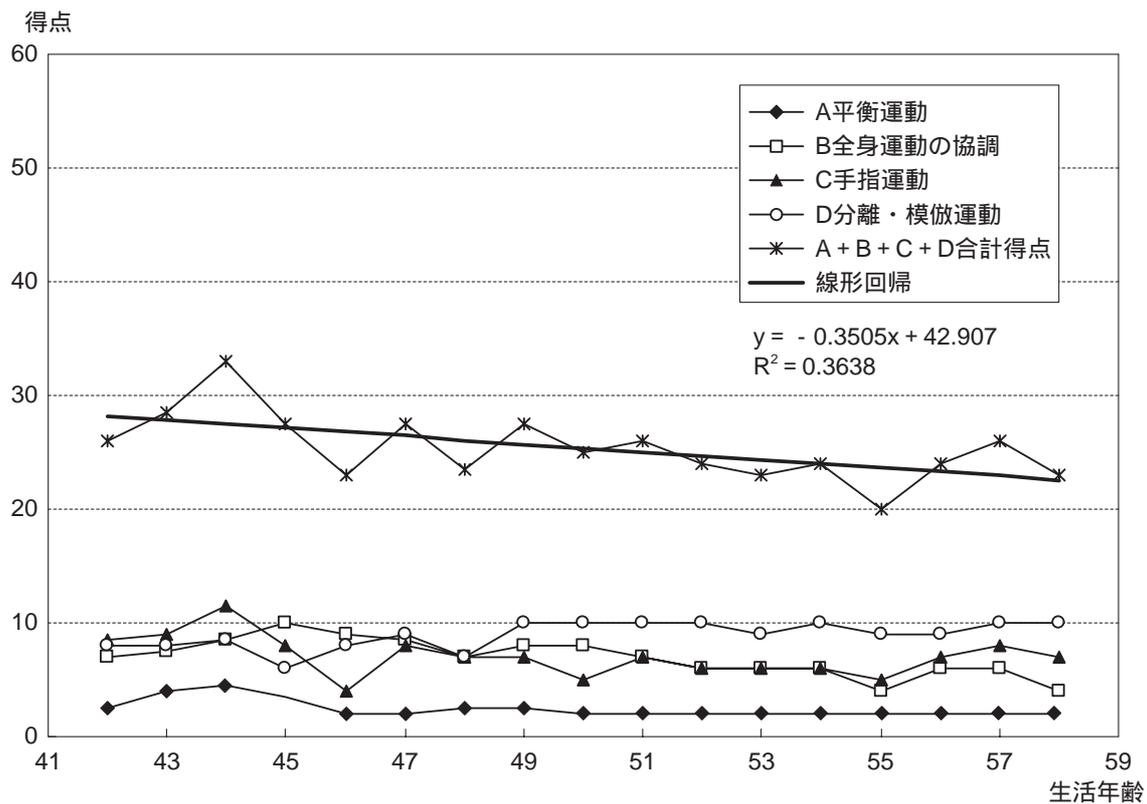
被検査者No. 28



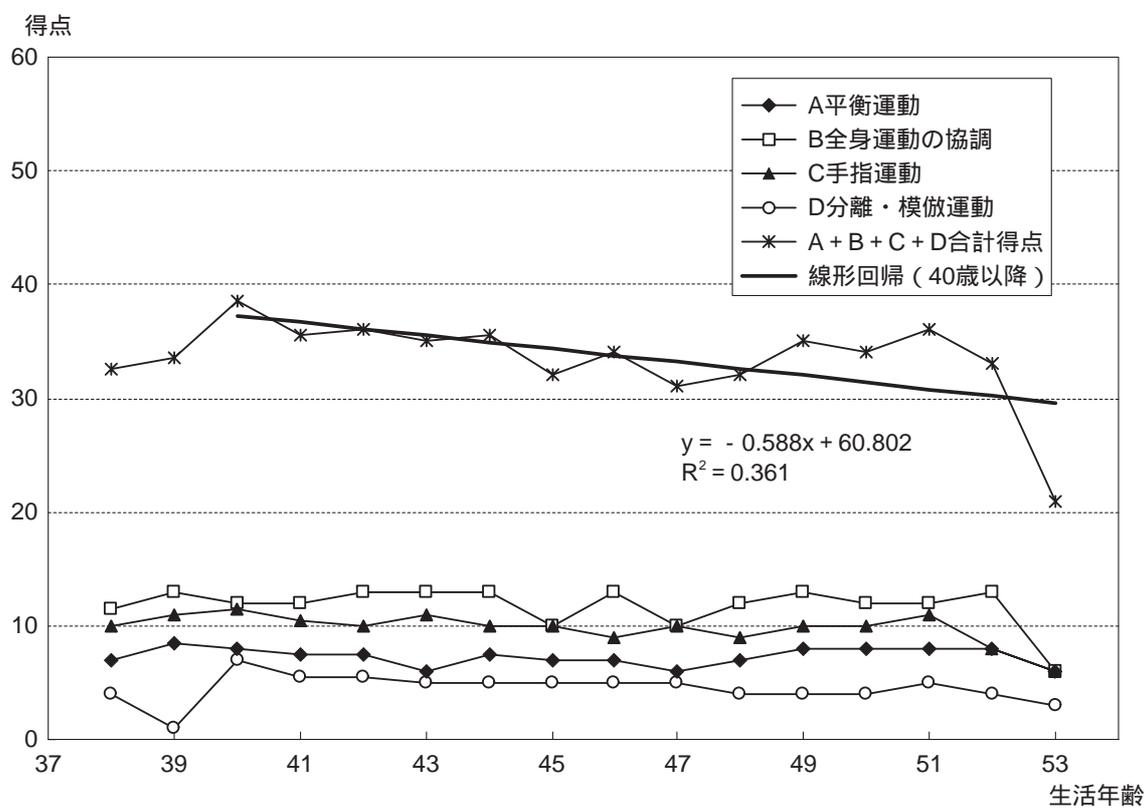
被検査者No. 29



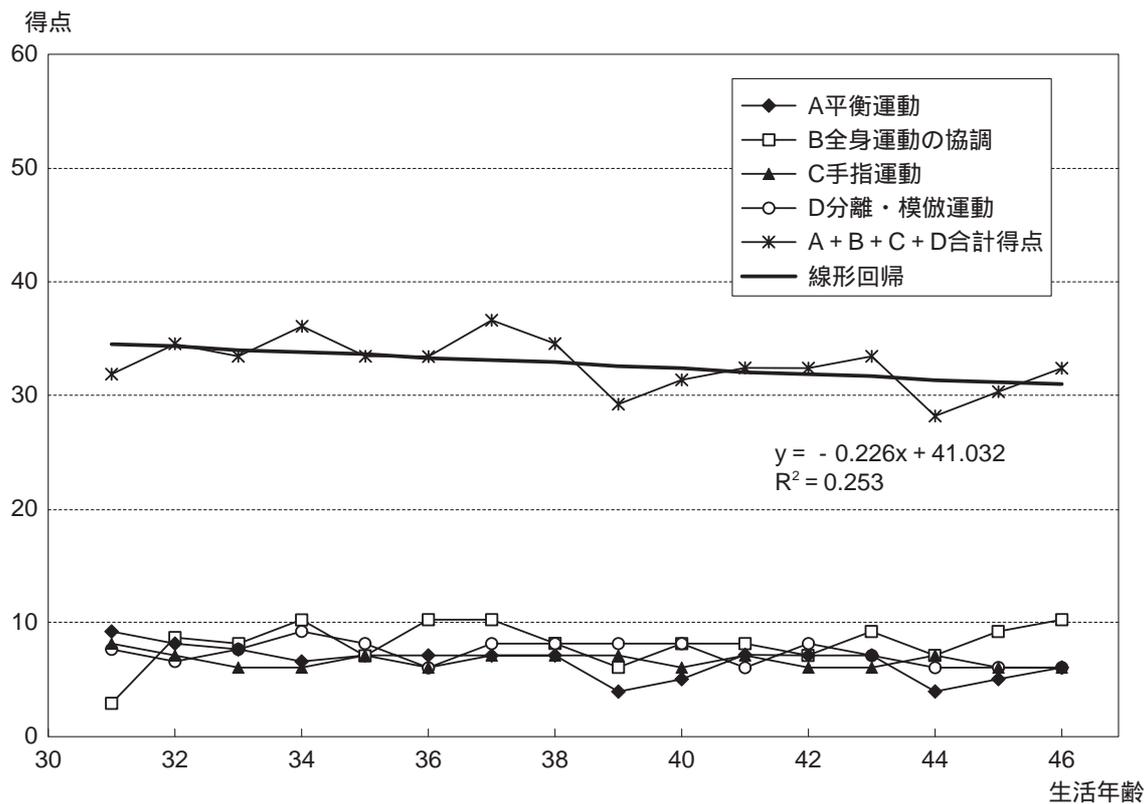
被検査者No. 30



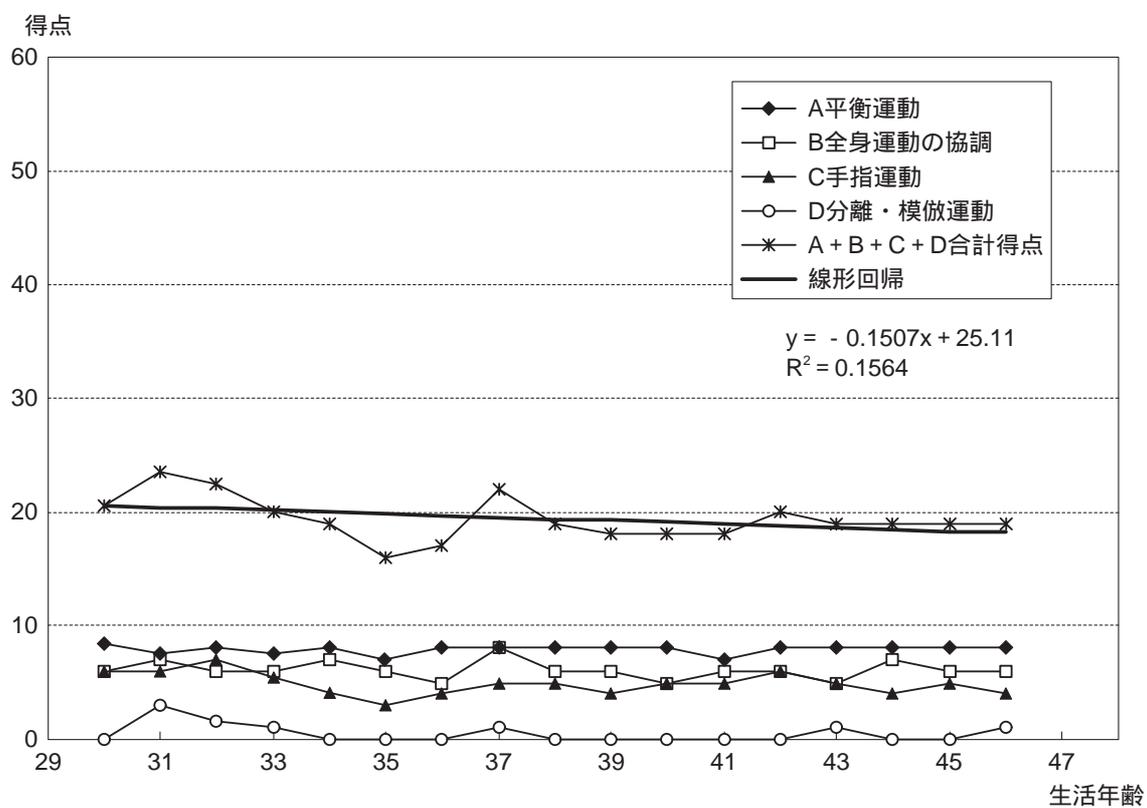
被検査者No. 31



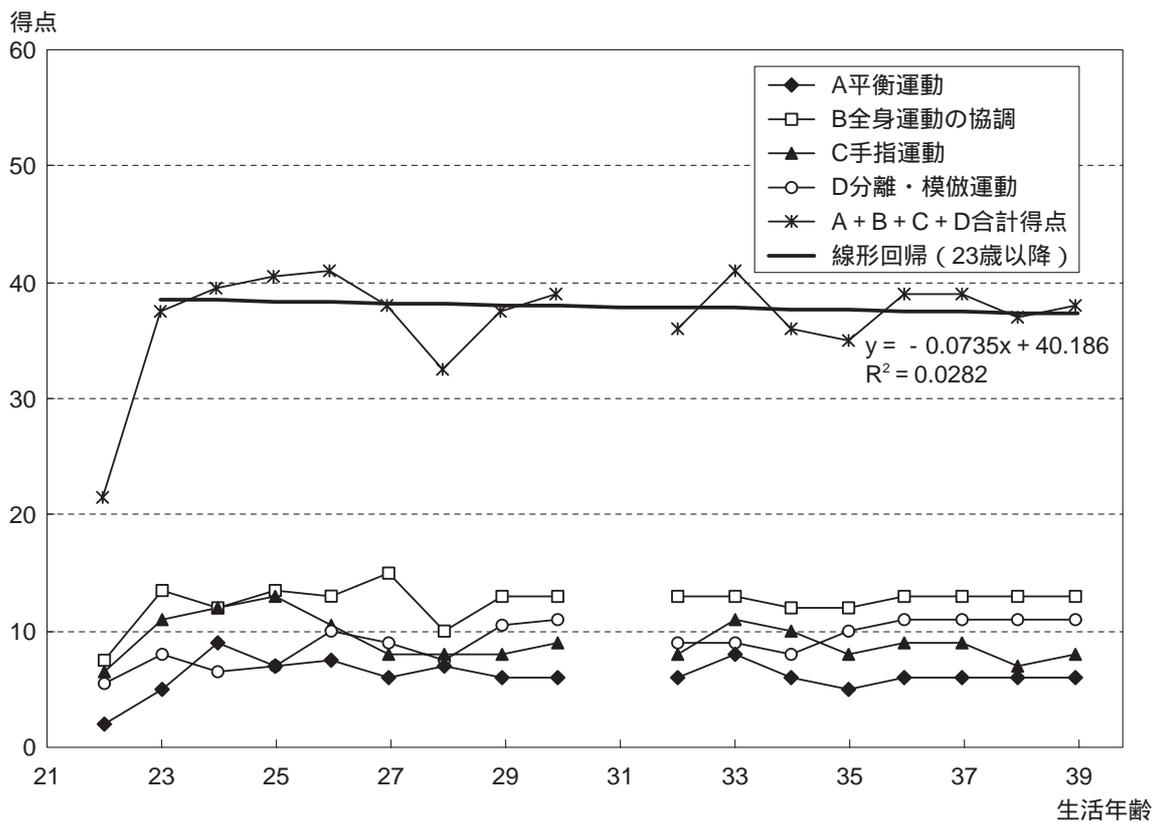
被検査者No. 32



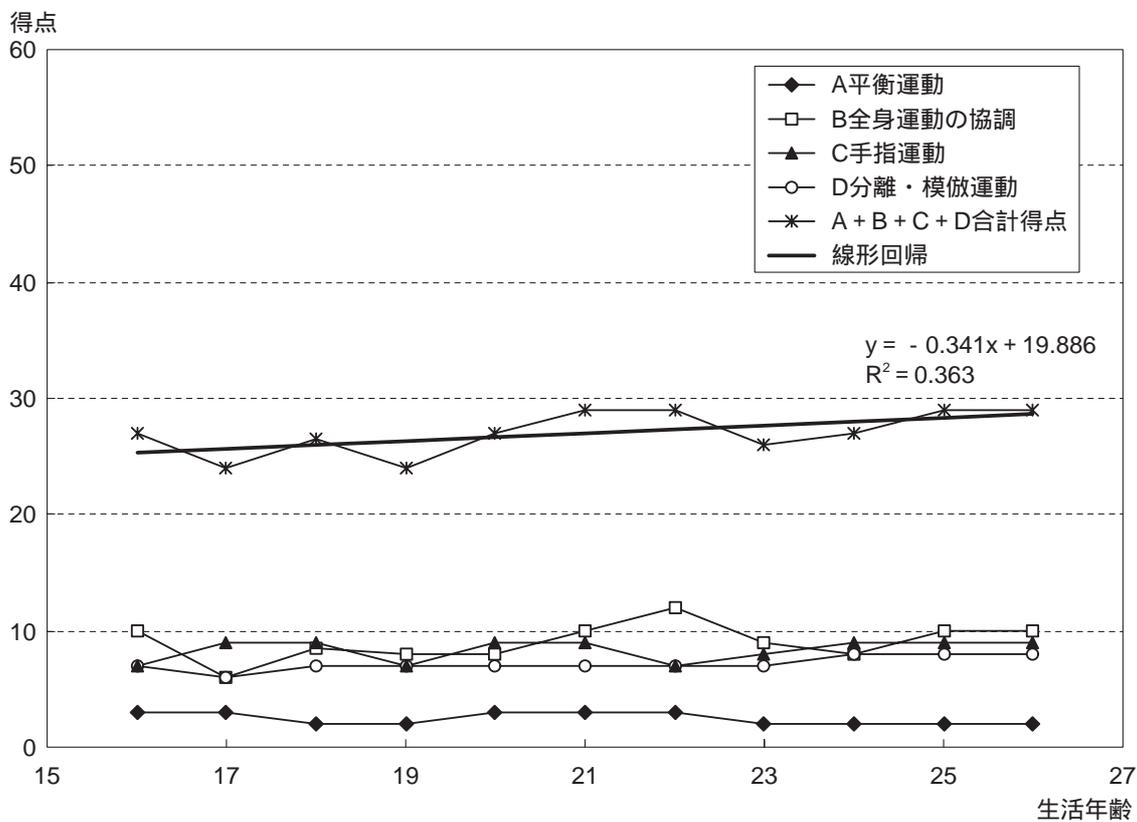
被検査者No. 33



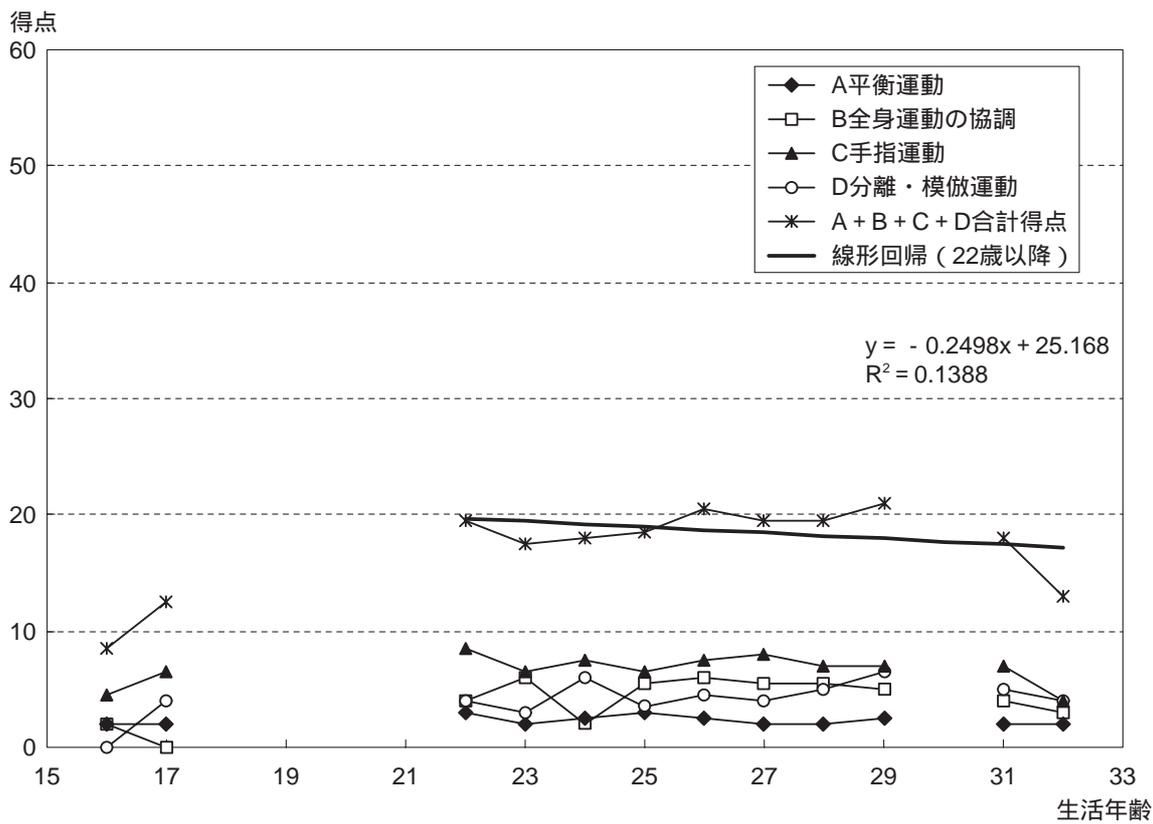
被検査者No. 34



被検査者No. 35



被検査者No. 36



被検査者No. 37

視覚障害その他の理由で活字のままではこの本を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。

その際は下記までご連絡下さい。

障害者職業総合センター企画部企画調整室

電話 043 297 9067

FAX 043 297 9057

なお、視覚障害者の方等でこの本のテキストファイルをご希望されるときも、ご連絡ください。

調査研究報告書 No. 43

知的障害者の職務遂行能力の加齢変化に関する研究

障害者の加齢に伴う職業能力の変化と対策に関する実証的研究報告書 3

---

編集・発行 日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター©  
〒261 0014  
千葉県美浜区若葉3丁目1 3  
電話 043 297 9067  
FAX 043 297 9057

発行日 2001年4月

印刷・製本 三陽工業株式会社

---



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

ISSN 1340-5527